

データ集

分野	ページ	データ	出典
各分野まとめ	4	データから見える各分野の主な状況① (将来推計人口、人口動態、子育て・教育)	－
	5	データから見える各分野の主な状況② (健康・福祉、経済・産業)	－
	6	データから見える各分野の主な状況③ (雇用・人材、観光・交流、安全・インフラ)	－
	7	データから見える各分野の主な状況④ (環境、財政)	－
将来推計人口	9	総人口の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	10	年齢3区分別人口の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	11	年齢3区分の人口構成比の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	12	高齢者人口の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	13	総人口の将来推計の全国・大阪府比較	総務省「国勢調査」、堺市推計、国立社会保障・人口問題研究所推計
	14	年齢3区分別人口の将来推計の全国・大阪府比較	総務省「国勢調査」、堺市推計、国立社会保障・人口問題研究所推計
	15	年齢5歳階級別の人口ピラミッドの将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	16	総世帯数と世帯当たり人員数の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	17	類型別世帯数の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	18	類型別世帯数の構成比の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
	19	高齢者世帯数と高齢単身世帯数の将来推計	総務省「国勢調査」、堺市推計
人口動態	21	自然増減、社会増減の推移（長期）	堺市「住民基本台帳」
	22	自然増減、社会増減の推移（短期）	堺市「住民基本台帳」
	23	自然増減（出生数、死亡数）の推移	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」
	24	合計特殊出生率の推移	堺市調べ、全国・大阪府は厚生労働省「人口動態統計」
	25	社会増減（転入者数、転出者数）の推移	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
	26	区別の社会増減の推移	総務省「住民基本台帳人口移動報告」
	27	日本人の年齢別社会増減	総務省「住民基本台帳人口移動報告」
	28	相手先地域別 20代、30代の社会増減	総務省「住民基本台帳人口移動報告」
	29	政令市の自然動態、社会動態の分布	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
	30	外国人人口の推移、国籍・地域別人口	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、堺市「住民基本台帳」
	31	外国人の社会増減の推移	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
	32	外国人の年齢別社会増減	総務省「住民基本台帳人口移動報告」
	33	世帯類型別世帯割合の推移	総務省「国勢調査」
子育て・教育	35	未婚者女性の理想のライフコース等（全国）	国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」
	36	子どものいる家庭の共働き率の推移	総務省「国勢調査」
	37	認定こども園等の待機児童数等の推移	堺市調べ
	38	認定こども園等における要配慮児数の推移	堺市調べ
	39	放課後児童対策事業の待機児童数の推移	堺市調べ
	40	学力調査の平均値の推移	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
	41	学力調査の政令市比較	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
	42	児童生徒の1日当たりの学習時間	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
	43	中学校におけるCEFR A1レベル相当以上の割合の推移	文部科学省「英語教育実施状況調査」
	44	体力テストの平均値の推移	文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」
	45	体力テストの平均値の政令市比較	文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」
	46	児童生徒の週当たりの総運動時間	文部科学省「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」
	47	支援学級等の利用・在籍児童生徒数の推移	堺市調べ
	48	いじめ認知件数の推移	文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
	49	不登校児童生徒数の推移	文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
	50	教員採用選考試験の受験倍率の推移	堺市調べ
	51	児童扶養手当受給者に占める全部受給割合の推移等	厚生労働省「福祉行政報告例」
	52	家族のケアをしている子どもの推計人数	堺市調べ
	53	子ども相談所における児童虐待相談対応件数の推移	堺市調べ、子ども家庭庁調べ
	54	日本語指導が必要な幼児児童生徒数の推移等	堺市調べ

分野	ページ	データ	出典
健康・福祉	56	健康寿命の推移、政令市比較	厚生労働科学研究報告書
	57	平均寿命の推移、政令市比較	厚生労働省「市区町村別生命表の概況」
	58	年齢10歳階級別の主な死因（全国）	厚生労働省「人口動態統計」
	59	特定健診受診率の推移、政令市比較	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導実施状況（保険者別）」
	60	メタボリックシンドロームが強く疑われる者、予備群の割合の推移	堺市「国民健康保険特定健康診査の法定報告」、厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
	61	運動習慣のある人の年齢別割合	堺市調べ
	62	救急搬送件数の推移	堺市調べ
	63	認知症の高齢者数、有病率の将来推計（全国）	厚生労働省「令和6年版高齢社会白書」
	64	要支援・要介護認定率（第1号被保険者）の推移等	厚生労働省「介護保険事業状況報告（9月月報）」
	65	要支援・要介護認定者数の将来推計	堺市推計
	66	障害者手帳所持者の推移	堺市調べ
	67	障害種別の重度障害者数の推移	堺市調べ
	68	障害種別の高齢者割合の推移	堺市調べ
	69	障害者福祉施設から一般就労への移行者数の推移	堺市調べ
	70	親と同居している50代未婚者数等の推移	総務省「国勢調査」
	71	生活保護申請件数、受給世帯数の推移	堺市調べ
	72	自殺死亡率の推移、政令市比較	厚生労働省「人口動態統計」
	73	ひきこりの相談件数の推移	堺市調べ
経済・産業	75	昼夜間人口比率等の推移、政令市比較	総務省「国勢調査」
	76	地価公示価格（住宅地）の対前年平均変動率の推移	国土交通省「地価公示」、大阪府「地価だより」
	77	地価公示価格（商業地）の対前年平均変動率の推移	国土交通省「地価公示」、大阪府「地価だより」
	78	事業所数、従業者数の推移	総務省「経済センサス基礎調査」「経済センサス活動調査」
	79	政令市の開業率、廃業率の分布	総務省「令和3年経済センサス活動調査、令和元年経済センサス基礎調査」
	80	企業の規模別割合、企業規模別の従業者割合	総務省「経済センサス活動調査」
	81	付加価値額の推移、産業別の割合	総務省「経済センサス活動調査」
	82	特化係数（付加価値額）	総務省「経済センサス活動調査」
	83	事業従事者1人あたりの付加価値額の推移、政令市比較	総務省「経済センサス活動調査」
	84	イノベーション投資促進条例の認定投資額等の推移	堺市調べ
	85	先端設備等導入計画の認定投資額等の推移	堺市調べ
	86	製造品出荷額等の推移、政令市比較	経済産業省「工業統計調査」、総務省「経済センサス活動調査」「経済構造実態調査」
	87	中小企業の経営上の問題点（全国）	日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査結果」
	88	人手不足倒産件数の推移（全国）	帝国データバンク「人手不足倒産の動向調査（2024年上半期）」
	89	農業算出額の推移、大阪府内自治体比較	農林水産省「市町村別農業産出額」
	90	農業従事者の年齢別割合、耕地面積の推移	農林水産省「近畿農林水産統計年報」
雇用・人材	92	有効求人倍率の推移、主な職種の有効求人倍率	厚生労働省「職業安定業務統計」、大阪労働局「大阪労働局年報」
	93	女性の就業率の推移、政令市比較	総務省「国勢調査」
	94	女性の年齢階級別の労働力率、正規雇用比率	総務省「国勢調査」
	95	高齢者の就業率の推移	総務省「国勢調査」
	96	外国人の就業者数の推移	総務省「国勢調査」
観光・交流	98	大仙公園エリア来訪者の年齢、所在地	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータ
	99	環濠エリア来訪者の年齢、所在地	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータ
	100	大仙公園・環濠エリアの滞在時間、同日来訪者数	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータ
	101	大仙公園エリアと環濠エリアの時間帯別の平均来訪者数	携帯電話事業者の位置情報ビッグデータ
	102	延べ宿泊者数の推移、来訪者に占める宿泊者の割合	大阪府「観光統計調査」、堺市調べ
	103	1人当たりの観光消費額	堺市調べ
	104	旅館・ホテルの施設数、客室数の政令市比較	厚生労働省「衛生行政報告例」
	105	訪日外国人旅行者が日本で体験したいこと	日本政策投資銀行「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」
	106	訪日外国人旅行者が日本で購入し一番満足した商品	日本政策投資銀行「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」
	107	堺伝匠館の来館者数と販売額の推移	堺市調べ
	108	堺伝匠館の販売額内訳、属性別平均購入価格の推移	堺市調べ
	109	市民の伝統製品の認知度、堺製品の購入経験の推移	堺市調べ

分野	ページ	データ	出典
観光・交流	110	文化施設の利用者数、稼働率の推移	堺市調べ
	111	多文化交流プラザ・さかいでの相談件数の推移等	堺市調べ
	112	地域に外国人が増えることへの年代別の意識（全国）	出入国管理庁「外国人との共生に関する意識調査」
	113	国際会議開催件数の推移、開催実績の政令市比較	日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」
安全・インフラ	115	避難行動要支援者数の推移	堺市調べ
	116	多数の人が利用する建築物、住宅の耐震化率の推移	堺市調べ
	117	空き家数、空き家率の推移、政令市比較	総務省「住宅・土地統計調査」
	118	着工新設住宅戸数の推移、政令市比較	国土交通省「住宅着工統計」
	119	建築年代別マンション戸数	堺市調べ
	120	竣工年別の公共施設 延床面積	堺市調べ
	121	公共交通カバー状況	堺市調べ
	122	市内の鉄軌道旅客人員の推移	堺市調べ
	123	市内のバス利用者数の推移	堺市調べ
	124	シェアサイクルの利用者数、利用回数の推移	堺市調べ
	125	自転車分担率の推移、政令市比較	総務省「国勢調査」
	126	交通事故件数、自転車関連事故割合の推移	堺市調べ
	127	自転車乗車時のヘルメット着用率 大阪府内自治体比較	堺市調べ（豊能町以外の町村は調査対象外）
	128	刑法犯の認知件数の推移	大阪府警察犯罪統計
	129	刑法犯の認知件数 大阪府内自治体比較	大阪府警察犯罪統計
	130	大阪重点犯罪認知件数 大阪府内自治体比較	大阪府警察犯罪統計
環境	132	温室効果ガス排出量の推移	堺市調べ
	133	温室効果ガス排出量の部門別割合	堺市調べ
	134	太陽光発電の導入容量の推移、面積当たりの政令市比較	堺市調べ
	135	観測史上最高気温の上位10日	気象庁ホームページ
	136	緑被率等の状況	堺市調べ
	137	人口当たりの都市公園面積、政令市比較	総務省「公共施設状況調査」
	138	ごみ排出量の推移	堺市調べ
	139	リサイクル量、リサイクル率の推移、政令市比較	堺市調べ、環境省「一般廃棄物処理実態調査」
財政	141	歳入の推移、政令市平均比較	堺市調べ
	142	税収の推移、政令市平均比較	堺市調べ
	143	歳出の推移、政令市平均比較	堺市調べ
	144	実質公債費比率・将来負担比率の推移、政令市比較	堺市調べ、総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」
	145	経常収支比率・財政力指数の推移、政令市比較	総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

※29ページ「政令市の自然動態、社会動態の分布」は懇話会開催時の資料において、他のページの自然動態、社会動態と算出方法が異なる数値となっていたため修正しています。

データから見える各分野の主な状況①

※以下は各分野のデータから主なものをピックアップして状況を記載

分野	主な状況
将来推計人口	○人口は2030年に80万人、2045年に70万人を下回る。 ○年少人口、生産年齢人口は減少傾向、高齢者人口は2045年まで増加傾向、その後は減少傾向。 ○世帯数は2030年まで増加傾向、その後は減少傾向。 ○世帯当たりの人員数は減少傾向で推移し、2040年には2人を下回る。
人口動態	○人口は2012年以降、12年連続減少。 ○自然増減は2011年以降、13年連続自然減が続く、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向。 ○社会増減は2013年以降、9年連続社会減が続いていたが、2022年以降は社会増。 ○堺区、東区は社会増、中区、南区、北区は社会減の傾向。 ○日本人の年齢別の社会減は特に20～30代で大きい。 ○外国人人口は増加傾向、年齢別では10代後半から30代前半が社会増傾向。 ○世帯類型は夫婦と子からなる世帯の割合は減少傾向、単独世帯の割合は増加傾向。
子育て・教育	○認定こども園等における利用申込者数、要配慮児数は増加傾向。 ○学力調査の平均値は小6は低下、中3は横ばいの傾向、全国・大阪府・政令市平均を下回る。 ○CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の割合は概ね上昇傾向、全国・大阪府・政令市平均を上回る。 ○体力テストの平均値は小5・中2の男子・女子ともに横ばい又は低下傾向、全国・政令市平均を下回る。 ○支援学級等の利用・在籍児童生徒数は増加傾向。 ○いじめの認知件数、不登校児童生徒数は増加傾向。 ○教員採用選考試験の受験倍率は低下傾向。 ○子ども相談所における児童虐待相談対応件数は横ばい傾向。 ○日本語指導が必要な幼児児童生徒数は増加傾向。

データから見える各分野の主な状況②

※以下は各分野のデータから主なものをピックアップして状況を記載

分野	主な状況
健康・福祉	○<u>健康寿命・平均寿命は延伸</u>傾向、男性の健康寿命は全国・大阪府・政令市平均を上回る。 ○<u>メタリックシンドロームが強く疑われる者等の割合は近年は横ばい</u>傾向、全国とほぼ同水準。 ○<u>救急搬送件数は増加</u>傾向、特に<u>高齢者が増加</u>傾向。 ○<u>要支援・要介護認定率は上昇</u>傾向、<u>要支援・要介護認定者数は2035年頃にピーク</u>となる見込み。 ○<u>障害者手帳所持者は増加</u>傾向、<u>療育手帳、精神障害者保健福祉手帳が増加</u>傾向。 ○<u>親と同居している50代未婚者数、及びそのうちの非就業者数は増加</u>傾向。 ○<u>生活保護の申請件数、受給世帯数は増加</u>傾向。 ○<u>自殺死亡率は直近の2023年は低下</u>、全国・政令市平均を上回る。
経済・産業	○<u>昼夜間人口比率は横ばい</u>傾向、<u>100を下回る</u>。 ○<u>住宅地の地価公示価格</u>の対前年平均変動率は<u>上昇</u>傾向、特に<u>北区、東区、堺区が上昇</u>傾向。 ○<u>商業地の地価公示価格</u>の対前年平均変動率は<u>上昇</u>傾向、特に<u>北区、美原区、南区が上昇</u>傾向。 ○<u>事業所数は減少</u>傾向、<u>従業者数は横ばい</u>傾向。 ○<u>開業率は政令市平均を下回り、廃業率は上回る</u>。 ○市内企業の<u>99%が中小企業</u>、市内従業者の<u>80%以上は中小企業の従業者</u>。 ○<u>付加価値額は直近の2021年に減少</u>、産業別割合は「<u>製造業</u>」が約30%で最も高い。 ○<u>投資促進条例、先端設備等導入計画の認定投資額は増加</u>傾向。 ○<u>製造品出荷額等は増加</u>傾向、<u>政令市の中で1位</u>。 ○<u>農業産出額は大阪府内自治体の中で1位</u>だが、<u>従事者の高齢化が進み、耕地面積は減少</u>傾向。

データから見える各分野の主な状況③

※以下は各分野のデータから主なものをピックアップして状況を記載

分野	状況
雇用・人材	○有効求人倍率は近年上昇傾向であったが2023年度は低下、職種による差が大きい。 ○女性の就業率は上昇傾向だが、全国・大阪府・政令市平均を下回る。 ○女性の30代以降で正規雇用比率は低下傾向。 ○高齢者の就業率は上昇傾向だが、全国・大阪府・政令市平均を下回る。 ○外国人の就業者数は増加傾向、特にベトナム国籍の就業者の増加幅が大きい。
観光・交流	○大仙公園エリアの約70%、環濠エリアの約80%は大阪府内からの来訪者。 ○大仙公園エリア来訪者の90%以上、環濠エリア来訪者の約80%は60分以内の滞在。 ○延べ宿泊者数は直近の2023年に増加したが、2019年の水準には戻っていない。 ○宿泊者1人当たりの市内観光消費額は日帰りの5倍以上。 ○堺伝匠館の販売額は直近の2023年度に過去最高を記録、平均購入価格は外国人客の伸びが大きい。 ○文化施設の利用者数は増加傾向、稼働率も上昇傾向。 ○多文化交流プラザ・さかいでの相談件数は増加傾向。
安全・インフラ	○避難行動要支援者数は増加傾向 ○耐震化率は特定建築物など多数の人が利用する建築物は90%以上、住宅は85%以上。 ○空き家は増加傾向、空き家率は直近の2023年は低下。 ○築40年超のマンションが今後増加する見込み。 ○鉄軌道、バスの利用者は増加傾向だが、2019年度以前の水準には戻っていない。 ○自転車分担率は上昇傾向、政令市の中で2番目に高い。 ○刑法犯の認知件数は減少傾向で推移していたが、2022年以降は増加傾向

データから見える各分野の主な状況④

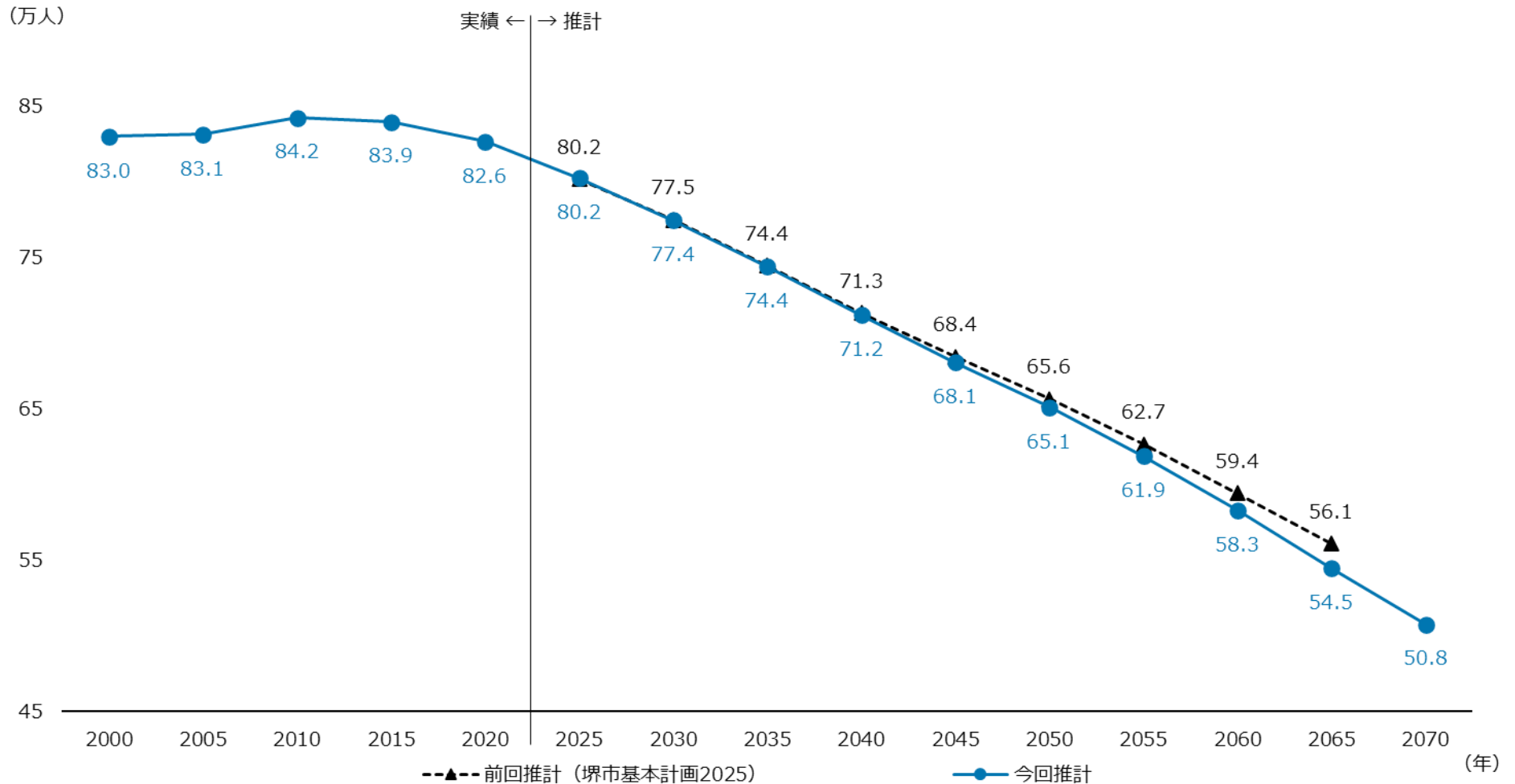
※以下は各分野のデータから主なものをピックアップして状況を記載

分野	状況
環境	○ <u>温室効果ガス排出量</u>（2013年度比）は<u>減少</u>傾向。 ○ 温室効果ガス排出量は<u>産業部門が約50%</u>を占める。 ○ <u>太陽光発電の導入容量は増加</u>傾向、<u>市域面積当たりの導入容量は政令市の中で1位</u>。 ○ 観測史上の<u>最高気温上位10日のうち5日は2022年以降の3年間に記録</u>。 ○ <u>緑被率は約40%</u>、区別では<u>南区が最も高く、堺区が最も低い</u>。 ○ ごみ排出量は<u>家庭系ごみ、事業系ごみのいずれも減少</u>傾向。
財政	○ <u>歳入は減少</u>傾向、そのうち<u>税収、地方交付税は増加</u>傾向、<u>国庫支出金は減少</u>傾向。 ○ <u>歳出は減少</u>傾向、そのうち<u>扶助費は増加</u>傾向、<u>投資的経費は減少</u>傾向。 ○ <u>実質公債費比率は2022年度以降は低下</u>傾向、2023年度は政令市平均を下回る。 ○ <u>経常収支比率は2023年度は低下</u>したが100%を超えており、2023年度は政令市の中で最も高い。 ○ <u>財政力指数は低下</u>傾向、2023年度は政令市平均を下回る。

将来人口推計

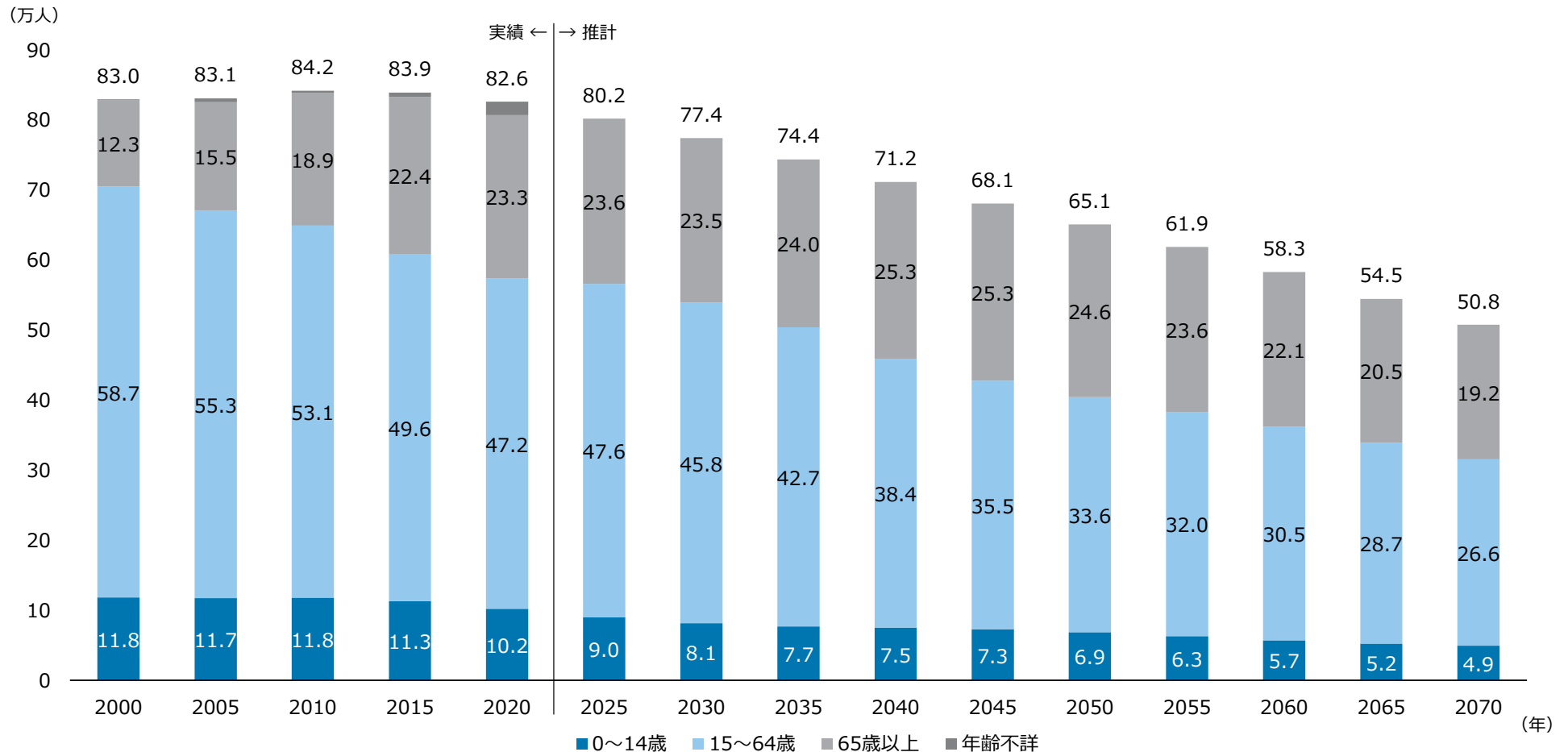
総人口の将来推計

- 今回推計は前回推計（堺市基本計画2025）よりやや下振れ。
- 2030年には80万人、2045年には70万人を下回る見込み。



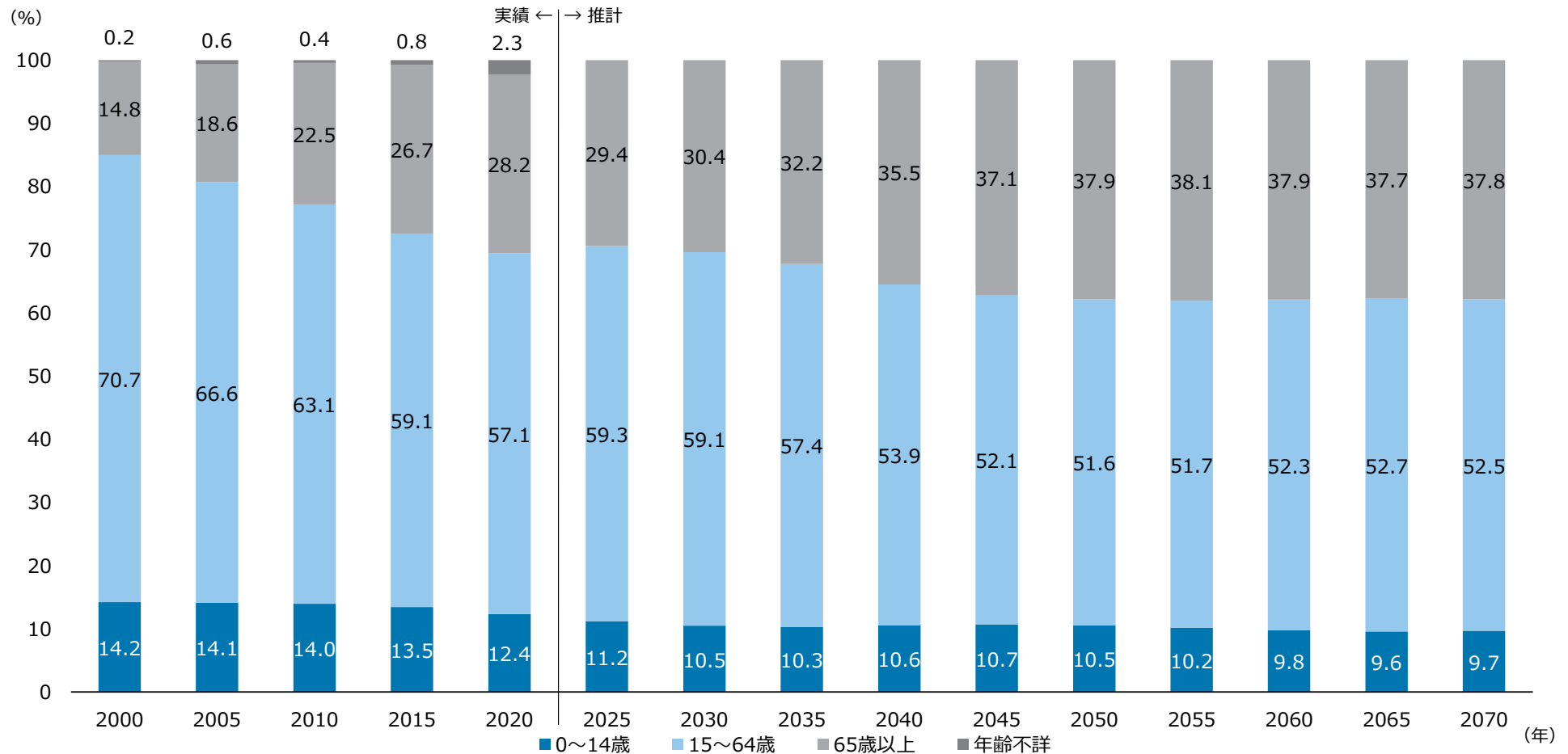
年齢3区分別人口の将来推計

- 年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向で推移する見込み。
- 高齢者人口（65歳以上）は2045年まで増加傾向で推移するが、その後は減少に転じる見込み。



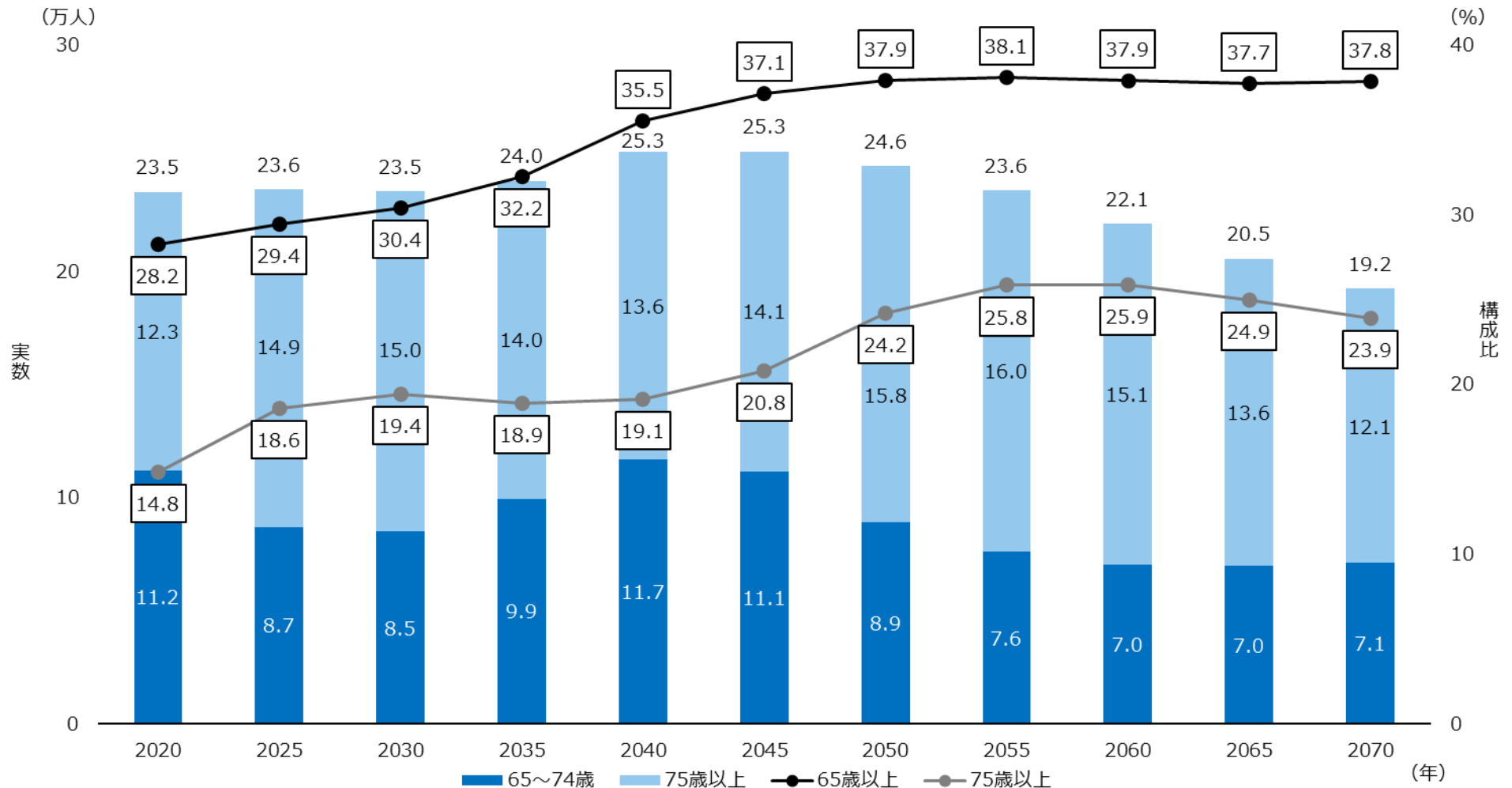
年齢3区分の人口構成比の将来推計

- 2025年以降は年少人口比率、生産年齢人口比率は低下、高齢者人口比率は上昇する見込み。
- 2050年以降は3区分とも横ばい傾向で推移する見込み。



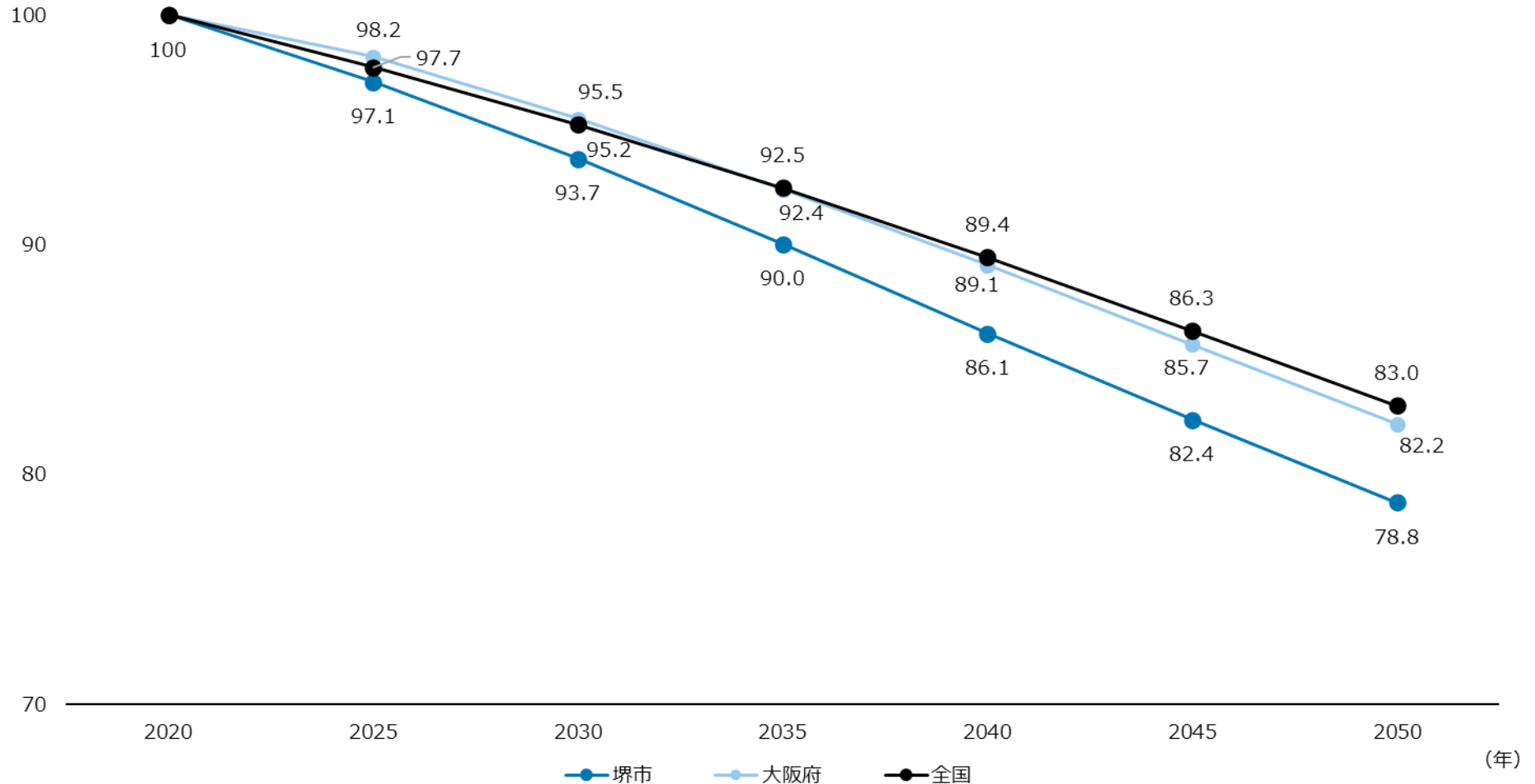
高齢者人口の将来推計

- 高齢者の割合は上昇傾向で推移し、2030年には30%を超え、2055年頃にピークとなる見込み。
- 後期高齢者の割合は上昇傾向で推移し、2045年には20%を超え、2060年頃にピークとなる見込み。



総人口の将来推計の全国・大阪府比較

○ 2020年を100とすると、堺市の人口は全国や大阪府を上回るペースで減少する見込み。



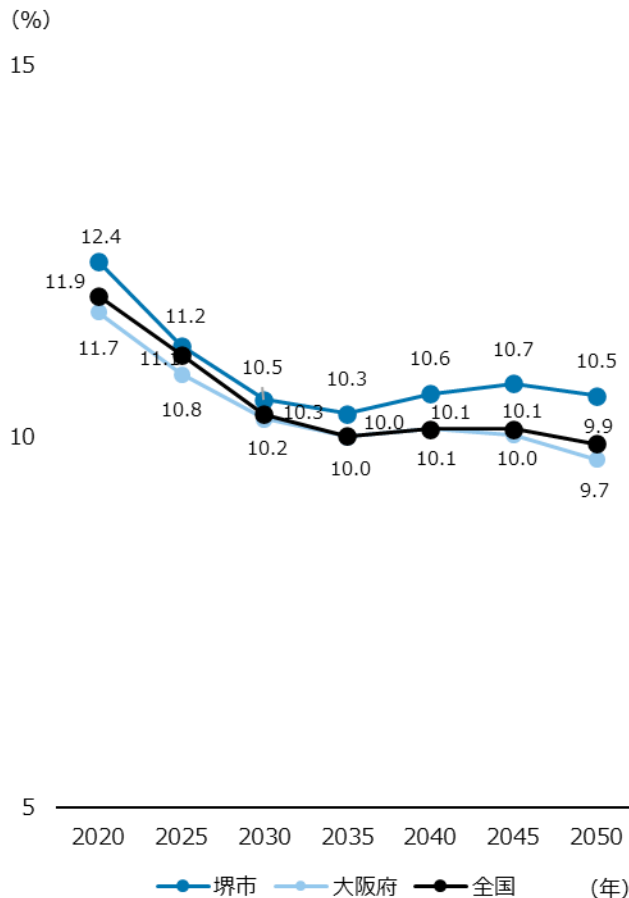
※国による全国・大阪府の将来推計人口は2050年まで公表されている。

(資料) 総務省「国勢調査」、堺市の将来推計人口は独自推計、全国・大阪府は国立社会保障・人口問題研究所の推計

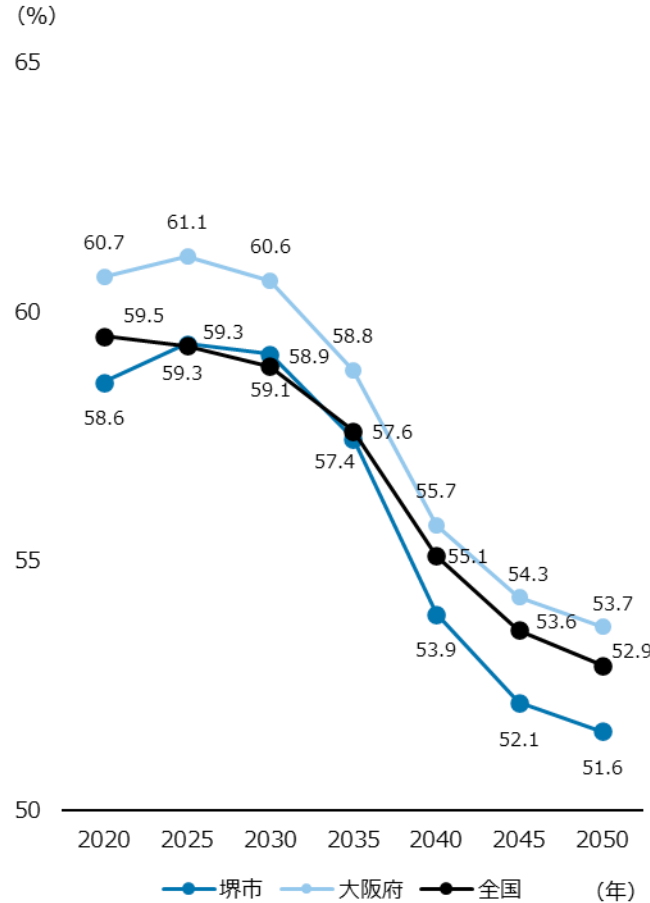
年齢3区分別人口の将来推計の全国・大阪府比較

- 全国や大阪府と比較して、年少人口と高齢者人口の割合は上回る水準、生産年齢人口の割合は下回る水準で推移する見込み。

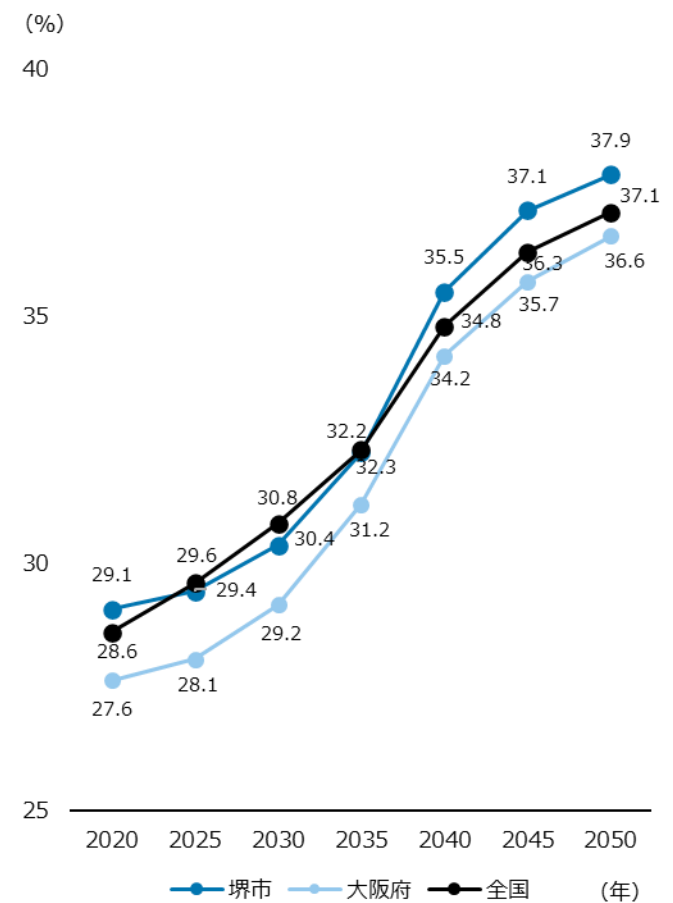
年少人口比率



生産年齢人口比率



高齢者人口比率



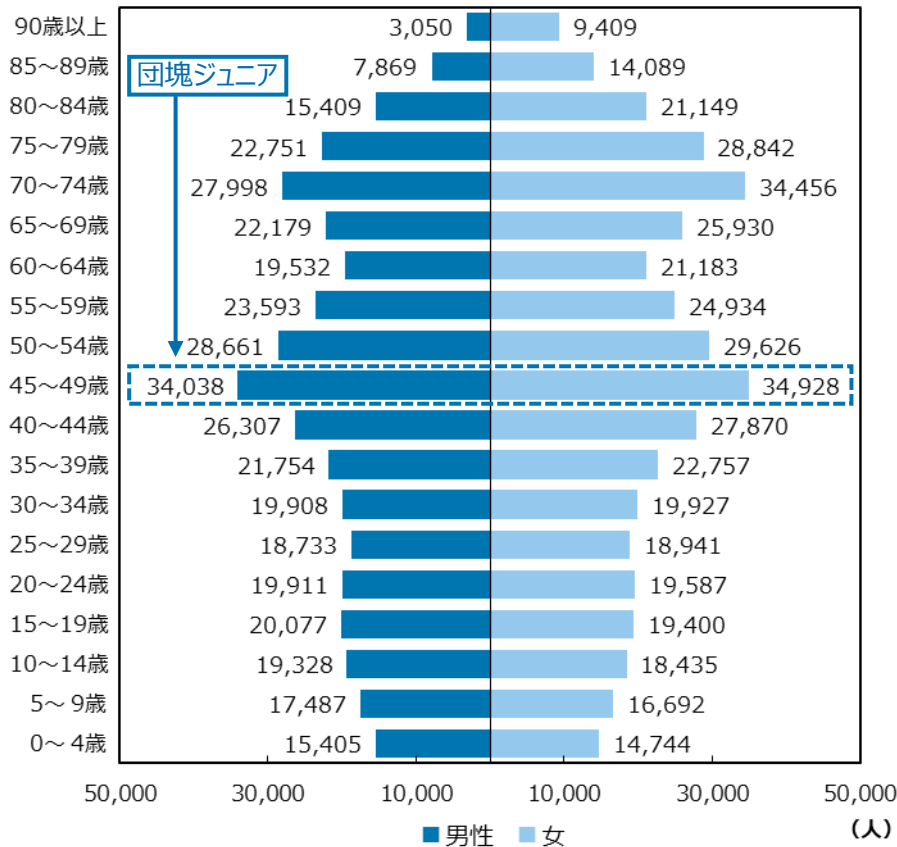
※国による全国・大阪府の将来推計人口は2050年まで公表されている。

(資料) 総務省「国勢調査」、堺市の将来推計人口は独自推計、全国・大阪府は国立社会保障・人口問題研究所の推計

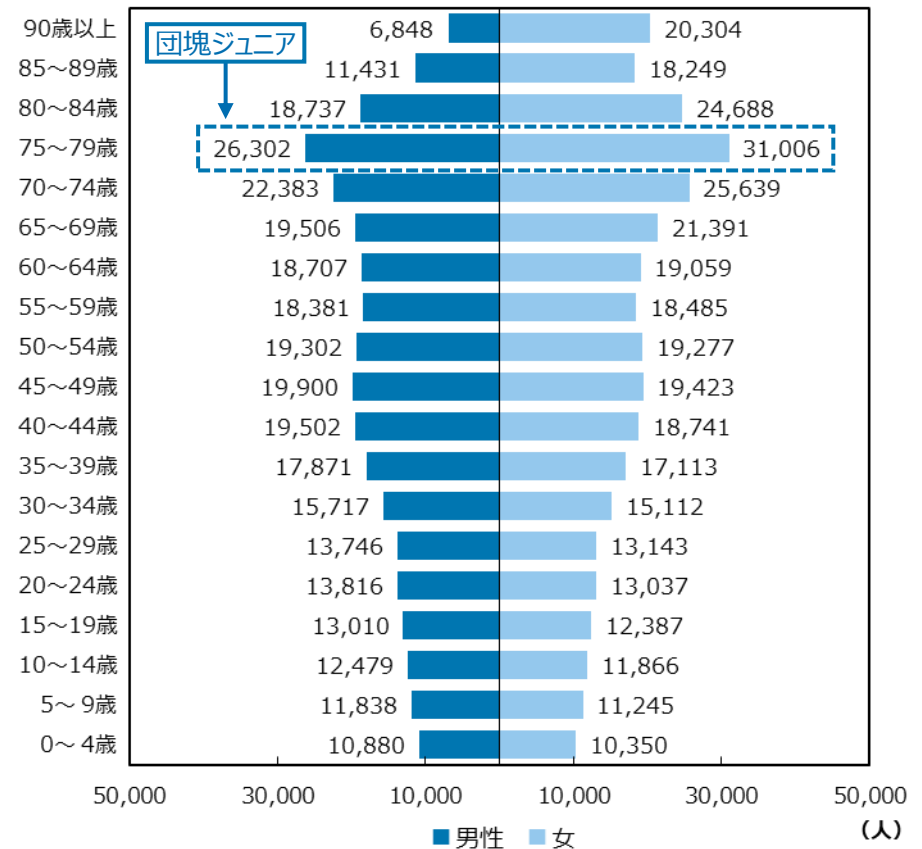
年齢5歳階級別の人口ピラミッドの将来推計

- 2050年には団塊ジュニア世代が全員75歳以上の後期高齢者となり、人口ピラミッドも釣鐘型から棺おけ型（高齢者が多く、若い世代が少ない）に変化する見込み。

2020年

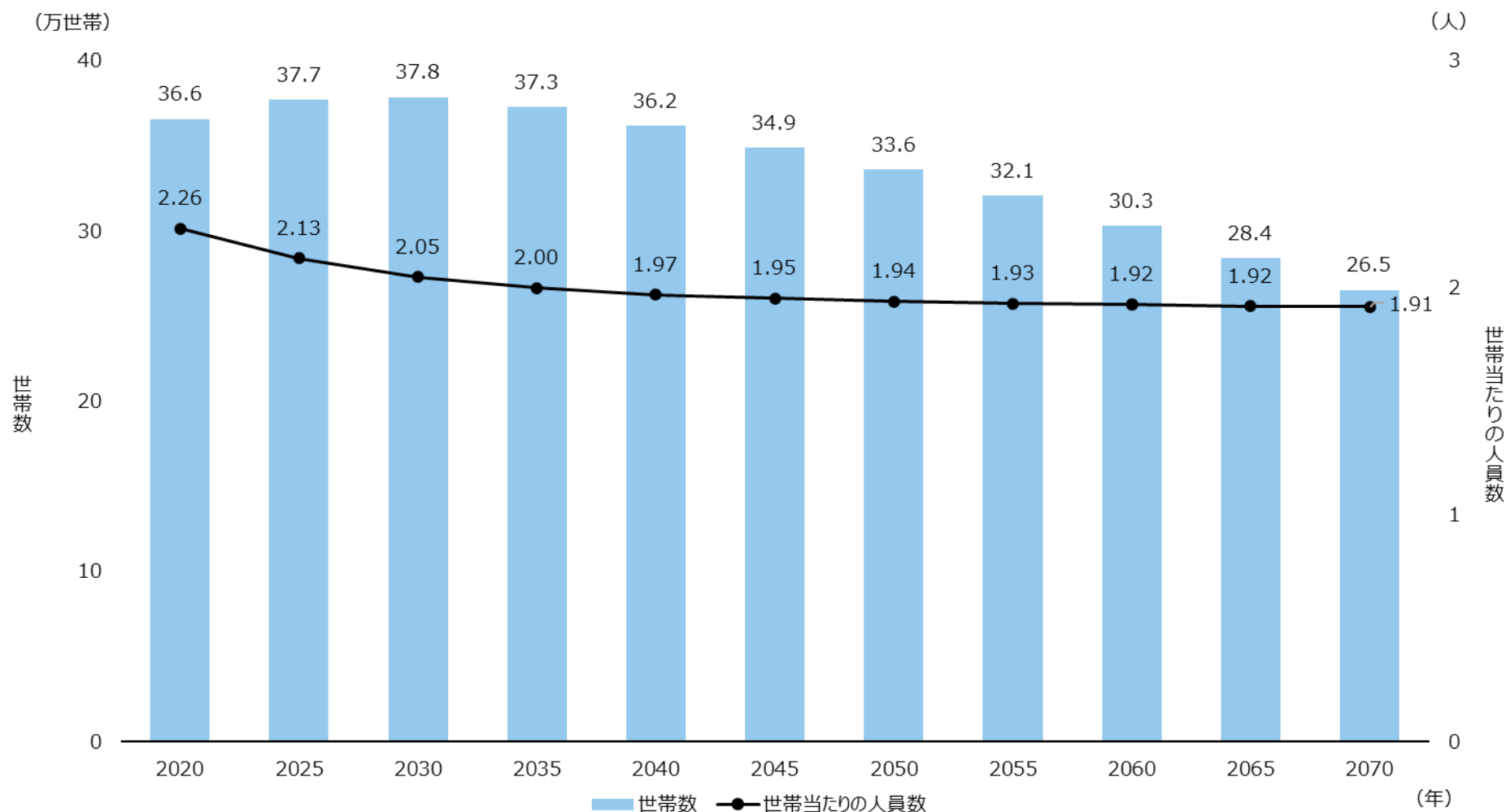


2050年



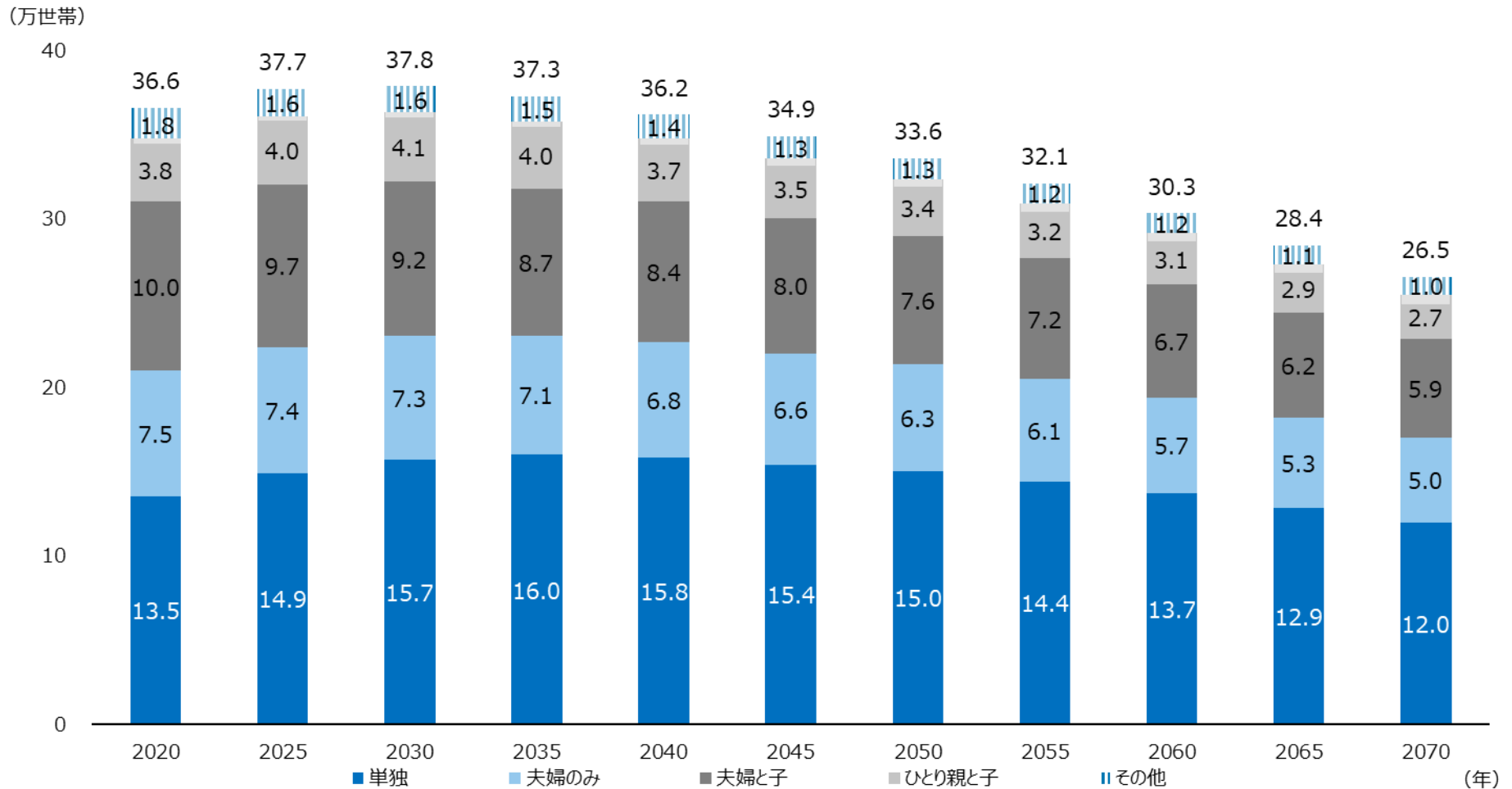
総世帯数と世帯当たり人員数の将来推計

- 世帯数は2030年まで増加傾向で推移し、2035年以降は減少に転じる見込み。
- 世帯当たりの人員数は減少傾向で推移し、2040年には2人を下回る見込み。



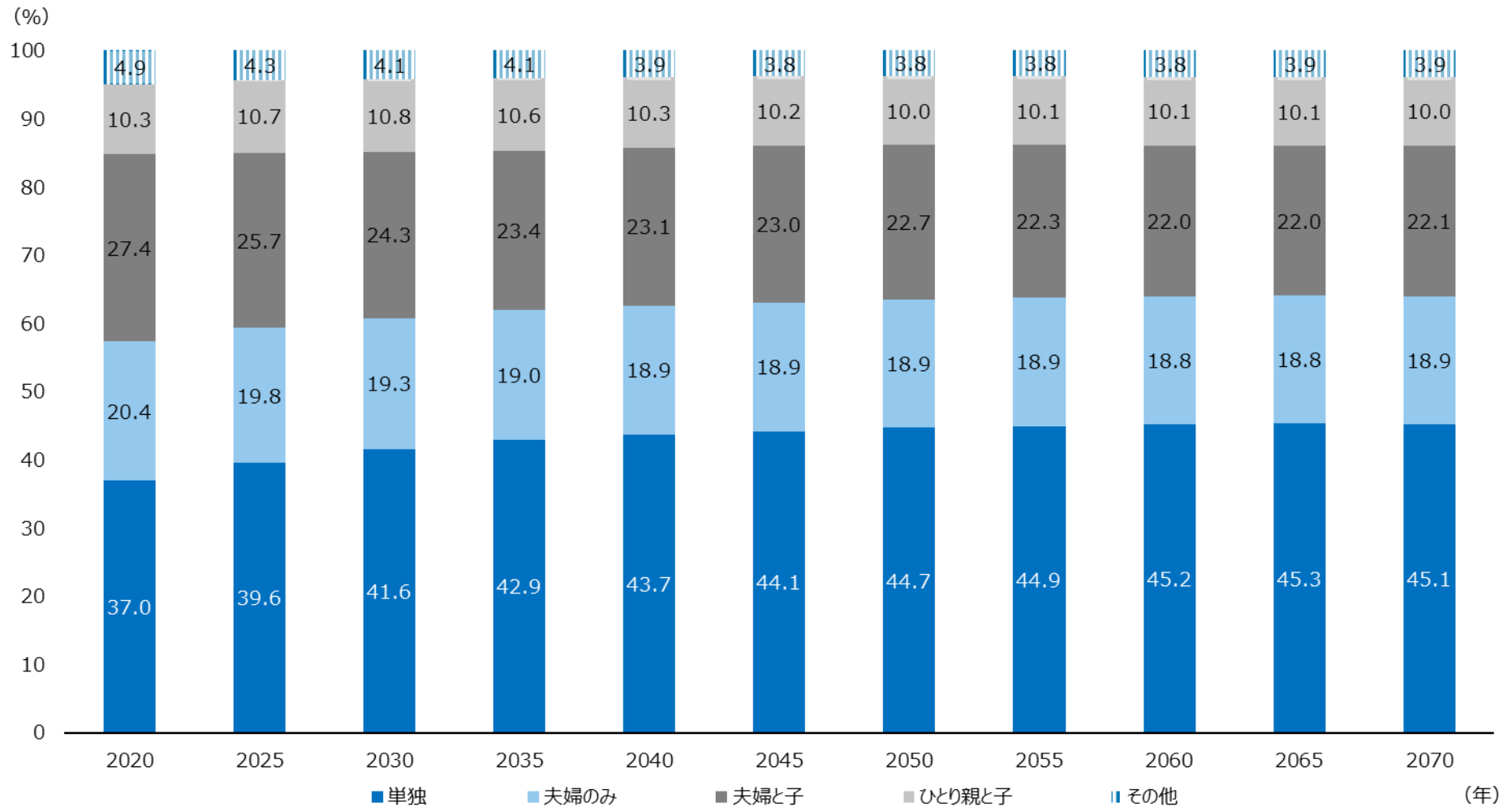
類型別世帯数の将来推計

- 単独世帯は2035年まで増加傾向が続く見込み。
- 夫婦のみ、夫婦と子から成る世帯は減少傾向で推移する見込み。



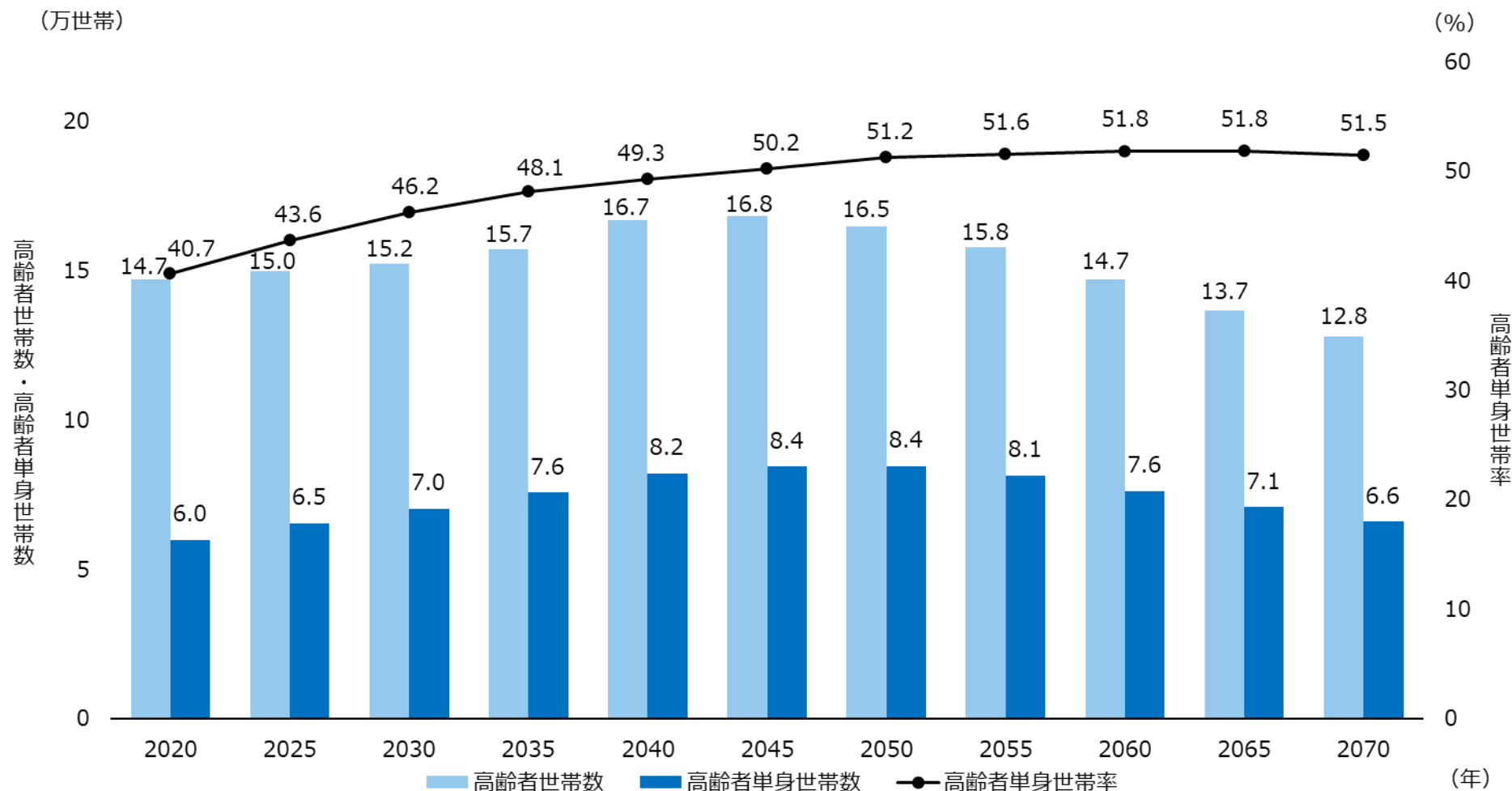
類型別世帯数の構成比の将来推計

○ 単独世帯の割合は増加傾向、夫婦のみ、夫婦と子から成る世帯の割合は減少傾向で推移する見込み。



高齢者世帯数と高齢単身世帯数の将来推計

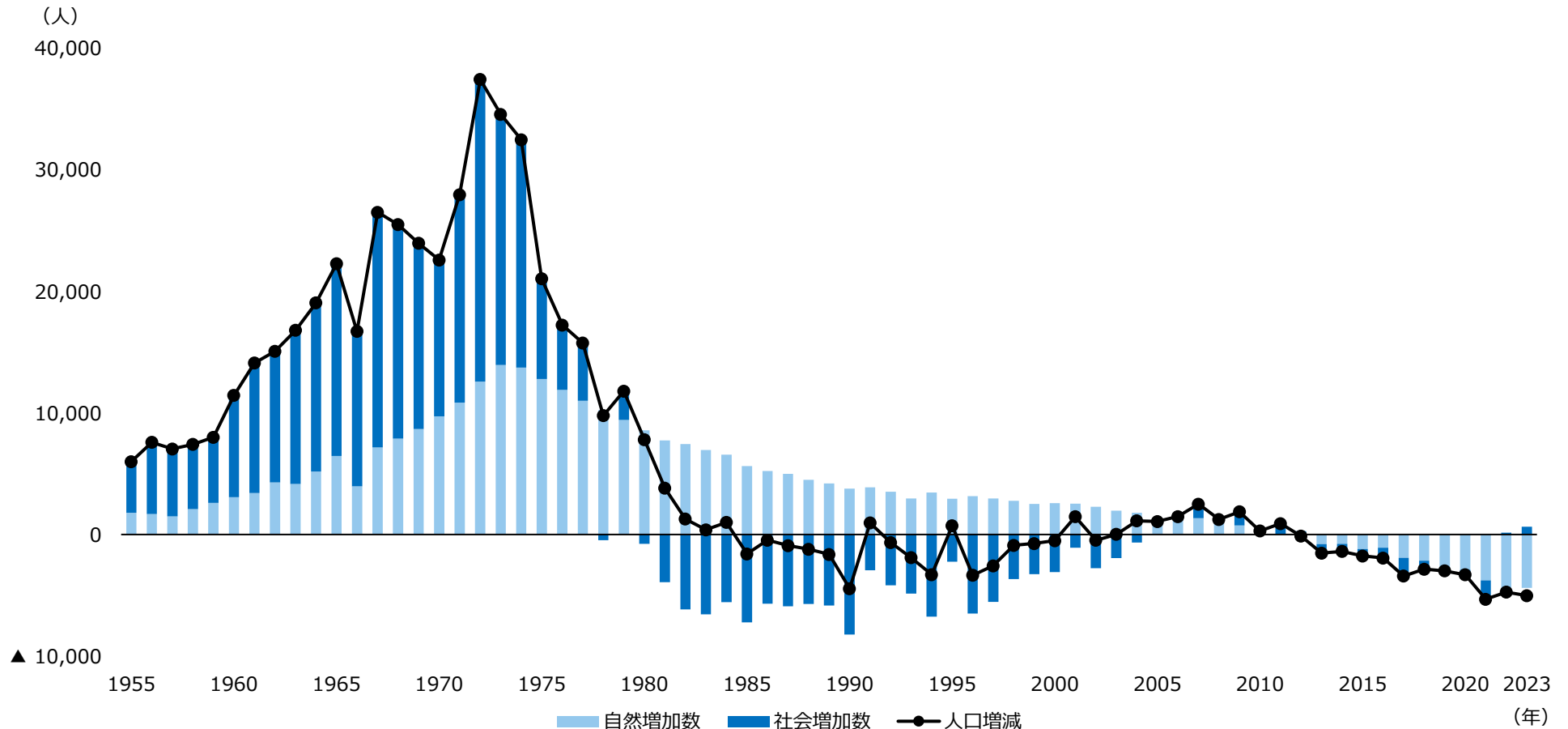
- 高齢者世帯数は2045年まで増加傾向、その後は減少に転じる見込み。
- 高齢者単身世帯率は増加傾向で推移し、2045年には高齢者世帯の50%を超える見込み。



人口動態

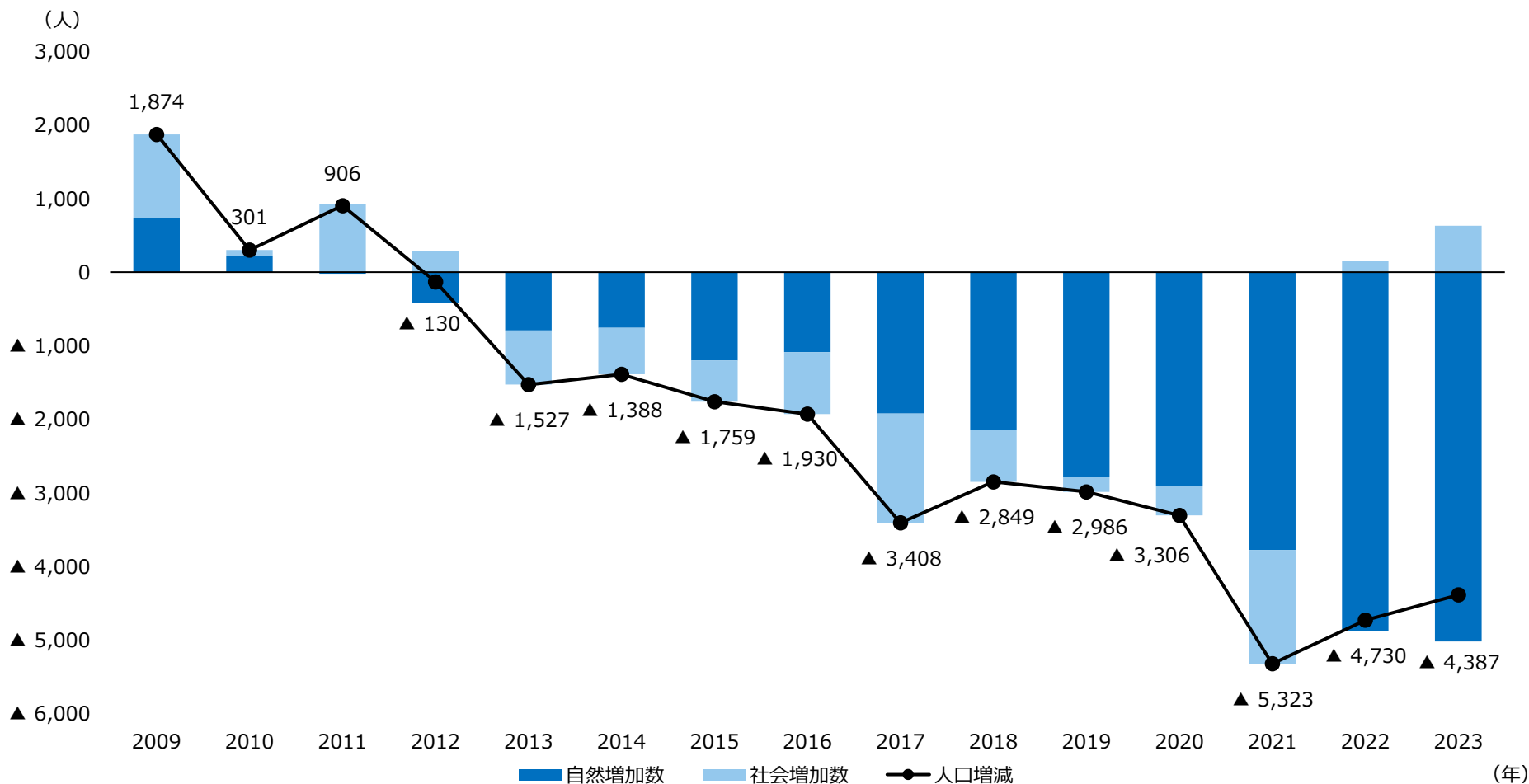
自然増減、社会増減の推移（長期）

- 人口は1970年代頃まで増加が続いていたが、その後は増減を繰り返し、2012年以降は減少が続く。
- 自然増減は2010年まで自然増が続いていたが、2011年以降は自然減が続く。
- 社会増減は1970年代頃まで社会増が続いたものの、その後は増減を繰り返し、近年は社会減が続いていたが2022年以降は社会増に転じている。



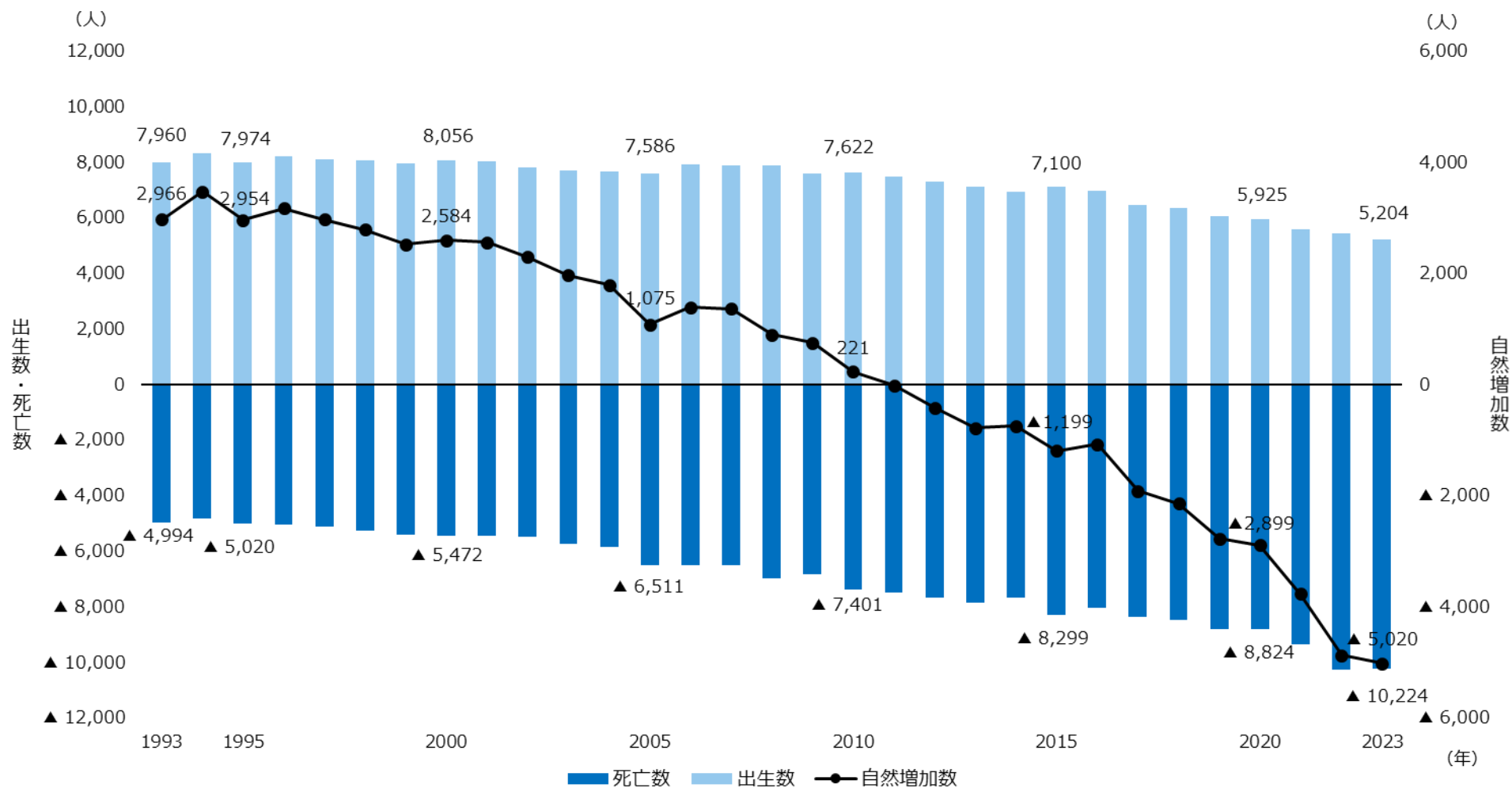
自然増減、社会増減の推移（短期）

- 自然増減は2011年以降、12年連続で自然減が続く。
- 社会増減は2013年以降、9年連続で社会減が続いていたが、2022年以降は2年連続の社会増。



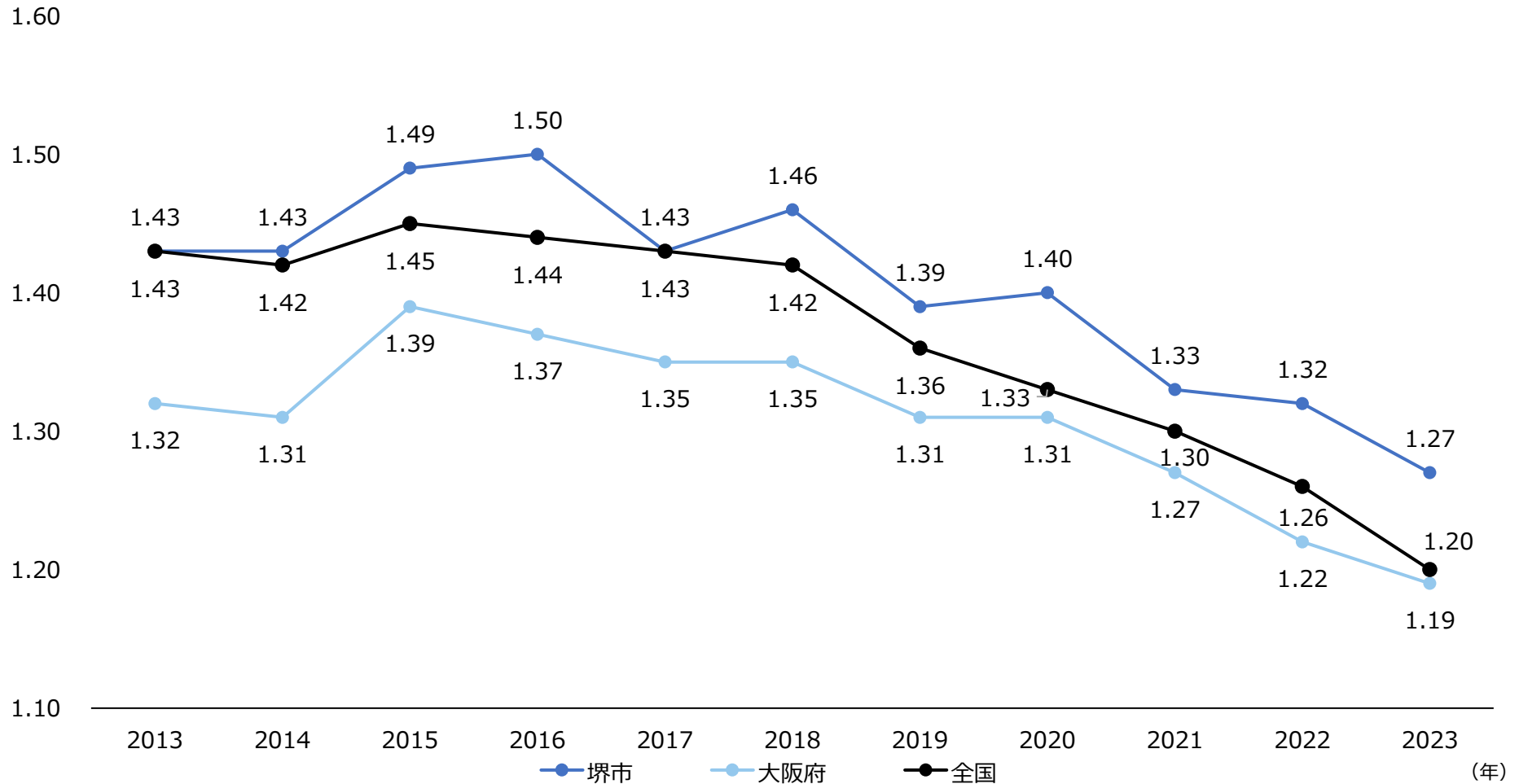
自然増減（出生数、死亡数）の推移

○ 出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向であり、2011年以降は自然減が続く。



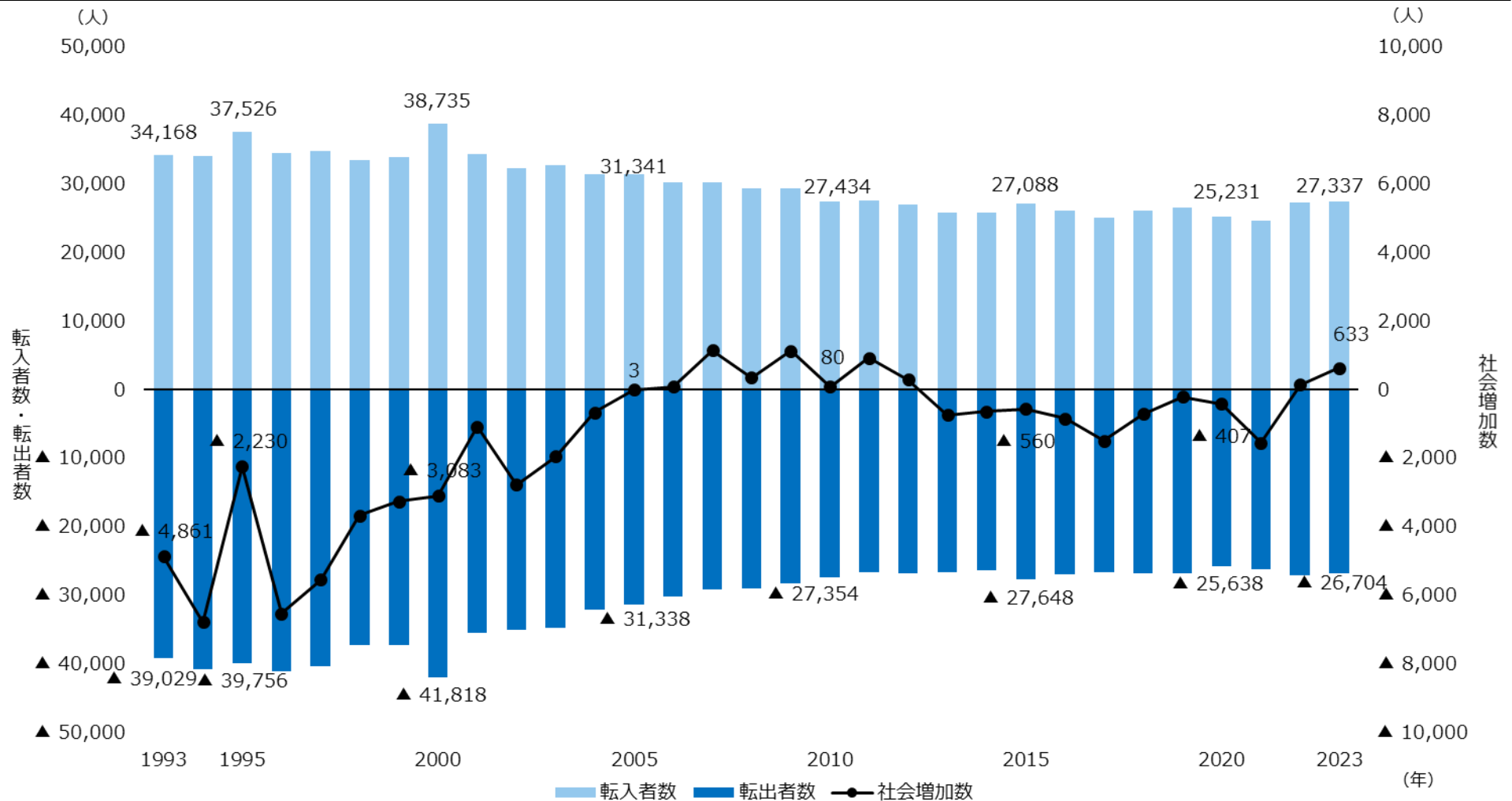
合計特殊出生率の推移

○ 堺市の合計特殊出生率は低下傾向であるが、全国や大阪府を上回る水準で推移。



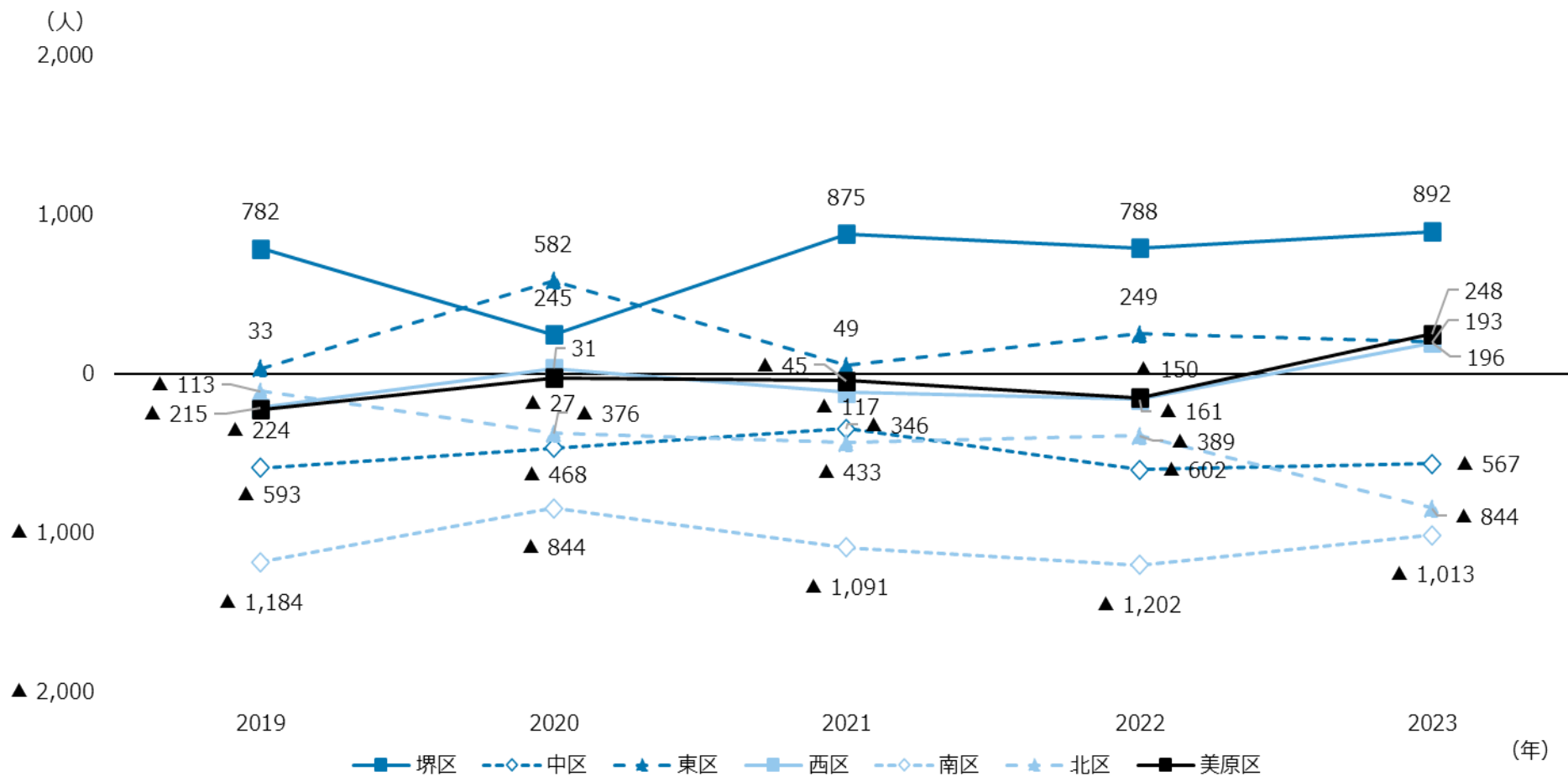
社会増減（転入者数、転出者数）の推移

- 転入者数は近年、微増傾向、転出者数は横ばい傾向。
- 社会増減は近年、社会減が続いていたが、2022年以降は2年連続で社会増。



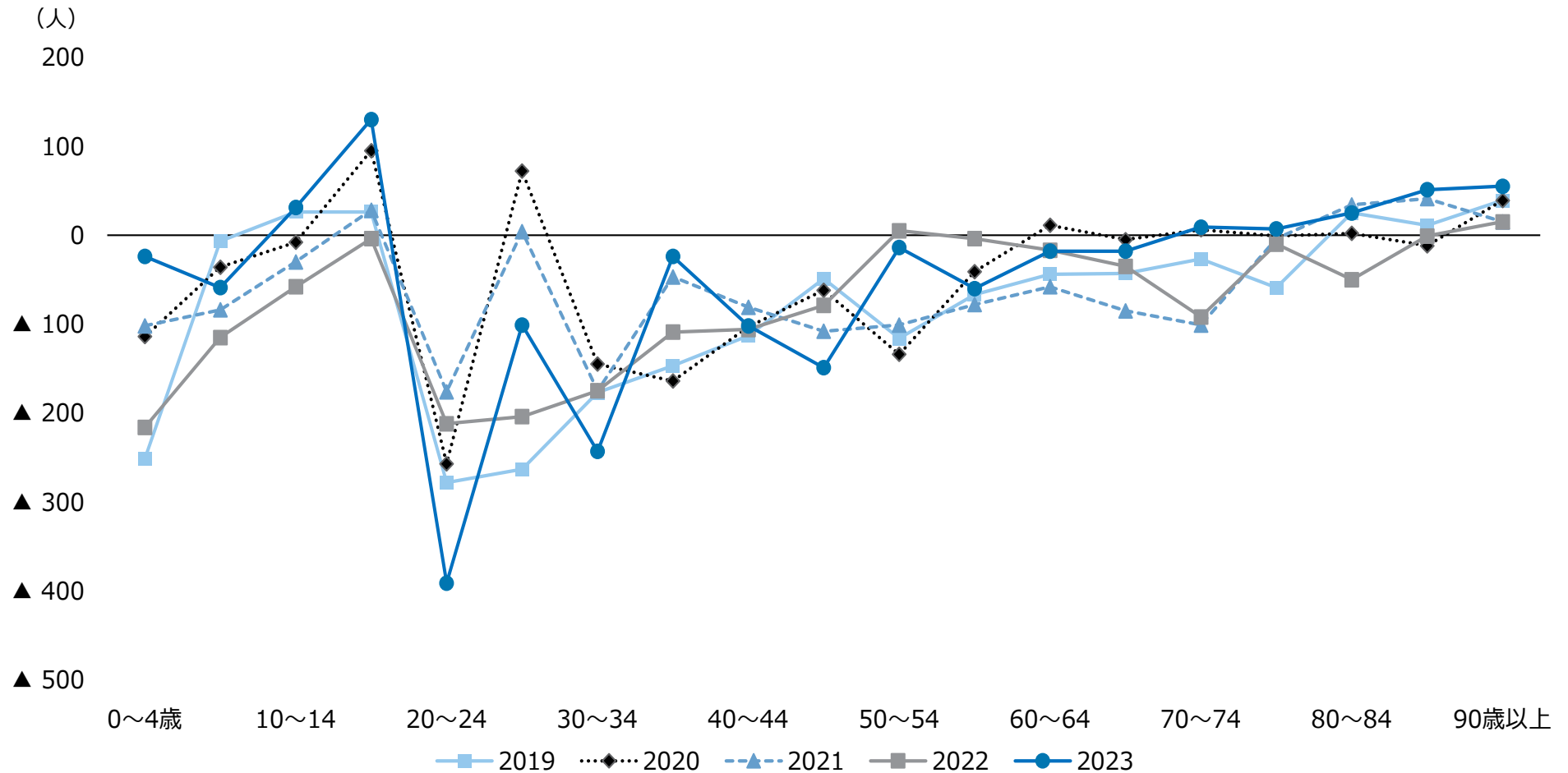
区別の社会増減の推移

- 区別の社会増減は堺区、東区は社会増、中区、南区、北区は社会減の傾向。
- 美原区は社会減が続いていたが、2023年は社会増に転じている。



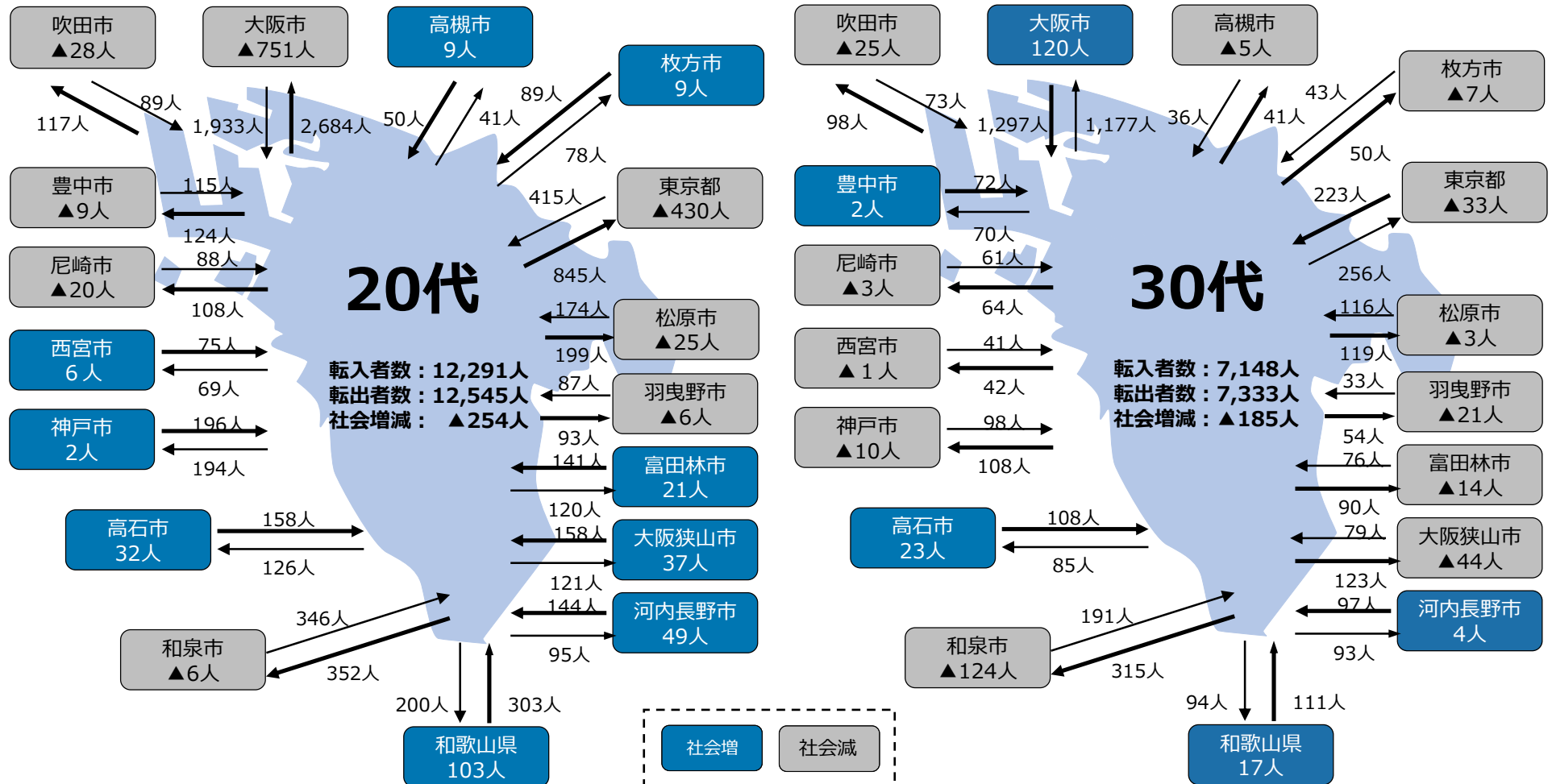
日本人の年齢別社会増減

- 日本人の年齢別の社会増減では特に20～30代が社会減が大きい。
- 10代後半、80代以上は社会増傾向。



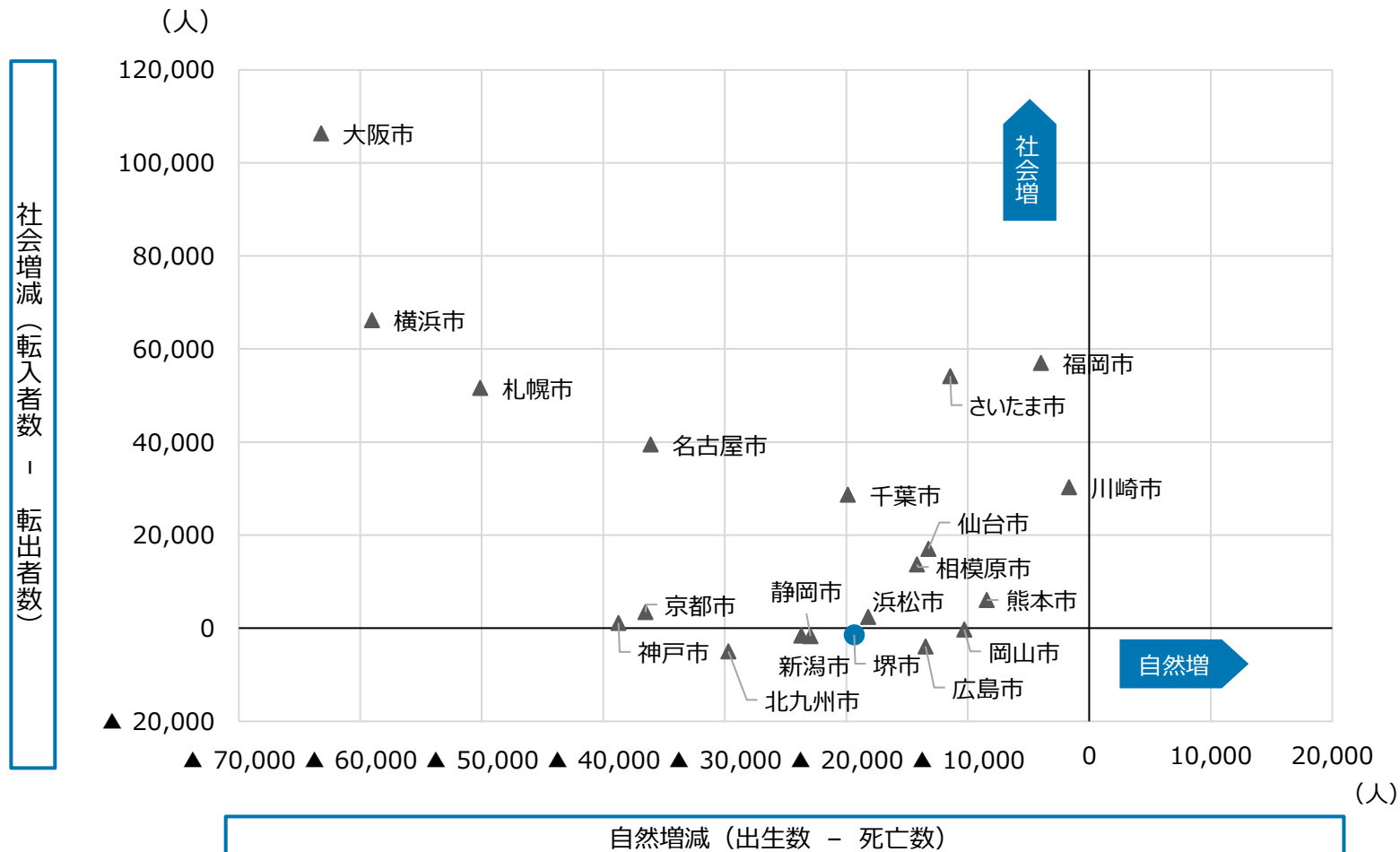
相手先地域別 20代、30代の社会増減

- 20代は特に大阪市・東京都に社会減、和歌山・南大阪に社会増が大きい。
- 30代は特に大阪市に社会増、和泉市・大阪狭山市に社会減が大きい。



政令市の自然動態、社会動態の分布

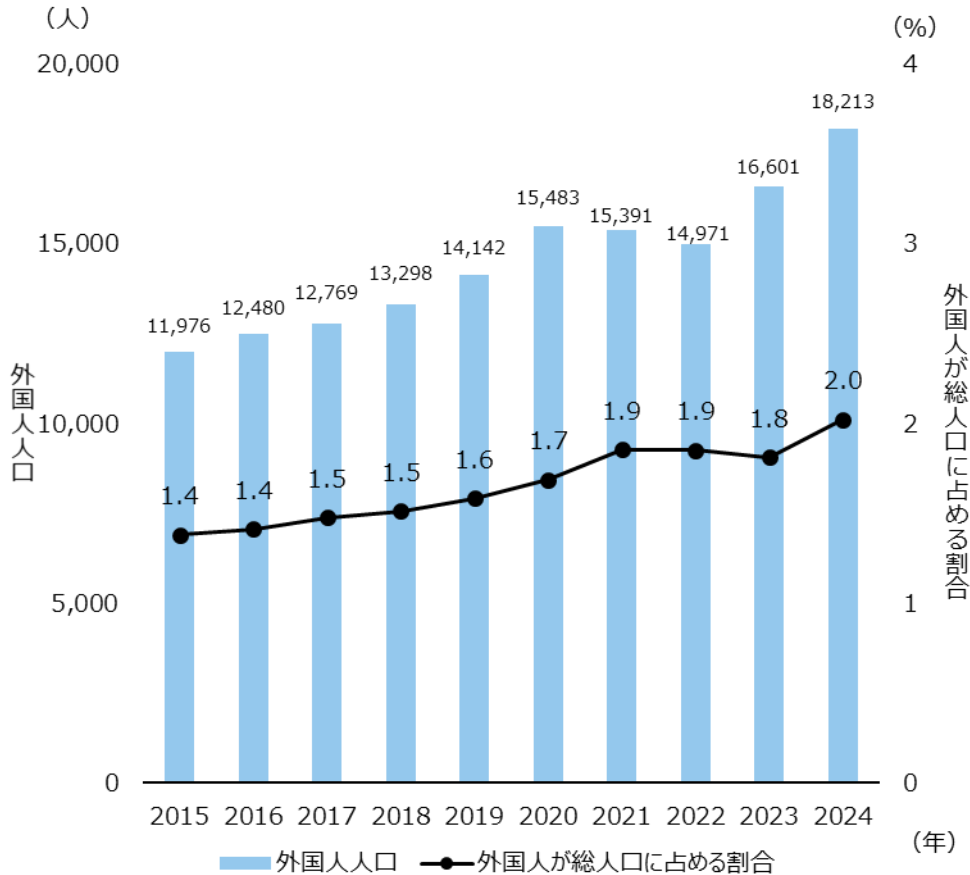
- 多くの政令市は「自然減・社会増」の傾向、自然増傾向の政令市はない。



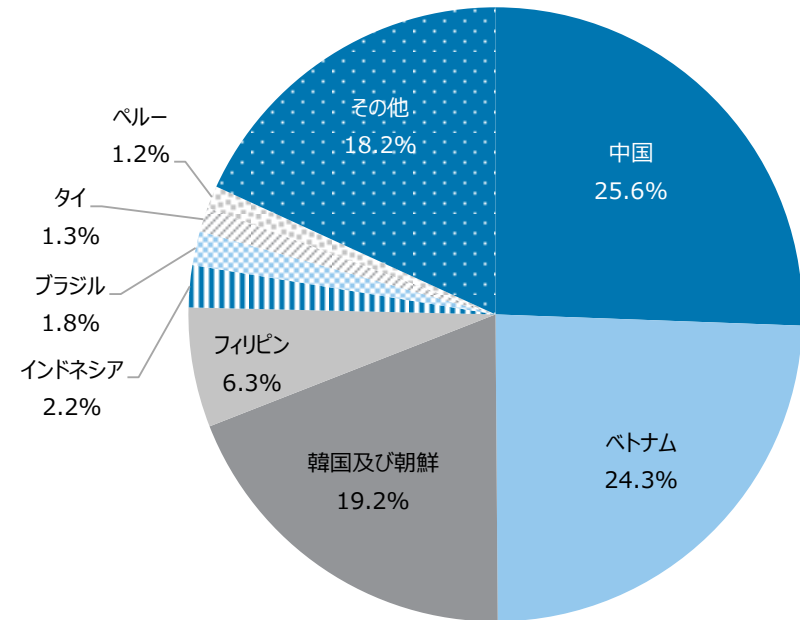
外国人人口等の推移、国籍・地域別人口割合

- 外国人人口及び総人口に占める外国人人口の割合は増加傾向。
- 国籍・地域別人口では、中国、ベトナム、韓国及び朝鮮で約70%を占める。

外国人人口の推移及び総人口に占める割合



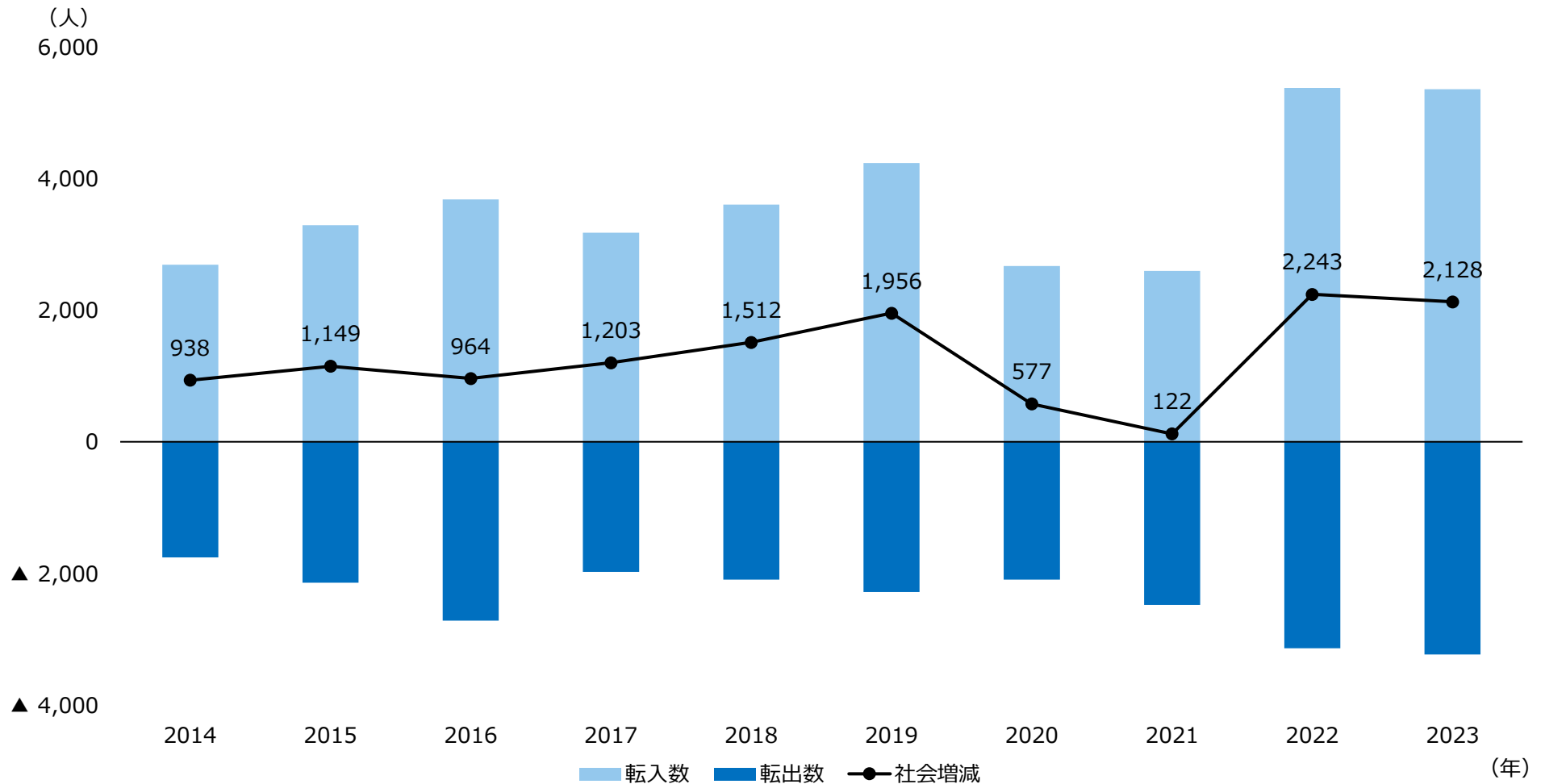
国籍・地域別人口割合



※2023年12月末

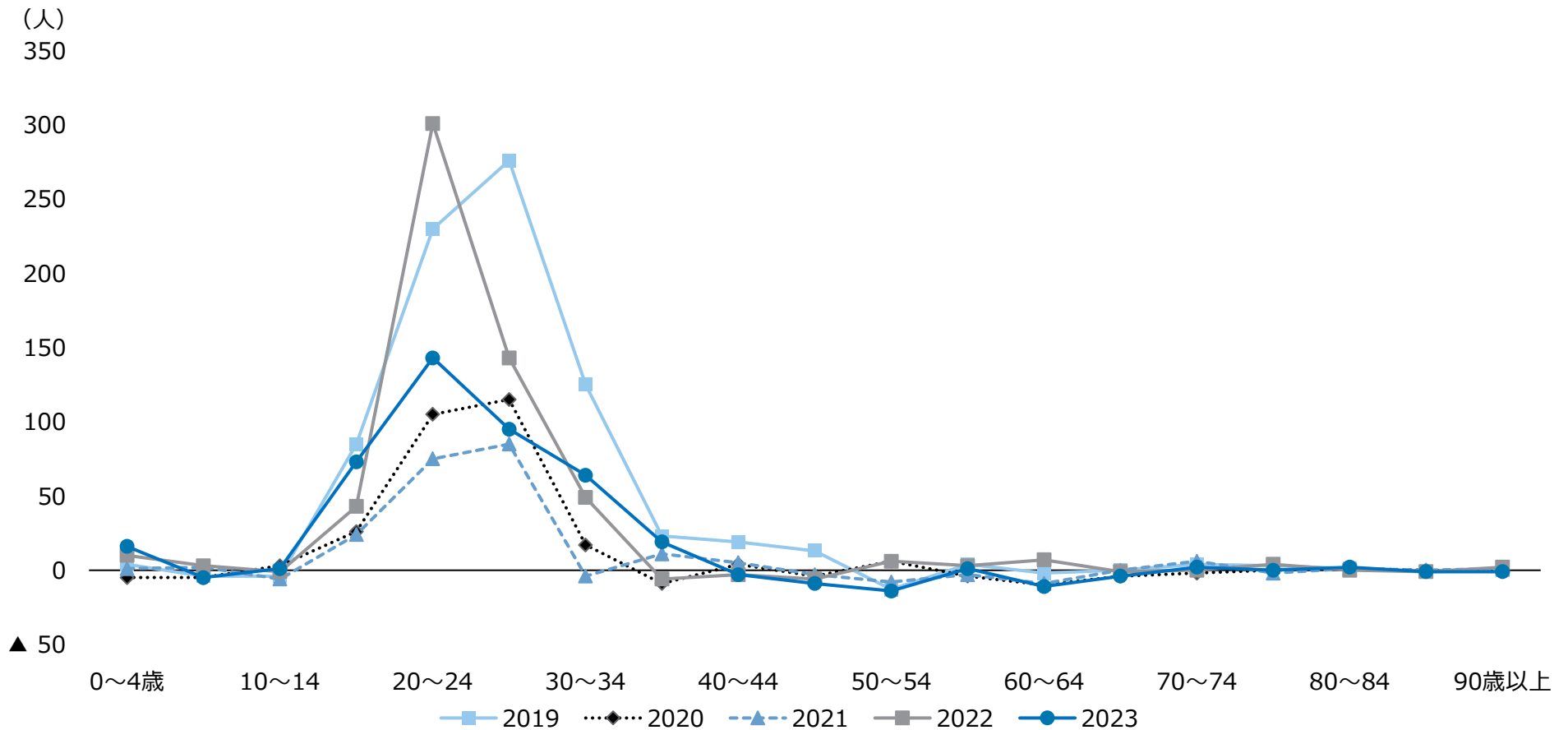
外国人の社会増減の推移

○ 外国人の転入者は増加傾向、転出者は横ばい傾向、社会増は2020～2021年に一時的に減少したが、その後も社会増が続く。



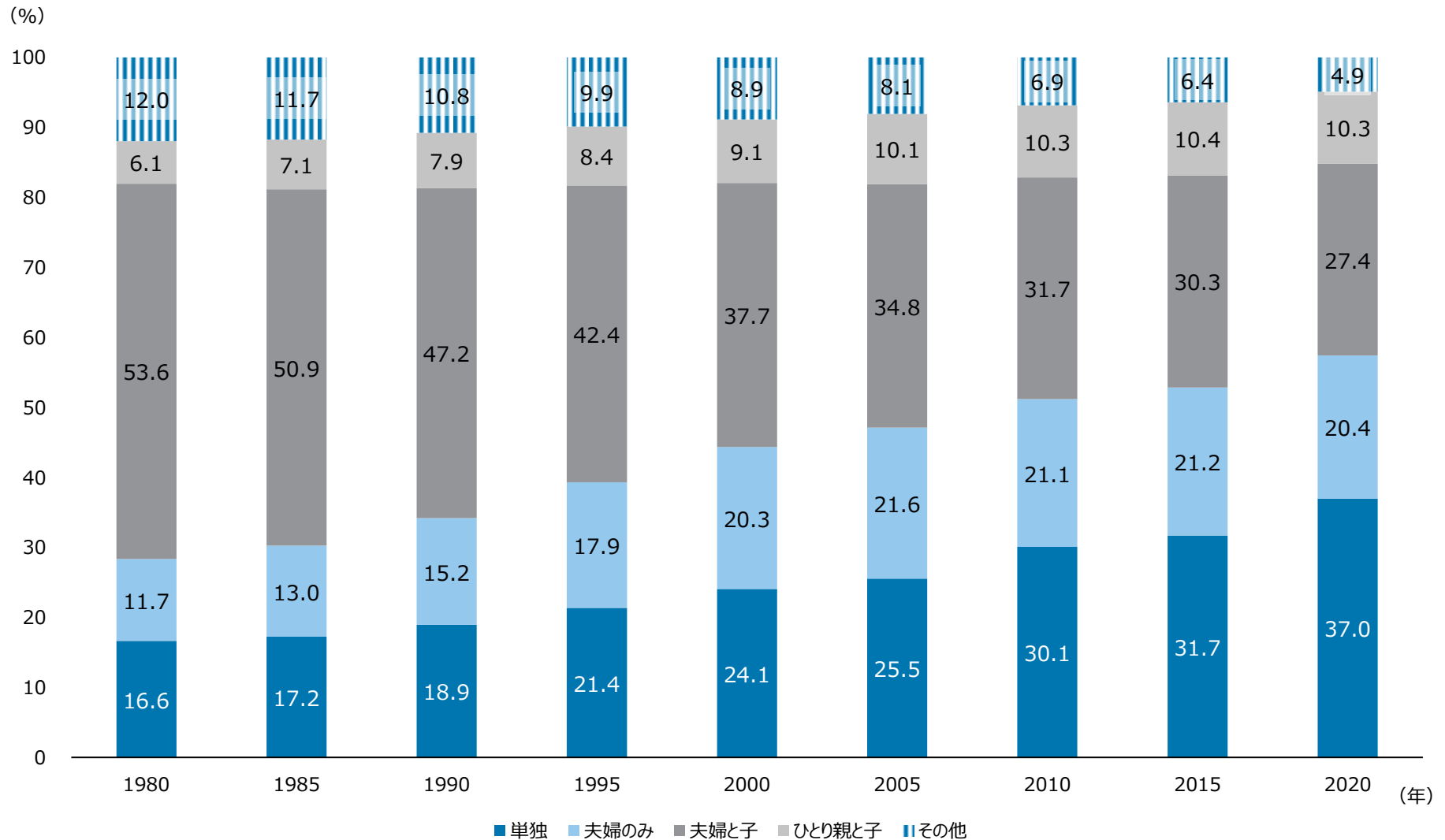
外国人の年齢別社会増減

○ 外国人の年齢別の社会増は10代後半～30代前半が大きい。



世帯類型別世帯割合の推移

○ 夫婦と子からなる世帯の割合は減少傾向、単独世帯の割合は増加傾向。

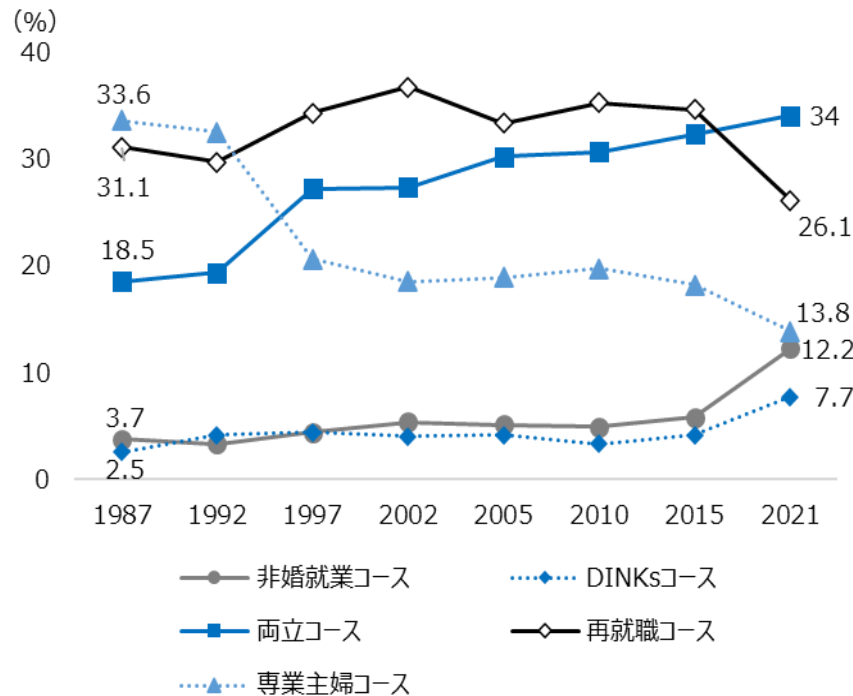


子育て・教育

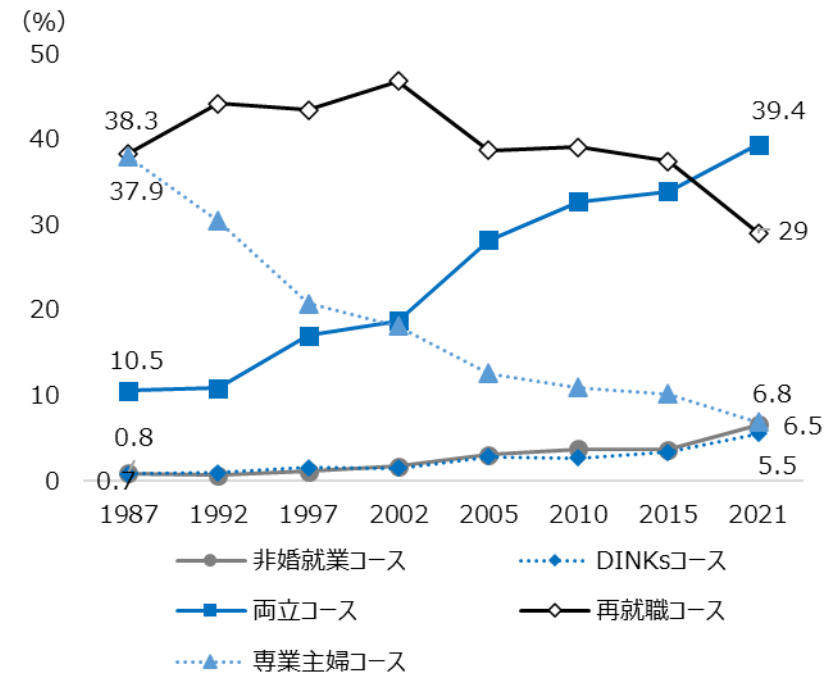
未婚者女性の理想のライフコース等（全国）

- 未婚の女性の理想のライフコースは両立コース（結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける）が増加傾向で最多であり、将来パートナーに対する未婚男性の期待のライフコースも同様。

未婚女性の理想のライフコース



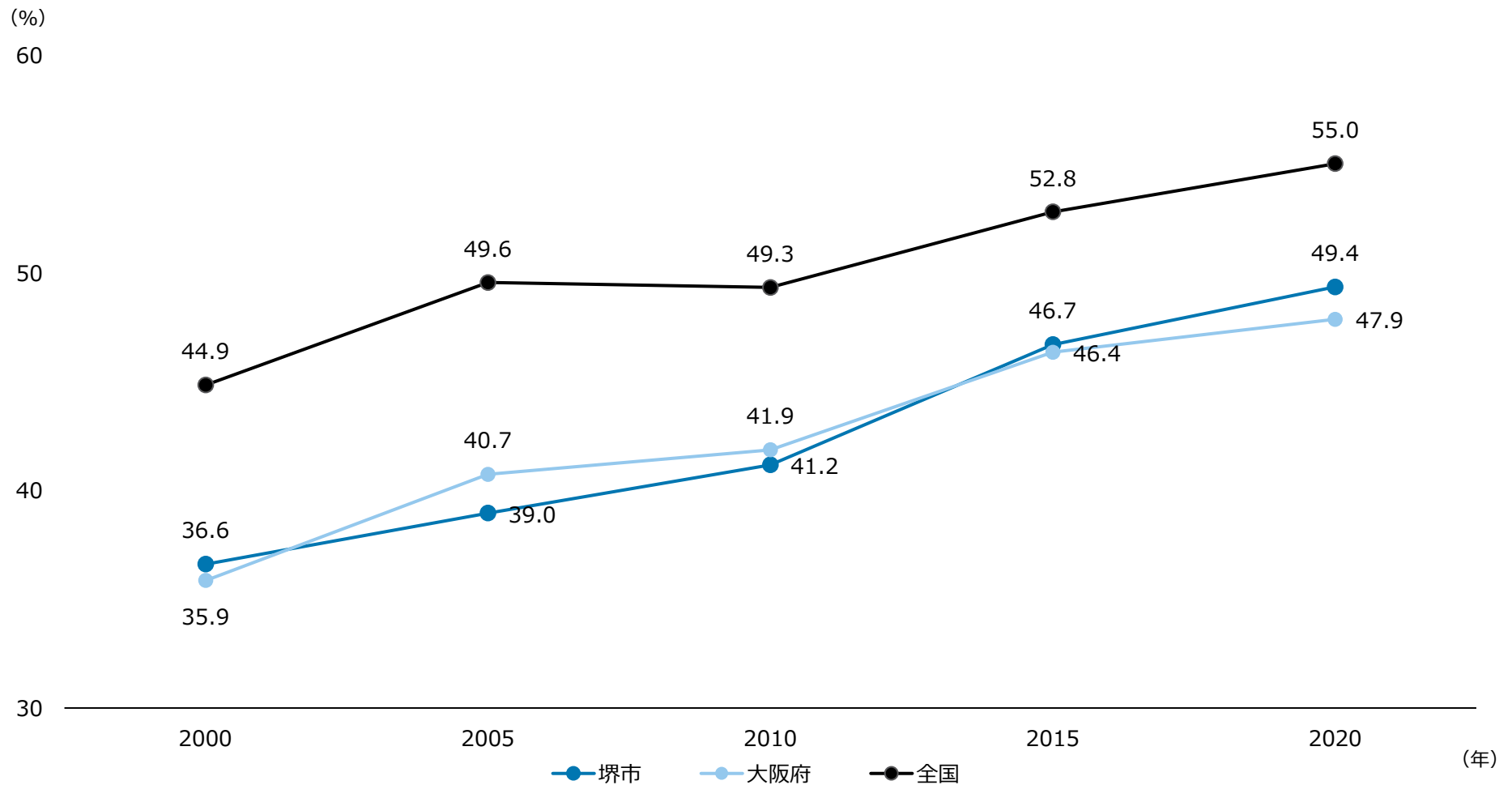
将来パートナーに対する未婚男性の期待のライフコース



【非婚就業コース】結婚せず、仕事を続ける / 【DINKsコース】結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける / 【両立コース】結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける / 【再就職コース】結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ / 【専業主婦コース】結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

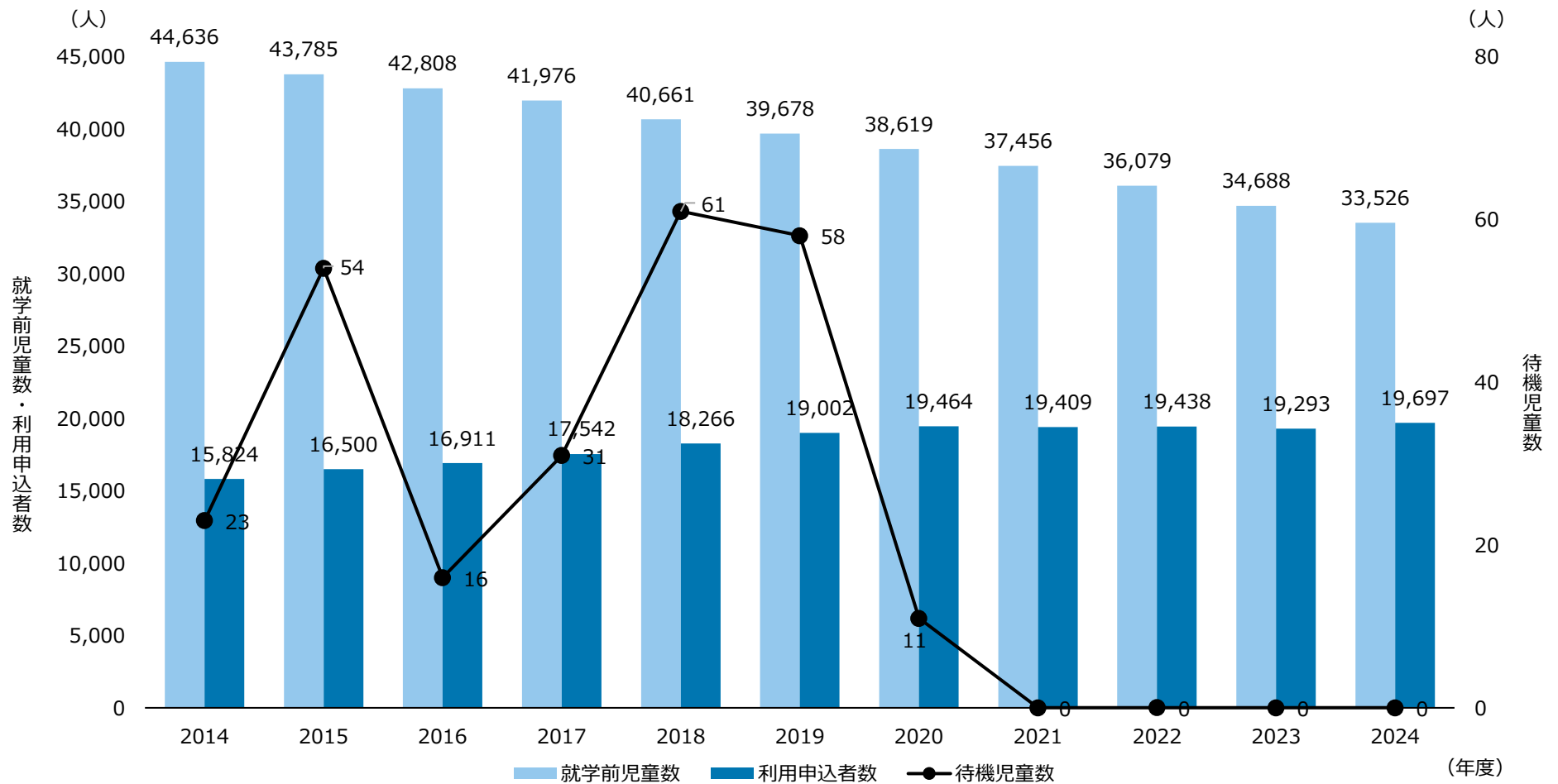
子どものいる家庭の共働き率の推移

○ 子どものいる家庭の共働き率は上昇傾向だが、全国を下回る水準で推移。



認定こども園等の待機児童数等の推移

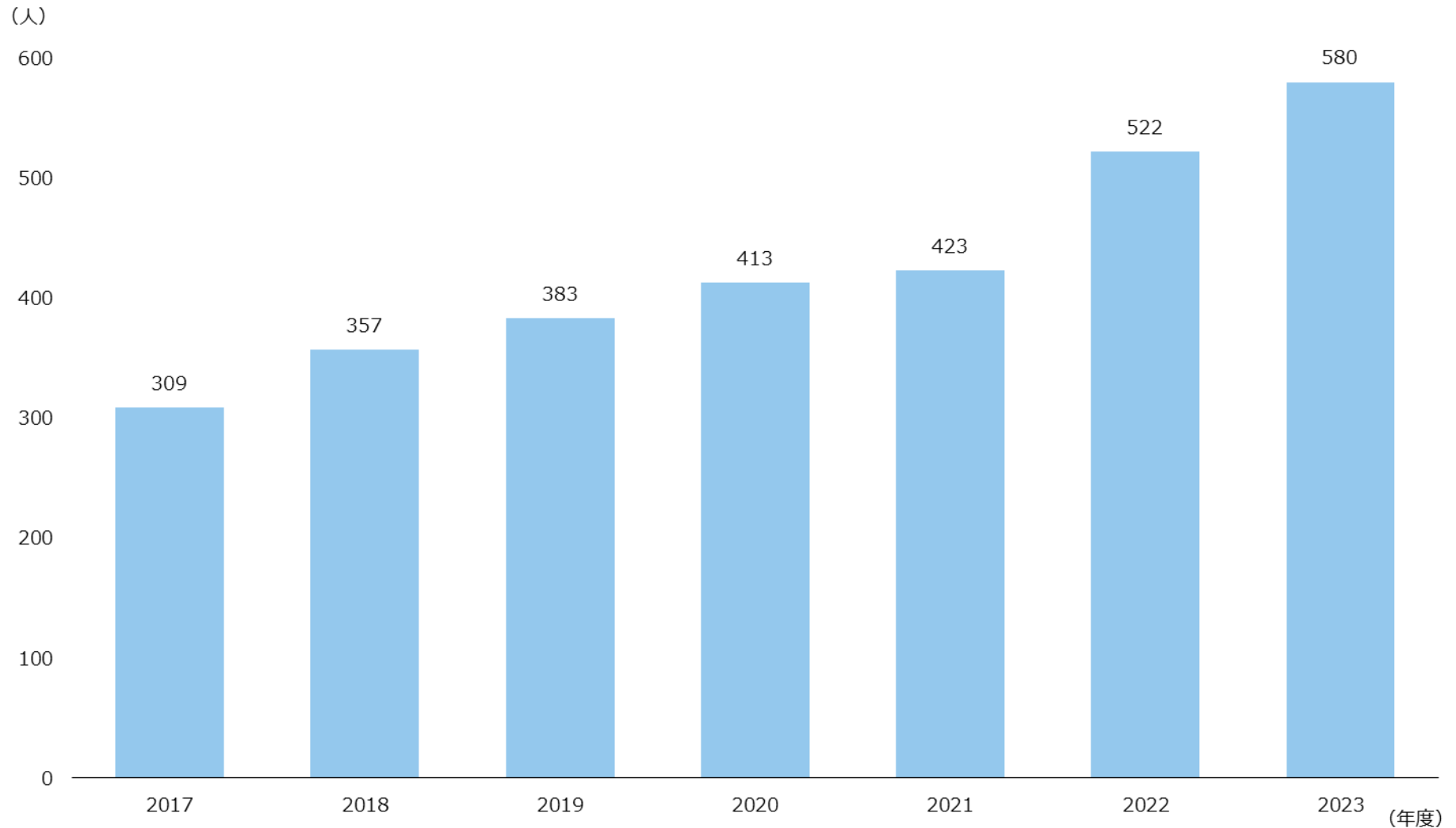
- 就学前児童数は減少傾向であるが、認定こども園等の利用申込者数は増加傾向。
- 待機児童数は2021年度以降は0人で推移。



認定こども園等における要配慮児数の推移

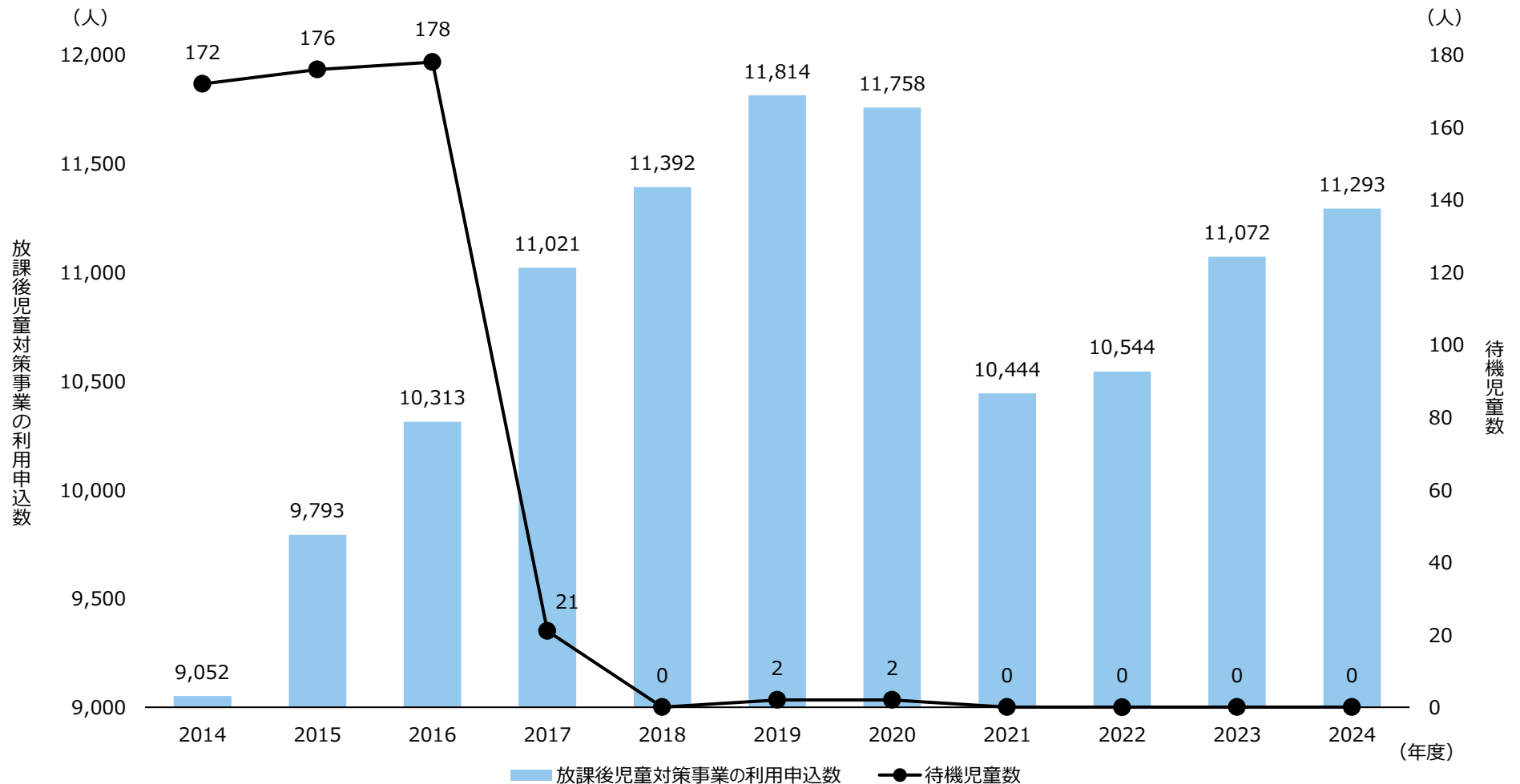
要配慮児…集団生活を行う際に心身の障害や疾患等により、発達状況に応じた個別配慮等の特別な支援を必要な児童

○ 認定こども園等における要配慮児数は増加傾向。



放課後児童対策事業の待機児童数等の推移

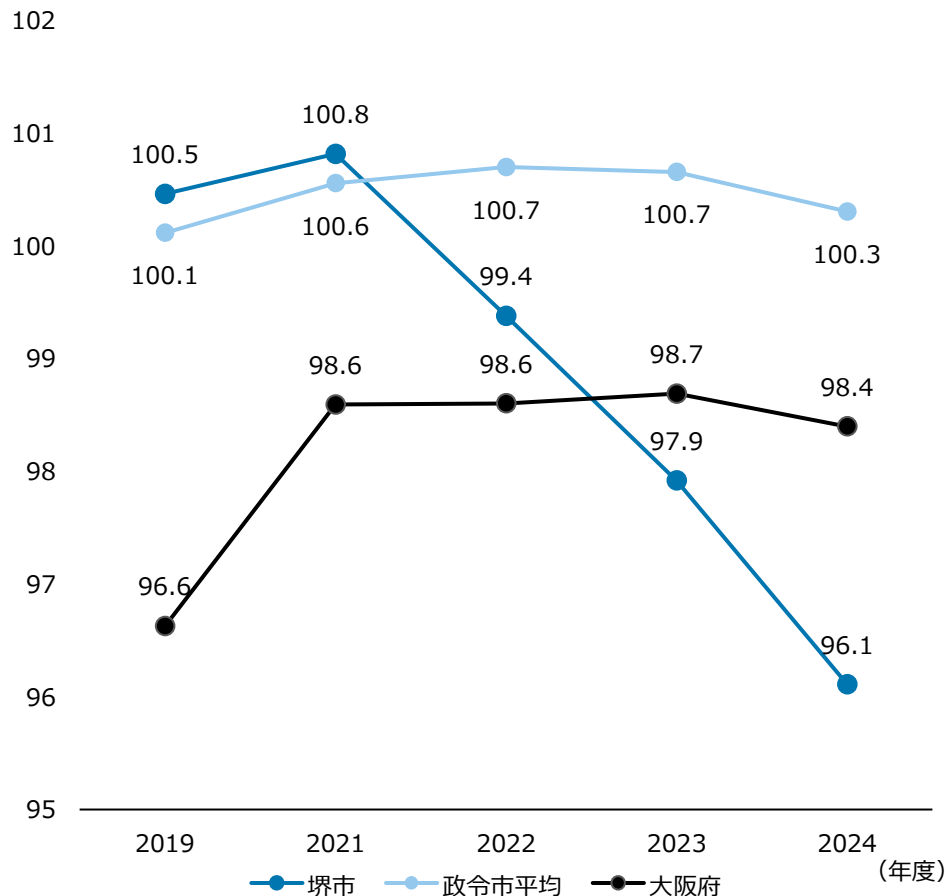
- 放課後児童対策事業の利用申込数は2021年度に大幅に減少したが、その後は増加傾向。
- 待機児童数は2021年度以降は0人で推移。



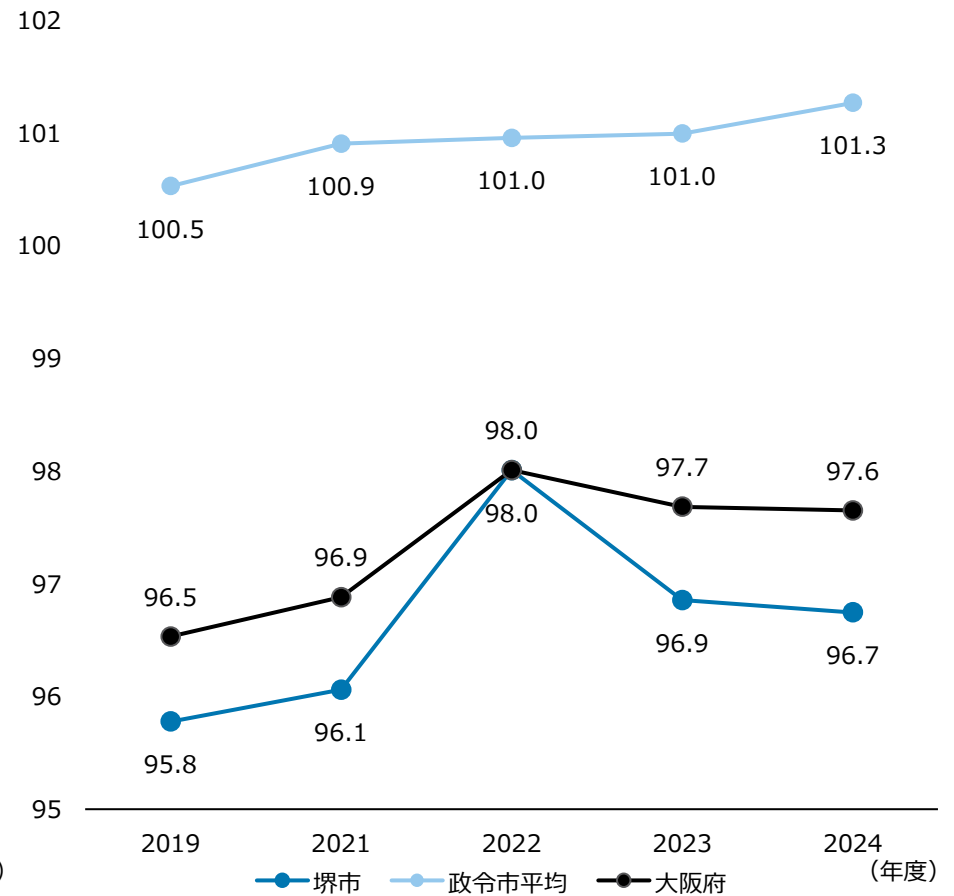
学力調査の平均値の推移

- 小学校6年生は2022年度以降は低下傾向、2023年度以降は全国、大阪府、政令市平均を下回る水準で推移。
- 中学校3年生は横ばい傾向、全国、大阪府、政令市平均を下回る水準で推移。

小学校6年生（全国を100とした値）



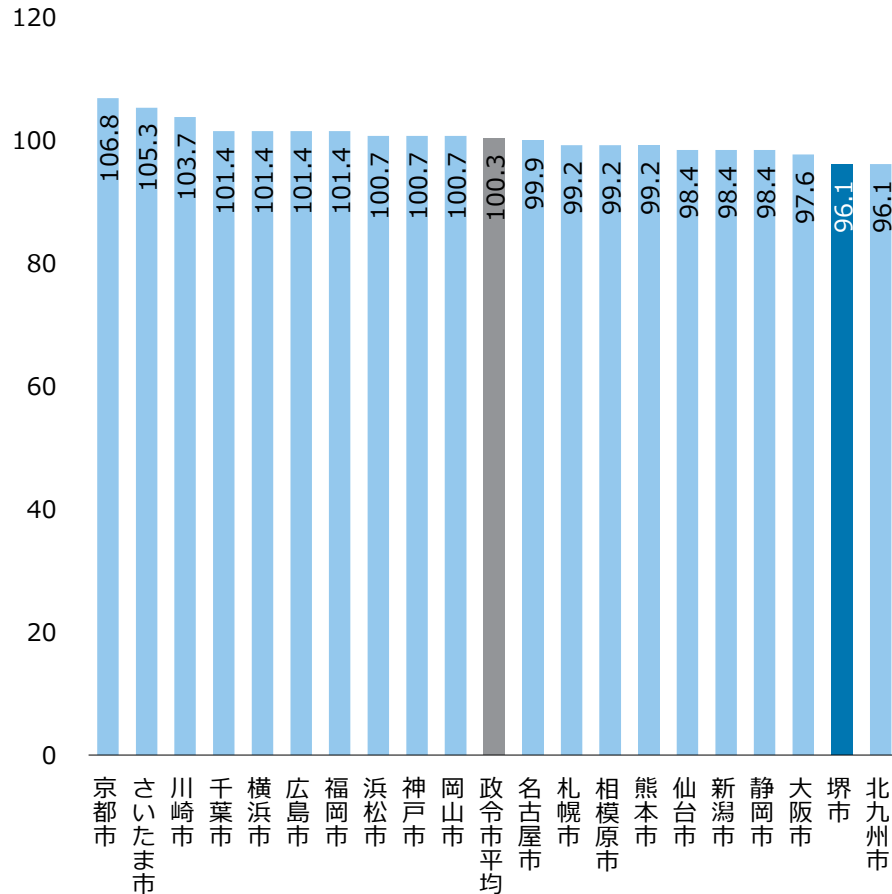
中学校3年生（全国を100とした値）



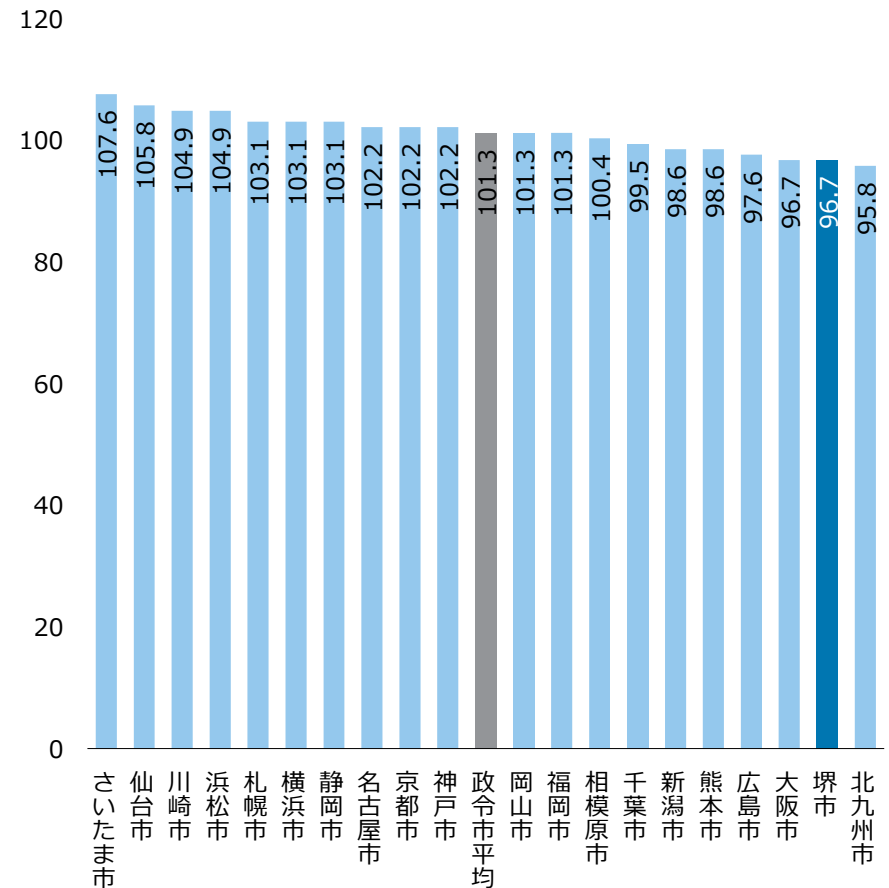
学力調査の平均値の政令市比較

○ 小学校6年生、中学校3年生の学力調査の平均値はいずれも政令市の中で19番目。

小学校6年生（全国を100とした値）

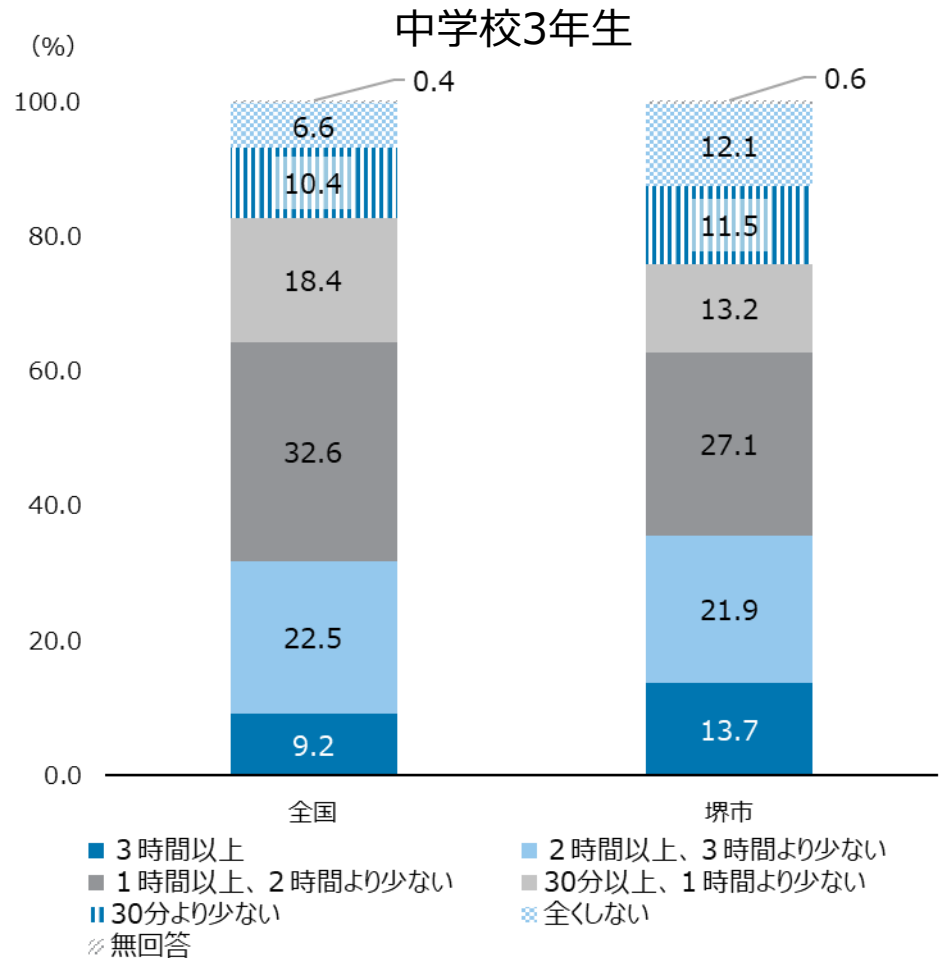
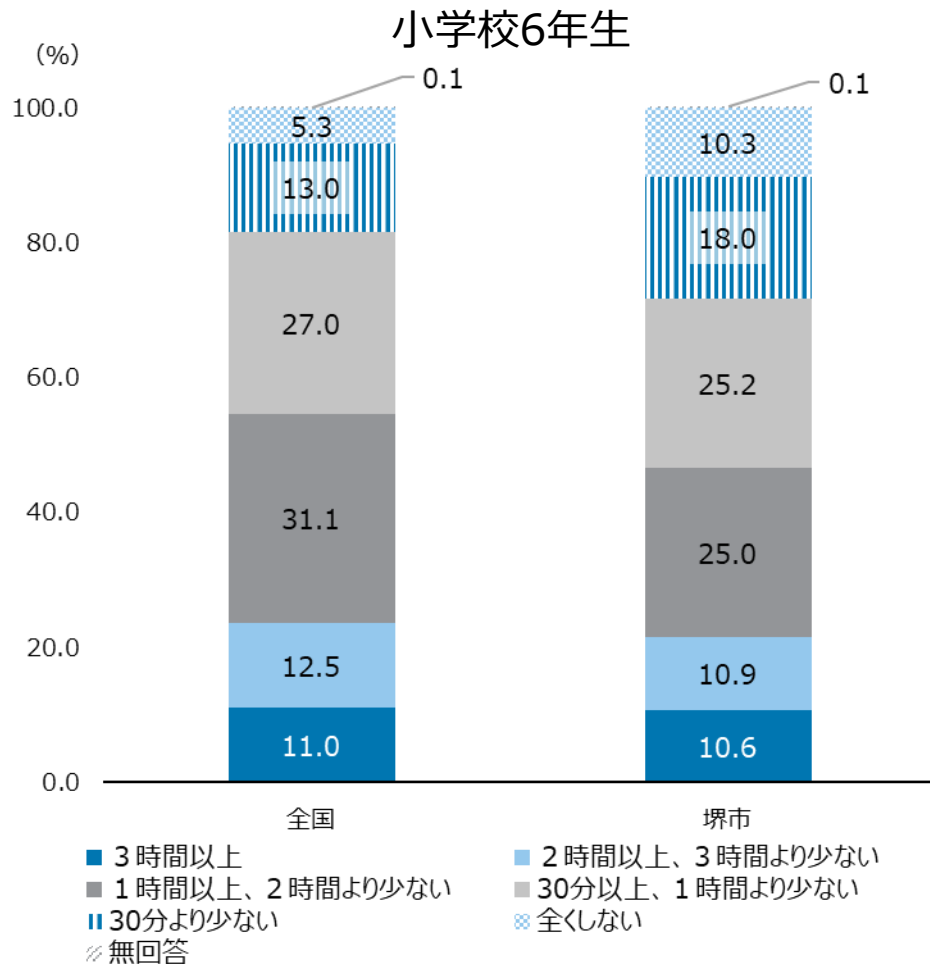


中学校3年生（全国を100とした値）



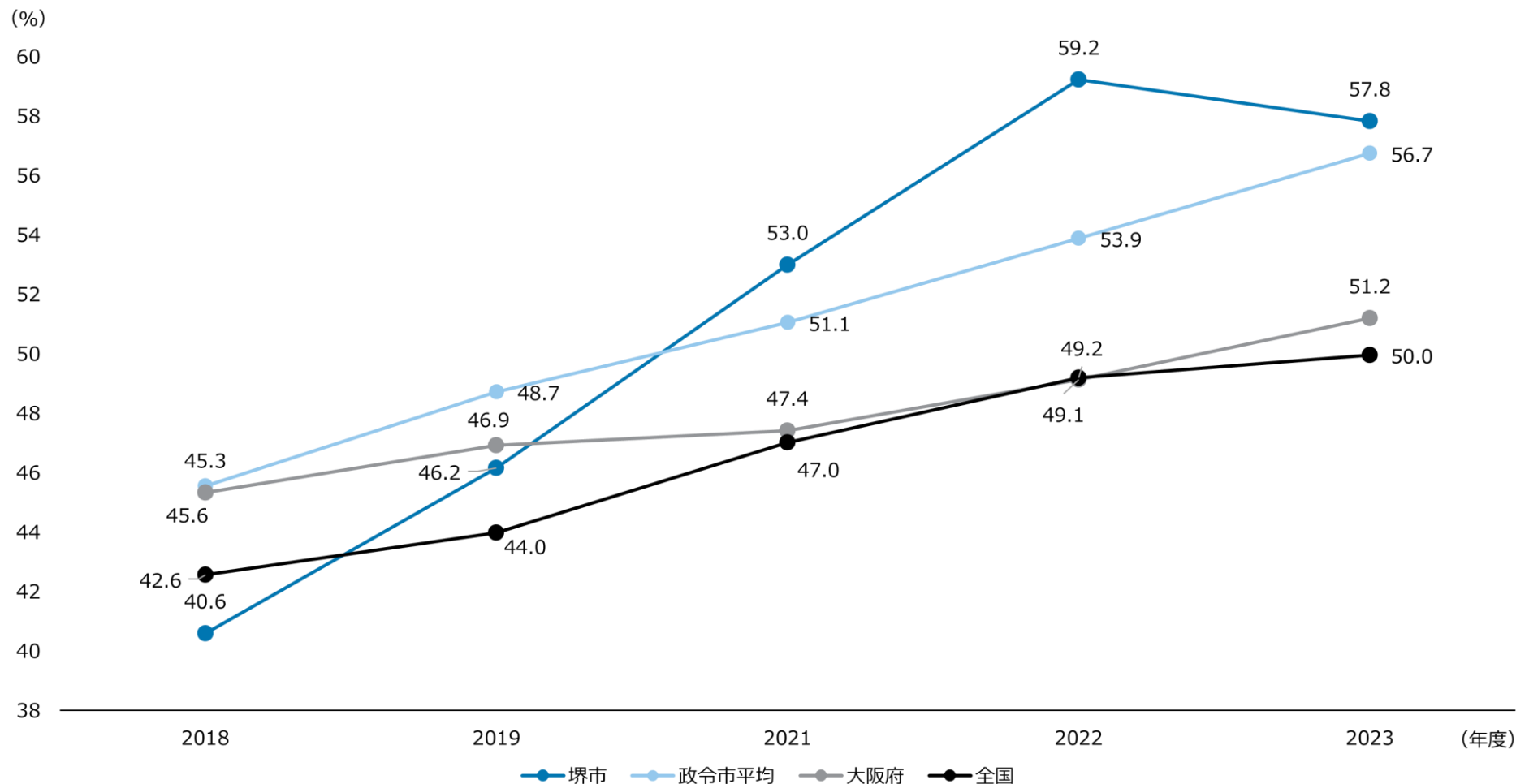
児童生徒の1日当たりの学習時間

- 小学校6年生は「30分より少ない」「全くしない」の割合が全国と比べて多く、「全くしない」は全国の約2倍。
- 中学校3年生は「3時間以上」の割合が全国より多い一方、「全くしない」の割合も多く、2極化傾向。



中学校におけるCEFR A1レベル相当以上の割合の推移

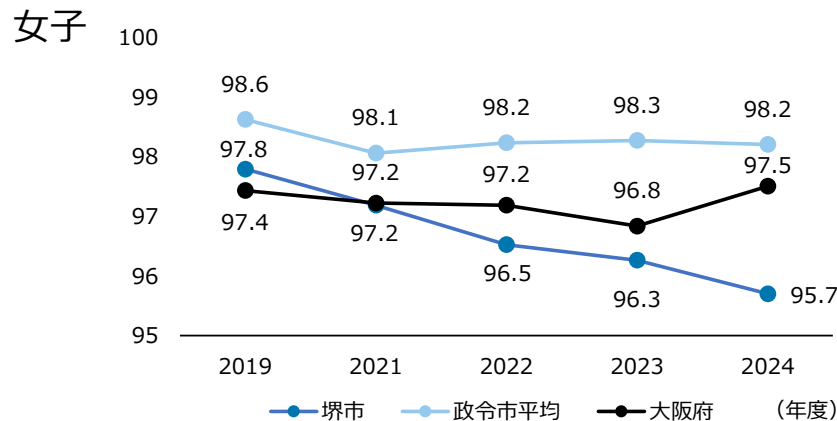
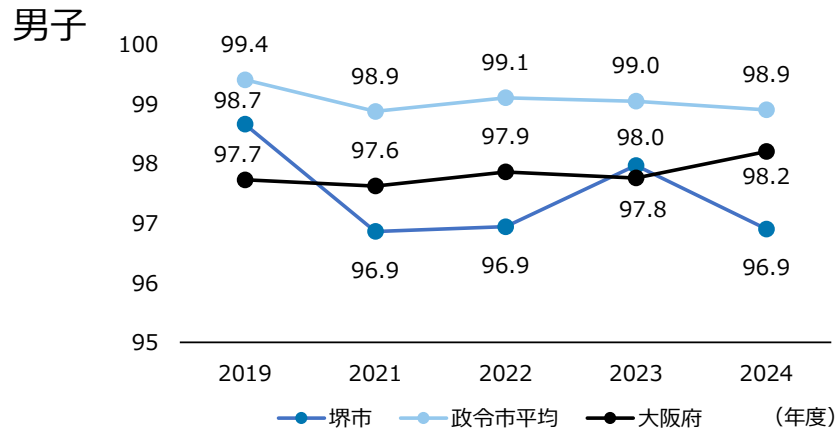
○ 中学校におけるCEFR A1レベル（英検3級）相当以上の割合は概ね上昇傾向、2021年度以降は全国、大阪府、政令市平均を上回る水準で推移。



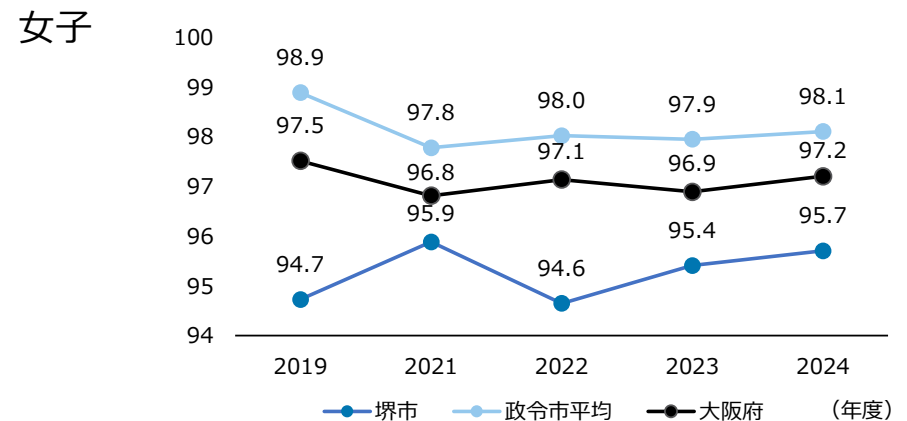
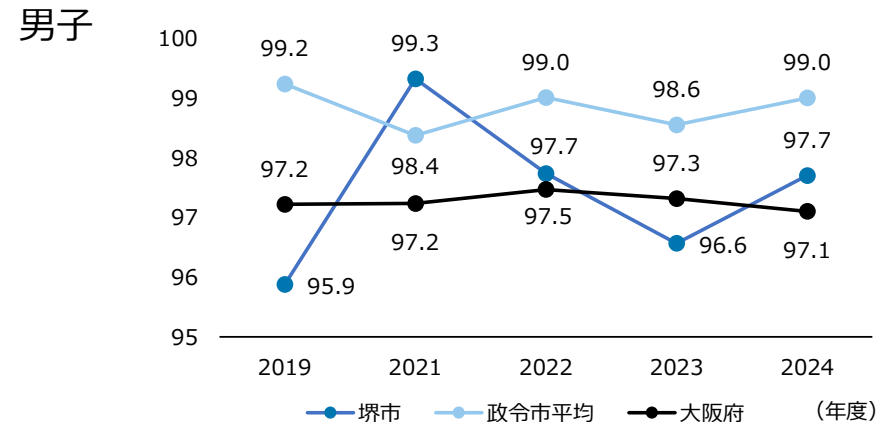
体力テストの平均値の推移

- 小学校5年生については、男子は横ばい傾向、女子は低下傾向、いずれも全国、政令市平均を下回る水準で推移。
- 中学校2年生については、男子は増減を繰り返しており、2024年度は政令市平均を下回るが、大阪府平均は上回る。女子は横ばい傾向で、全国、大阪府、政令市平均を下回る水準で推移。

小学校5年生（全国を100とした値）



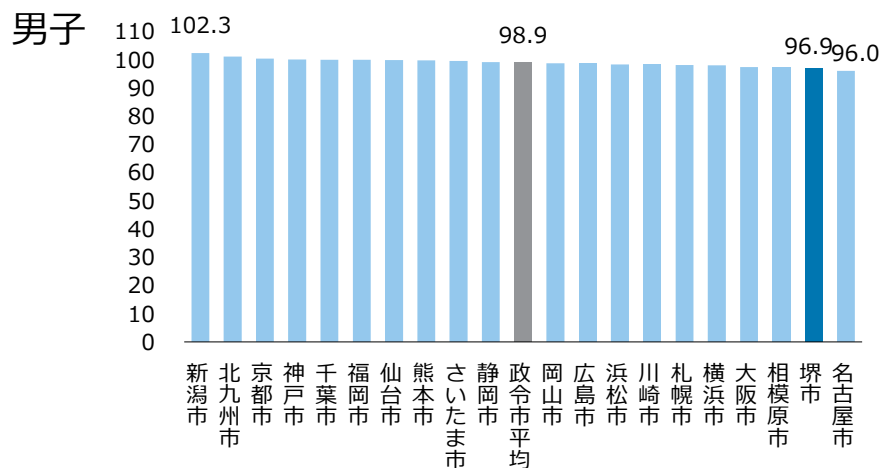
中学校2年生（全国を100とした値）



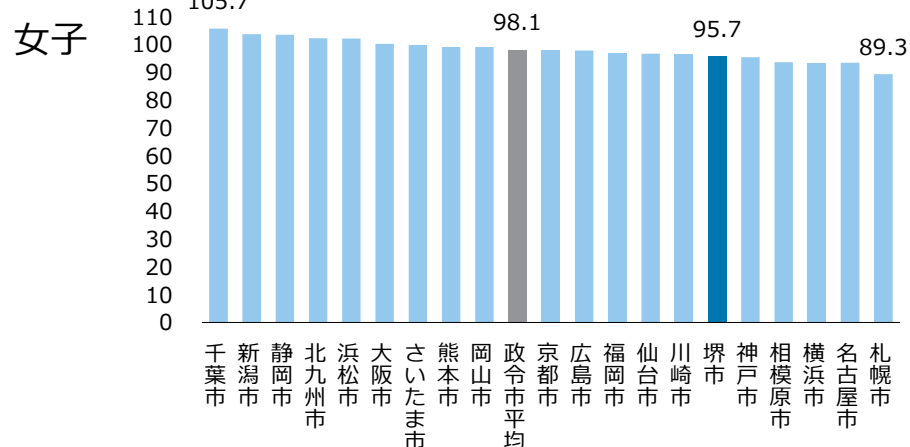
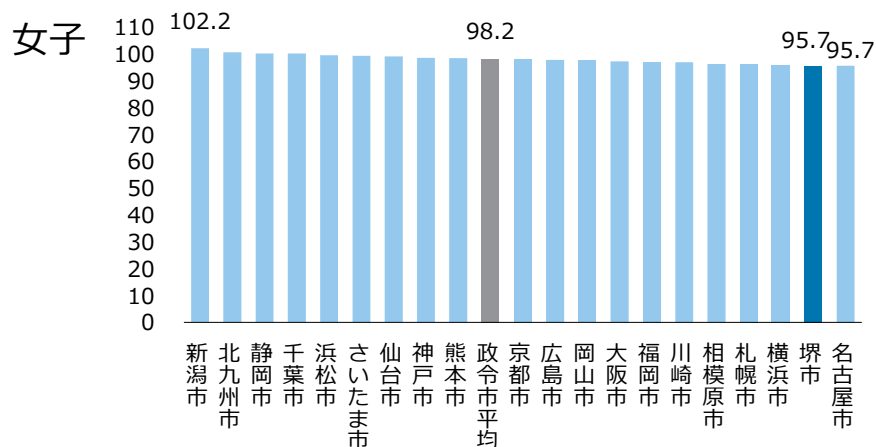
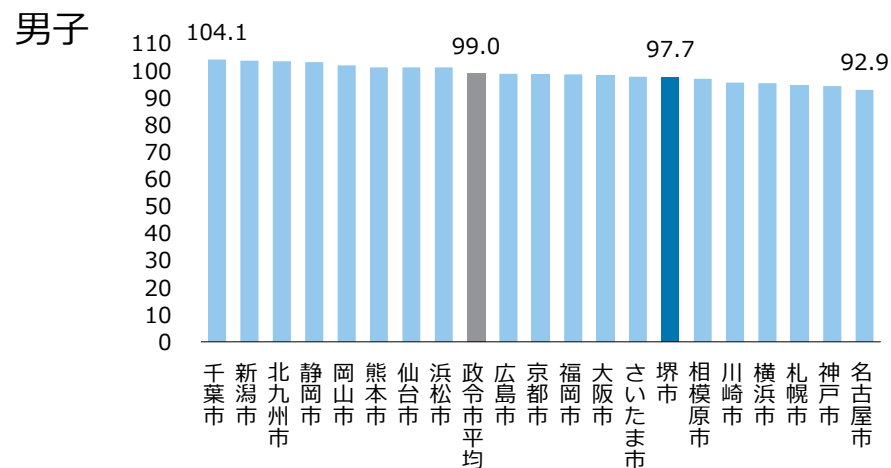
体力テストの平均値の政令市比較

- 小学校5年生については、男子、女子ともに政令市の中で19番目。
- 中学校2年生については、男子は14番目、女子は15番目。

小学校5年生（全国を100とした値）

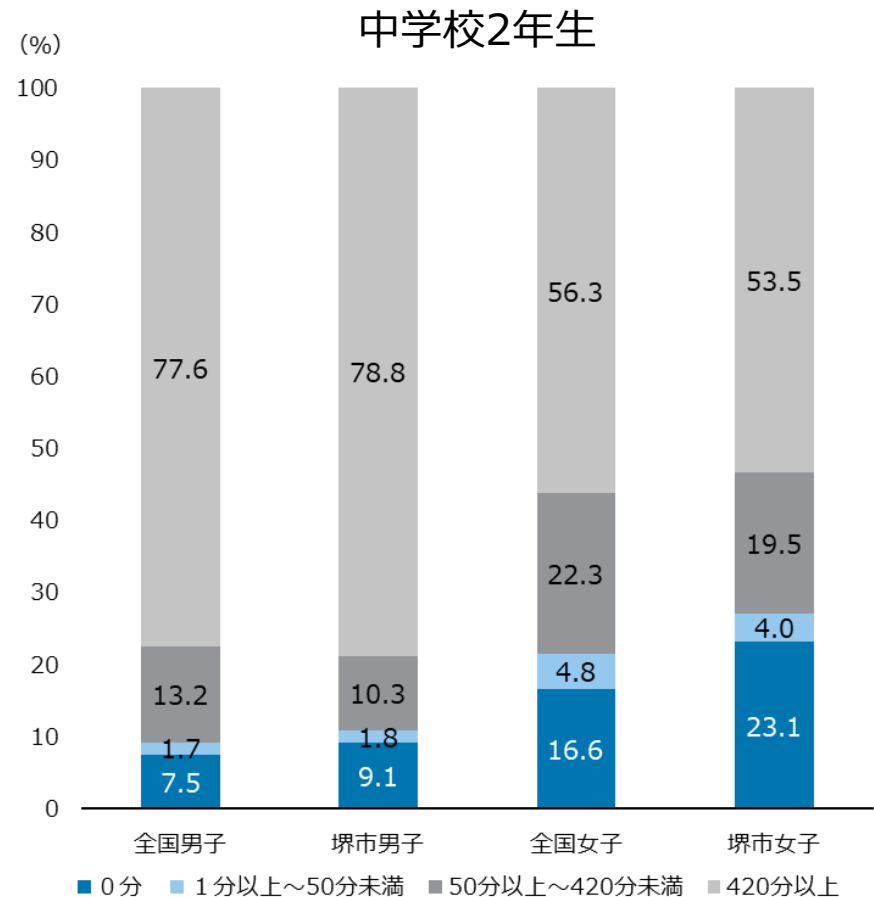
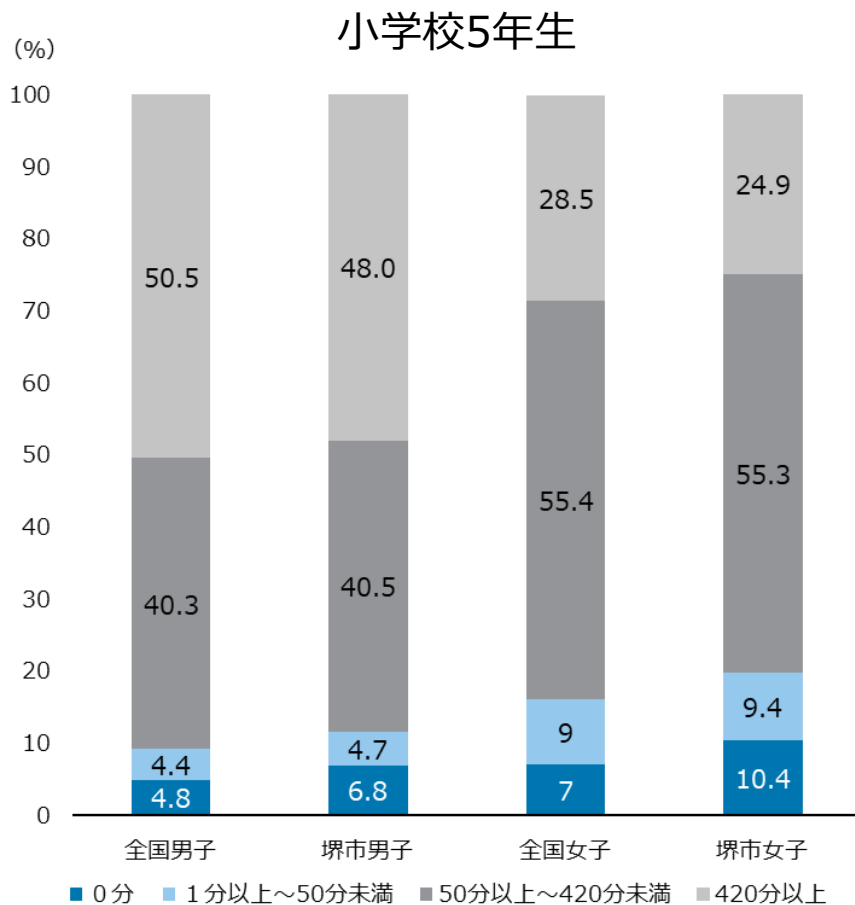


中学校2年生（全国を100とした値）



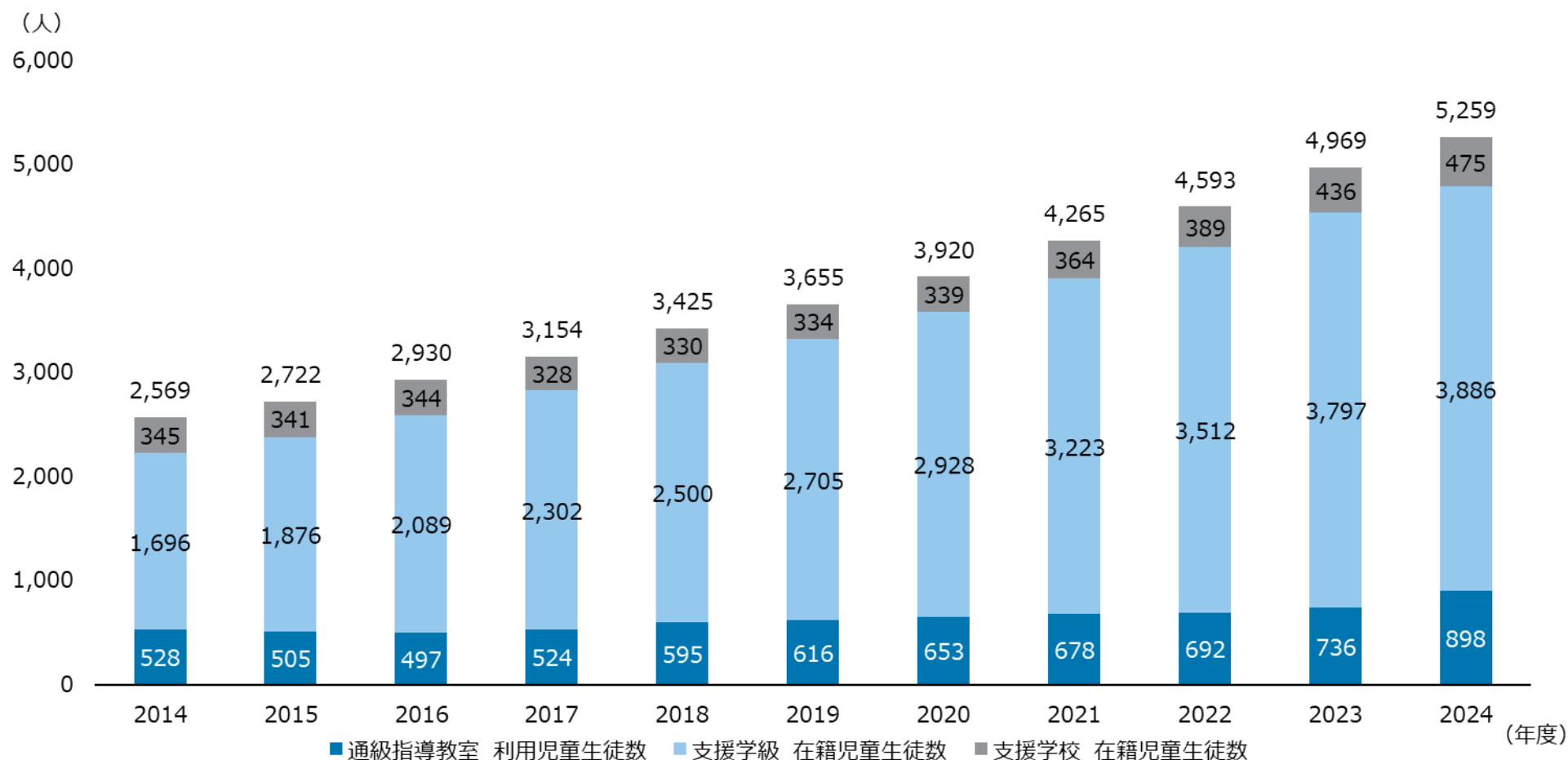
児童生徒の週当たりの総運動時間

- 全国との比較では小学校5年生の男子・女子と中学生の女子は「0分」の割合が高く、「420分以上」の割合が低い。
- 中学校2年生の男子については、全国と比較すると「0分」の割合が高いが、「420分以上」の割合も高い。



支援学級等の利用・在籍児童生徒数の推移

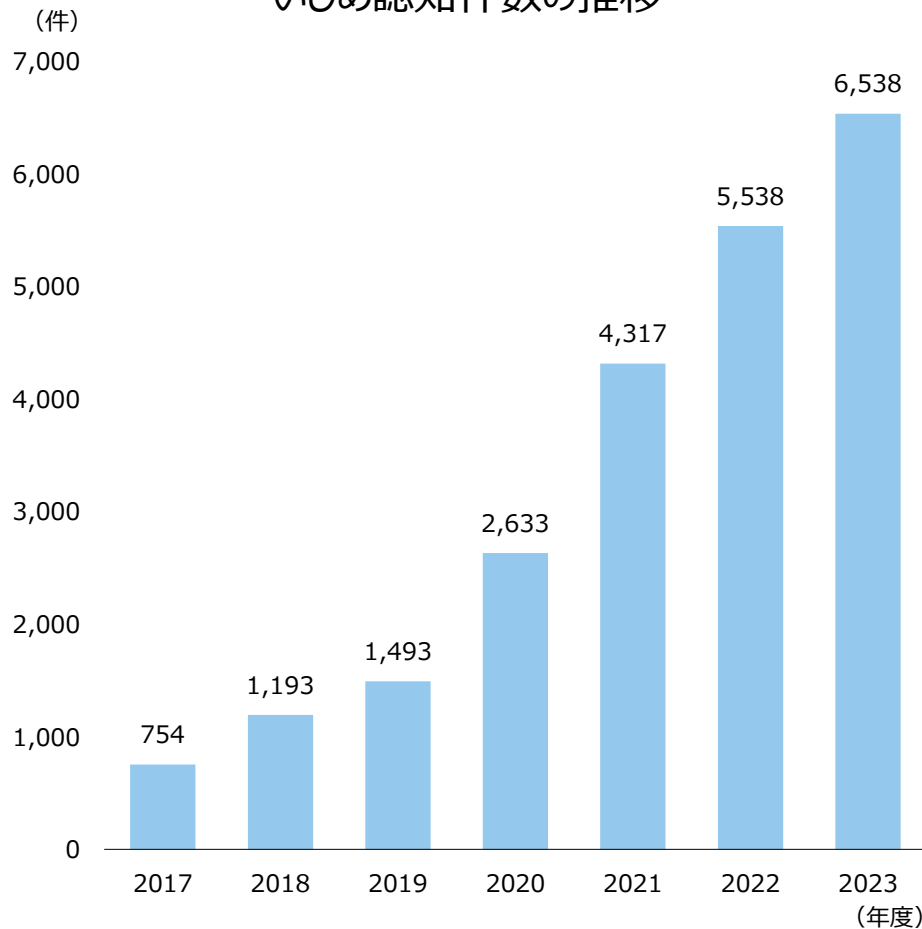
○ 支援学級等の利用・在籍児童生徒数は増加傾向で推移。



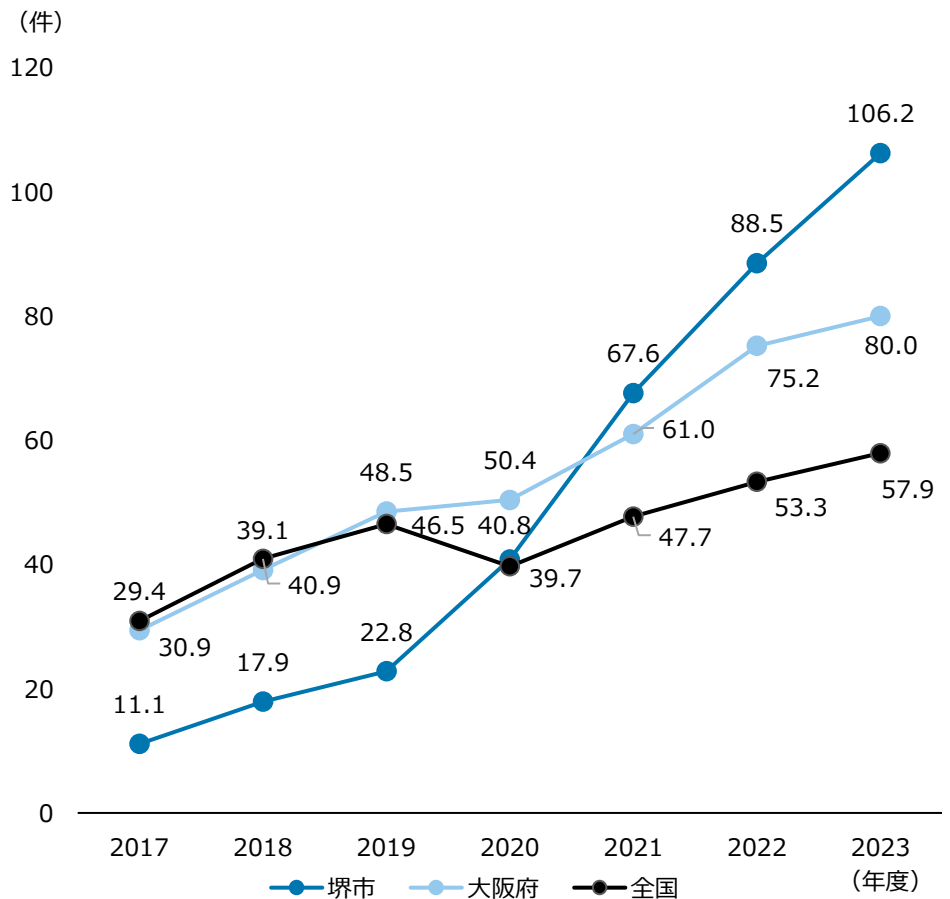
いじめ認知件数の推移

- いじめの認知件数は増加傾向。
- 児童生徒千人あたりの認知件数は2021年度以降は全国、大阪府を上回る水準で推移。

いじめ認知件数の推移



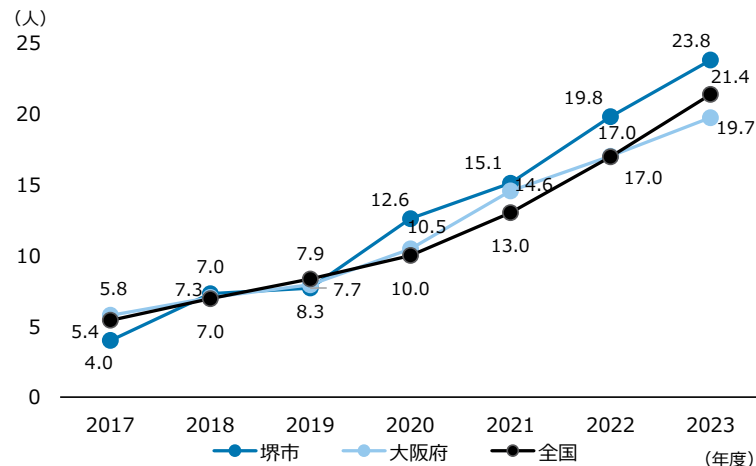
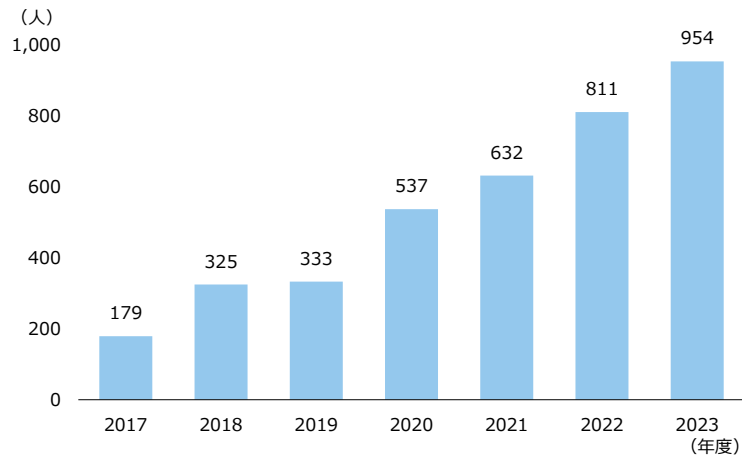
いじめ認知件数の推移（児童生徒千人あたり）



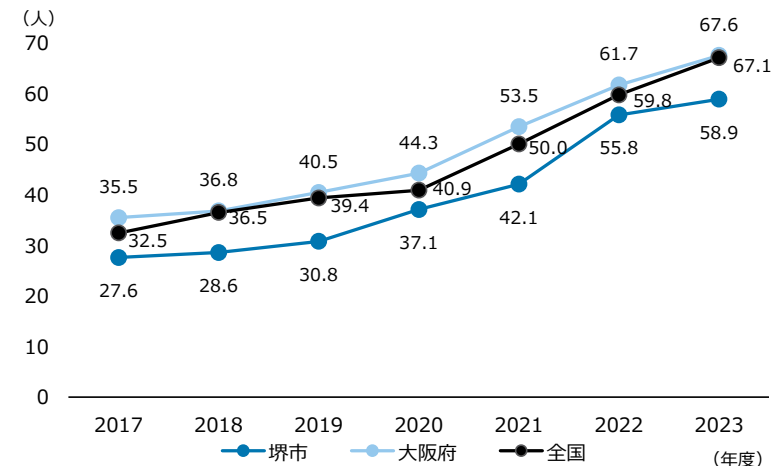
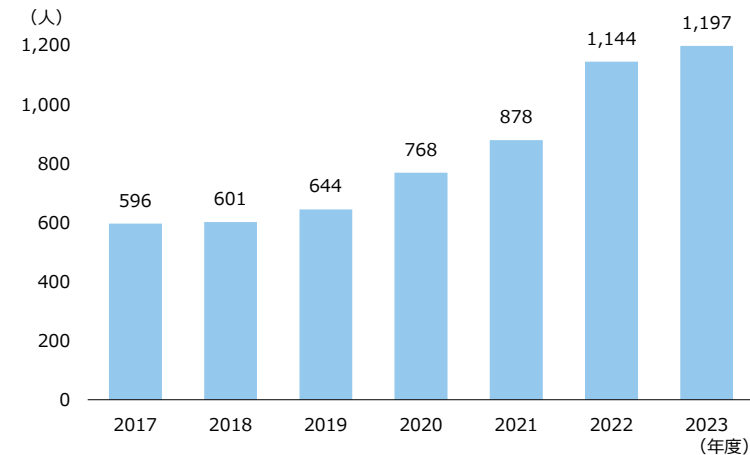
不登校児童生徒数の推移

- 小学生・中学生の不登校児童生徒数は増加傾向。
- 児童生徒千人あたりの割合は小学生は全国、大阪府を上回る水準、中学生は下回る水準で推移。

小学生（上段：堺市、下段:児童千人あたり）

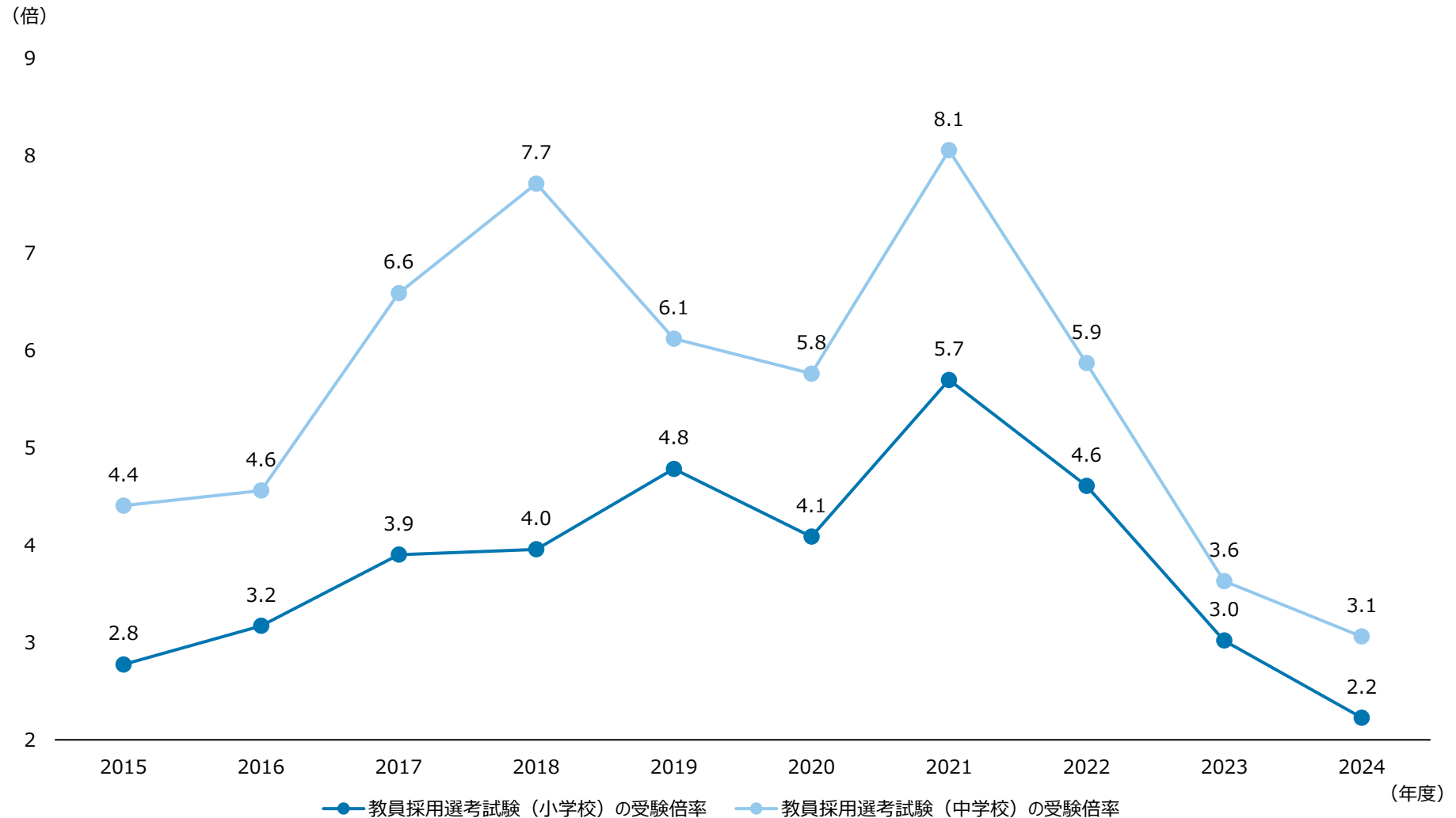


中学生（上段：堺市、下段:生徒千人あたり）



教員採用選考試験の受験倍率の推移

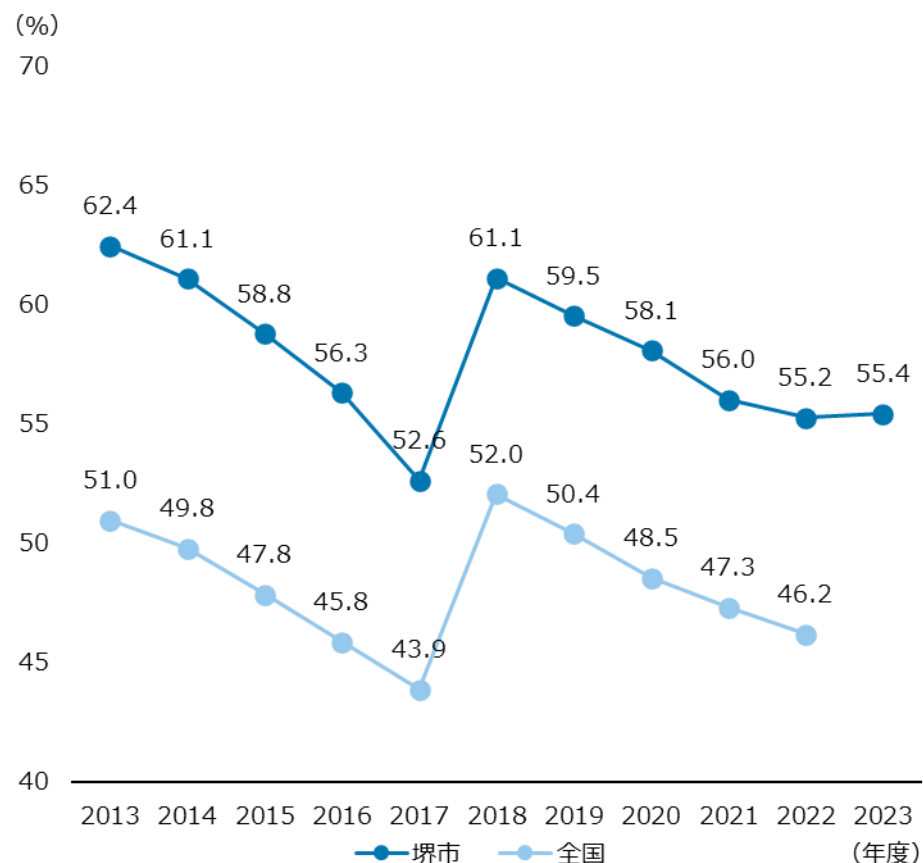
- 教員採用選考試験の受験倍率は小学校、中学校いずれも概ね上昇傾向であったものの、2022年度以降は低下傾向。



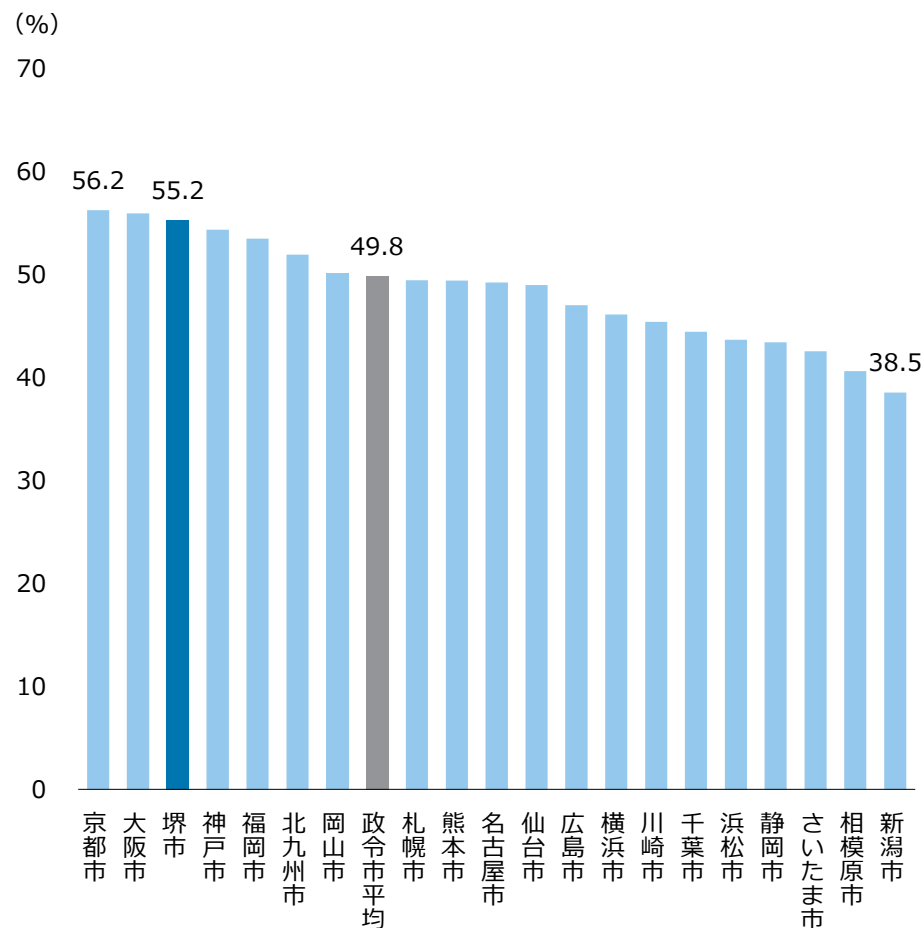
児童扶養手当受給者に占める全部受給割合の推移等

- 児童扶養手当受給者に占める全部受給割合は低下傾向であるが、全国を上回る水準で推移。
- 政令市の中では3番目に高い。

児童扶養手当受給者に占める全部受給割合の推移



政令市比較

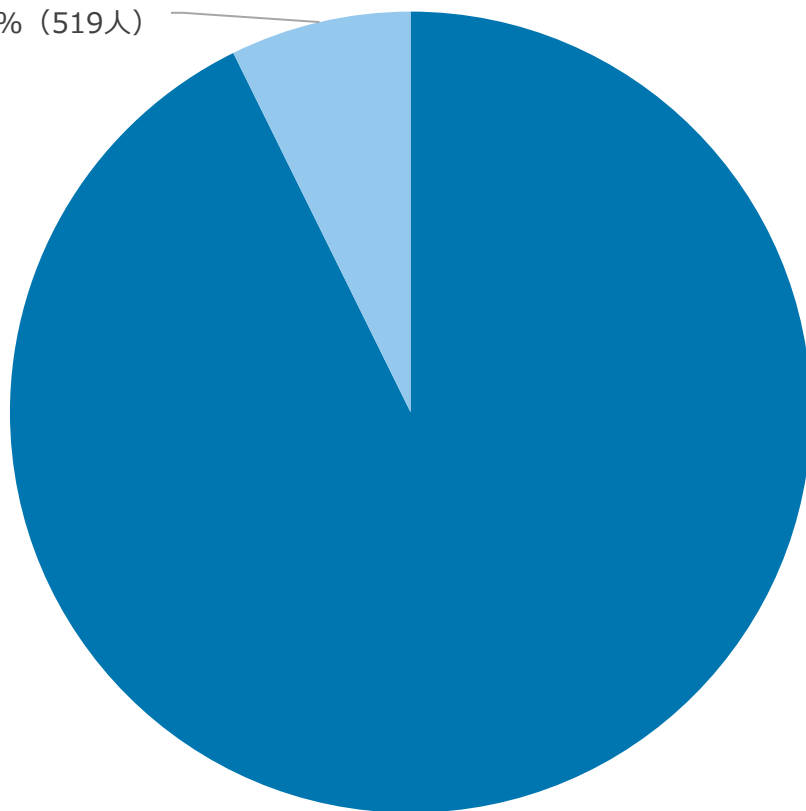


家族のケアをしている子どもの推計人数

○ 家族のケアをしている本市の小学校6年生、中学生は合計1,522人いると推計。

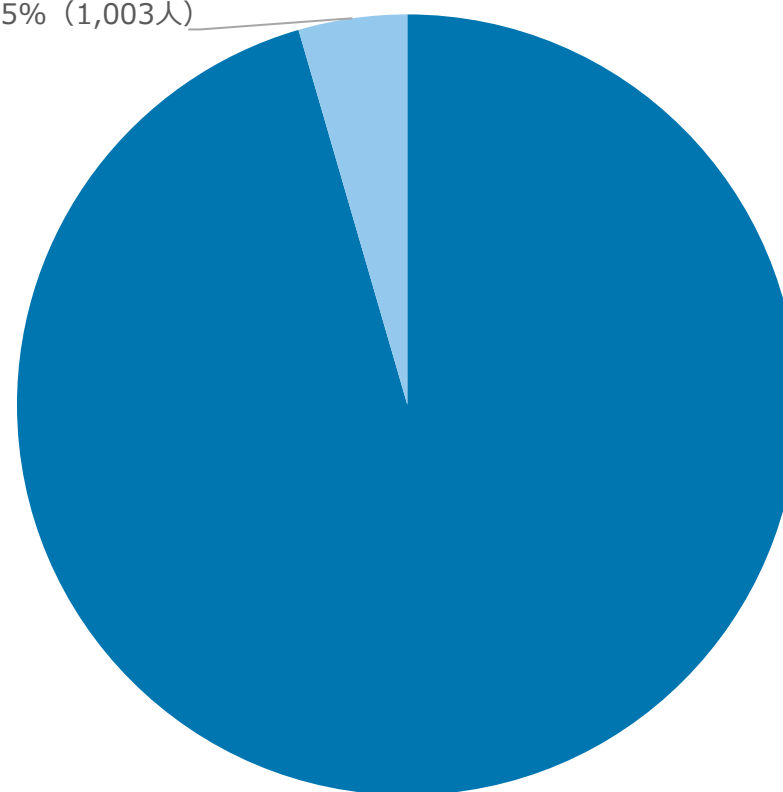
小学校6年生

家族のケアをしている
7.3% (519人)



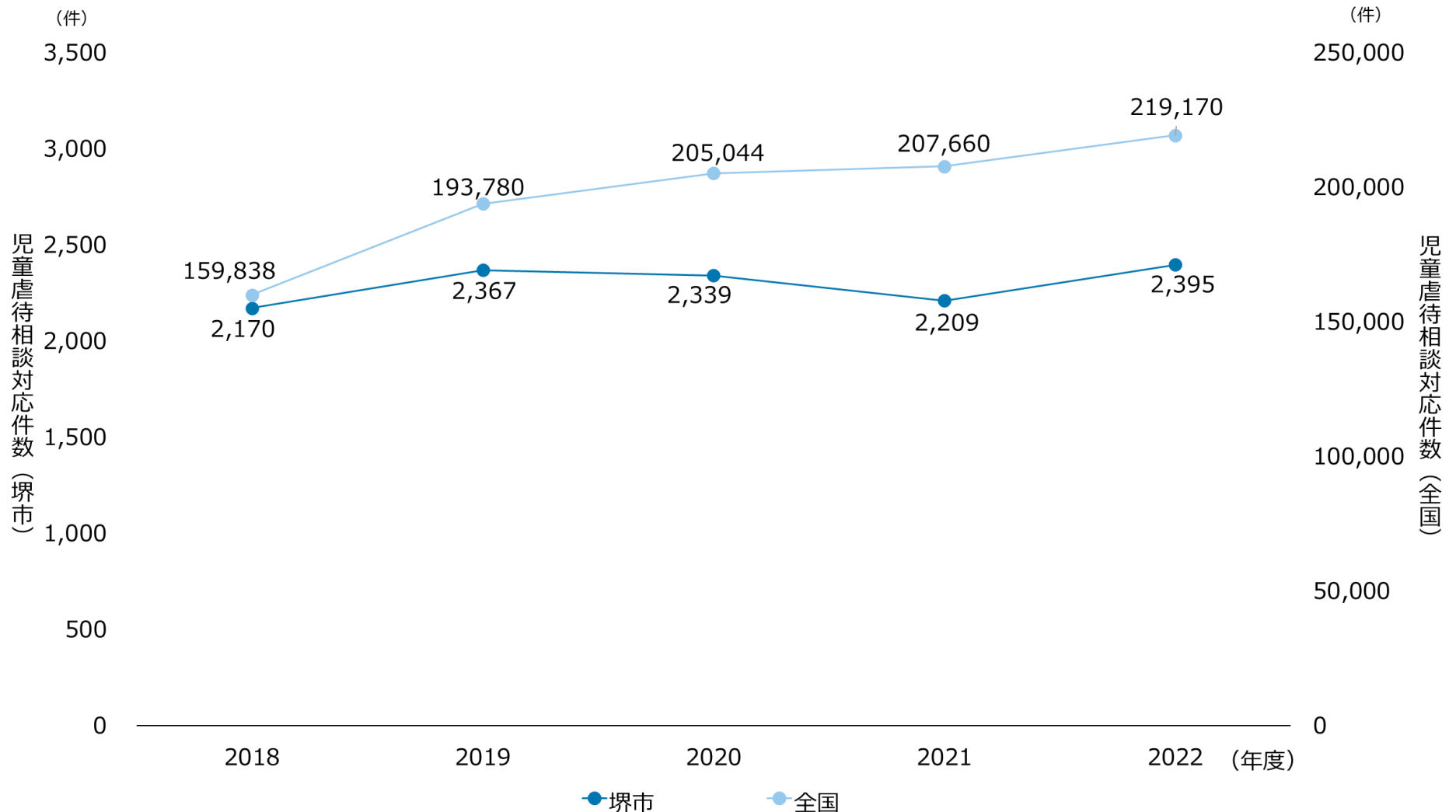
中学生

家族のケアをしている
4.5% (1,003人)



子ども相談所における児童虐待相談対応件数の推移

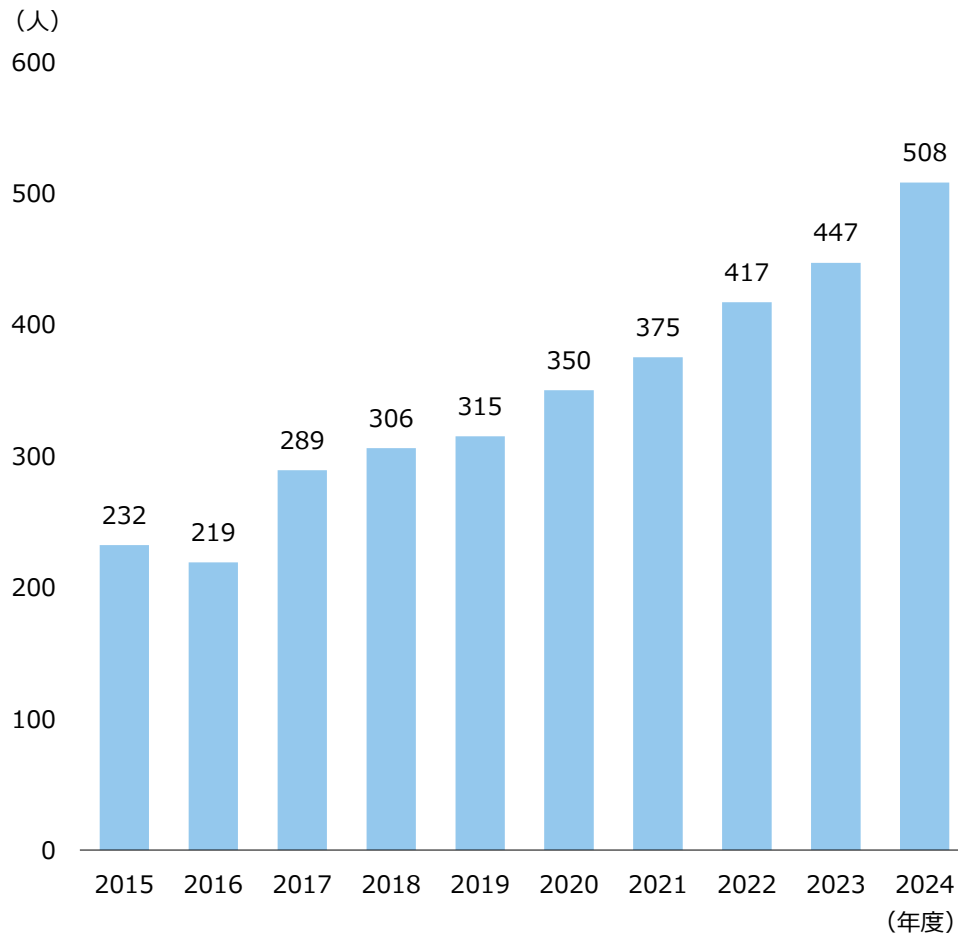
○ 子ども相談所における児童虐待相談対応件数は横ばい傾向。



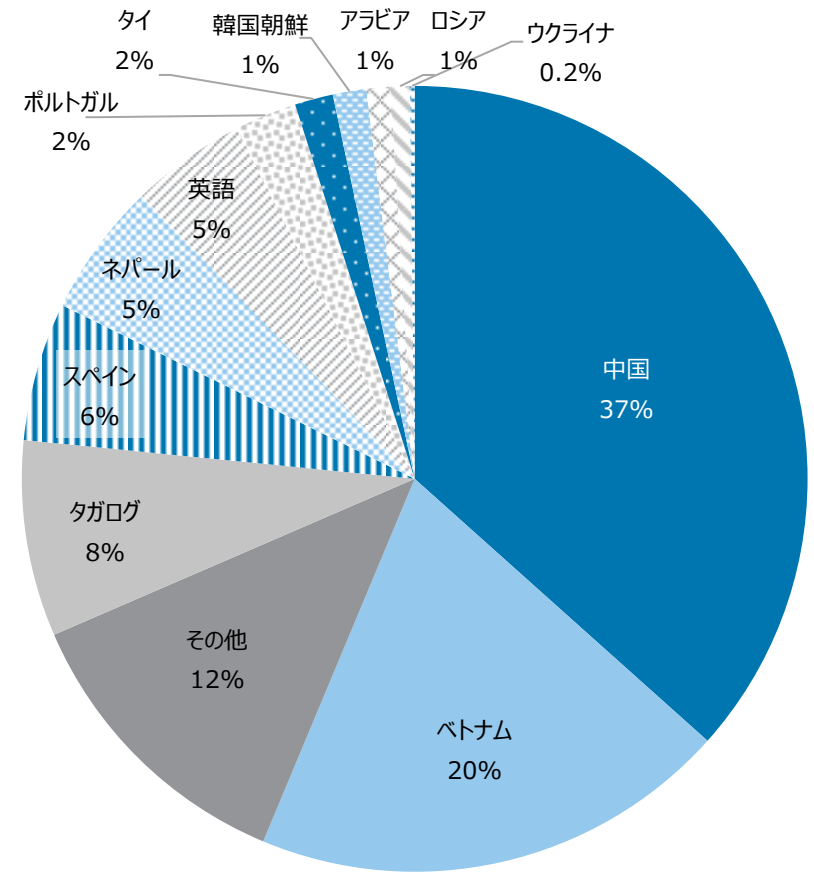
日本語指導が必要な幼児児童生徒数の推移等

- 日本語指導が必要な幼児児童生徒数は増加傾向。
- 言語別では中国語が約40%を占め、次いでベトナム語が20%を占める。

日本語指導が必要な幼児児童生徒数の推移



言語別の内訳



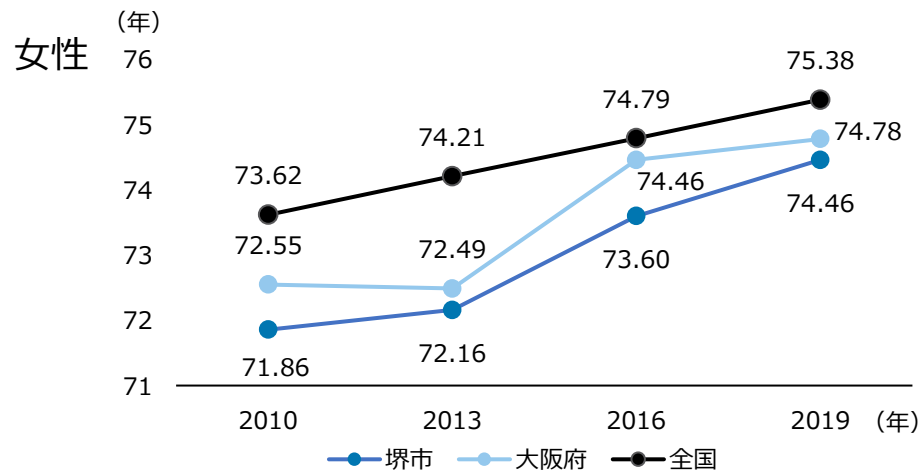
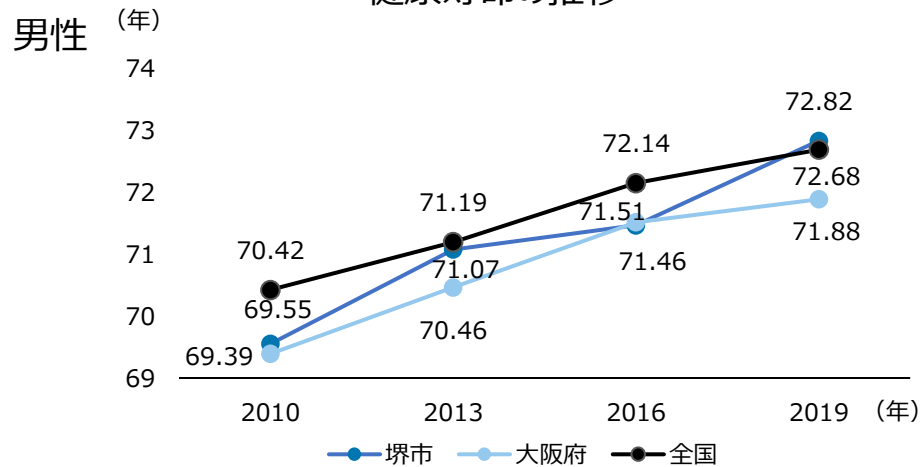
※2024年度

健康・福祉

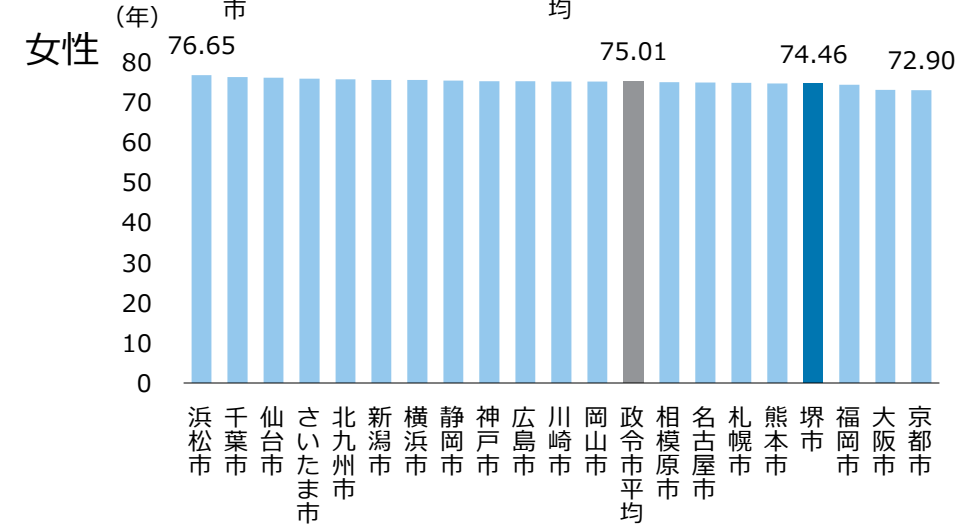
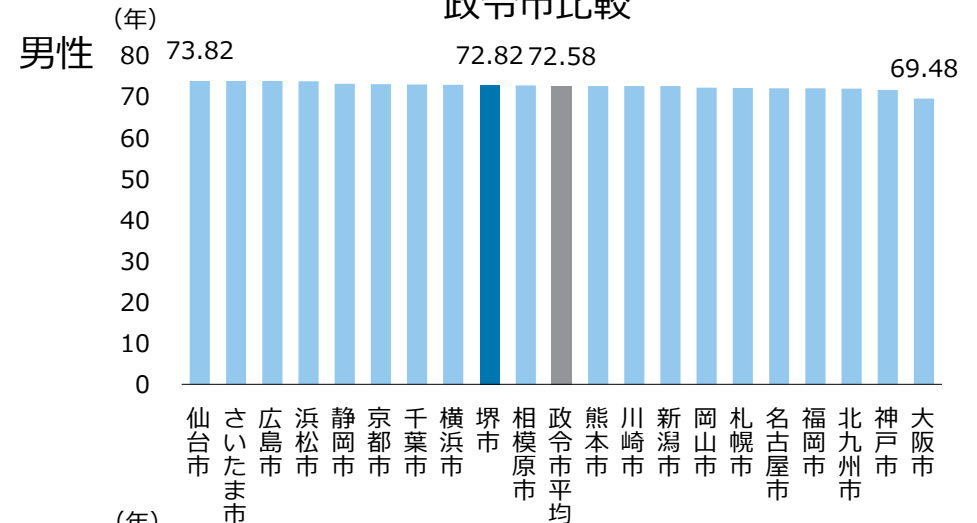
健康寿命の推移、政令市比較

- 健康寿命は男女いずれも上昇傾向、男性は全国、大阪府を上回り、女性は下回る。
- 政令市の中では男性が9番目、女性が17番目。

健康寿命の推移



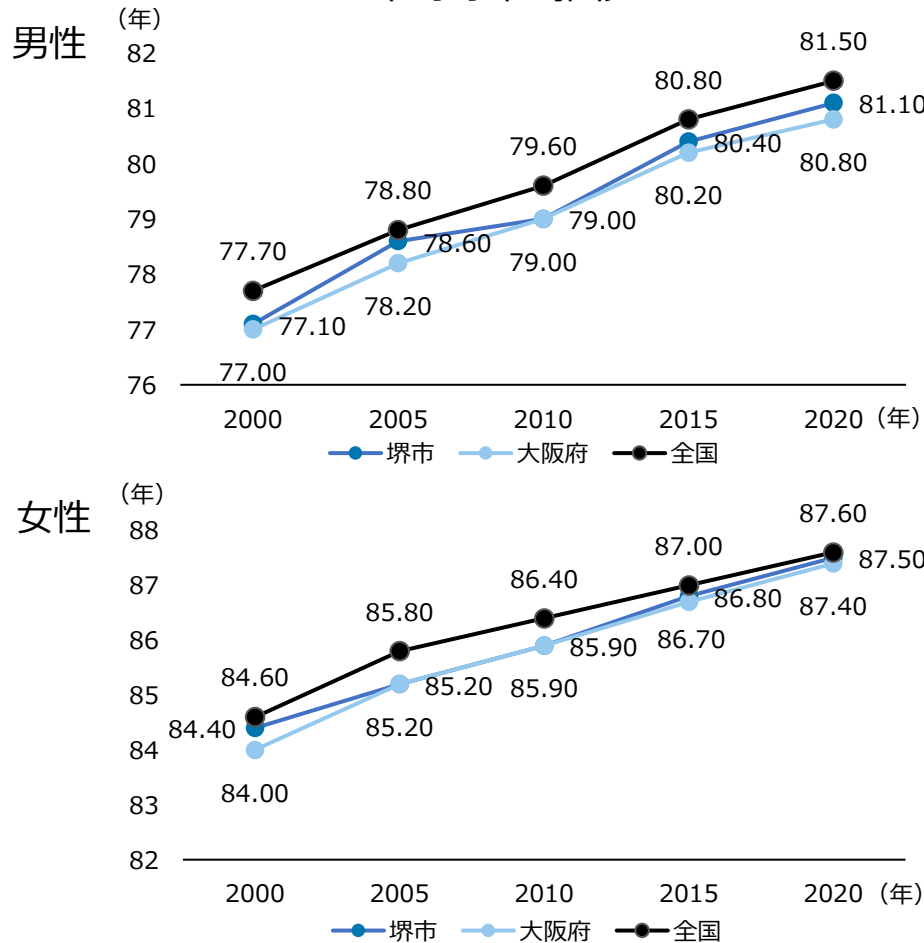
政令市比較



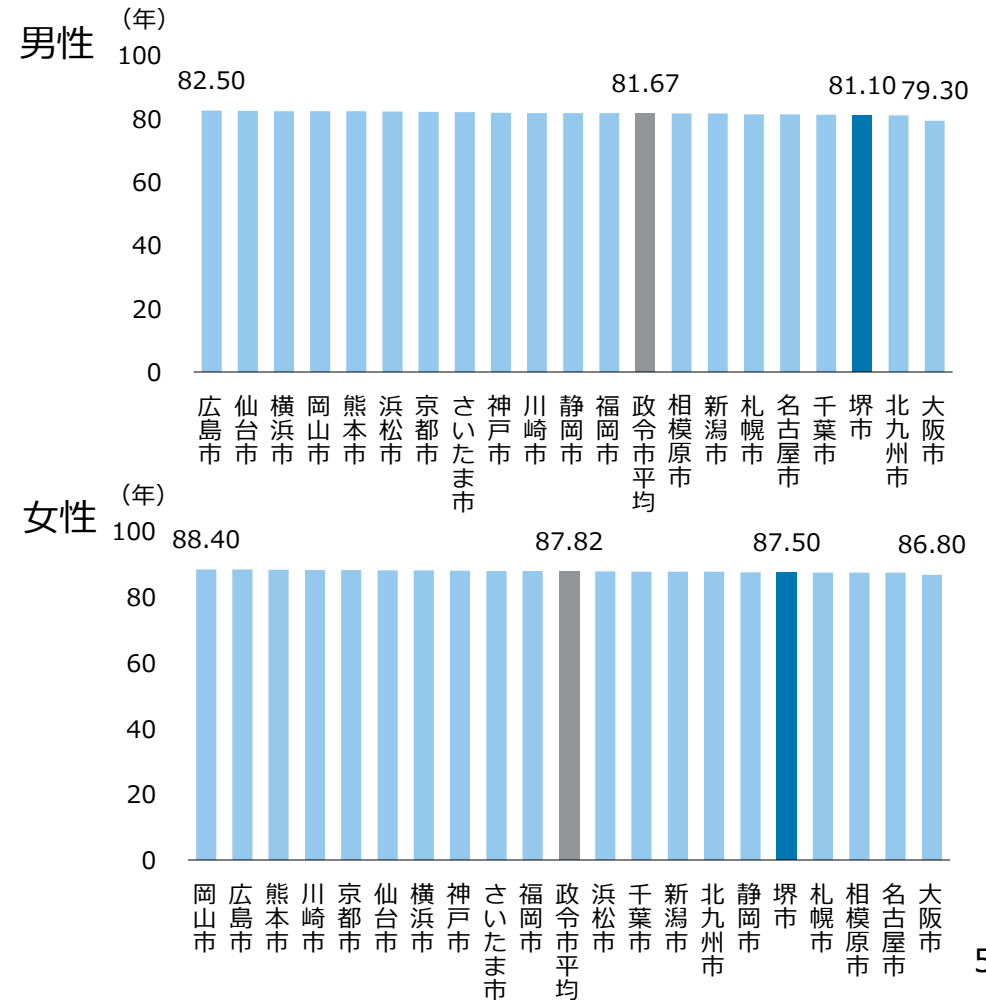
平均寿命の推移、政令市比較

- 平均寿命は男女いずれも上昇傾向、全国を下回り、大阪府を上回る水準で推移。
- 政令市の中では男性が18番目、女性が16番目。

平均寿命の推移



政令市比較



年齢10歳階級別の主な死因（全国）

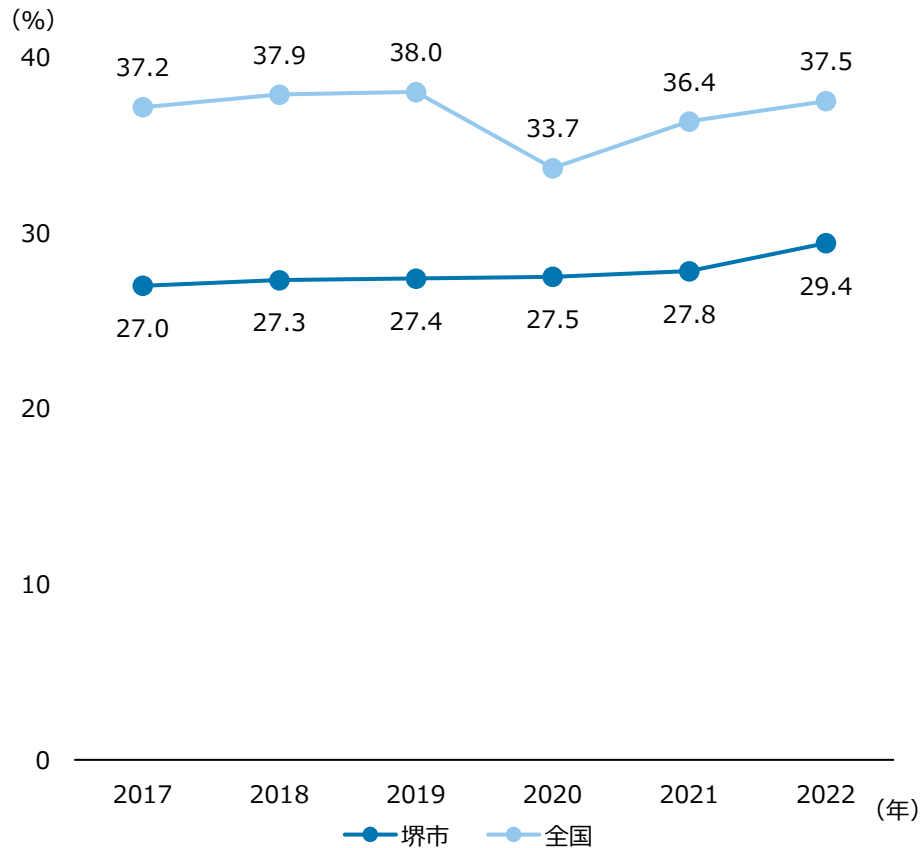
- 「自殺」は10代～30代の死因の第1位、40代の第2位、50代の第3位。
- 「悪性新生物」は40代以上の死因の第1位、30代の第2位、10～20代の第3位。

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	割合（%）	死因	死亡数	割合（%）	死因	死亡数	割合（%）
10～19歳	自殺	772	43.7	不慮の事故	223	12.6	悪性新生物	197	11.2
20～29歳	自殺	2,405	53.3	不慮の事故	463	10.3	悪性新生物	390	8.6
30～39歳	自殺	2,505	34.5	悪性新生物	1,388	19.1	心疾患	604	8.3
40～49歳	悪性新生物	5,849	29.0	自殺	3,505	17.4	心疾患	2,288	11.3
50～59歳	悪性新生物	18,845	36.4	心疾患	6,901	13.3	自殺	4,068	7.9
60～69歳	悪性新生物	45,659	42.3	心疾患	13,834	12.8	脳血管疾患	7,115	6.6
70～79歳	悪性新生物	119,408	38.3	心疾患	39,439	12.6	脳血管疾患	20,622	6.6
80～89歳	悪性新生物	135,345	23.8	心疾患	83,670	14.7	老衰	54,146	9.5

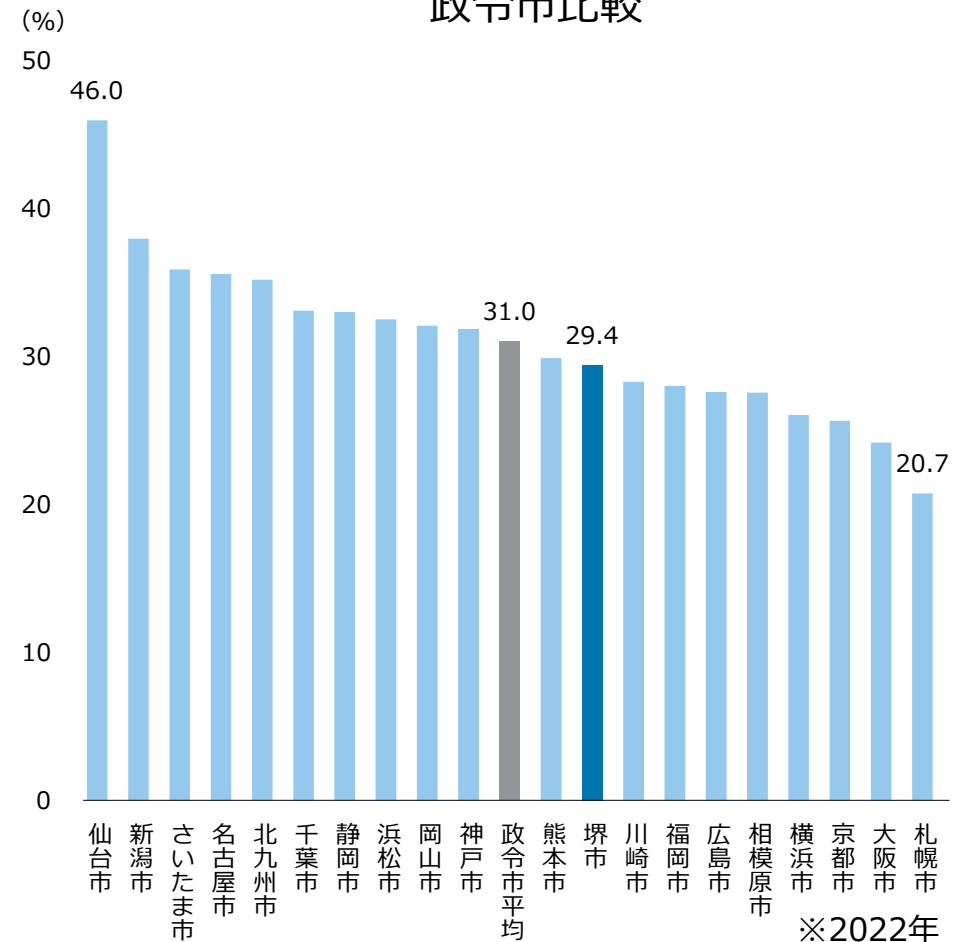
特定健診受診率の推移、政令市比較

- 特定健診受診率は上昇傾向だが、全国を下回る水準で推移。
- 政令市の中では12番目。

特定健診受診率の推移

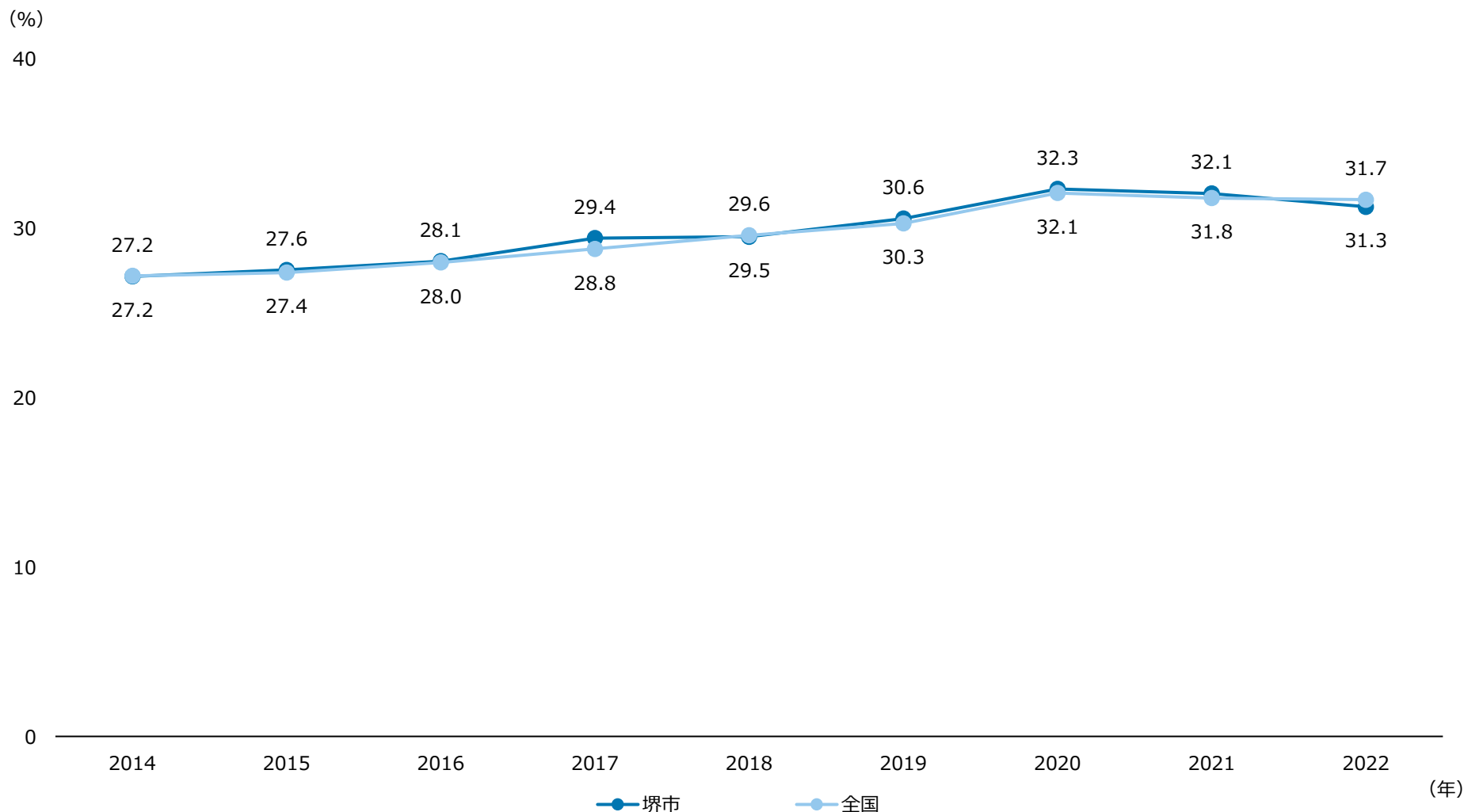


政令市比較



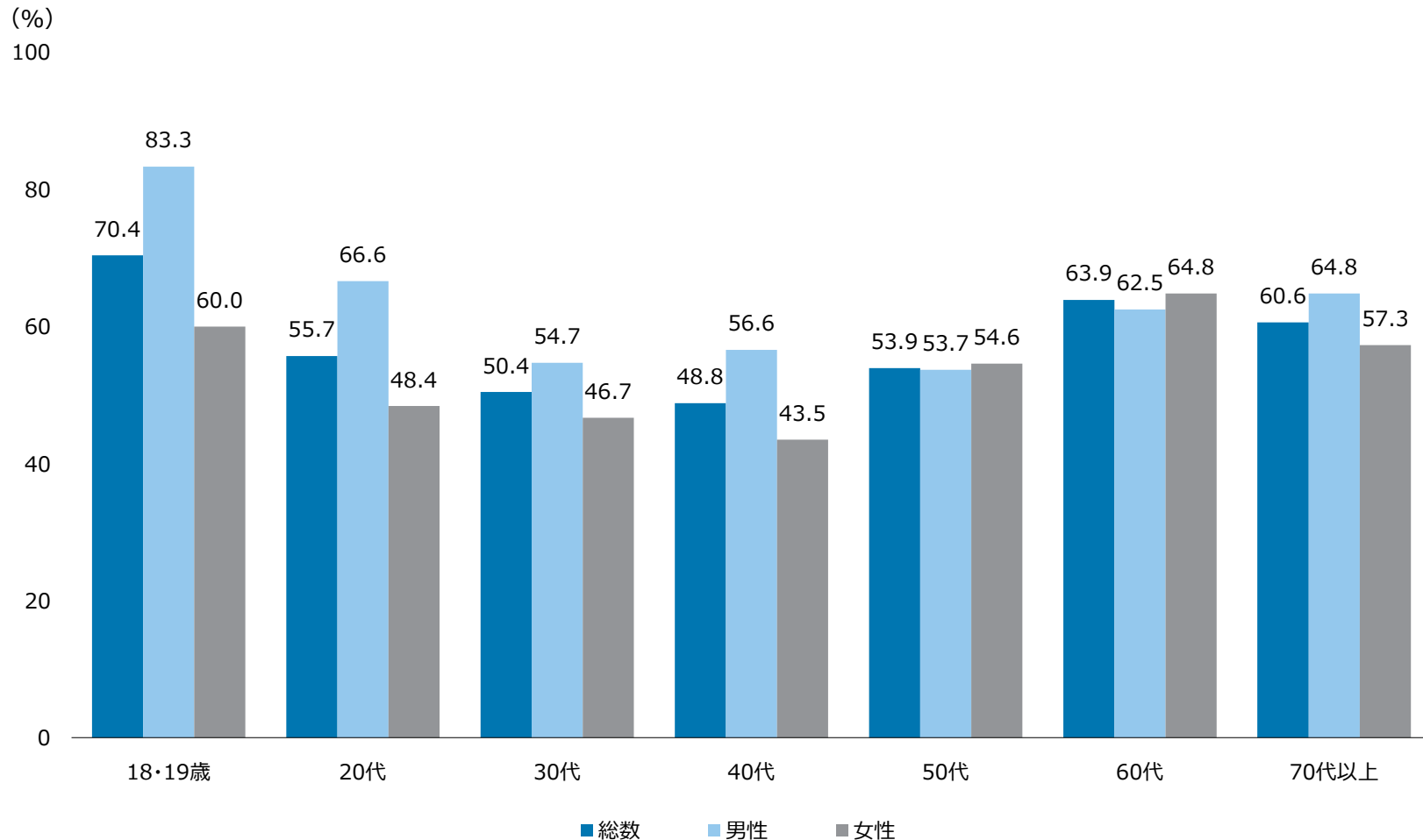
メタボリックシンドロームが強く疑われる者、予備群の割合の推移

○ メタボリックシンドロームが強く疑われる者、予備群の割合は近年は横ばい傾向、全国とほぼ同水準で推移。



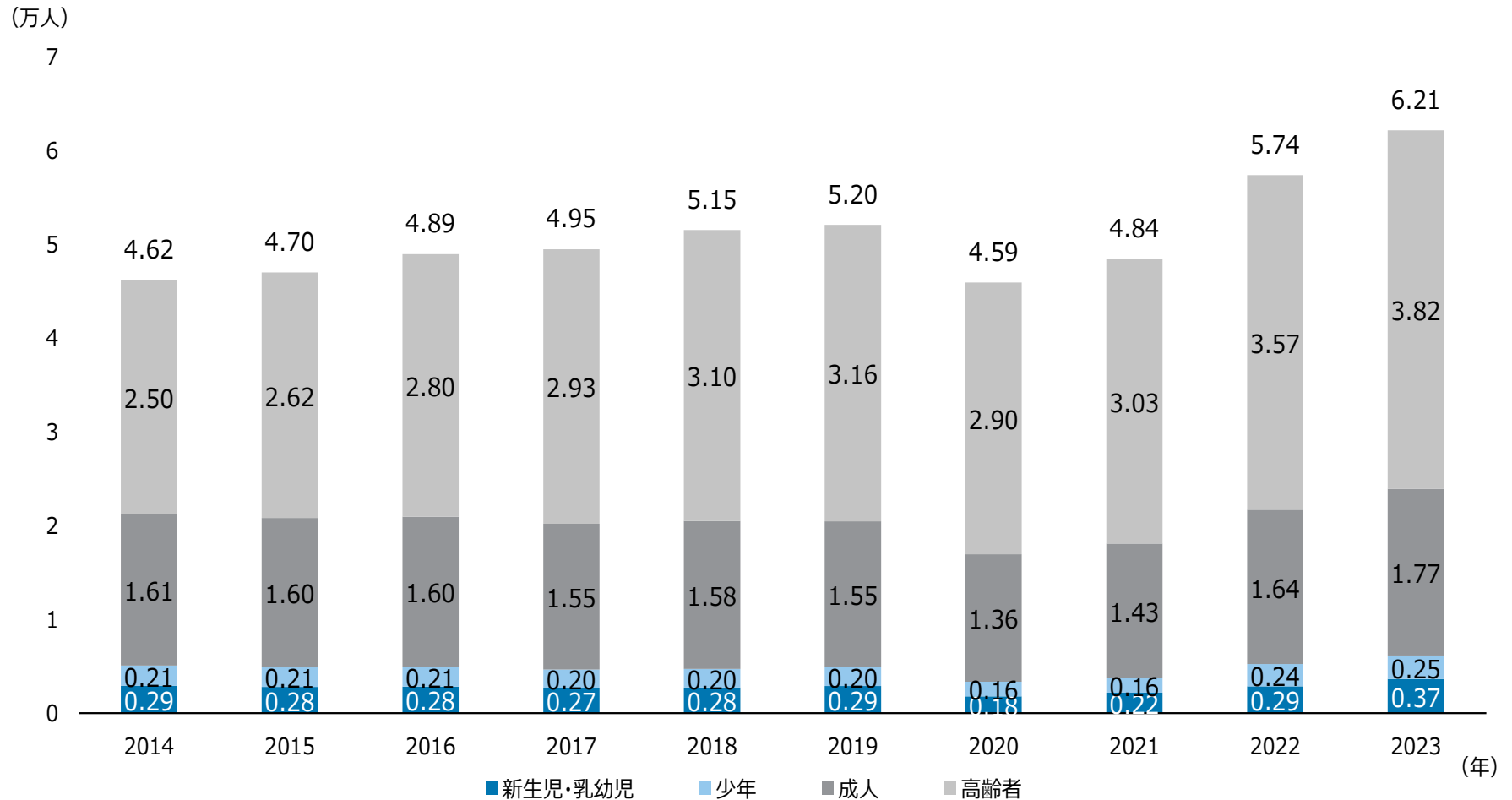
運動習慣のある人の年齢別割合

- 運動習慣のある人の割合は30～40代が低く、特に女性が低い。
- 40代以降、60代にかけては上昇傾向だが、特に女性の上昇幅が大きい。



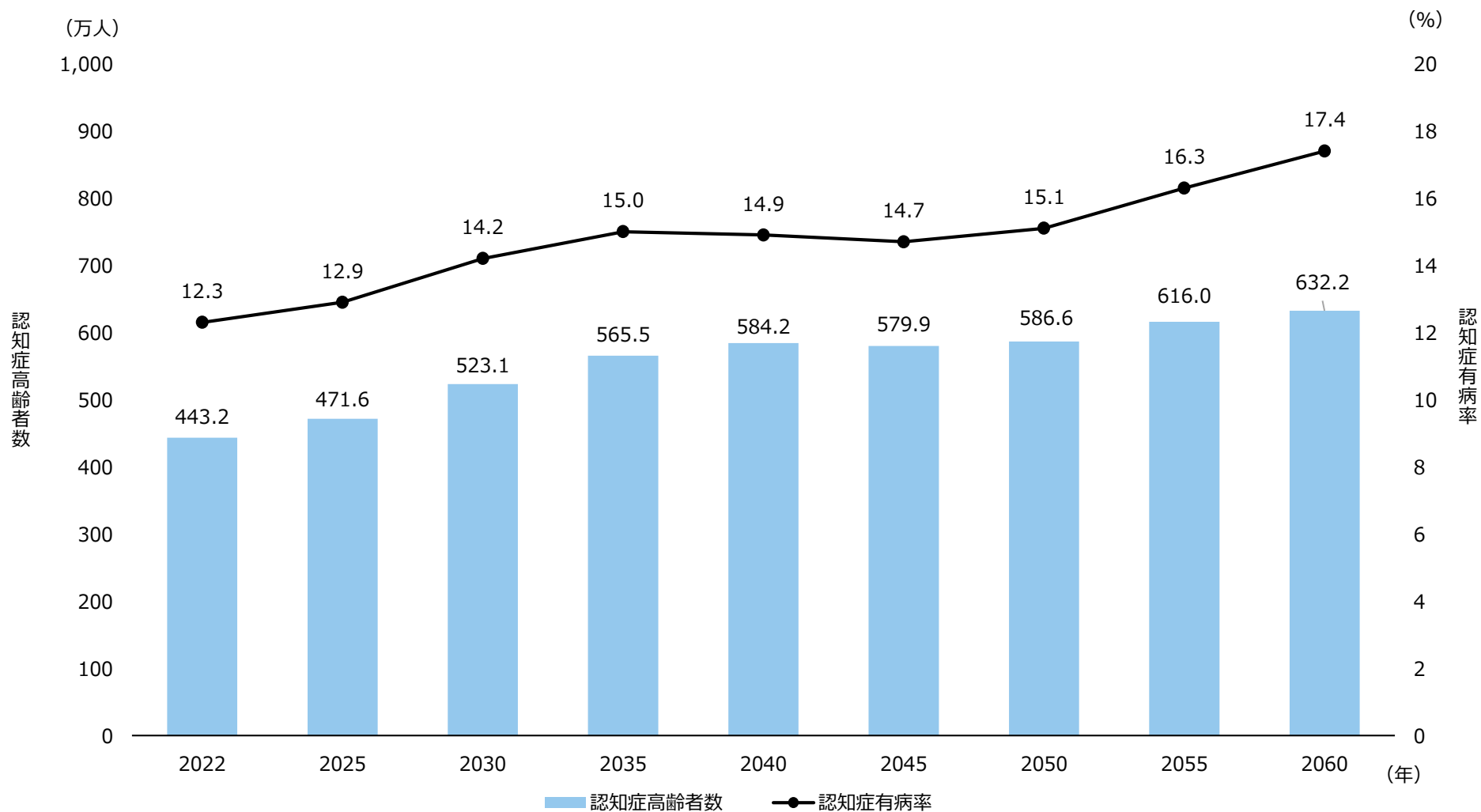
救急搬送件数の推移

○ 救急搬送の件数は増加傾向で、特に高齢者が増加傾向。



認知症の高齢者数、有病率の将来推計（全国）

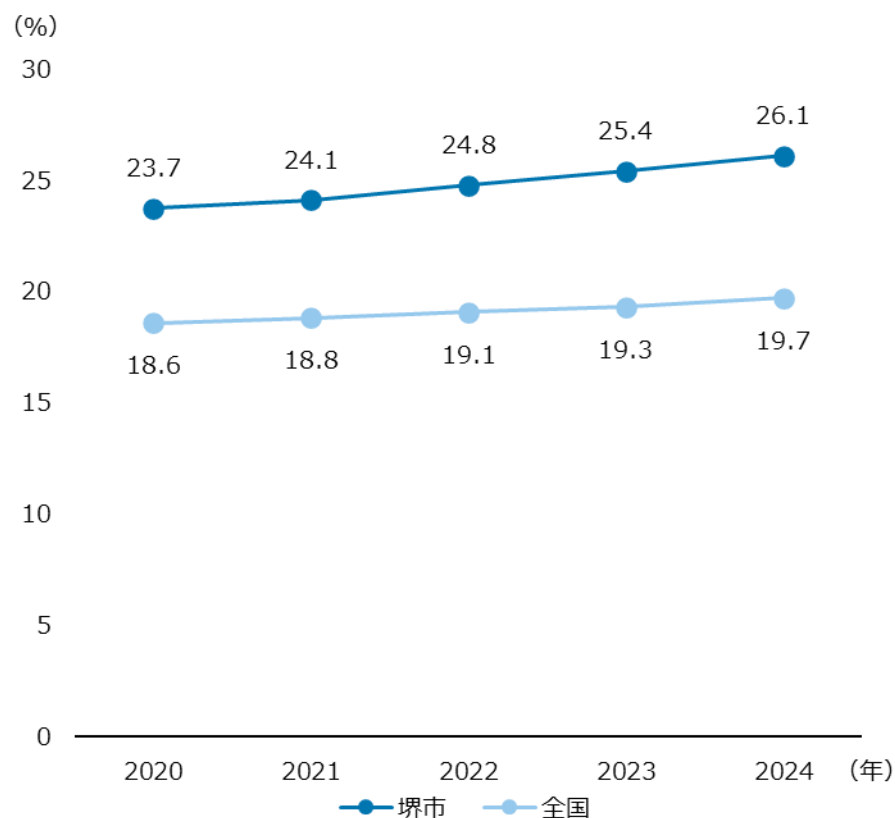
- 認知症の高齢者数と有病率は上昇傾向で推移、2030年の認知症有病率は約14%（高齢者の7人に1人）となる見込み。



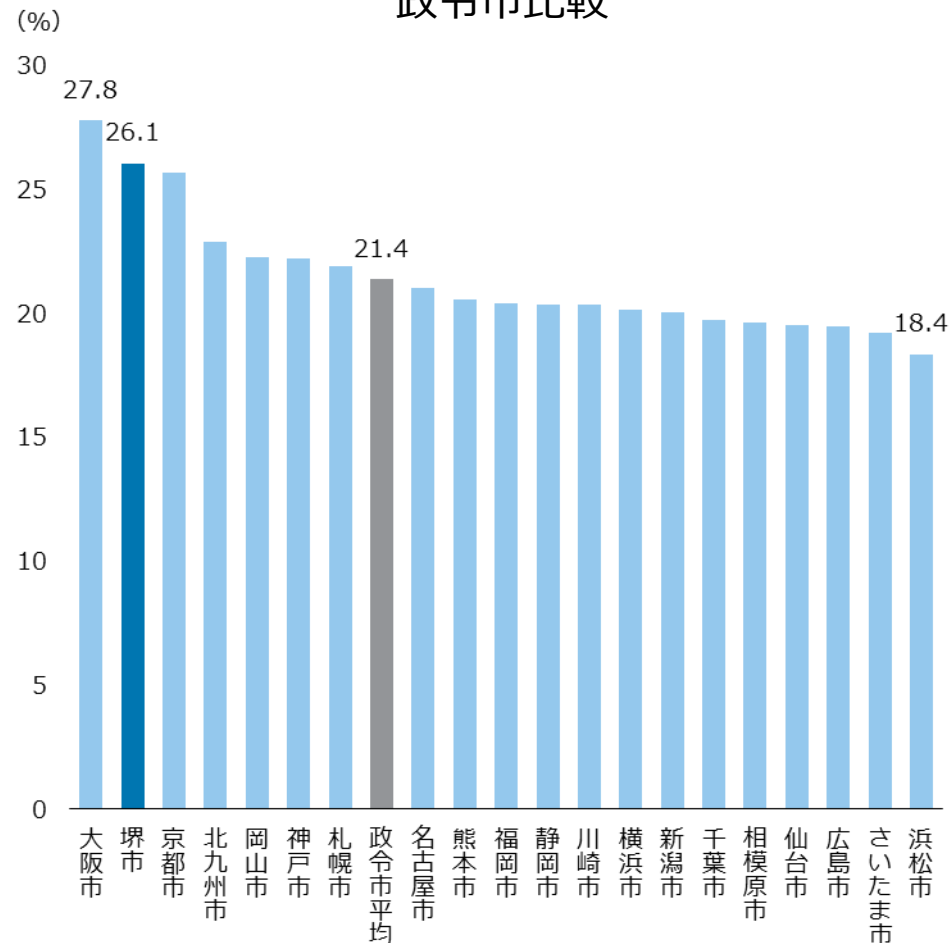
要支援・要介護認定率（第1号被保険者）の推移等

- 要支援・要介護認定率（第1号被保険者）は上昇傾向、全国を上回る水準で推移。
- 政令市の中では2番目に高い。

要支援・要介護認定率（第1号被保険者）の推移

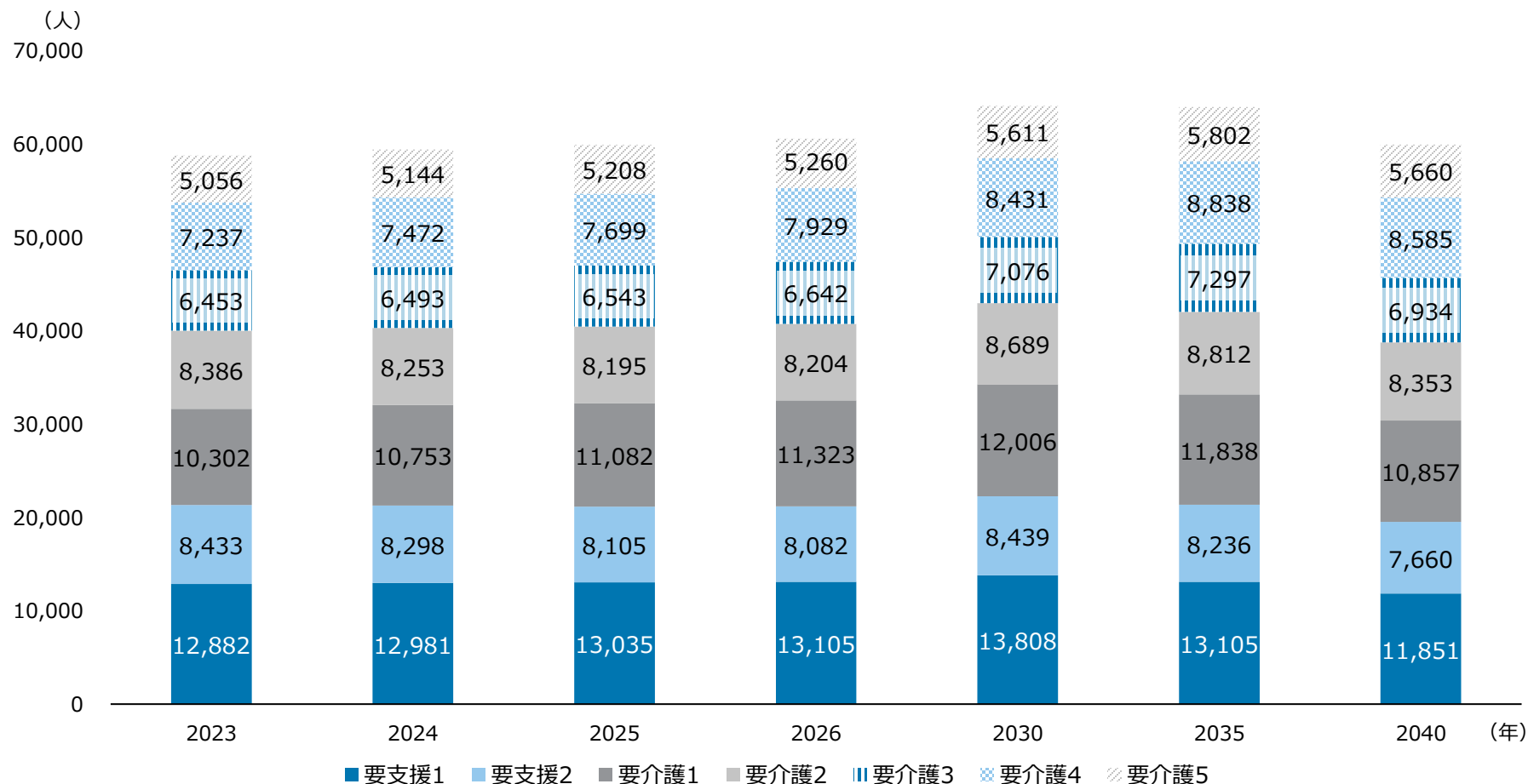


政令市比較



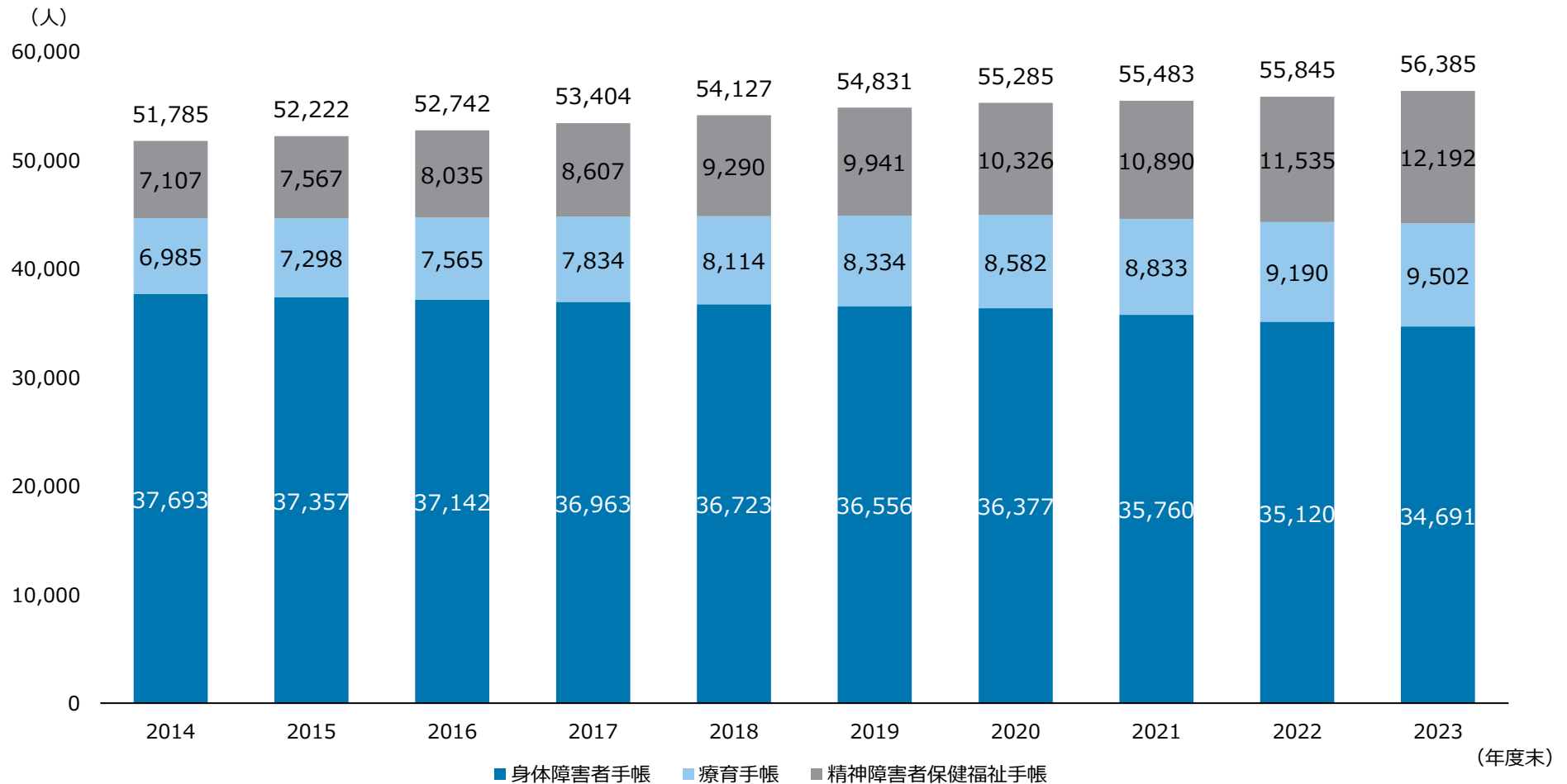
要支援・要介護認定者数の将来推計

○ 要支援・要介護認定者数は増加傾向で推移し、2035年頃にピークとなる見込み。



障害者手帳所持者の推移

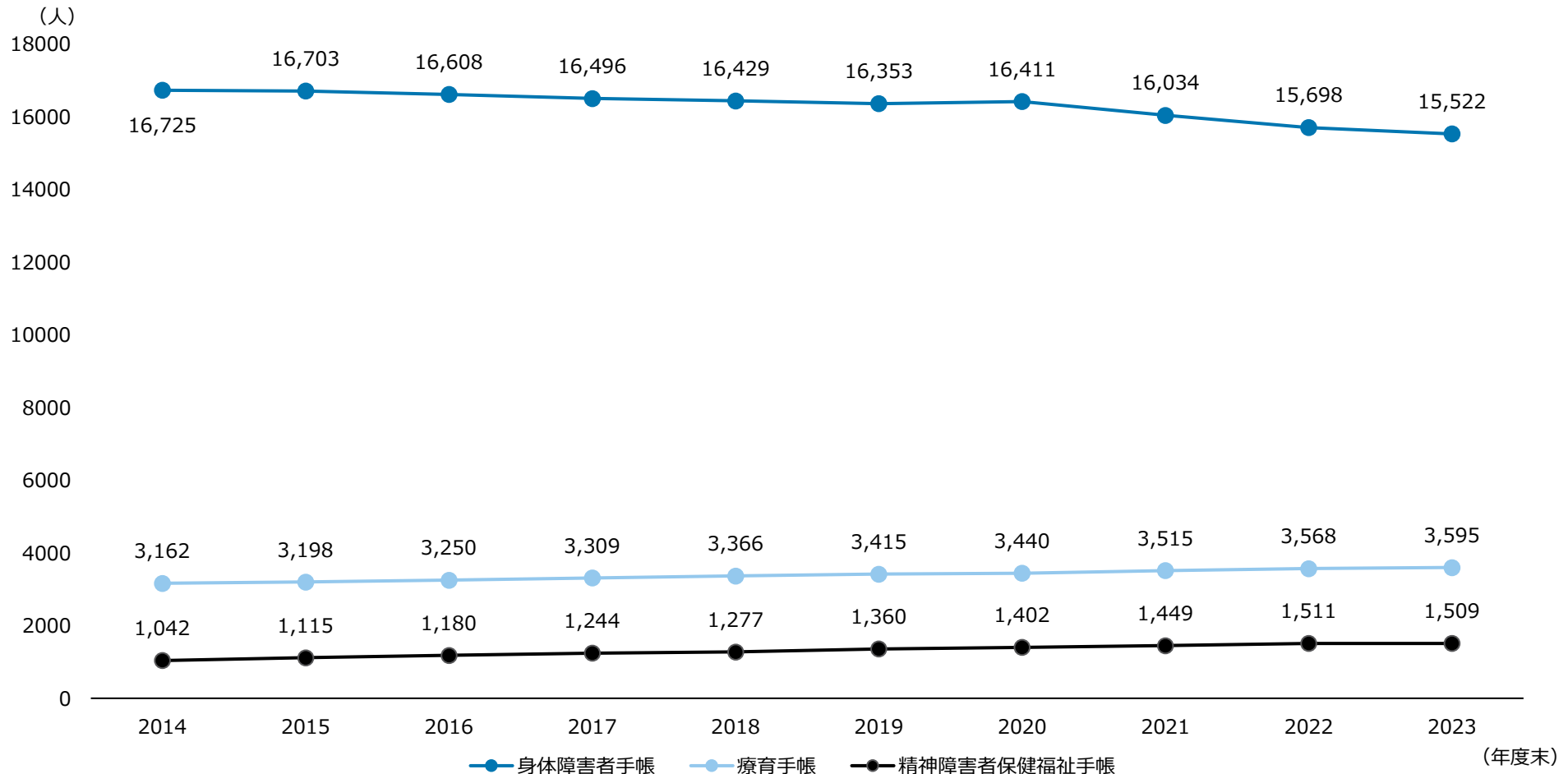
- 障害者手帳所持者は増加傾向で推移。
- 身体障害者手帳は減少傾向、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳は増加傾向で推移。



障害種別の重度障害者数の推移

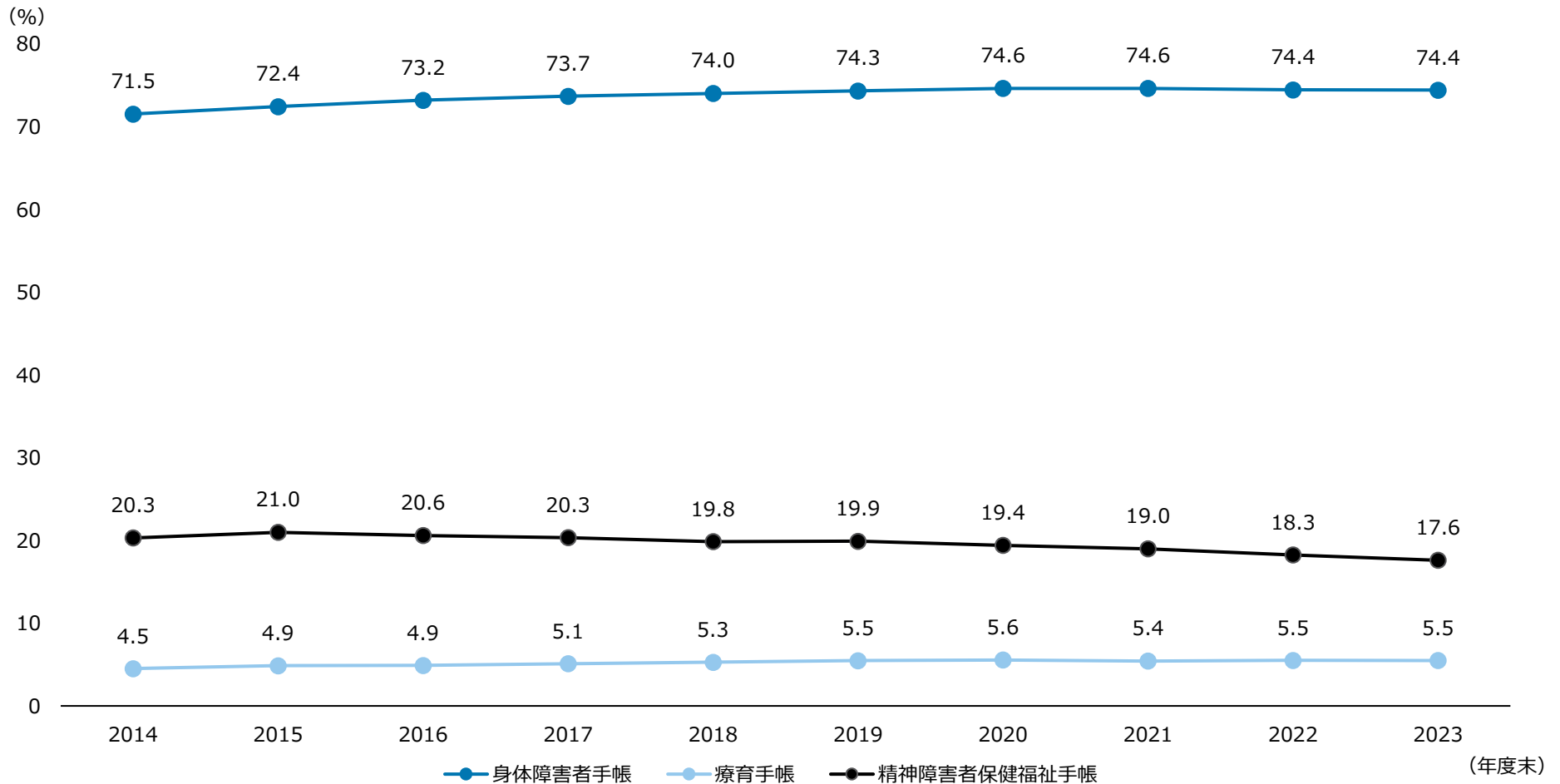
重度障害者…「身体障害者障害程度等級表」の1級又は2級の障害を有する者及び3級の障害を2つ以上重複して有する者

- 重度の障害者手帳所持者のうち身体障害者手帳は減少傾向、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳は増加傾向で推移。



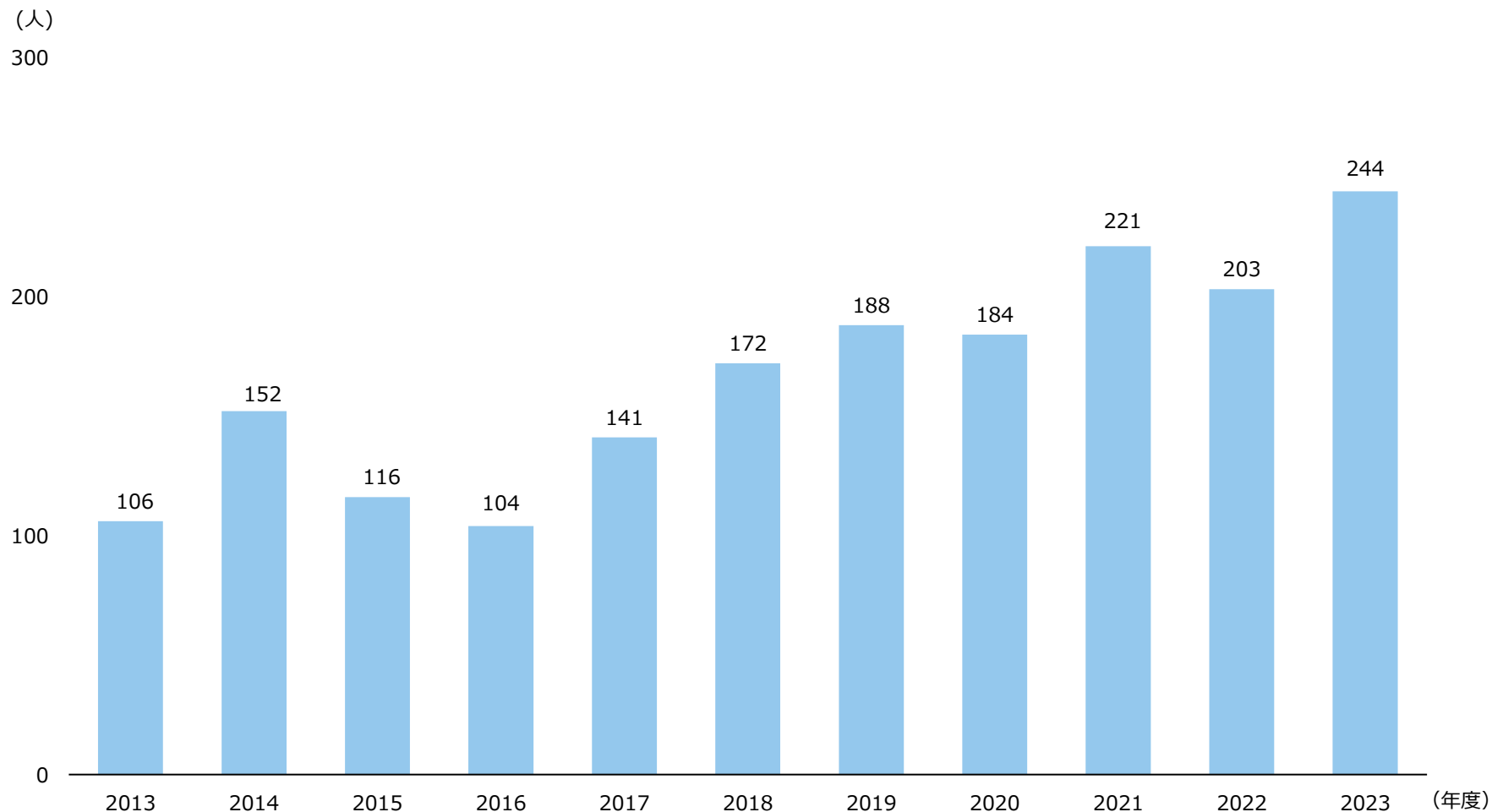
障害種別の高齢者割合の推移

- 障害種別の高齢者の割合は身体障害者手帳が70%以上を占め、精神障害者手帳は約18%、療養手帳は約6%。
- 近年は身体障害者手帳、療育手帳は横ばい傾向、精神障害者手帳は低下傾向で推移。



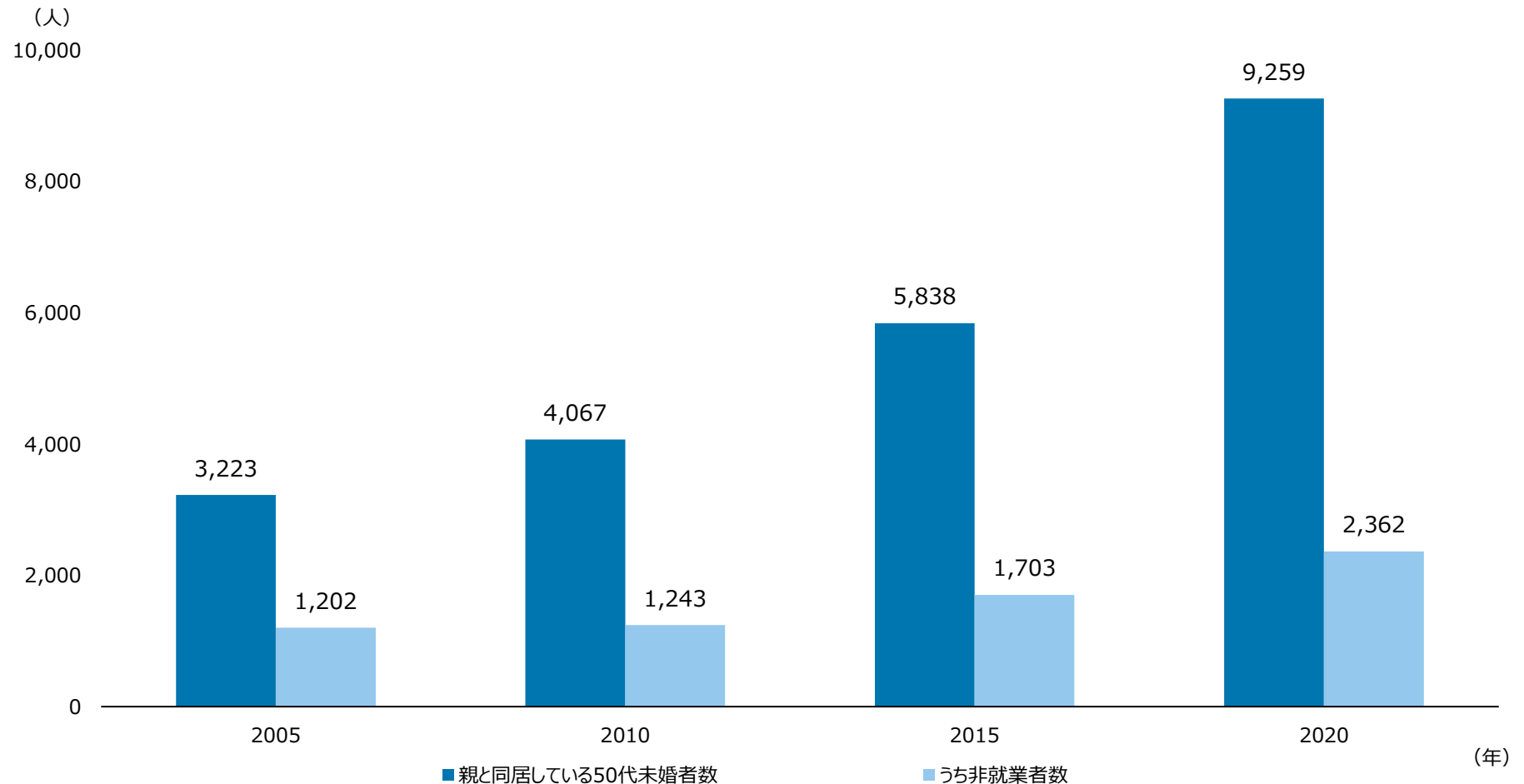
障害者福祉施設から一般就労への移行者数の推移

○ 障害者福祉施設から一般就労への移行者数は増加傾向。



親と同居している50代未婚者数等の推移

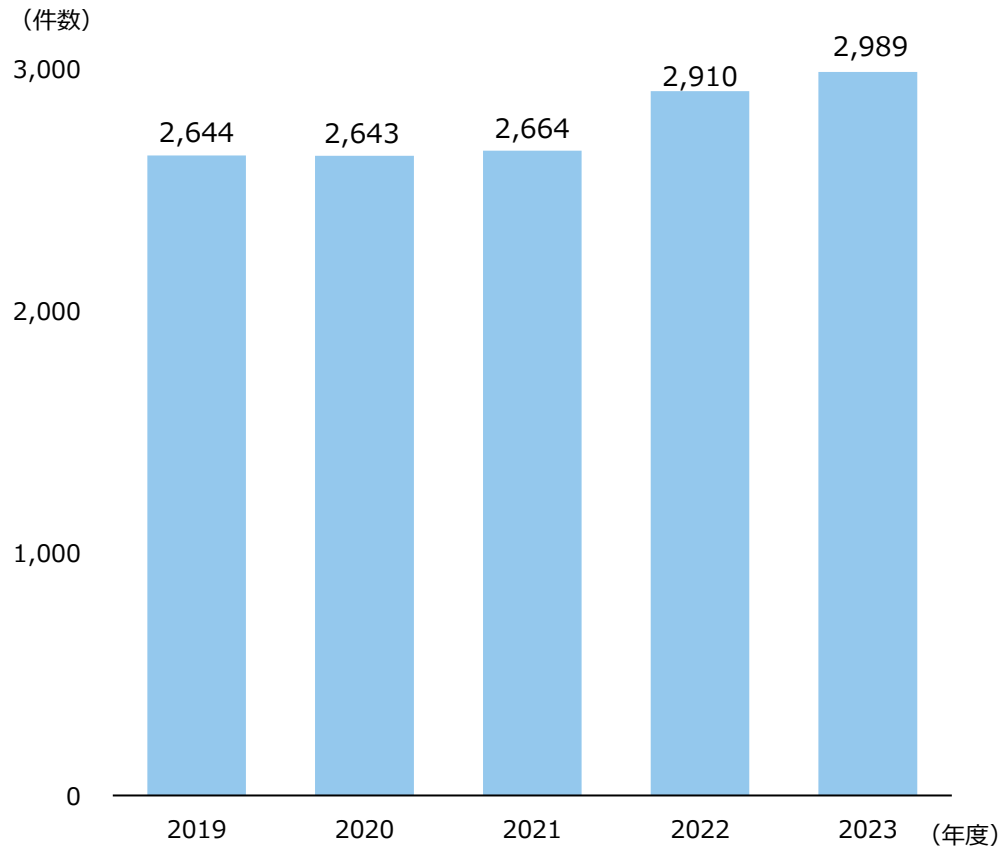
○ 親と同居している50代未婚者数、及びそのうちの非就業者数は増加傾向。



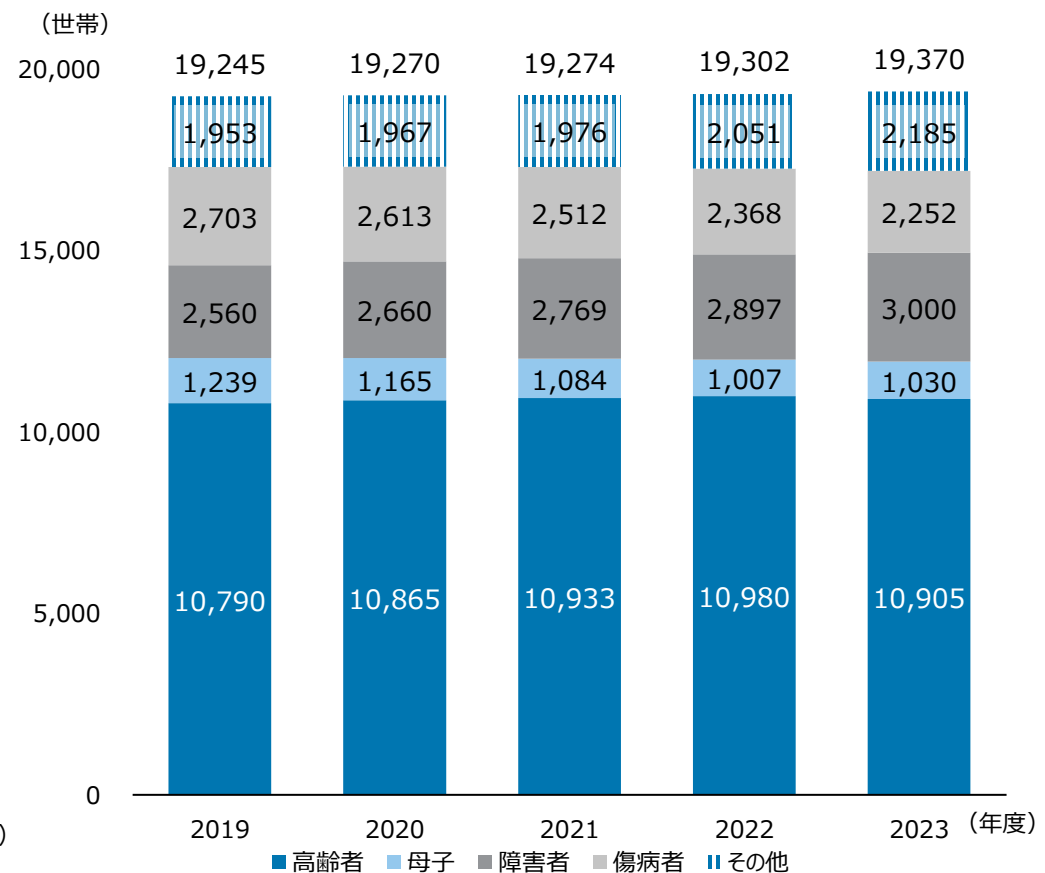
生活保護申請件数、受給世帯数の推移

- 生活保護の申請件数は増加傾向。
- 生活保護受給世帯は増加傾向、近年は障害者世帯、その他世帯が増加傾向。

生活保護申請件数の推移



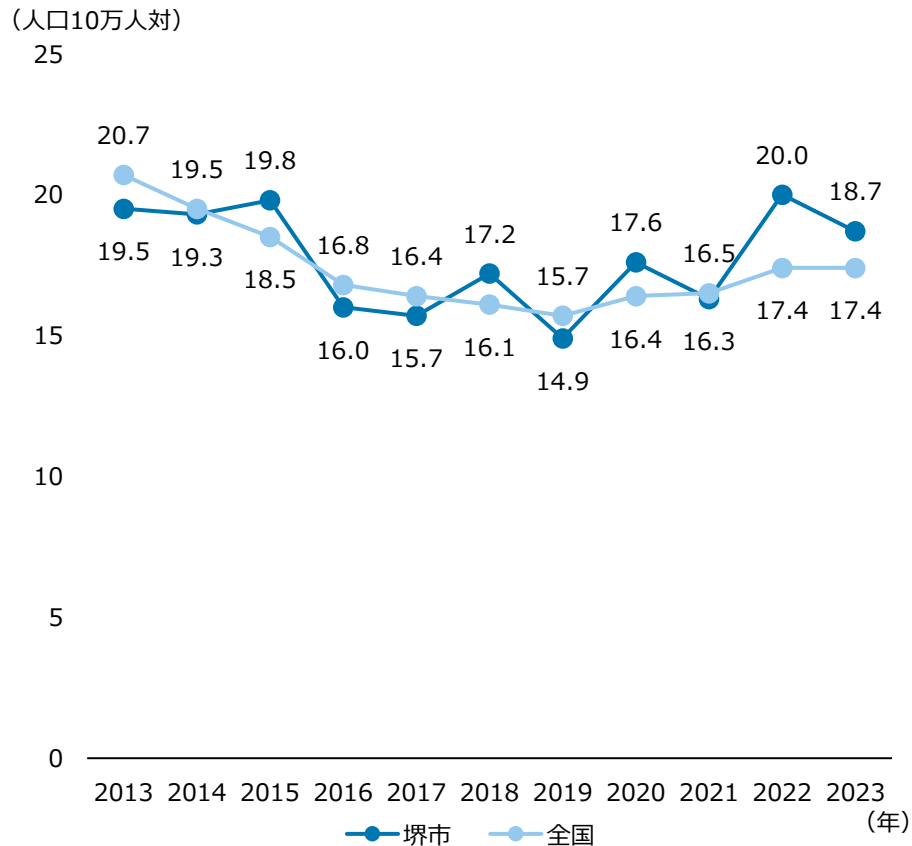
生活保護受給世帯数の推移



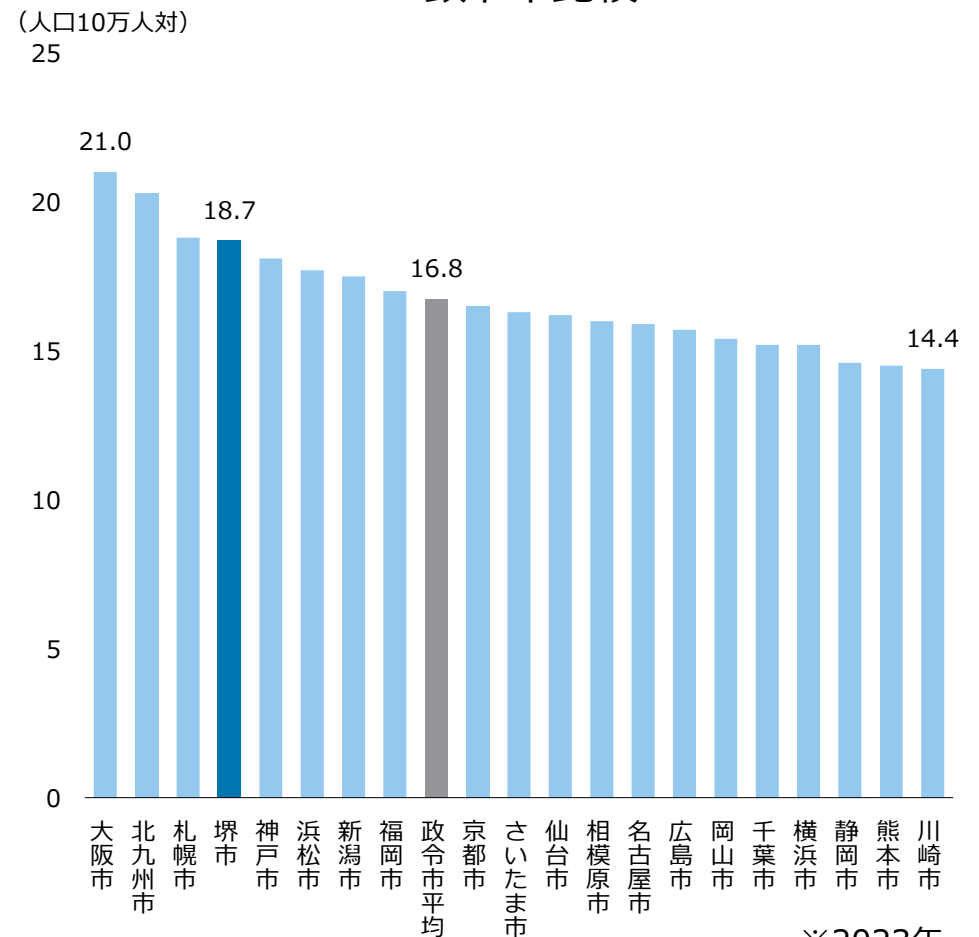
自殺死亡率の推移、政令市比較

- 自殺死亡率は増減を繰り返しており、2023年は低下。
- 政令市の中では4番目に高い。

自殺死亡率の推移

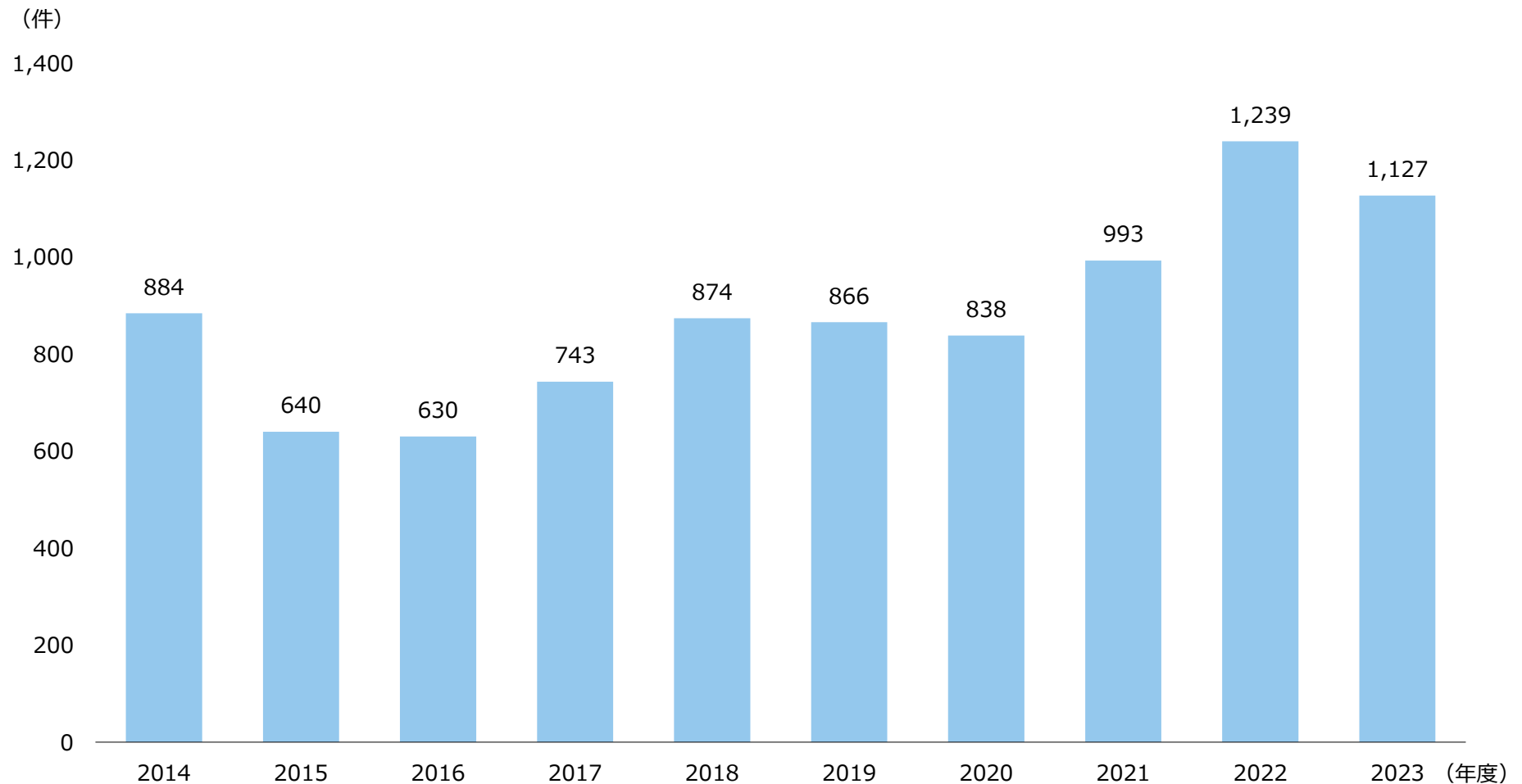


政令市比較



ひきこもりの相談件数の推移

○ ひきこもりの相談件数は増加傾向で推移していたが、2023年度は減少。

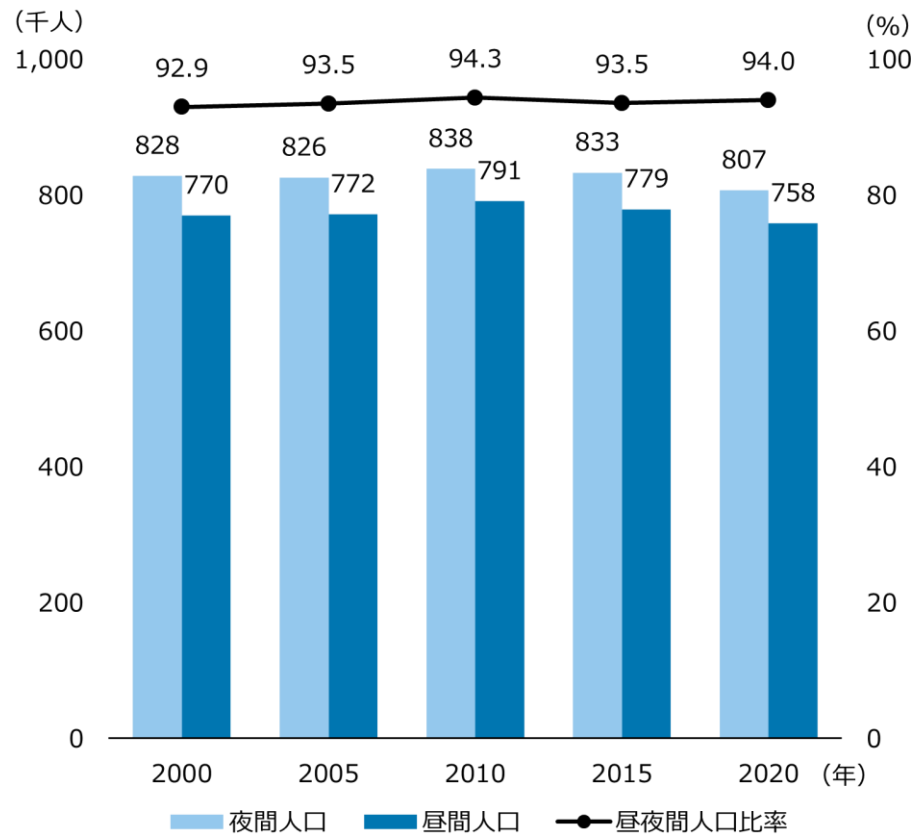


経済・産業

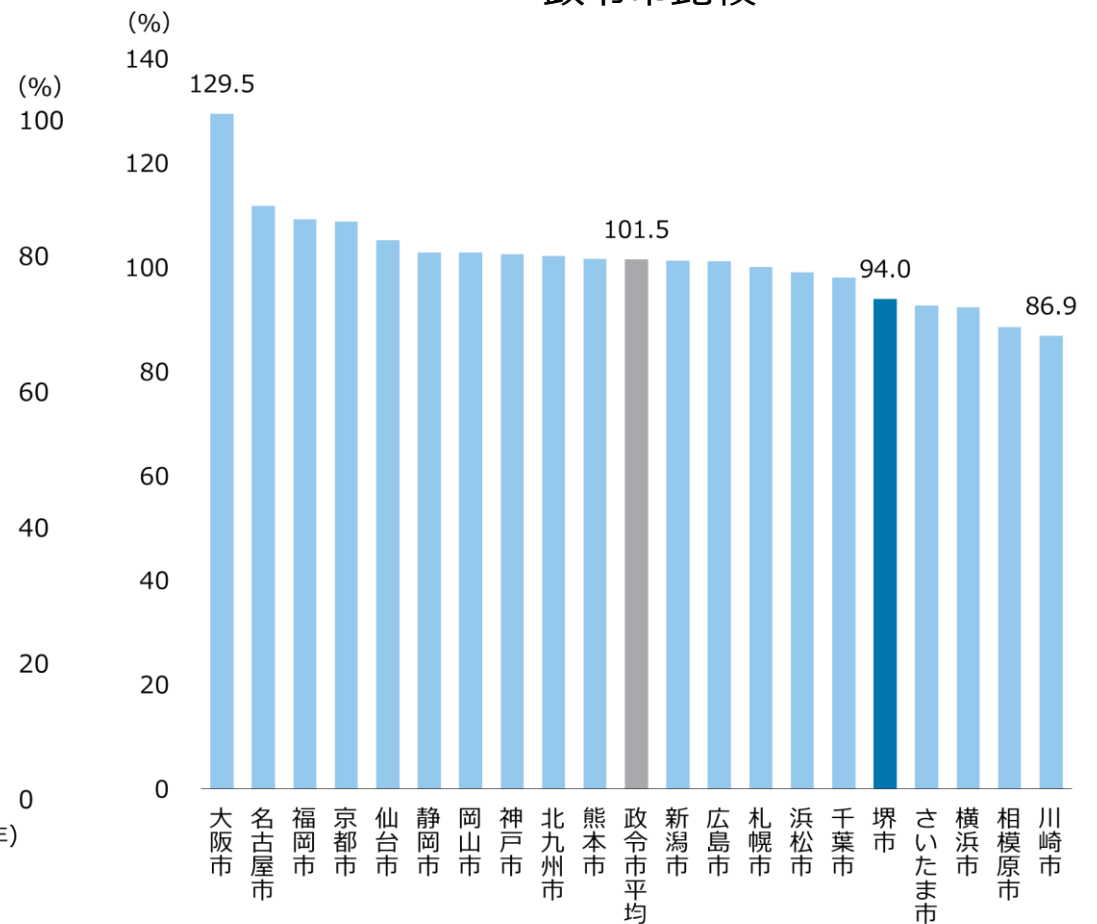
昼夜間人口比率等の推移、政令市比較

- 昼夜間人口比率は横ばい傾向、100を下回る水準で推移。
- 政令市の中では16番目。

昼夜間人口比率の推移

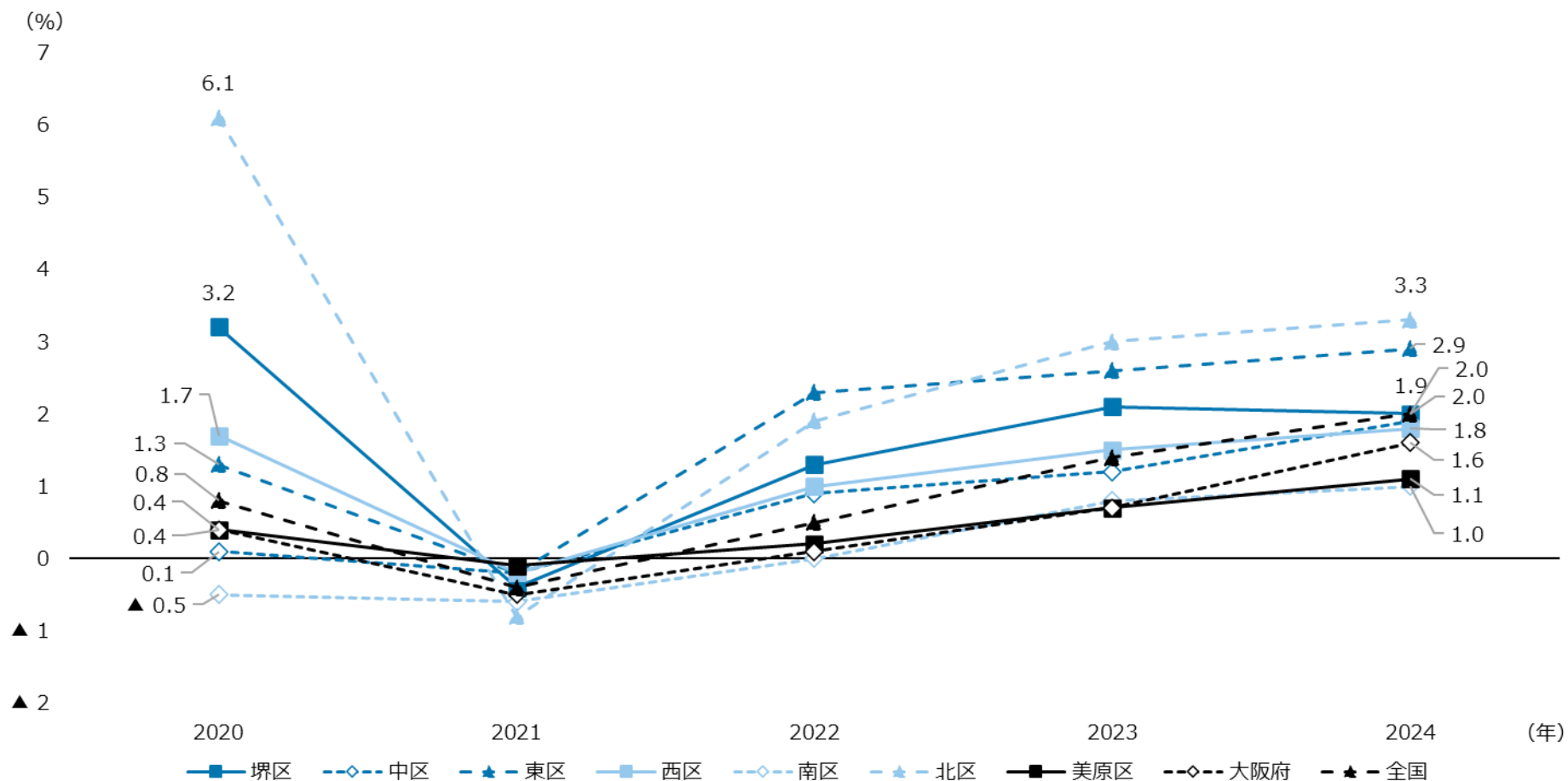


政令市比較



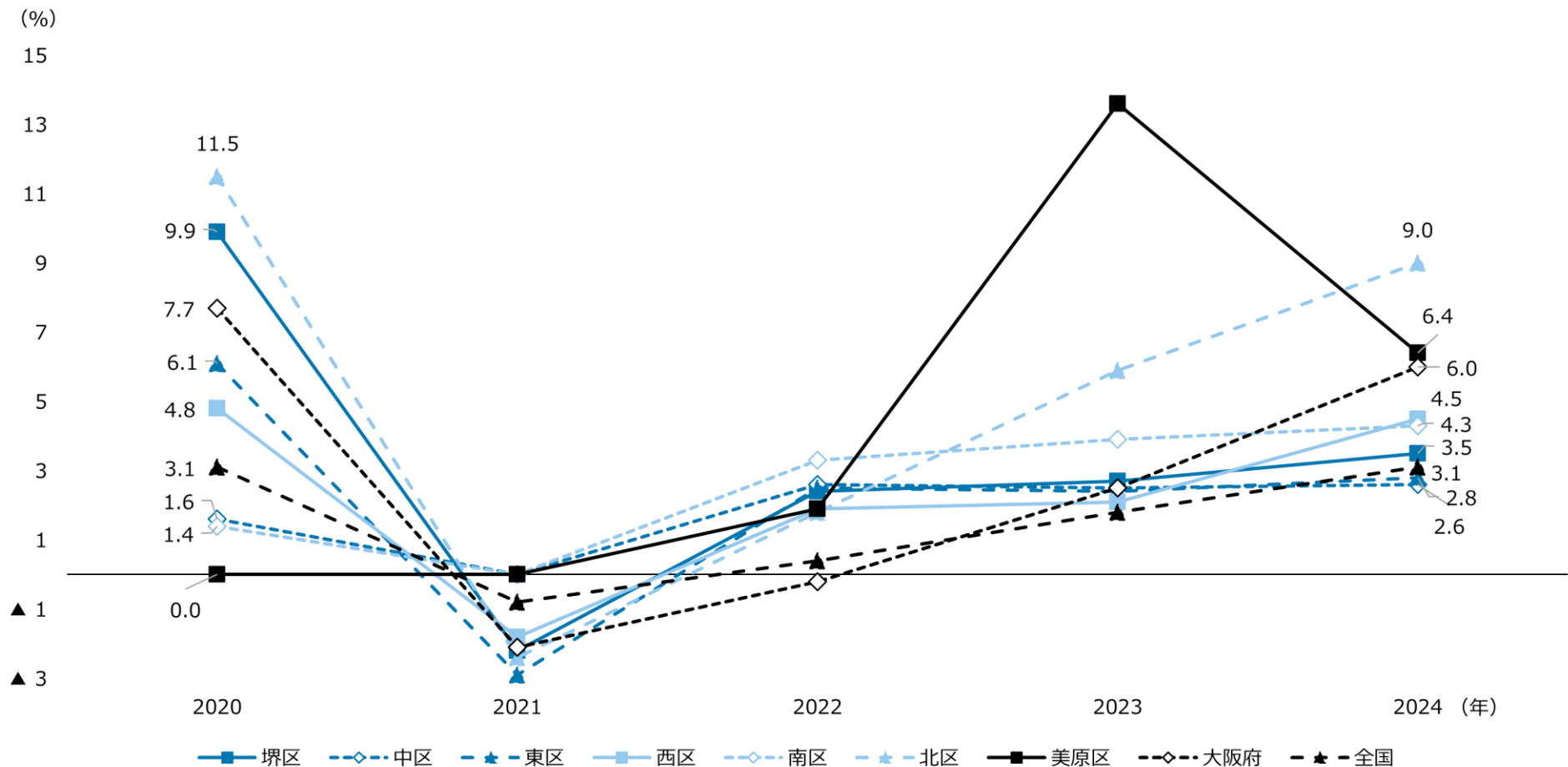
地価公示価格（住宅地）の対前年平均変動率の推移

- 住宅地の地価公示価格の対前年平均変動率は2021年にかけて下落したが、その後は上昇傾向。
- 区別では特に北区、東区、堺区が上昇傾向。



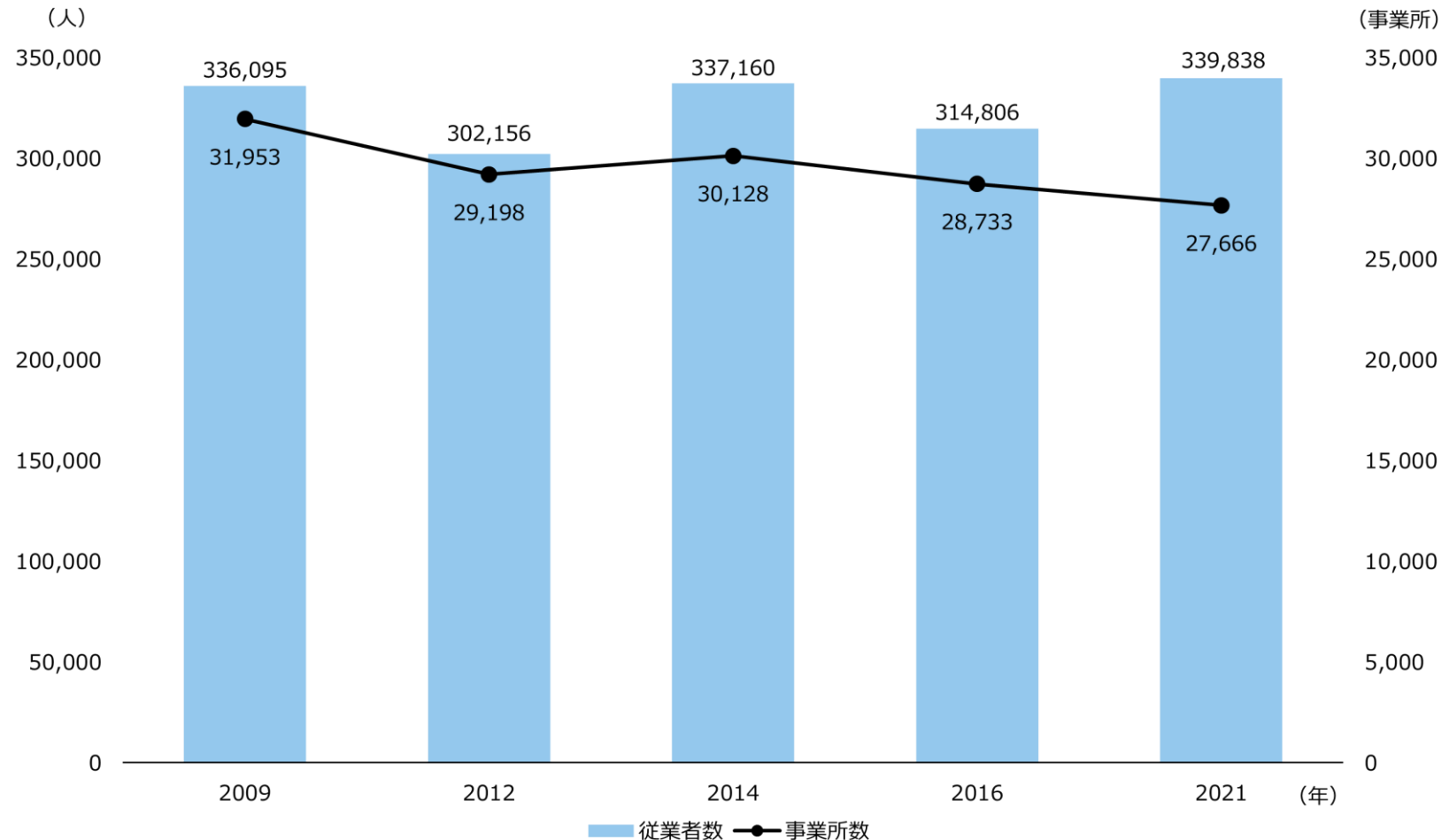
地価公示価格（商業地）の対前年平均変動率の推移

- 商業地の地価公示価格の対前年平均変動率は2021年にかけて下落したが、その後は上昇傾向。
- 区別では特に北区、美原区、南区が上昇傾向。



事業所数、従業者数の推移

○ 事業所数は減少傾向、従業者数は横ばい傾向で推移。

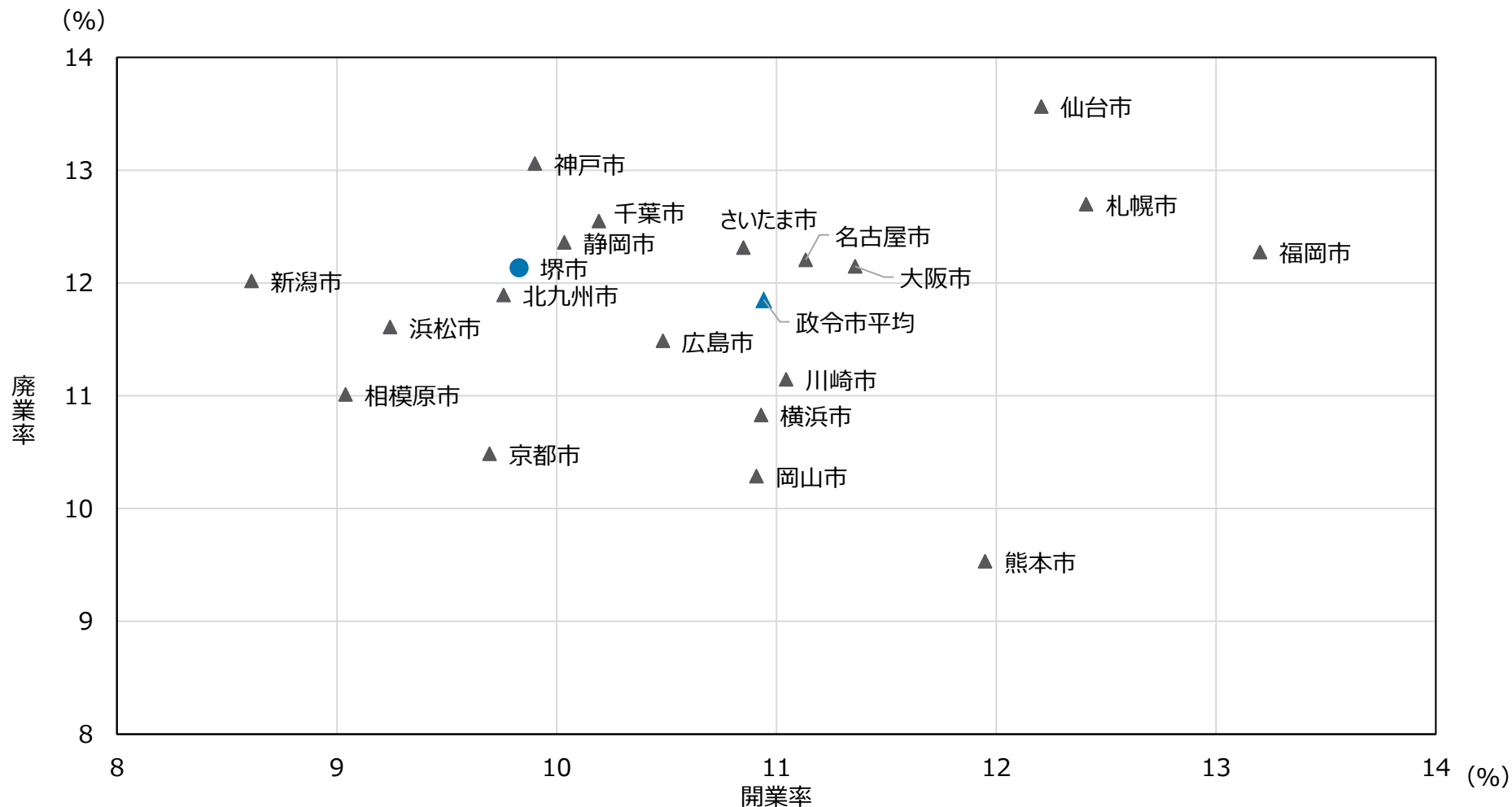


※各調査や調査年次ごとに調査方法等が異なるため、時系列での単純比較はできない。

(資料) 総務省「経済センサス」(2009年、2014年は基礎調査、2012年、2016年、2021年は活動調査)

政令市の開業率、廃業率の分布

○ 開業率は政令市平均を下回り、廃業率は上回っている。



※「開業率＝(R3新設事業所数/調査間隔*12か月)/R1事業所数」、「廃業率＝(R3廃業事業所数/調査間隔*12か月)/R1事業所数」

※堺市の開業率は9.8% ((6889÷24×12) ÷35097×100)

堺市の廃業率は12.1% ((8519÷ 6889÷24×12) ÷35097×100)

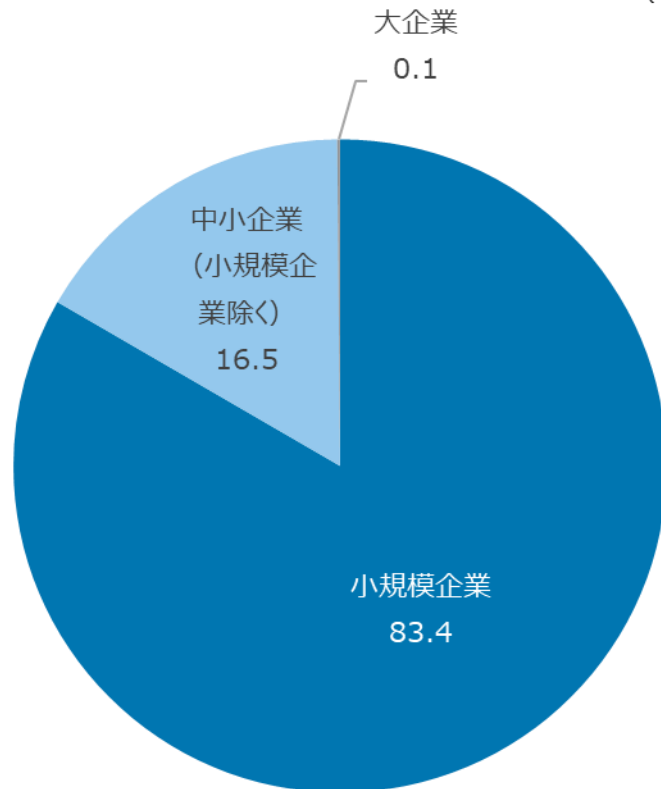
(資料) 総務省「令和3年経済センサス活動調査、令和元年経済センサス基礎調査」

企業の規模別割合、企業規模別の従業者割合

- 市内企業の99.9%が中小企業であり、そのうち小規模企業は80%以上を占める。
- 市内従業者の80%以上は中小企業の従業者。

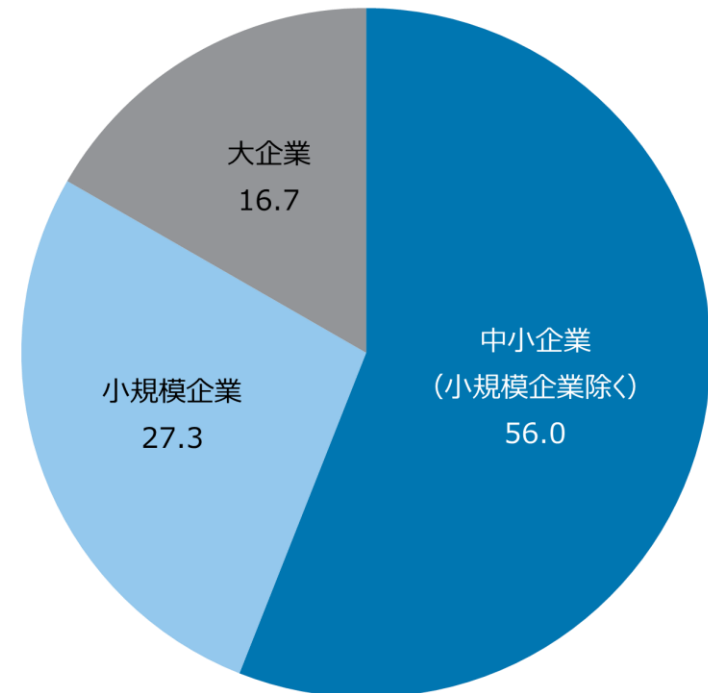
企業の規模別割合

(%)



企業規模別の従業者割合

(%)

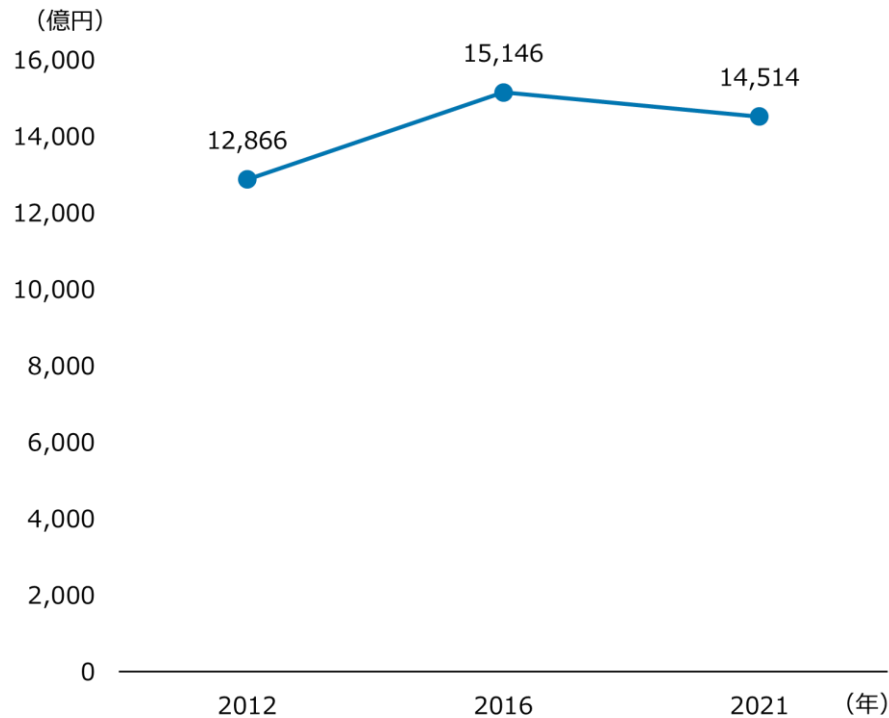


付加価値額の推移、産業別の割合

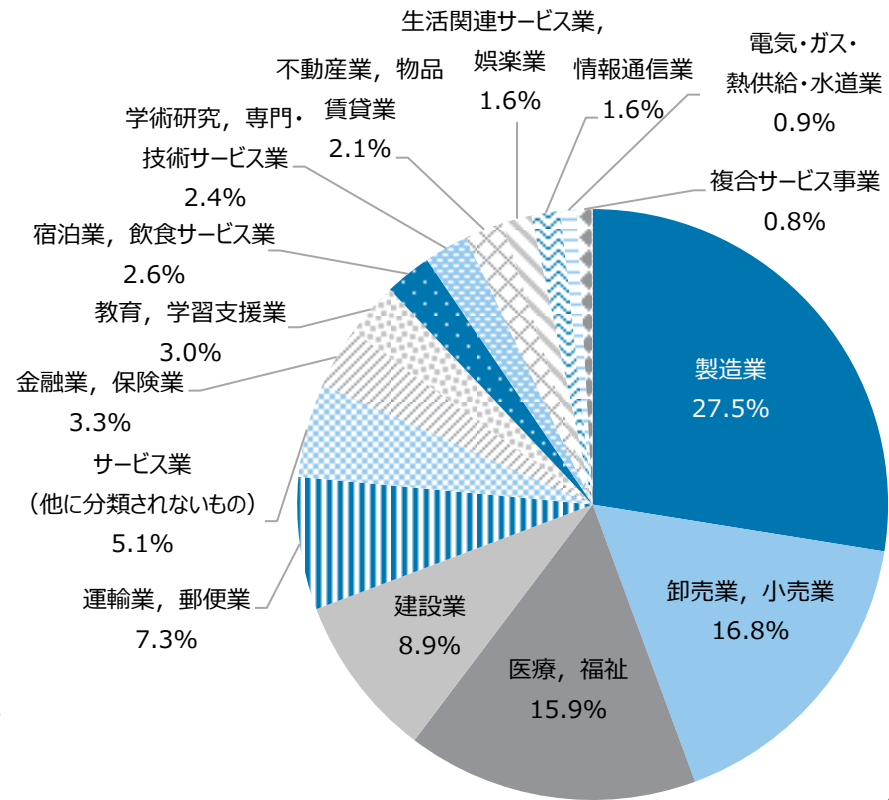
付加価値額…企業の生産活動によって新たに生み出された価値

- 付加価値額は2021年に減少。
- 付加価値額の産業別割合は製造業が約30%で最も高く、次いで卸売業・小売業、医療・福祉が高い。

付加価値額の推移



付加価値額の産業別割合



※2021年

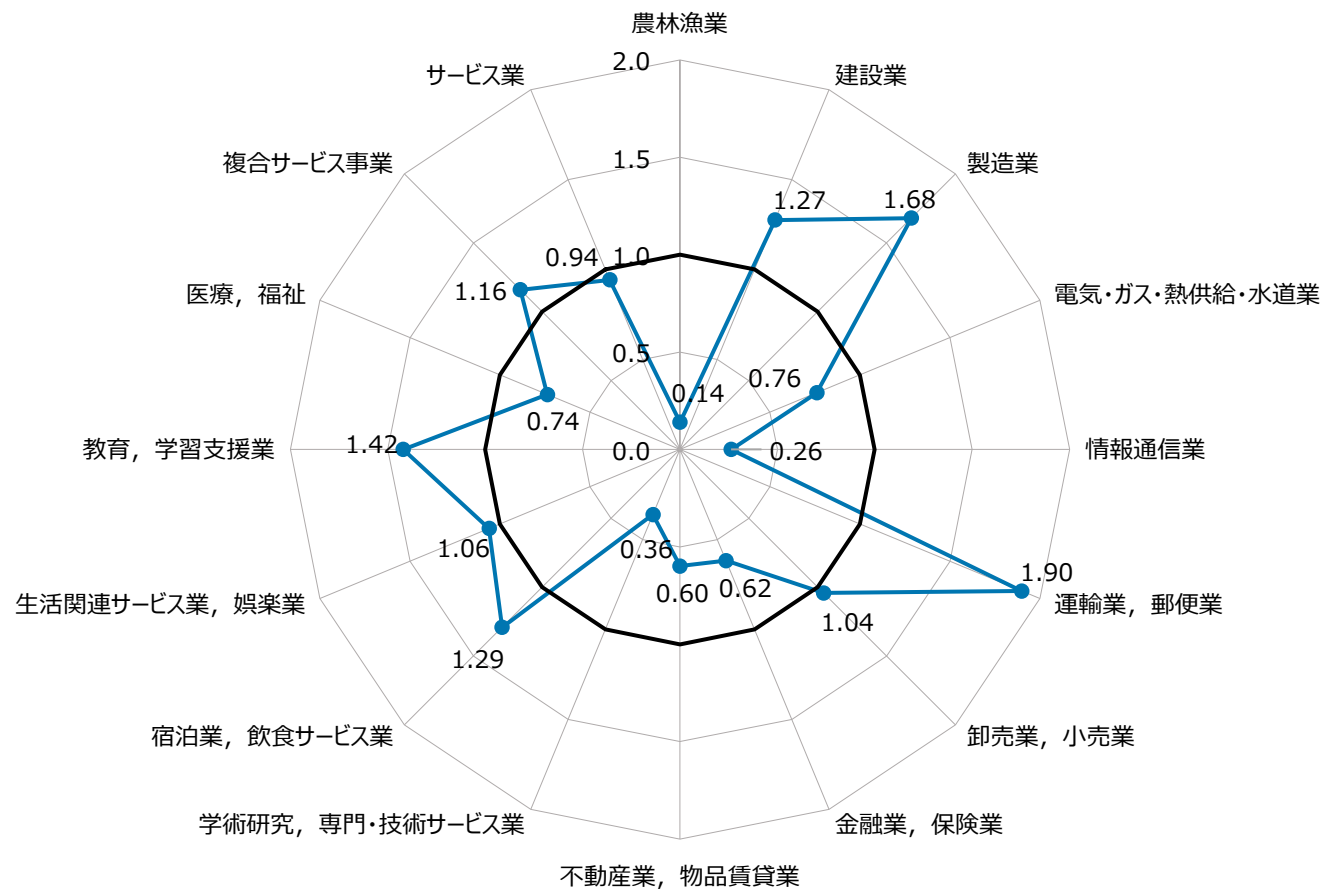
※調査年次ごとに調査方法等が異なるため、時系列での単純比較はできない。

(資料) 総務省「経済センサス活動調査」

特化係数（付加価値額）

特化係数…全国の構成比を基準（＝１）として地域の構成比と比較した値

○ 付加価値額ベースの特化係数は運輸業・郵便業、製造業が特に高い。

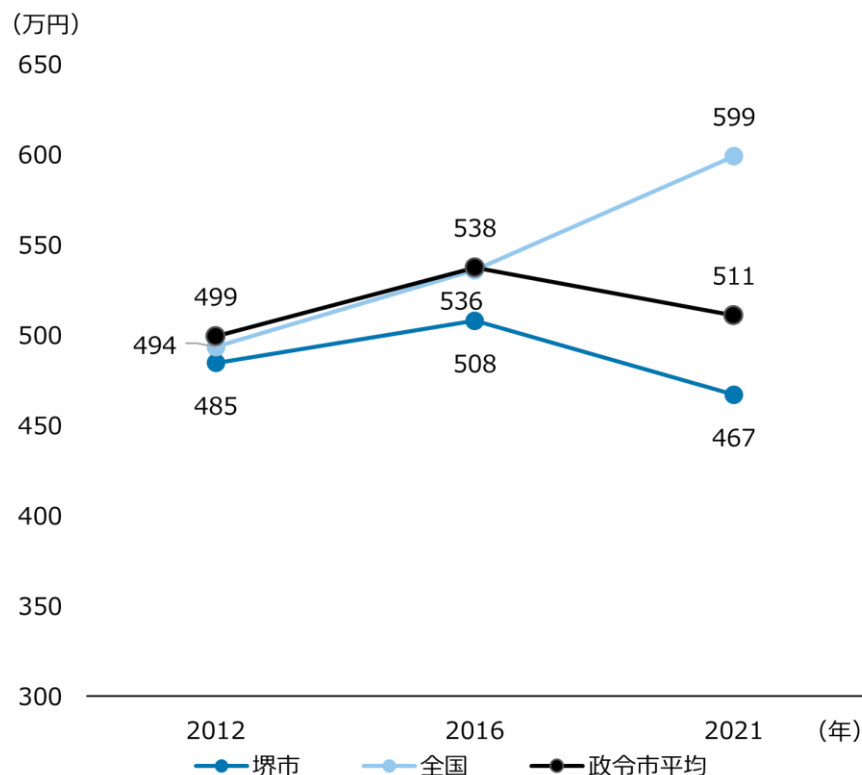


事業従事者1人あたりの付加価値額の推移、政令市比較

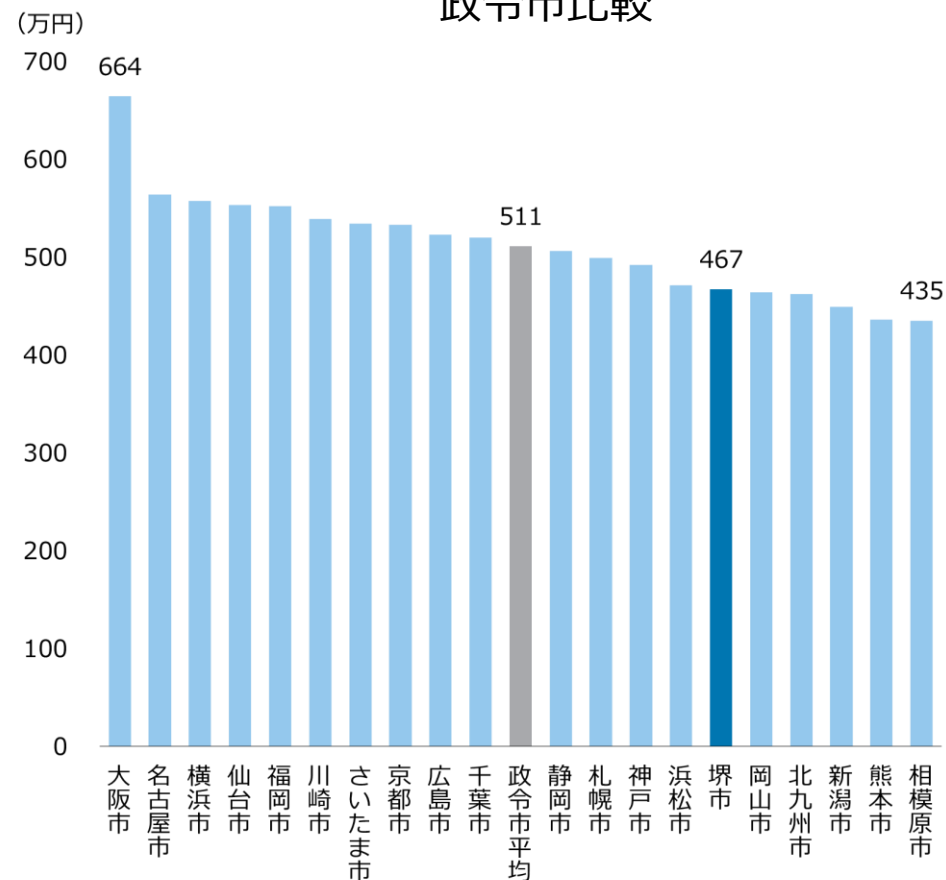


- 事業従事者1人あたりの付加価値額は全国や政令市平均を下回る水準で推移。
- 政令市の中では15番目。

事業従事者1人あたりの付加価値額の推移



政令市比較



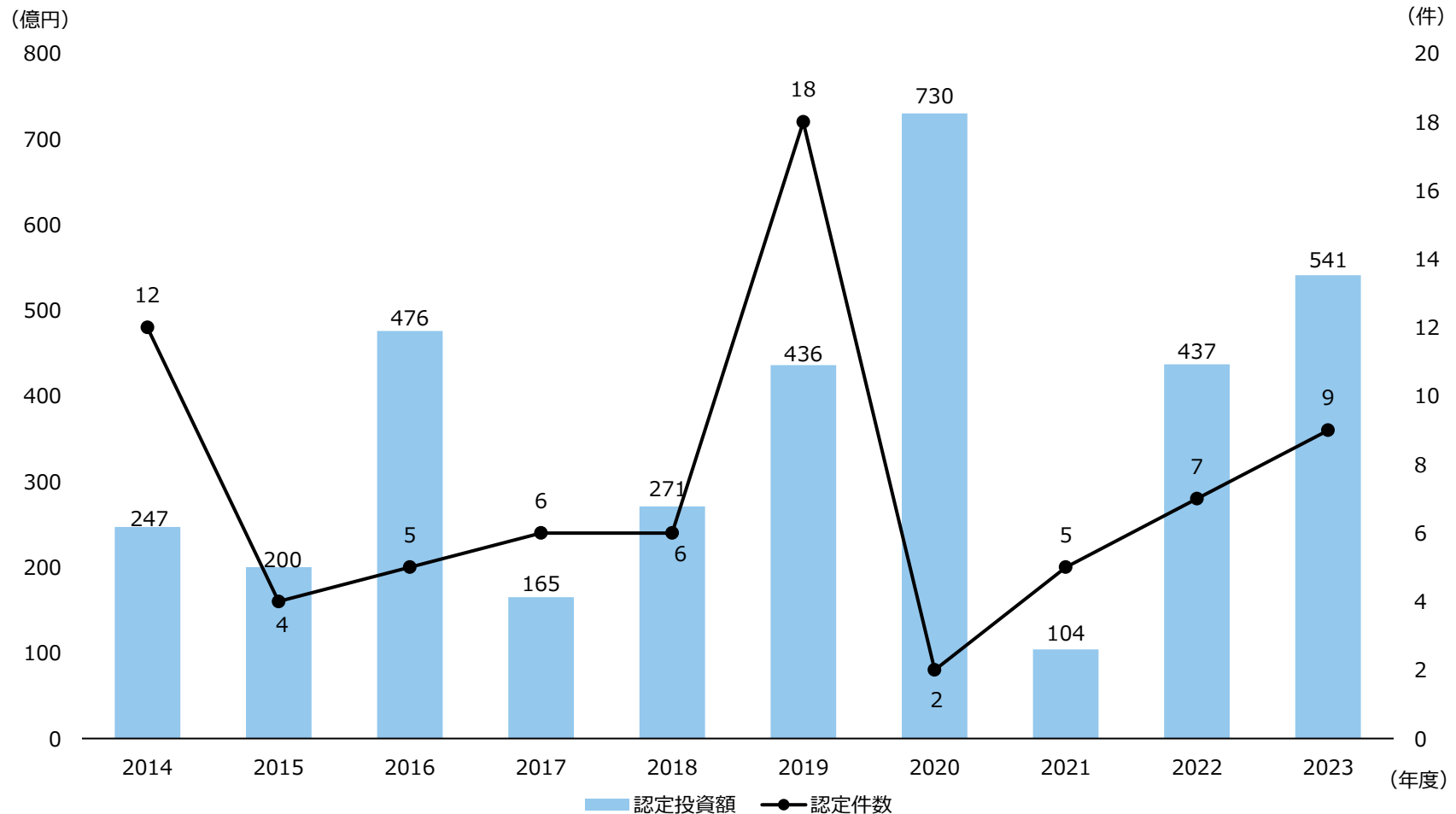
※調査年次ごとに調査方法等が異なるため、時系列での単純比較はできない。

(資料) 総務省「経済センサス活動調査」

※2021年

イノベーション投資促進条例の認定投資額等の推移

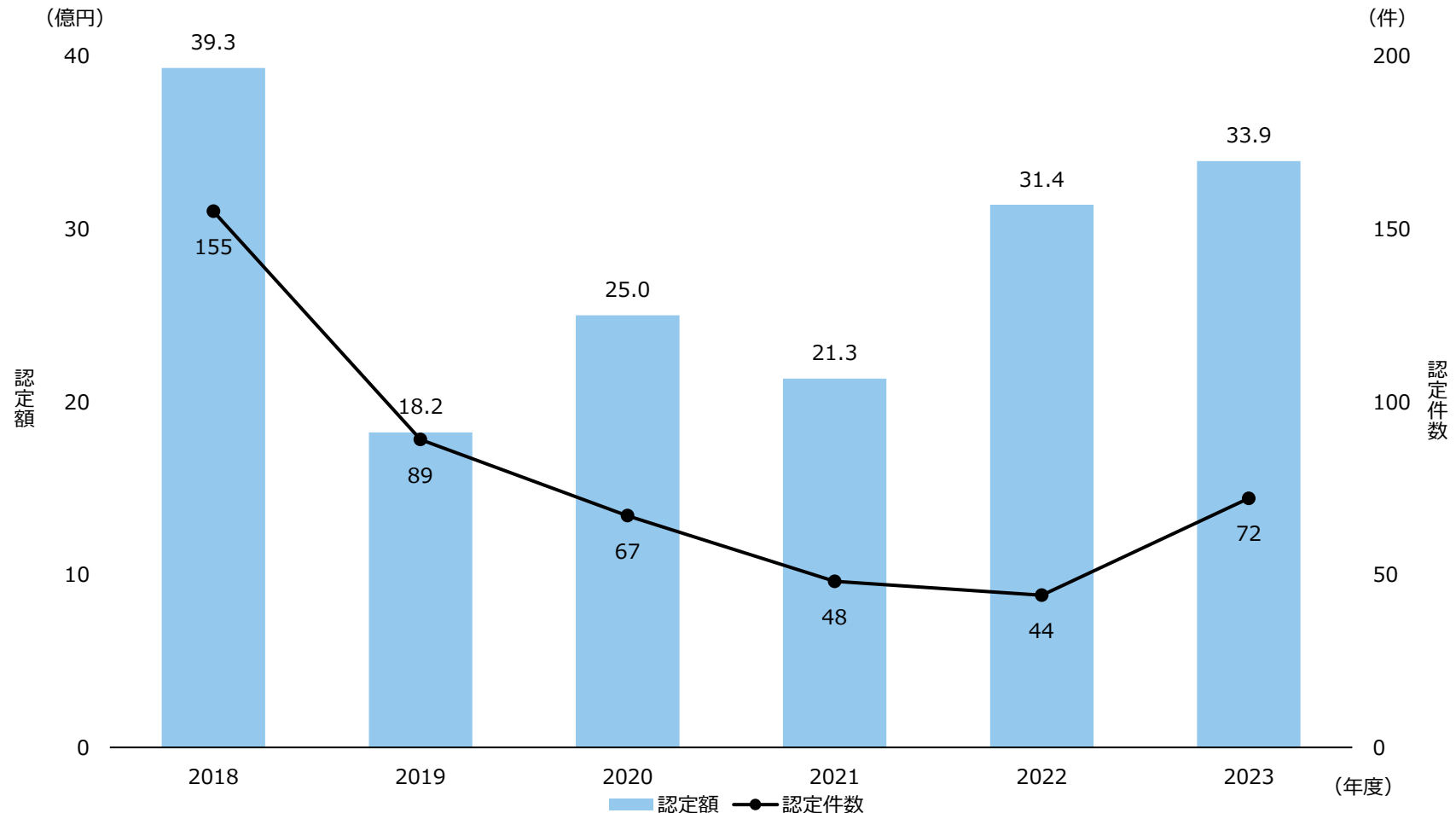
○ イノベーション投資促進条例の認定投資額は2022年度以降、増加傾向。



先端設備等導入計画の認定投資額等の推移

先端設備等導入計画…中小企業者が先端設備の投資により生産性向上を図るための計画

○ 先端設備等導入計画の認定投資額は2022年度以降、増加傾向。



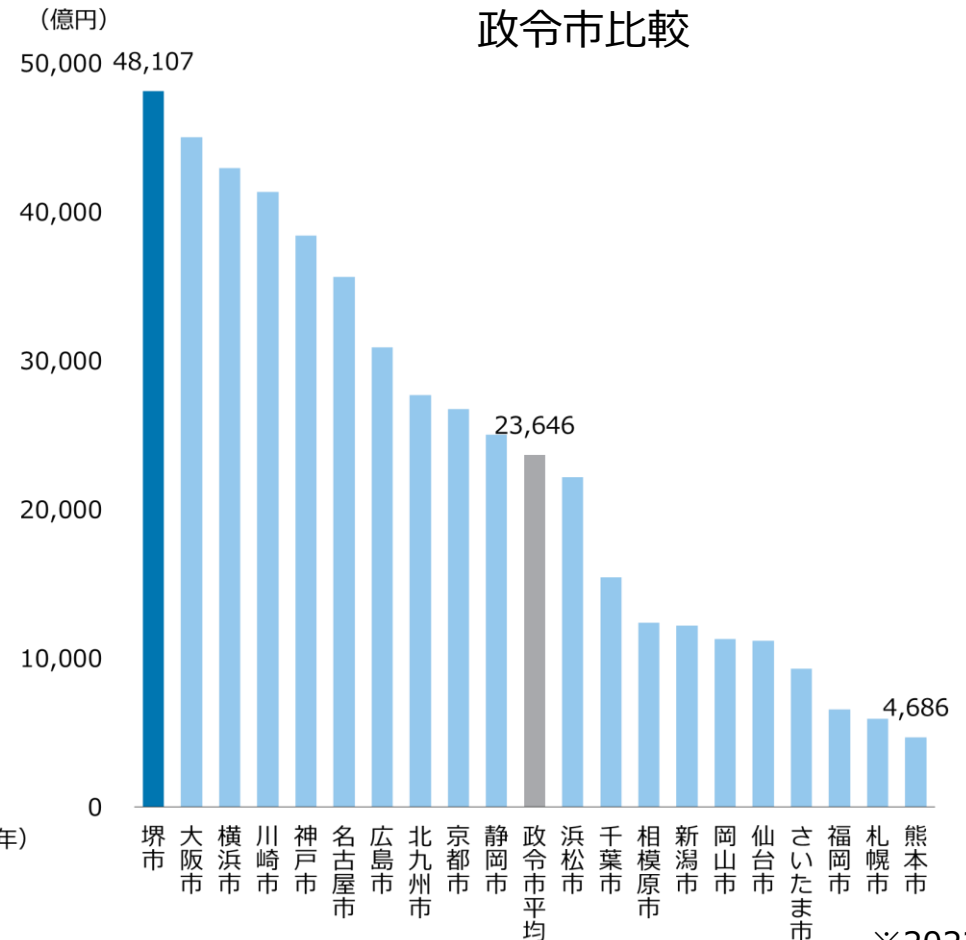
製造品出荷額等の推移、政令市比較

- 製造品出荷額等は2021年以降、増加傾向。
- 政令市の中では最も多い。

製造品出荷額等の推移



政令市比較

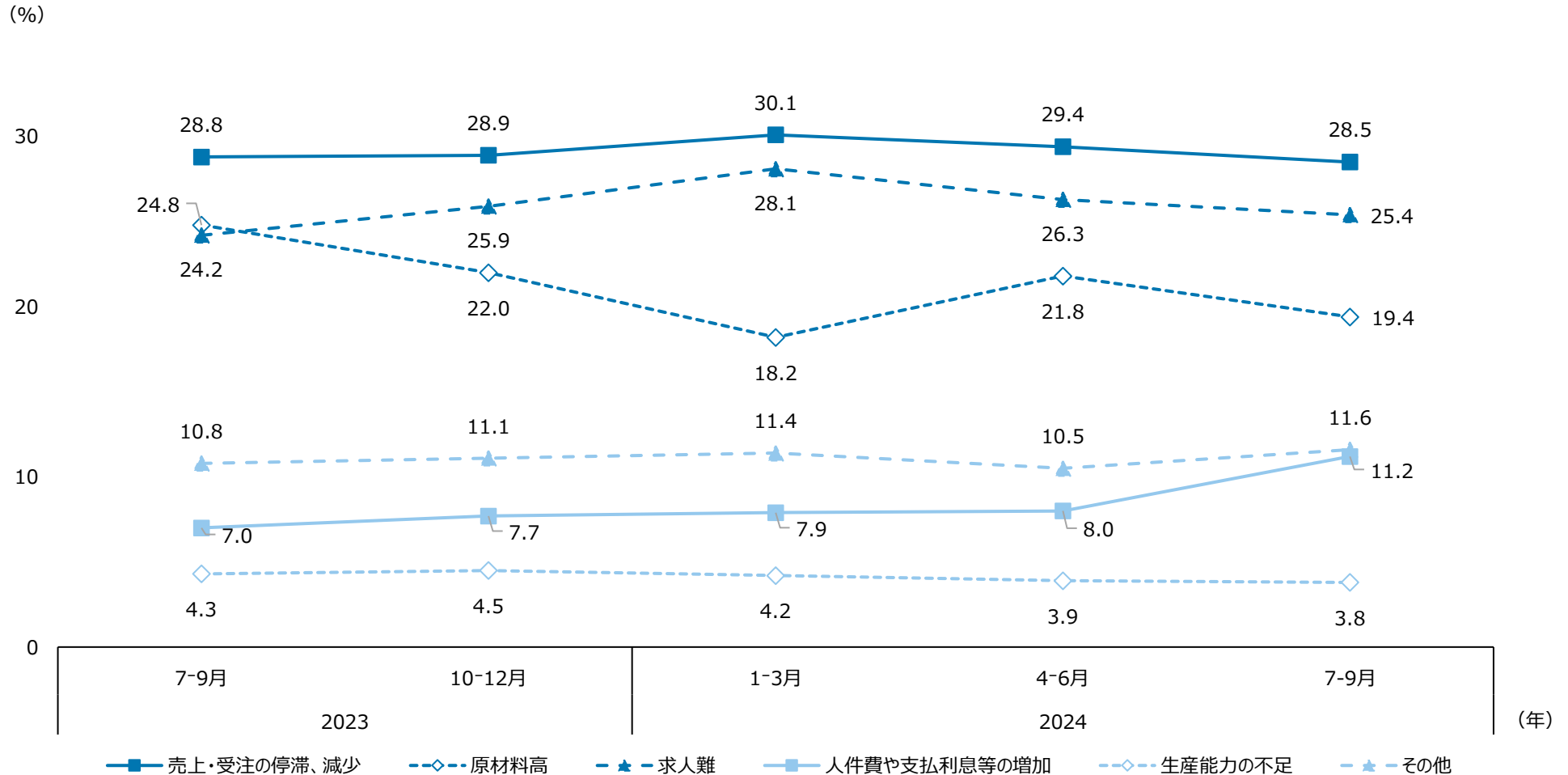


※各調査や調査年次ごとに調査方法等が異なるため、時系列での単純比較はできない。

(資料) 経済産業省「工業統計調査」、総務省「経済センサス活動調査」「経済構造実態調査」(2012年、2016年、2021年は経済センサス活動調査、2022年は経済構造実態調査)

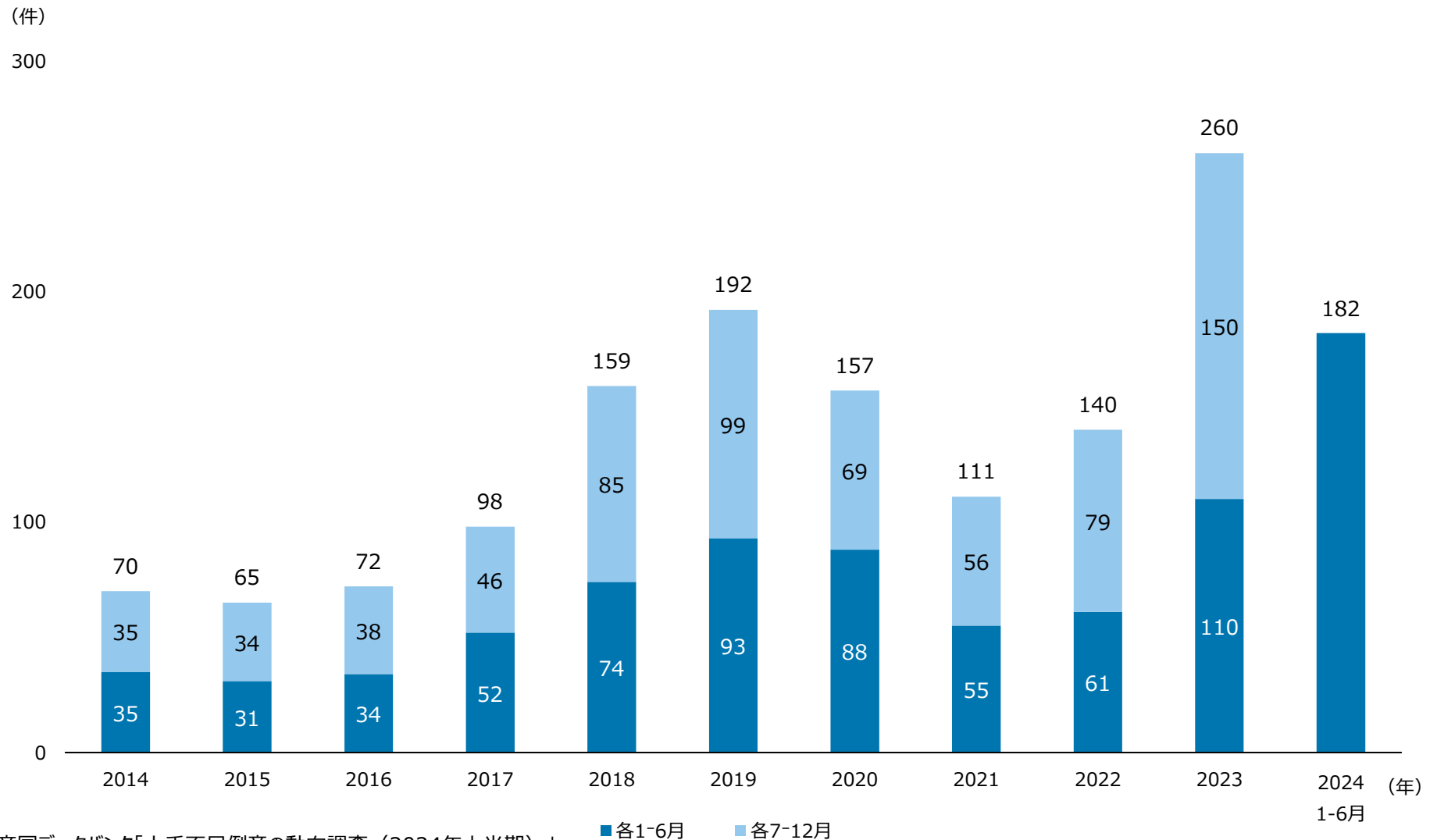
中小企業の経営上の問題点（全国）

- 全国の中小企業の経営上の問題点は「売上・受注の停滞、減少」との回答が最も多く、次いで「求人難」「原材料高」が多い。



人手不足倒産件数の推移（全国）

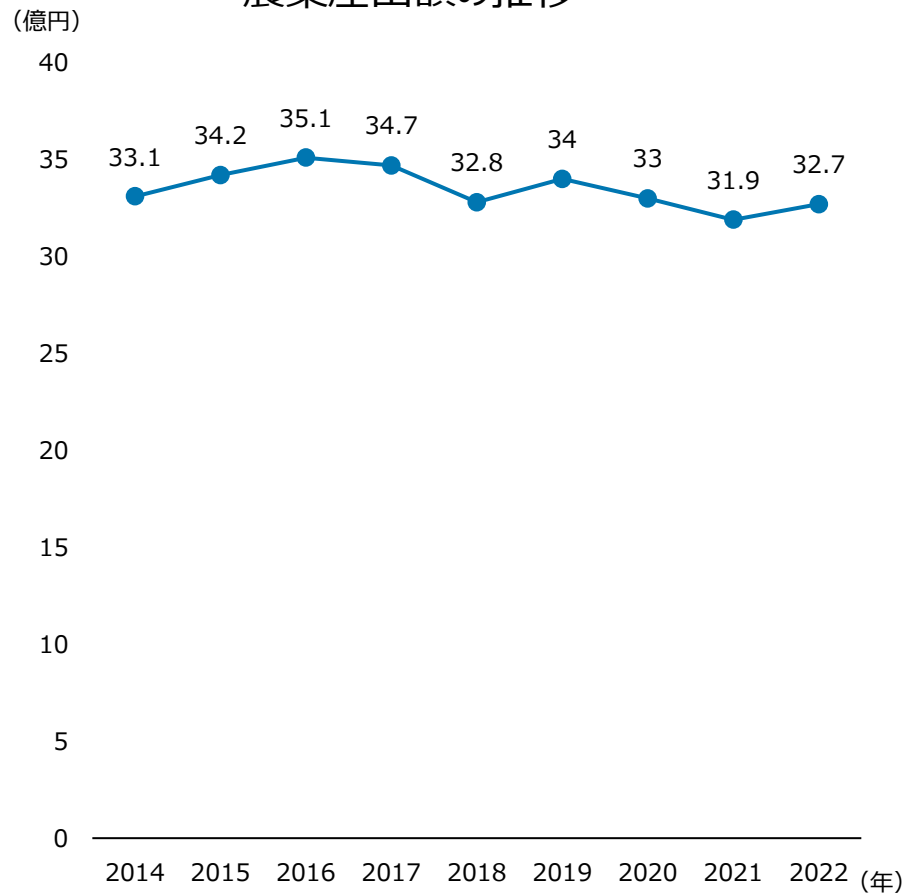
○ 従業員の退職や採用難、人件費高騰などを原因とする「人手不足倒産」は2024年上半期（1～6月）において過去最多となった2023年上回るペースで推移。



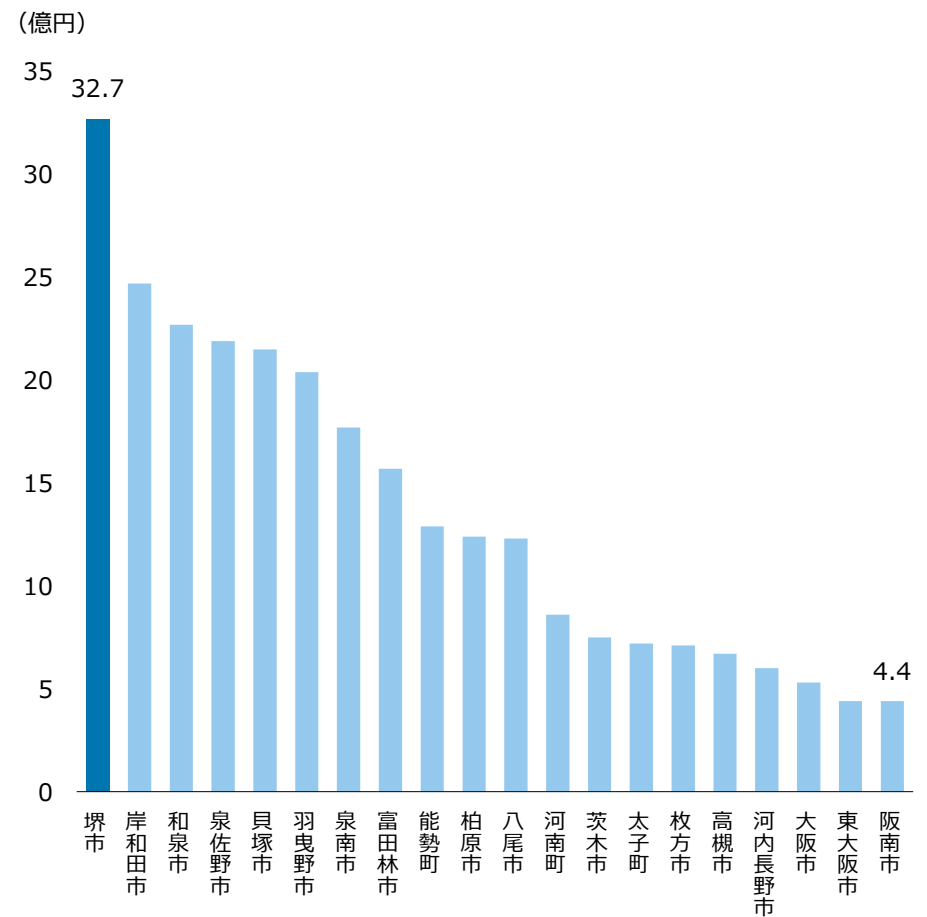
農業産出額の推移、大阪府内自治体比較

- 農業産出額は横ばい傾向で推移。
- 大阪府内自治体の中では最も多い。

農業産出額の推移



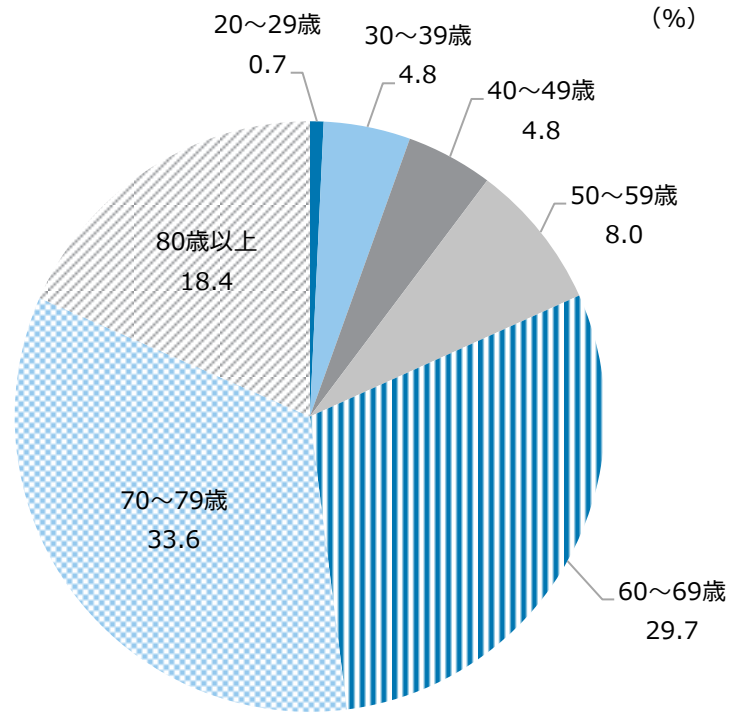
大阪府内自治体比較（上位20自治体）



農業従事者の年齢別割合、耕地面積の推移

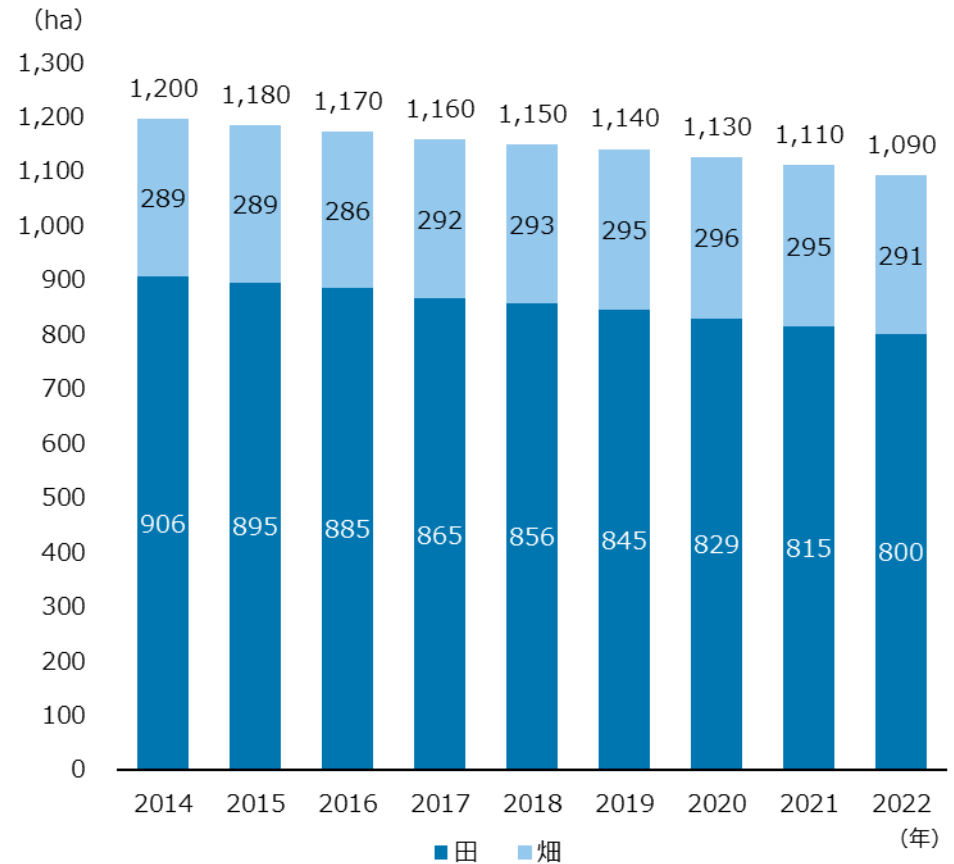
- 農業従事者の年齢は60代以上が80%以上を占める。
- 耕地面積は減少傾向、そのうち「田」は減少傾向、「畑」は横ばい傾向で推移。

農業従事者の年齢別割合



※2022年

耕地面積の推移

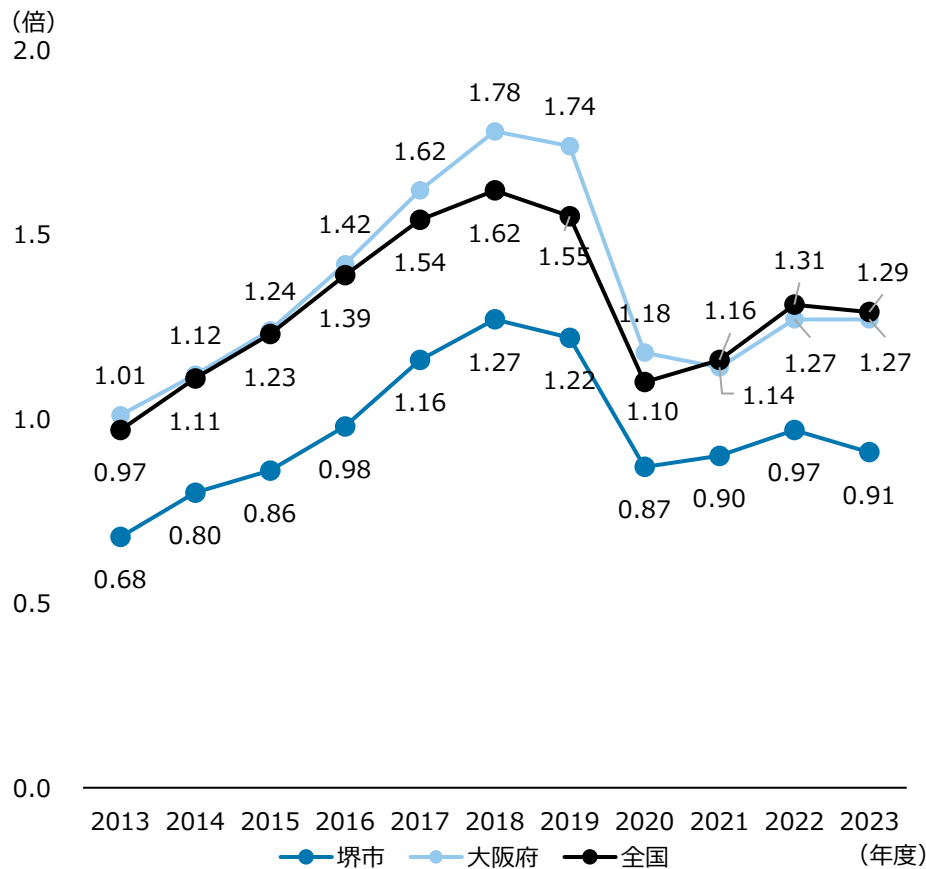


雇用・人材

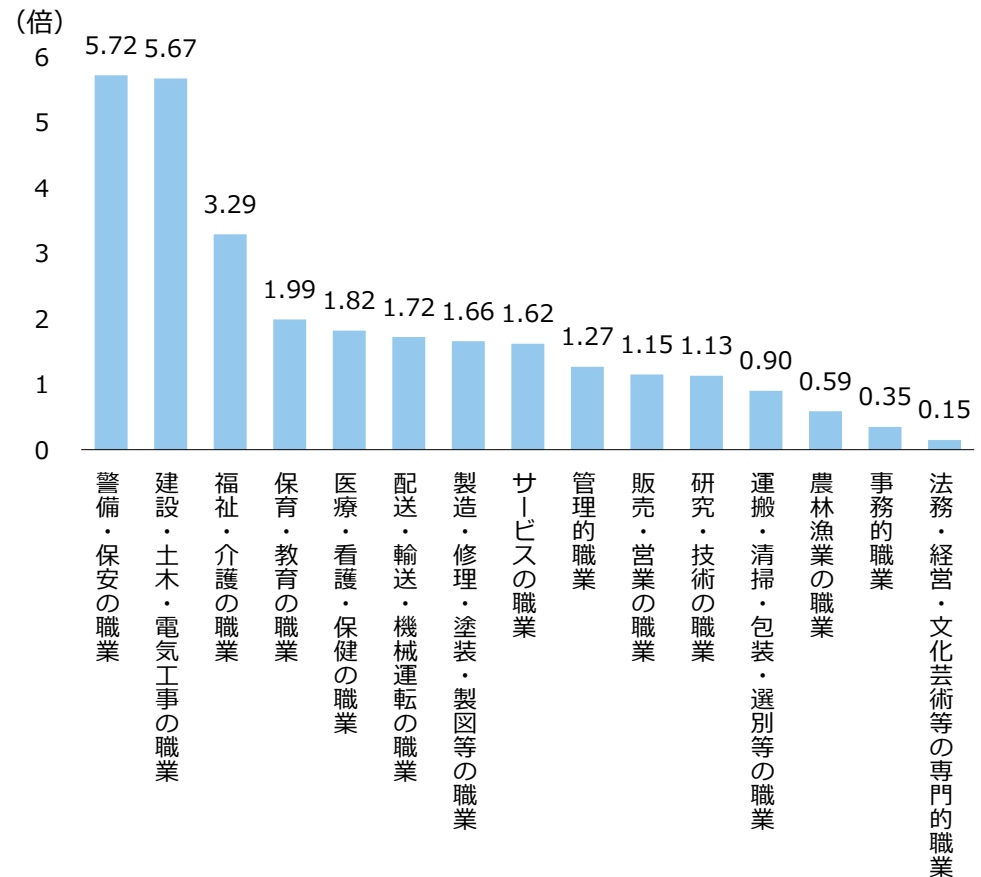
有効求人倍率の推移、主な職種の有効求人倍率

- 有効求人倍率は近年は上昇傾向であったが、2023年度は低下。全国、大阪府を下回る水準で推移。
- 主な職種の有効求人倍率は職種による差が大きく、最も高い「警備・保安の職業」は5倍以上。

有効求人倍率の推移



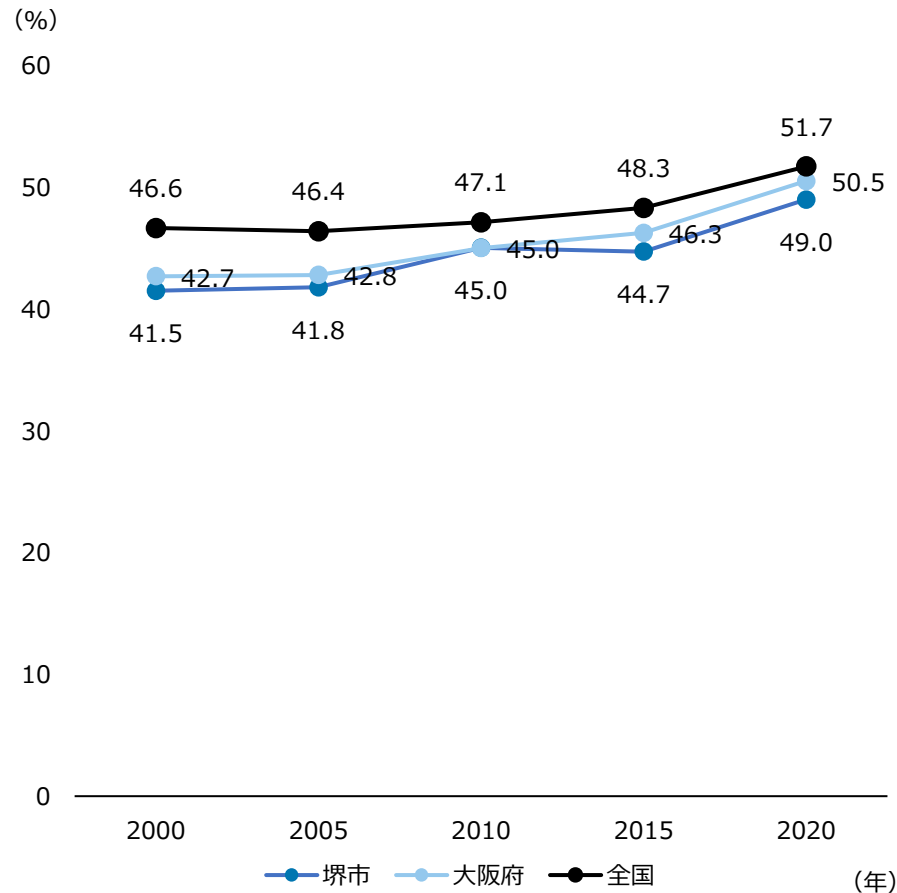
主な職種の有効求人倍率



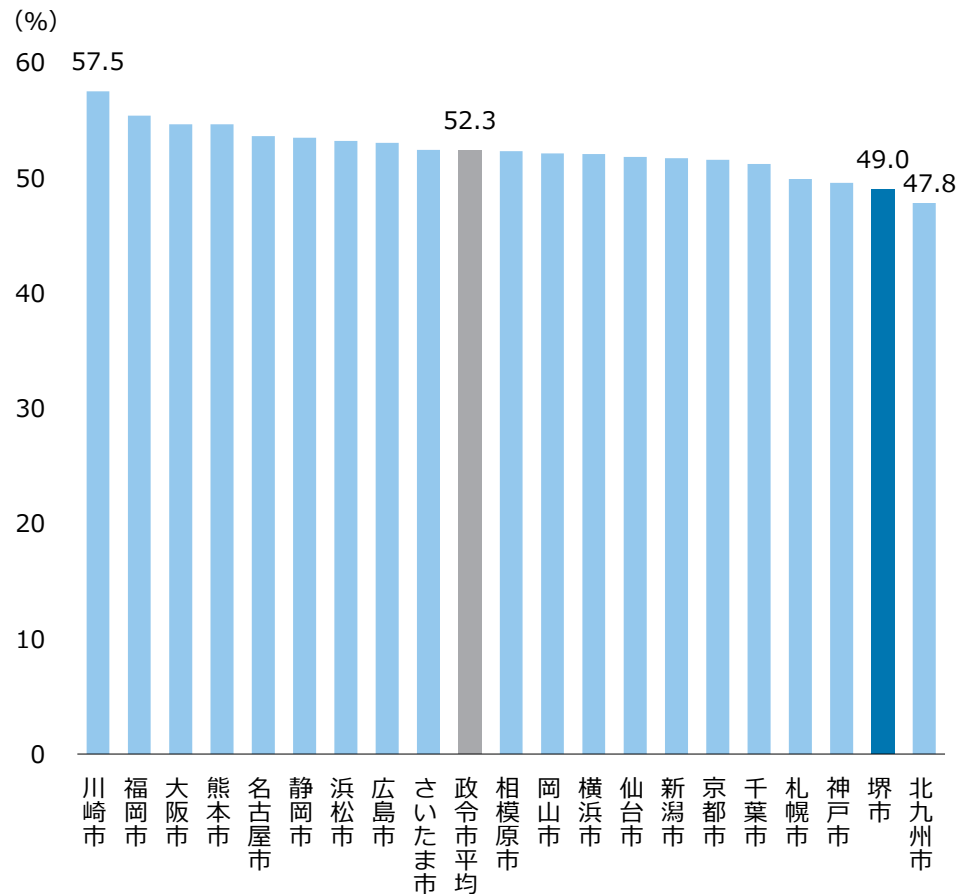
女性の就業率の推移、政令市比較

- 女性の就業率は上昇傾向であるが、全国・大阪府を下回る水準で推移。
- 政令市の中では19番目。

女性の就業率の推移

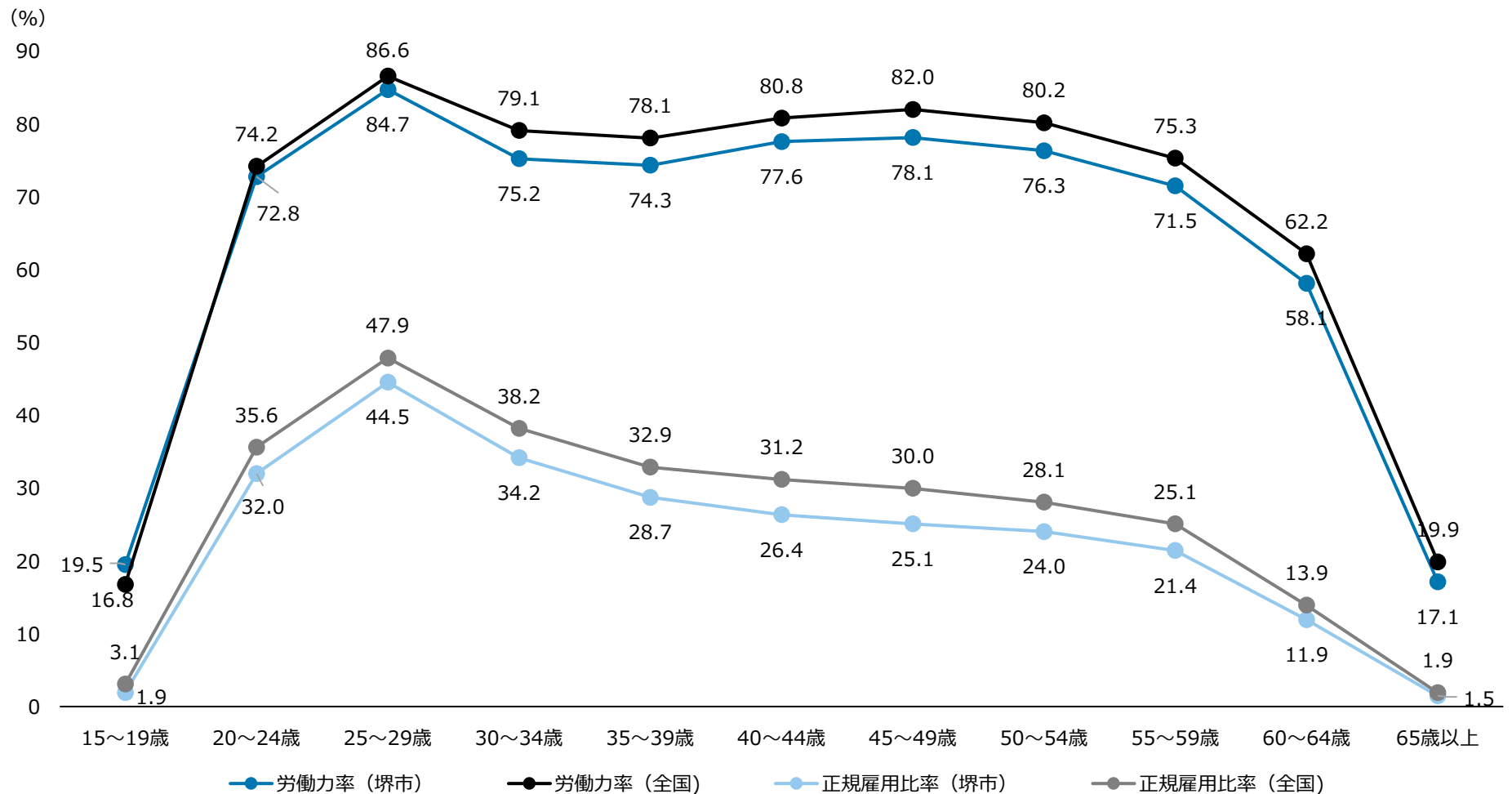


政令市比較



女性の年齢階級別の労働力率、正規雇用比率

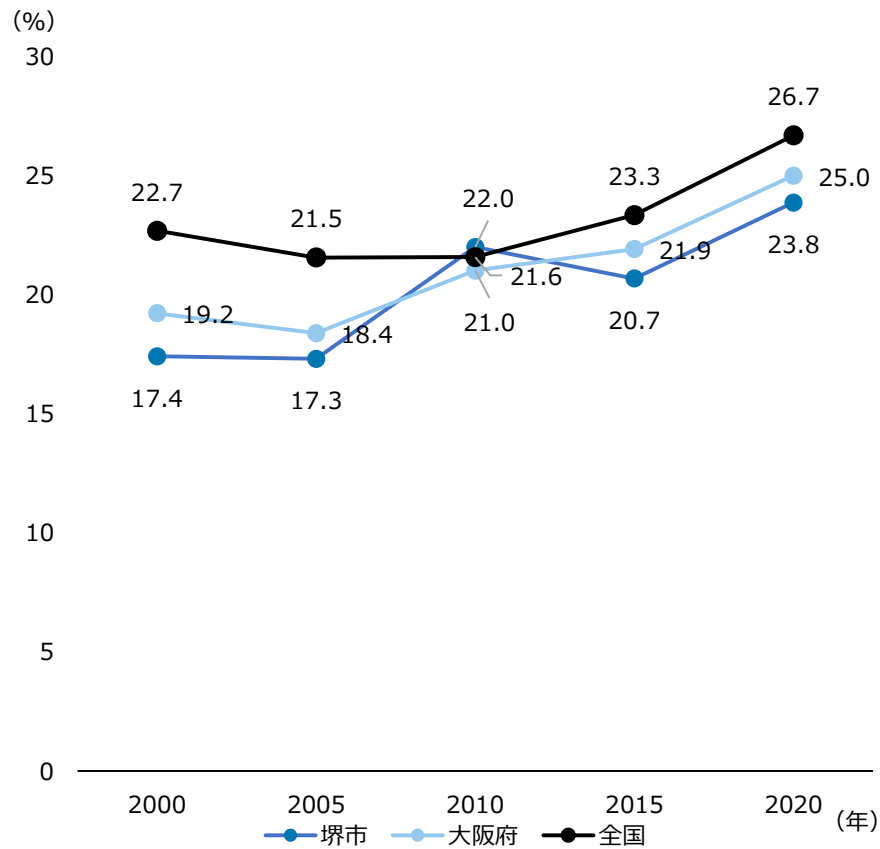
- 女性の年齢階級別労働力率（M字カーブ）は15～19歳を除き、全国を下回っている。
- 女性の年齢階級別正規雇用比率（L字カーブ）は全ての年齢階級で全国を下回っている。



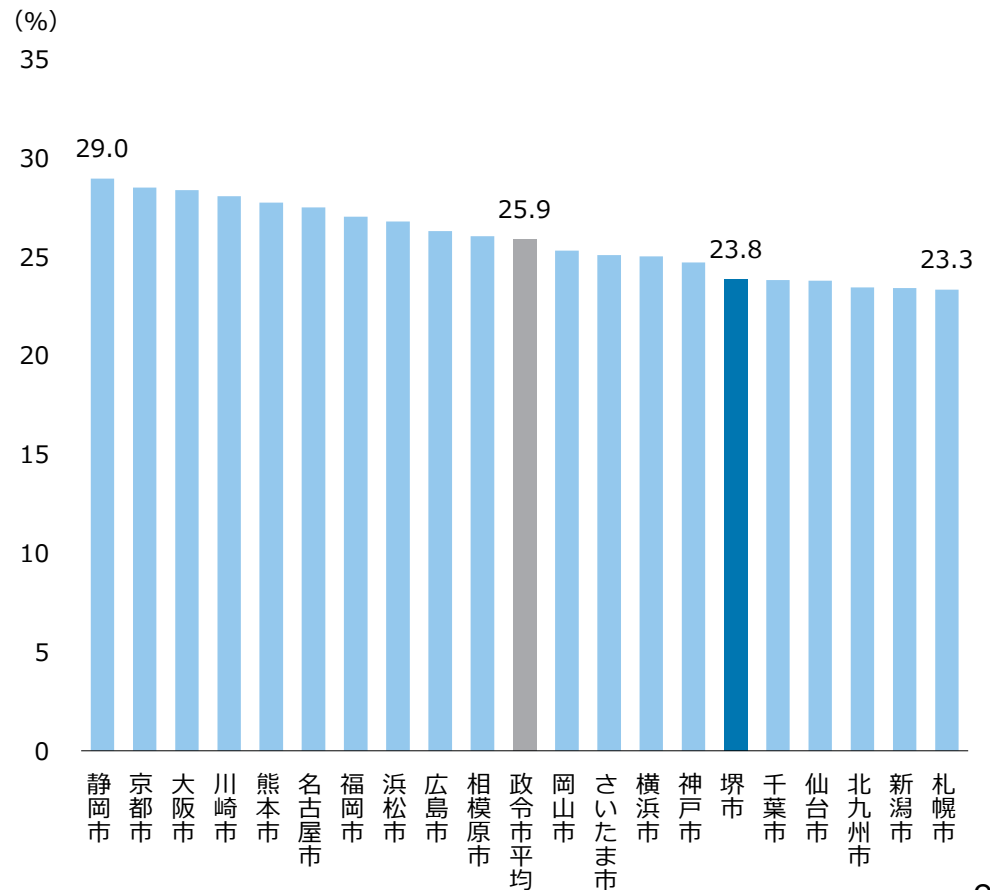
高齢者の就業率の推移

- 高齢者の就業率は上昇傾向であるが、全国、大阪府を下回る水準で推移。
- 政令市の中では15番目。

高齢者の就業率の推移

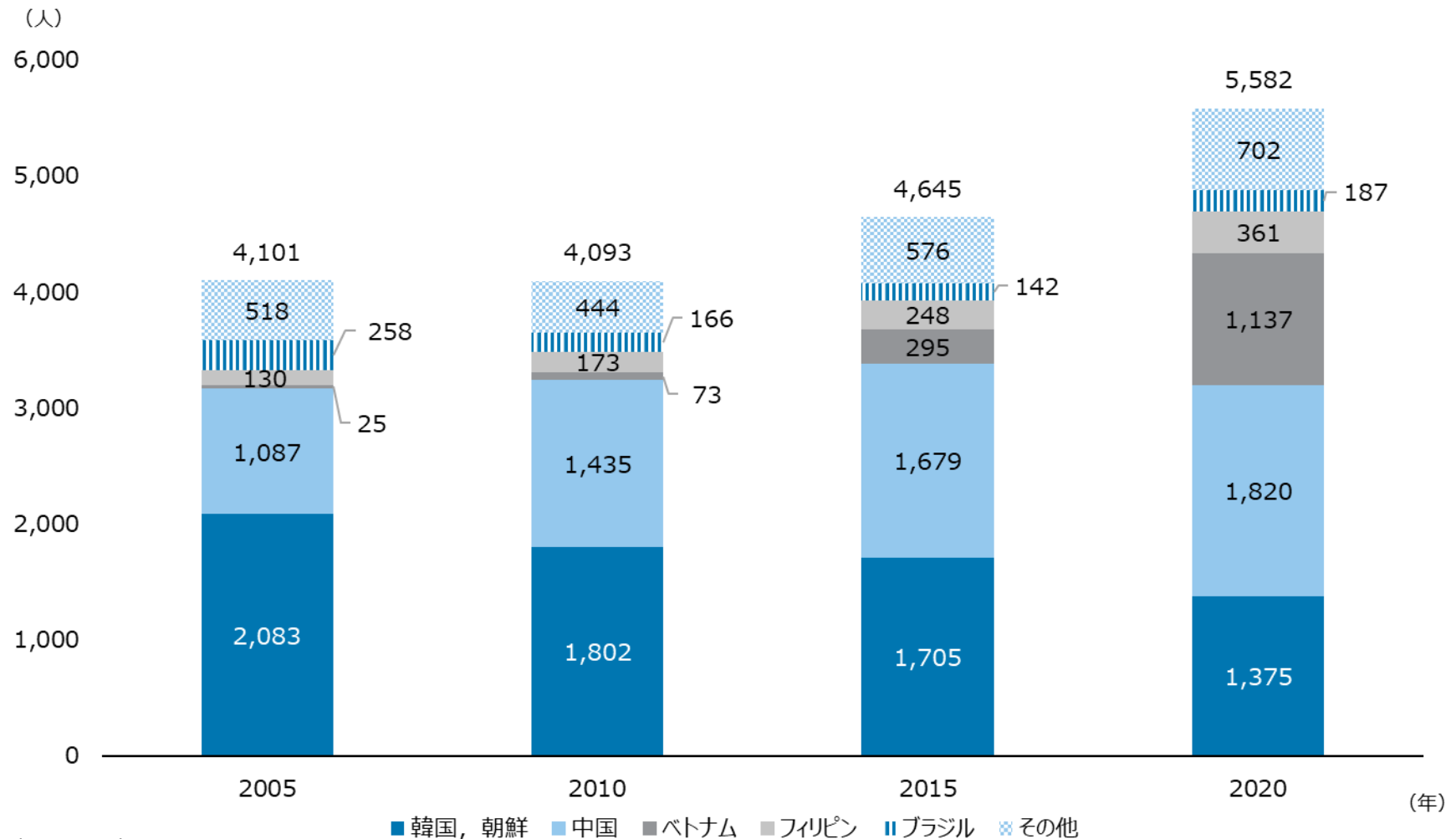


政令市比較



外国人の就業者数の推移

- 外国人の就業者数は増加傾向。
- 国籍別では特にベトナム国籍の就業者の増加幅が大きい。

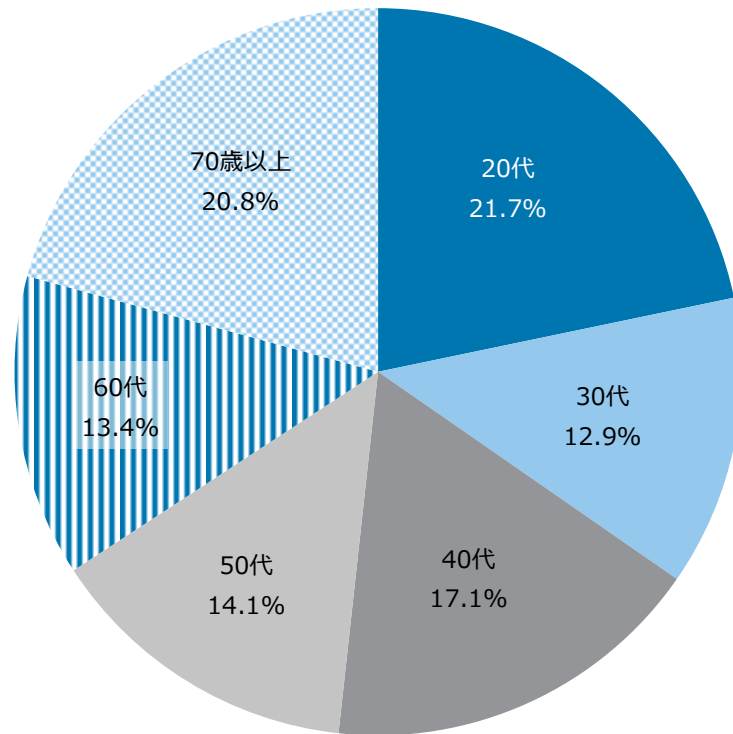


観光・交流

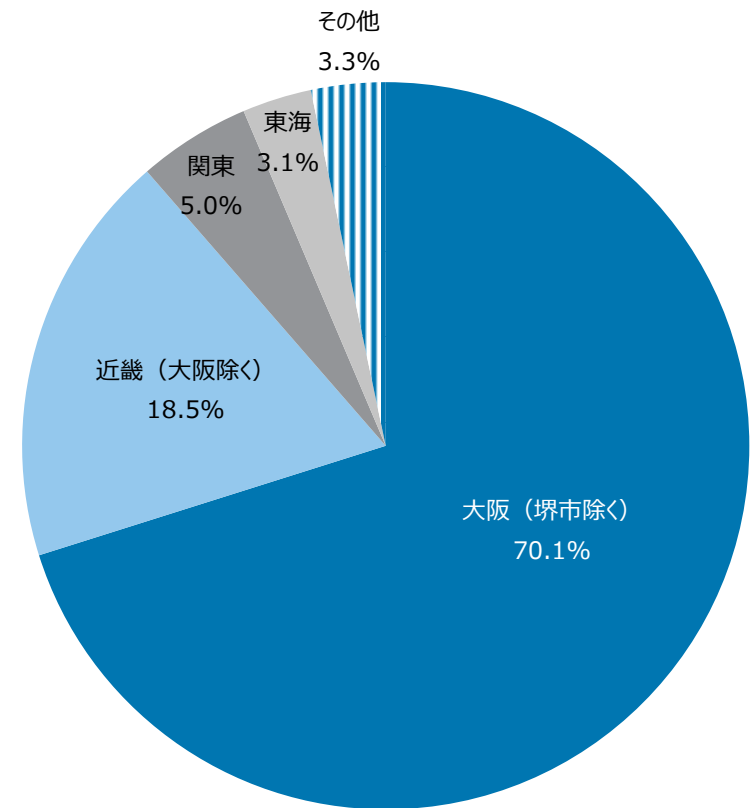
大仙公園エリア来訪者の年齢、所在地

- 大仙公園エリアの来訪者の年齢別内訳は20代が最も多く、次いで70歳以上が多い。
- 所在地別の内訳は大阪府内からが約70%、大阪府を除く近畿をあわせると約90%を占める。

年齢



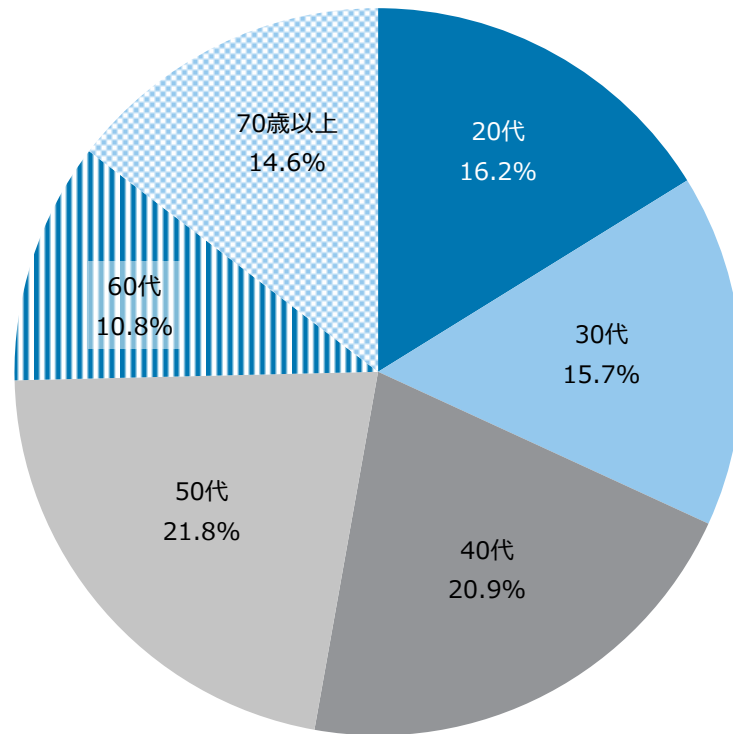
所在地



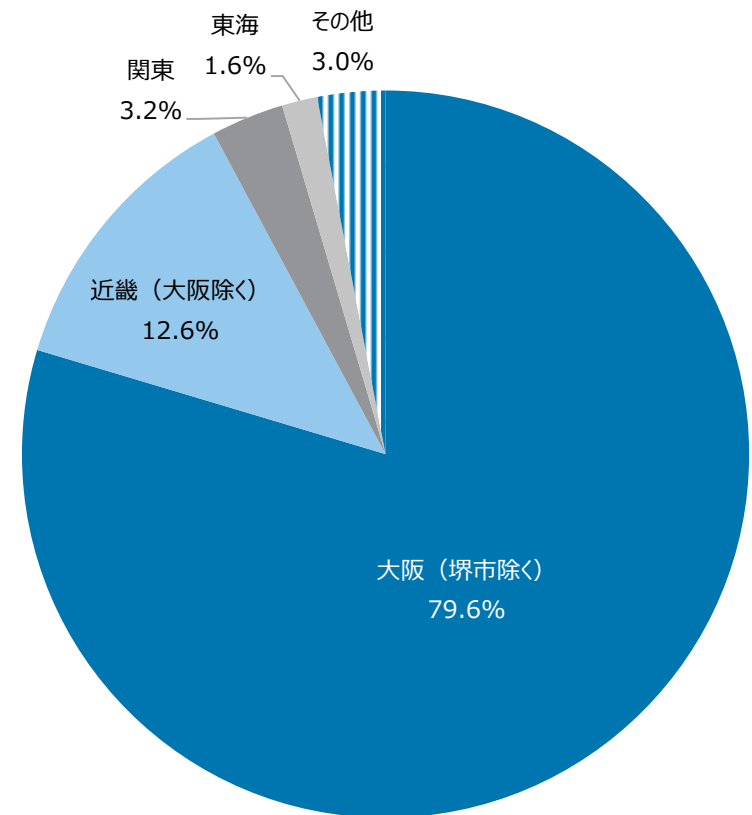
環濠エリア来訪者の年齢、所在地

- 環濠エリアの来訪者の年齢別内訳は50代が最も多く、次いで40代が多い。
- 所在地別の内訳は大阪府内からが約80%、大阪府を除く近畿からを合わせると90%以上を占める。

年齢

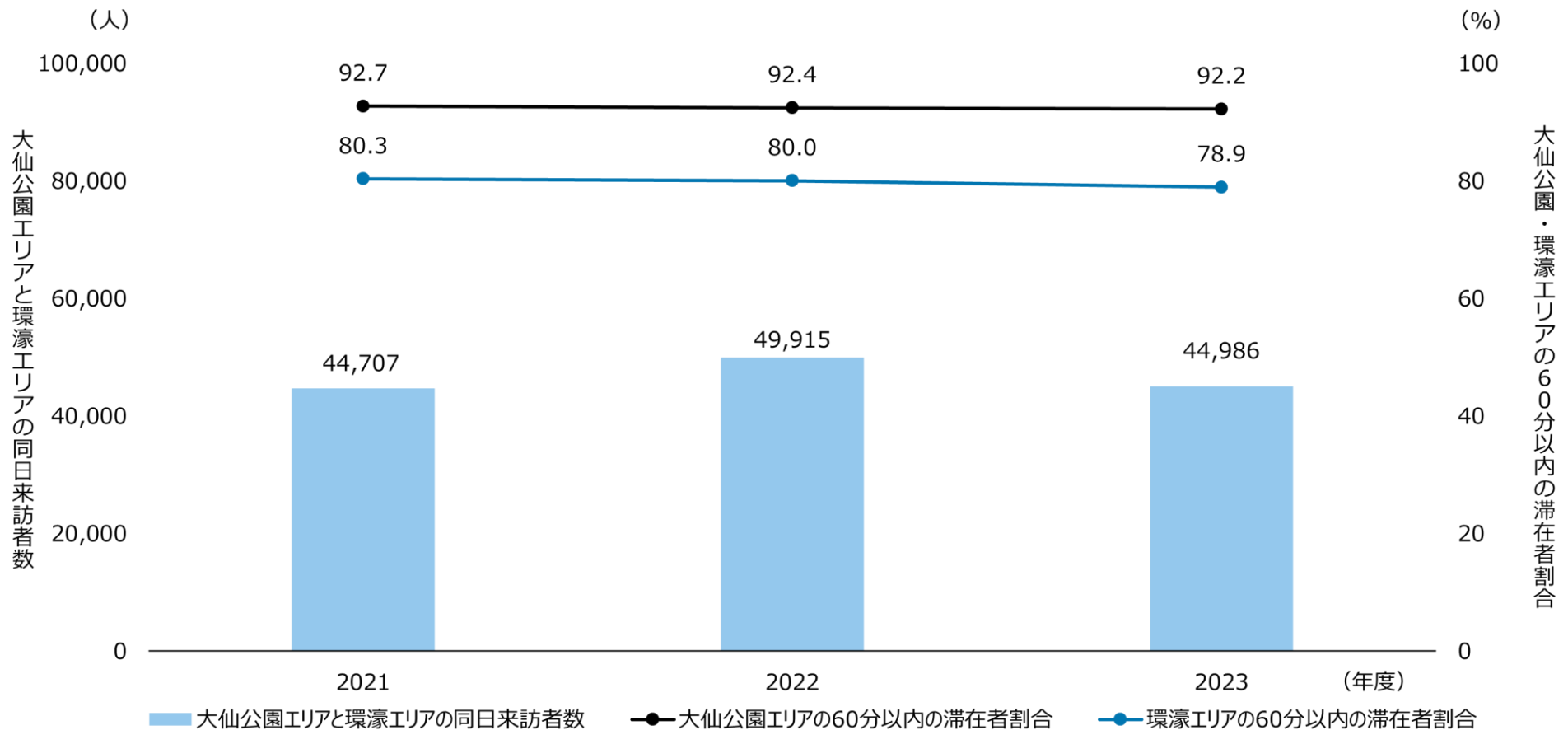


所在地



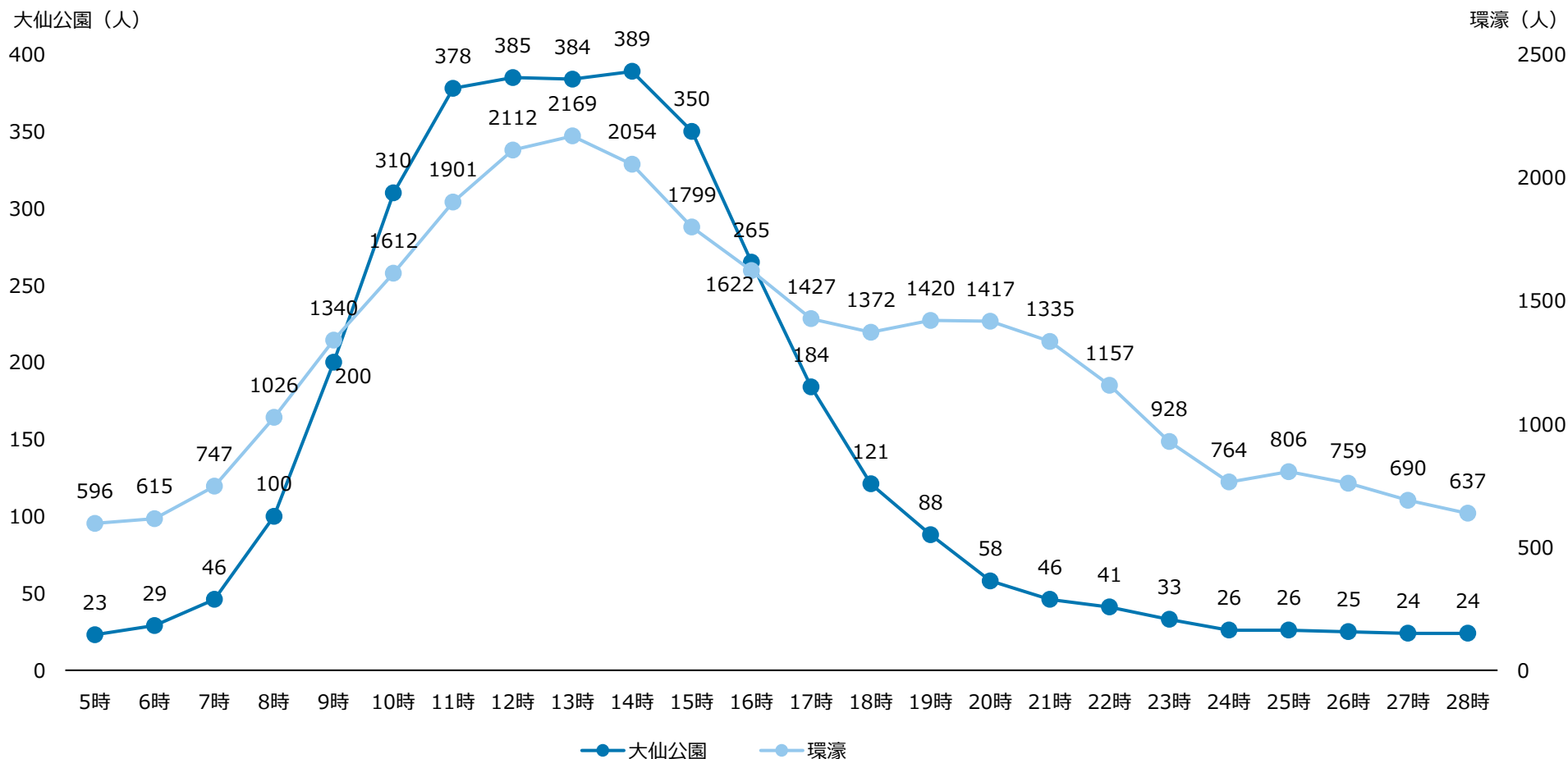
大仙公園・環濠エリアの滞在時間、同日来訪者数

- 60分以内の滞在者は大仙公園エリアの来訪者で90%以上、環濠エリアの来訪者で約80%を占める。
- 大仙公園エリアと環濠エリアの同日来訪者数は横ばい傾向で推移。



大仙公園エリアと環濠エリアの時間帯別の平均来訪者数

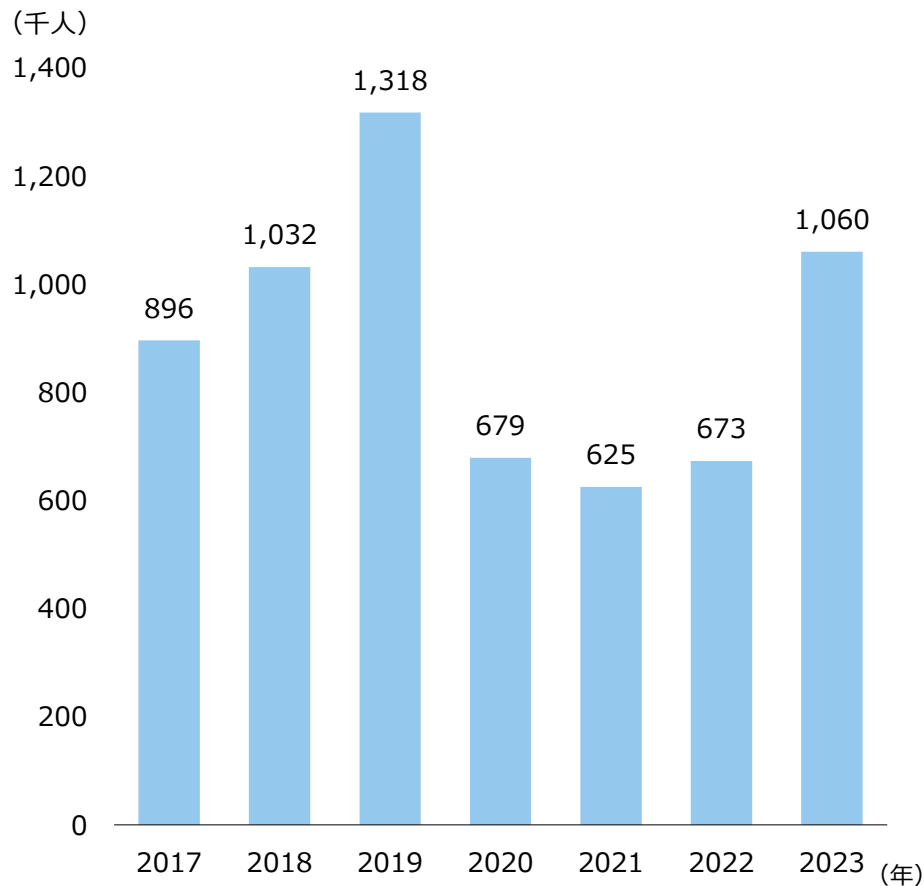
- 大仙公園エリアと環濠エリアの来訪者は11～14時台がピーク、その後は時間の推移につれ減少。
- 環濠エリアの来訪者は18～21時は減少せず、横ばい傾向で推移。



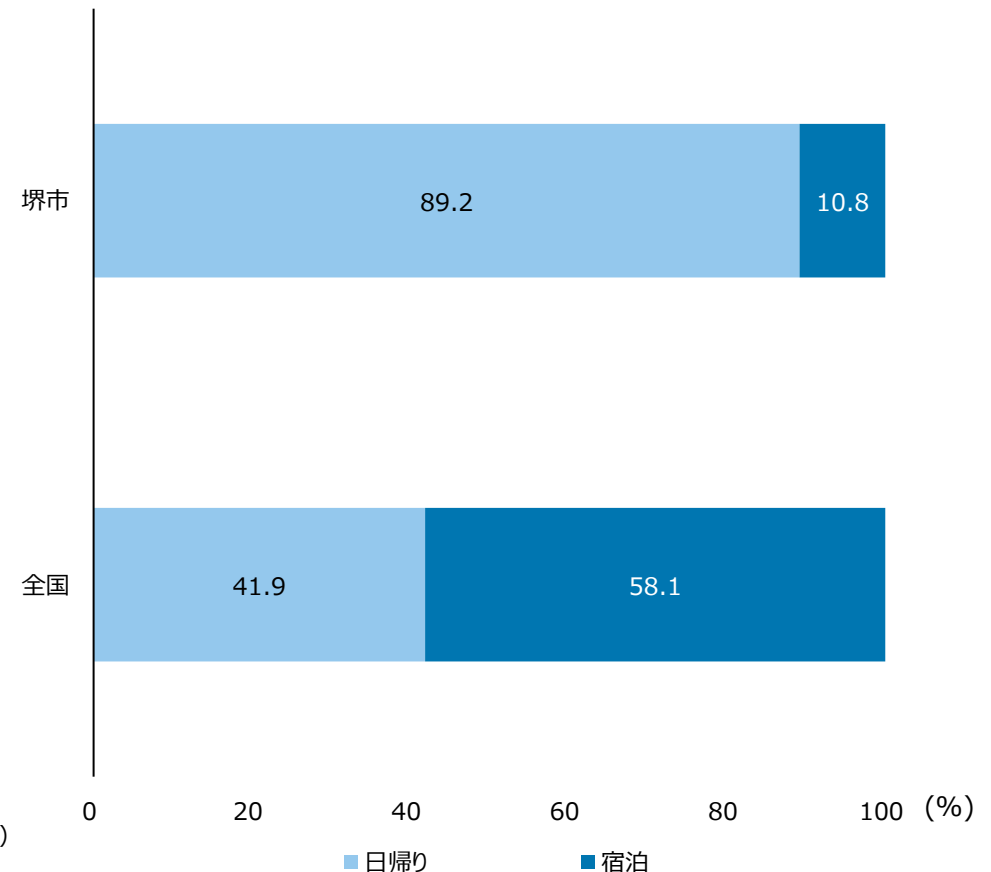
延べ宿泊者数の推移、来訪者に占める宿泊者の割合

- 延べ宿泊者数は2023年に増加したが、2019年の水準には戻っていない。
- 来訪者の割合は全国と比べて日帰りが多く、宿泊者は全国より少ない。

延べ宿泊者数の推移

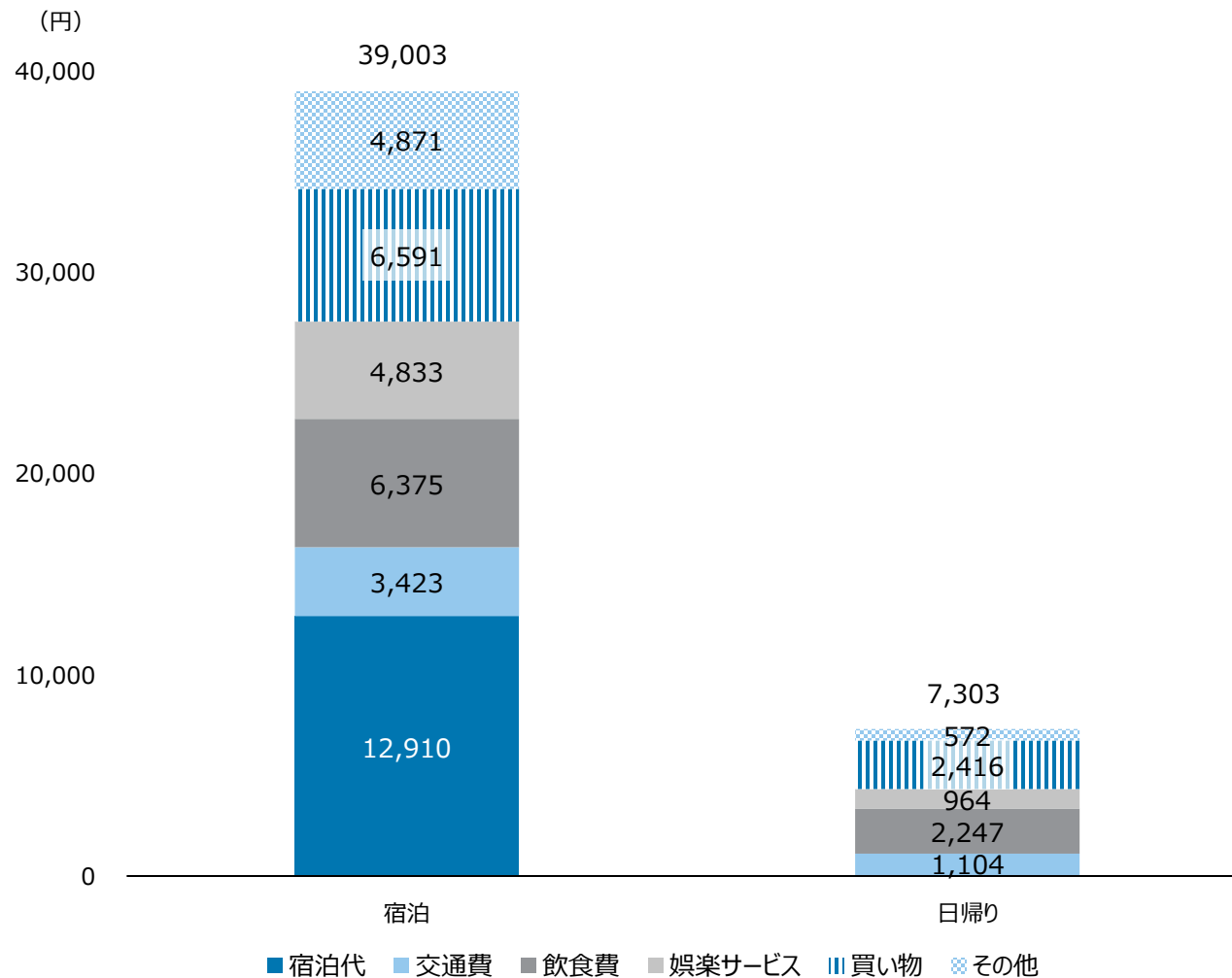


来訪者に占める宿泊者の割合



1人当たりの市内観光消費額

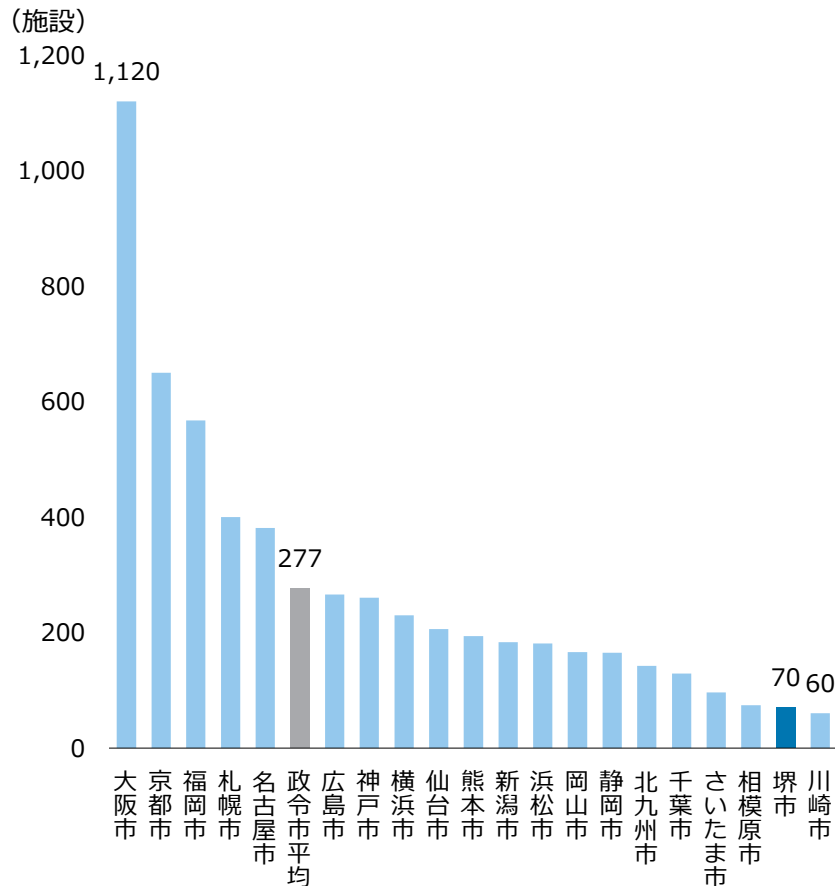
○ 宿泊者1人当たりの市内観光消費額は日帰りの5倍以上。



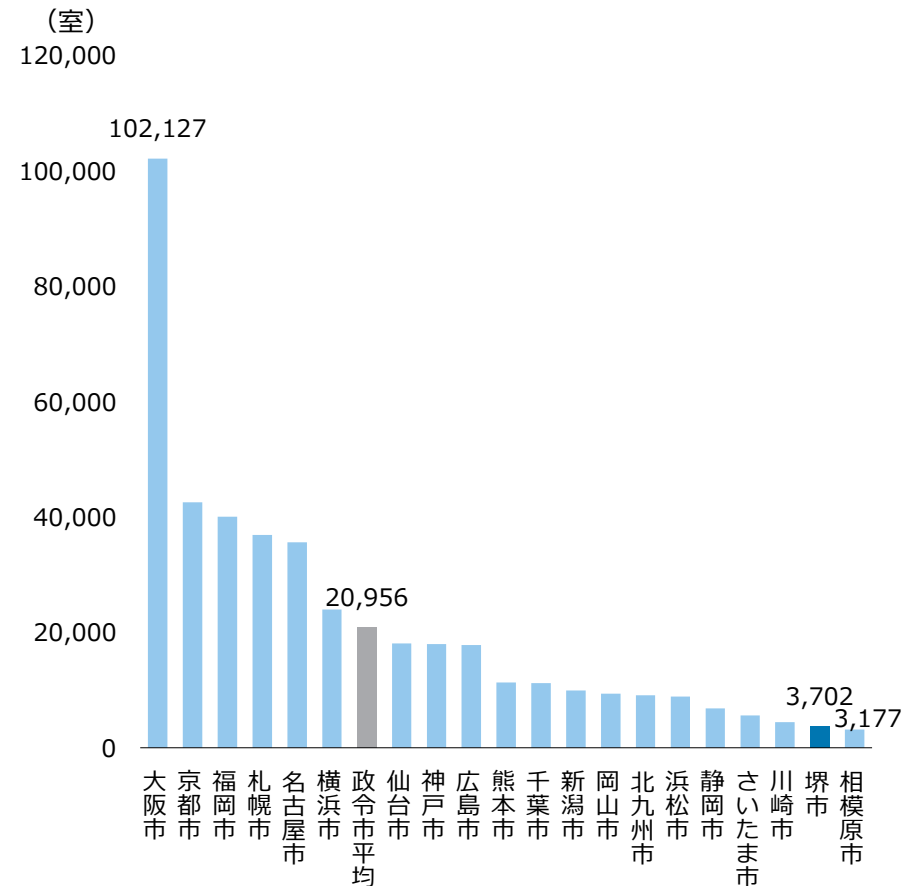
旅館・ホテルの施設数、客室数の政令市比較

○ 旅館・ホテルの施設数、客室数は政令市の中では19番目。

旅館・ホテル施設数（政令市比較）



客室数（政令市比較）



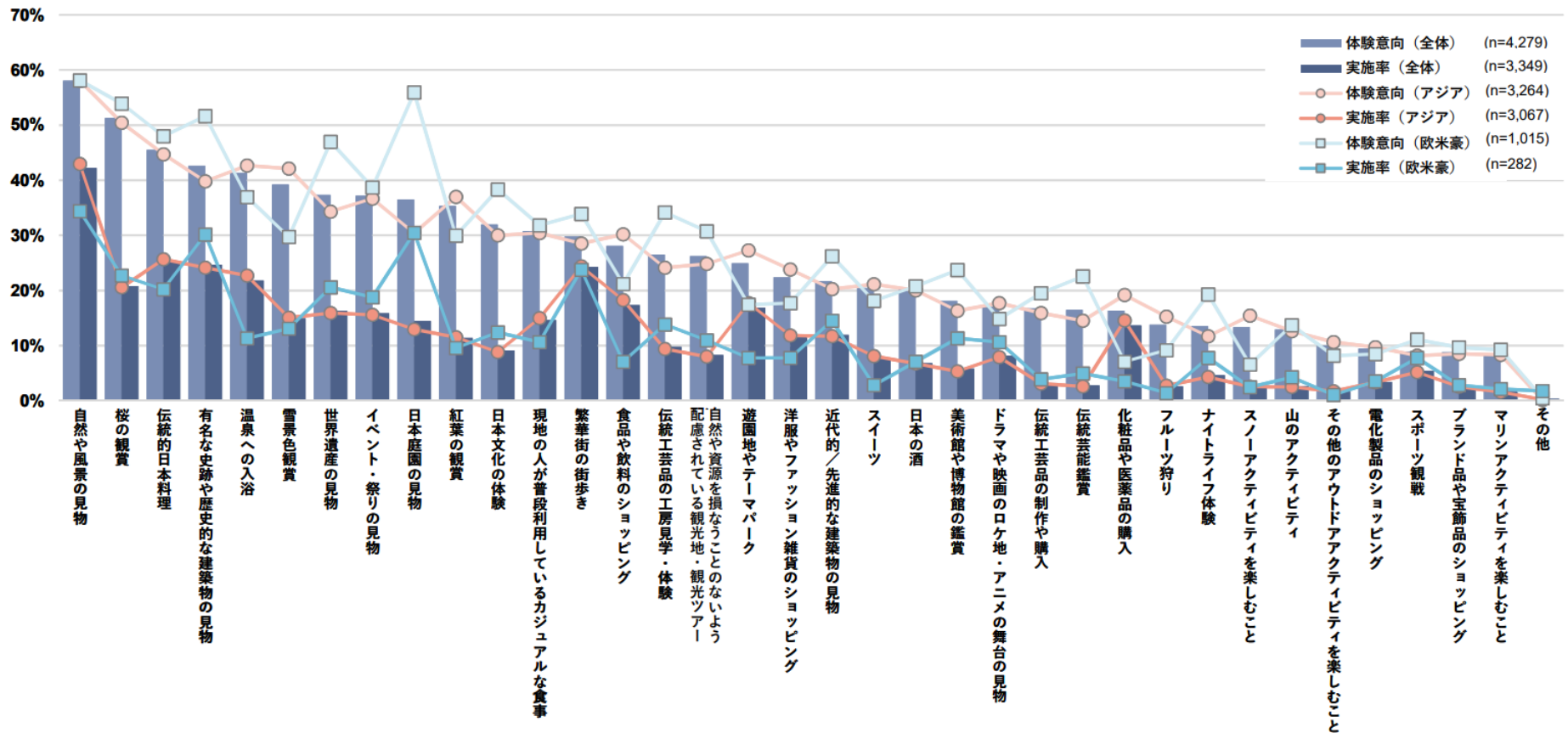
訪日外国人旅行者が日本で体験したいこと

- 訪日外国人旅行者が日本で体験したいことは「自然や風景の見物」との回答が最も多く、次いで「桜の観賞」「伝統的・日本の料理」「有名な史跡や歴史的な建築物の見物」「温泉への入浴」が多い。

訪日旅行意向者
訪日旅行経験者

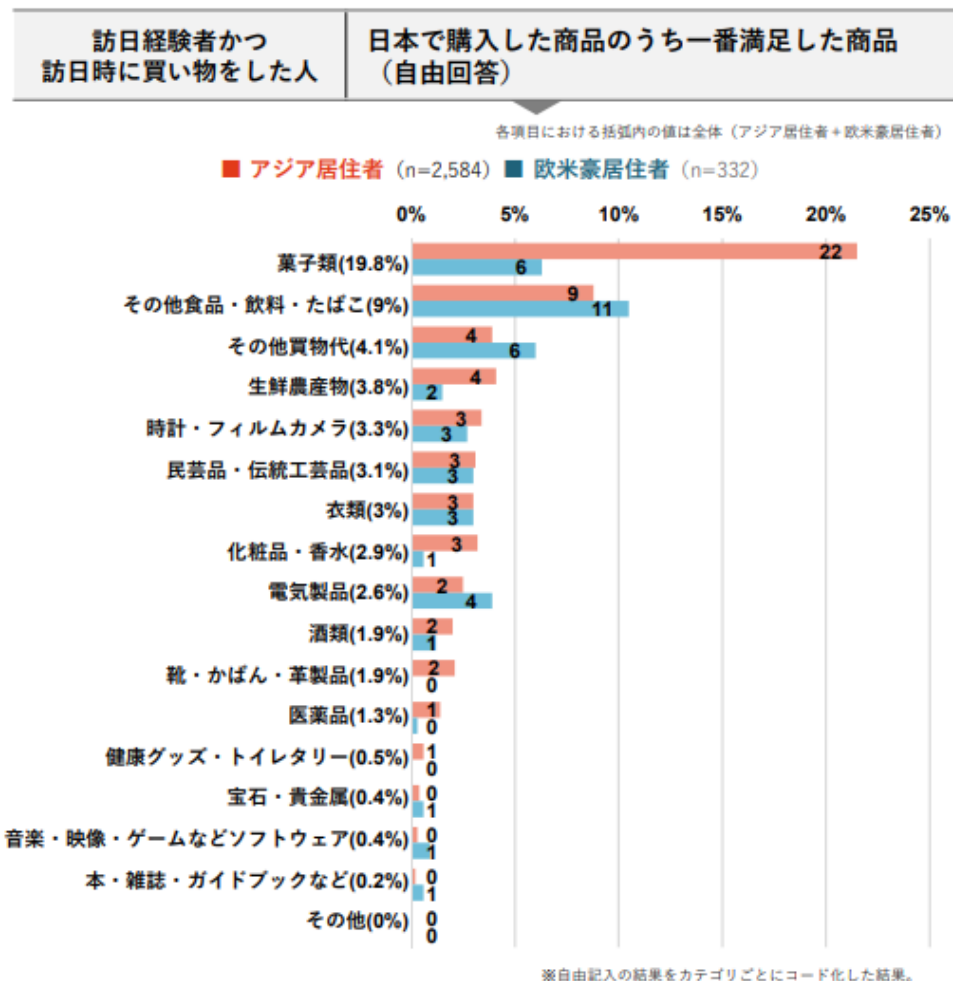
訪日旅行で体験したいこと（回答はあてはまるもの全て）／訪日旅行で体験したこと（回答は5つまで）

全体の「訪日旅行で体験したいこと」の割合で
降順ソート



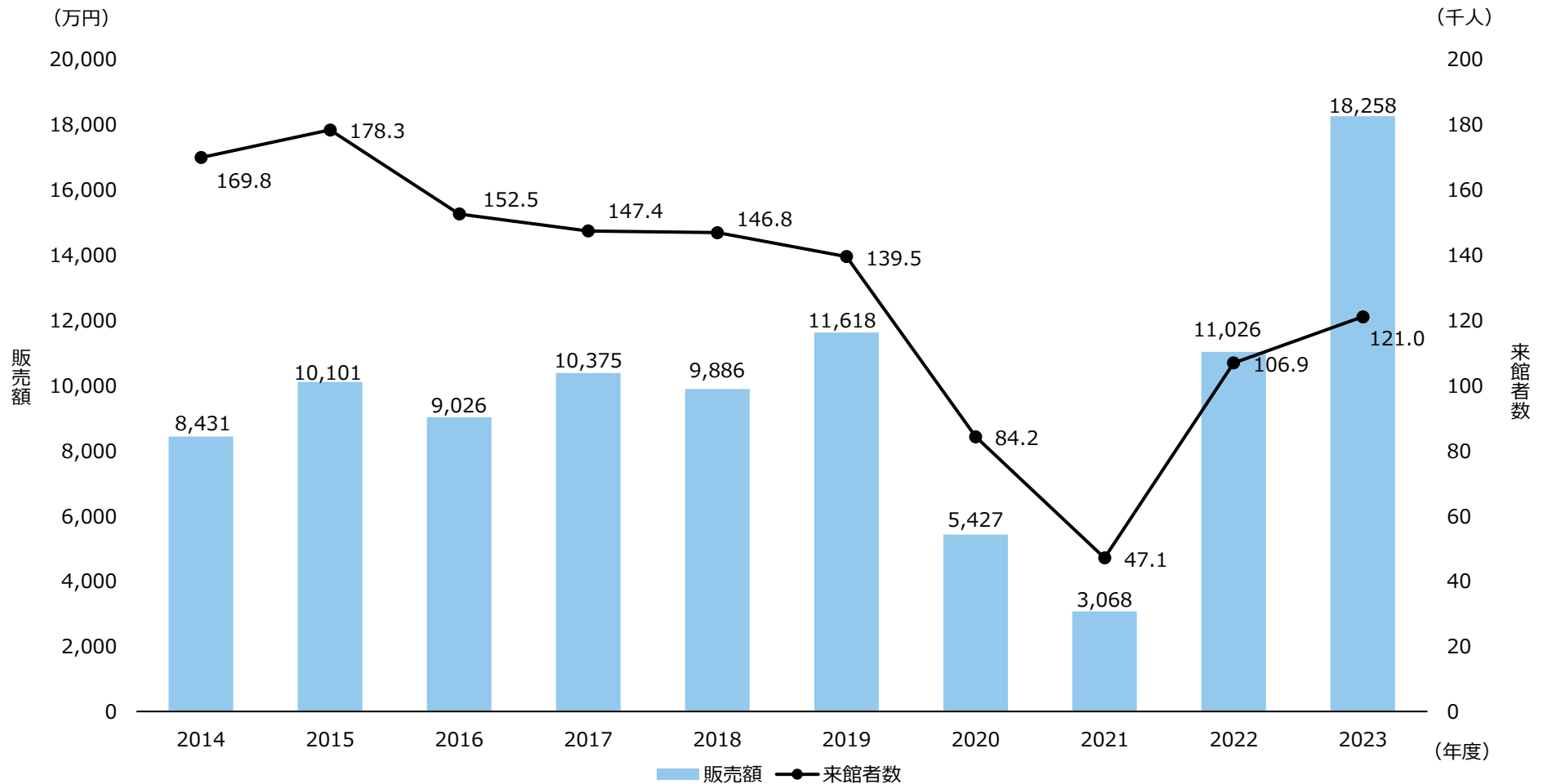
訪日外国人旅行者が日本で購入し一番満足した商品

- 訪日外国人旅行者が日本で購入した商品のうち一番満足した商品は「菓子類」との回答が最も多く、次いで「その他食品・飲料・たばこ」であり、食料品関連の満足度が高い。



堺伝匠館の来館者数、販売額の推移

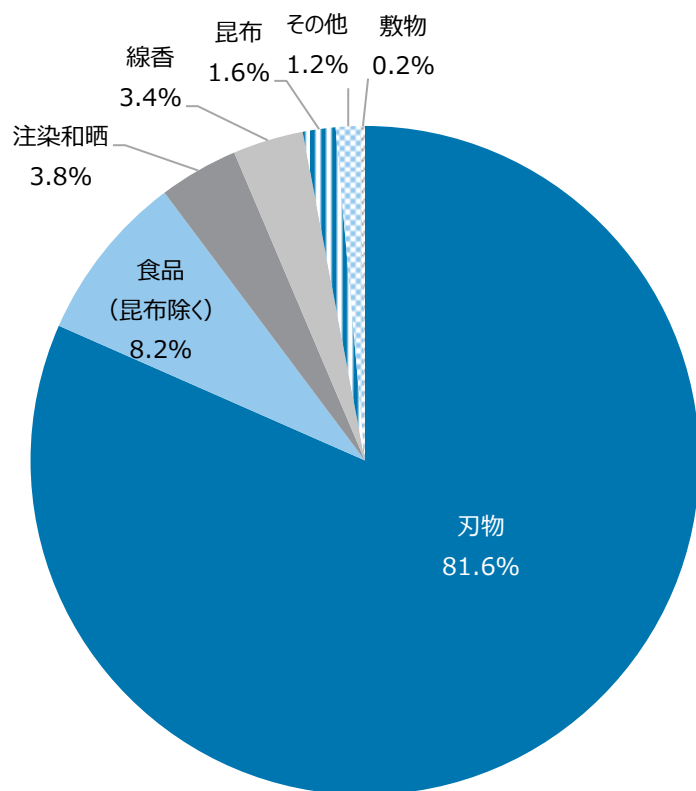
- 堺伝匠館の来館者数、販売額は2021年度にかけて減少したが、その後は増加傾向。
- 2023年度の販売額は過去最高を記録。



堺伝匠館の販売額内訳、属性別平均購入価格の推移

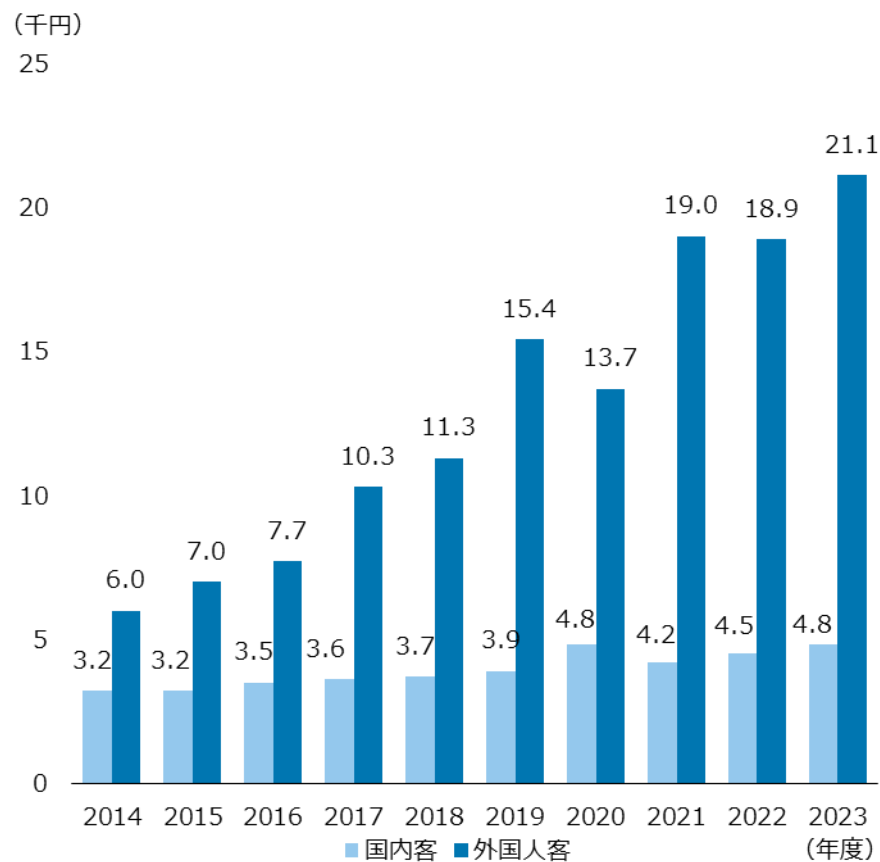
- 販売額の内訳は刃物の割合が最も高く、次いで食品（昆布除く）、注染和晒が高い。
- 属性別の平均購入価格は国内客は横ばい、外国人客は増加傾向。

販売額の内訳



※2023年度

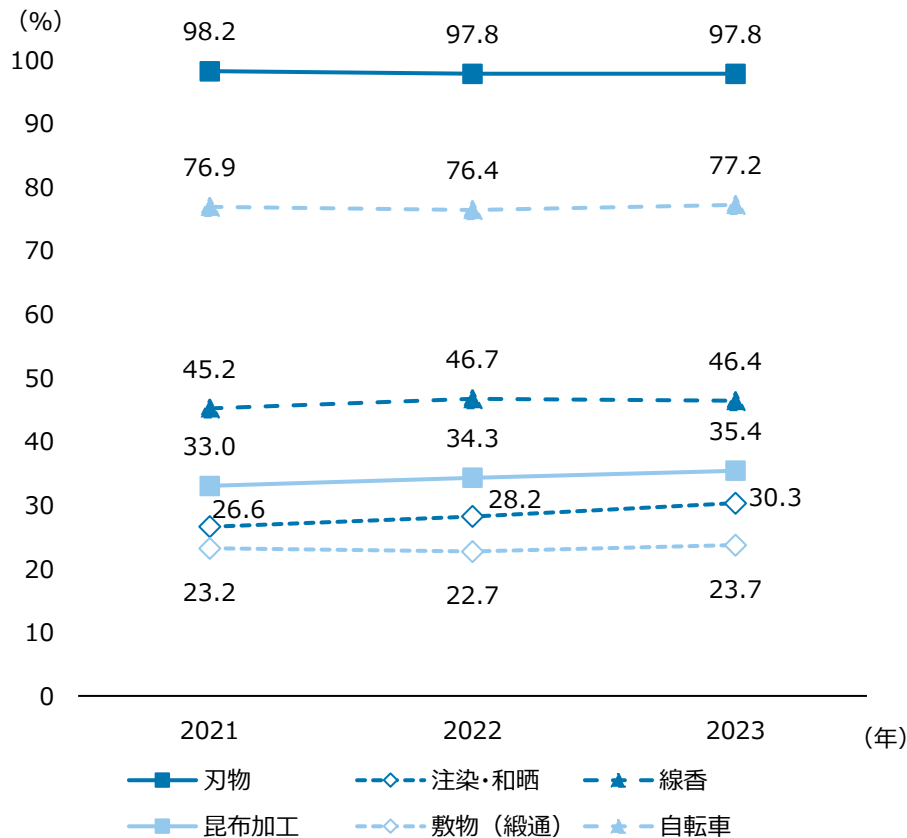
属性別の平均購入価格の推移



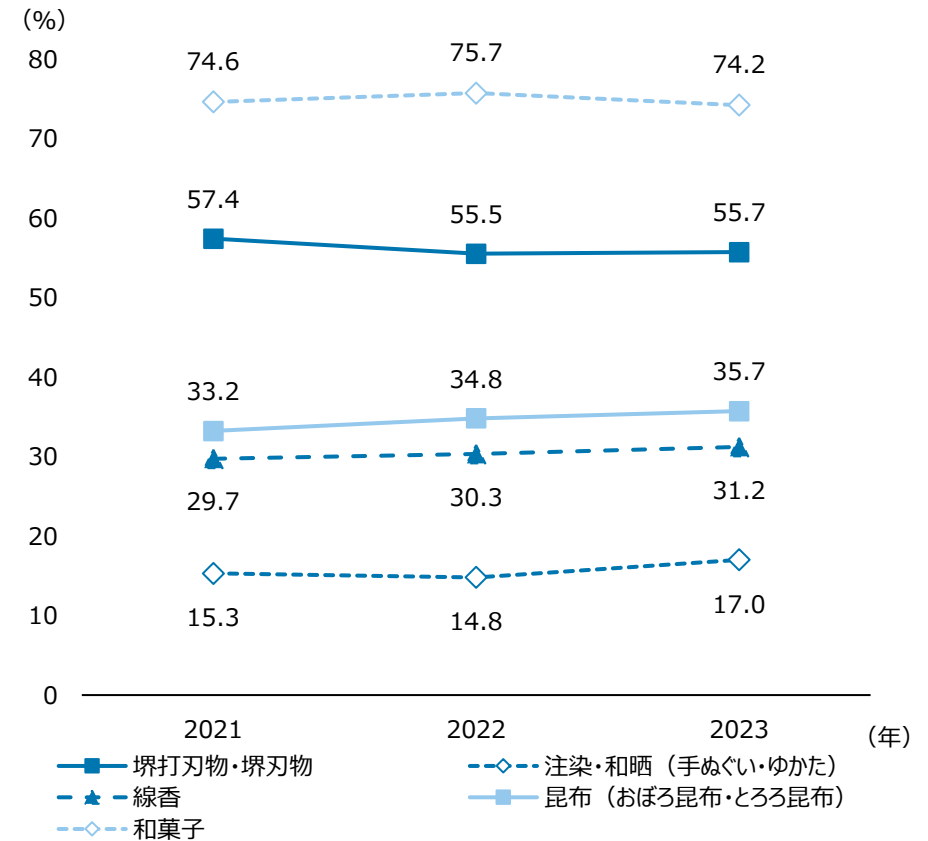
市民の伝統産品の認知度、堺産品の購入経験の推移

- 市民の伝統産品の認知度は刃物が最も高く、次いで自転車、線香が高い。
- 堺産品の購入経験は和菓子が最も多く、次いで刃物、昆布が多い。

伝統産品の認知度

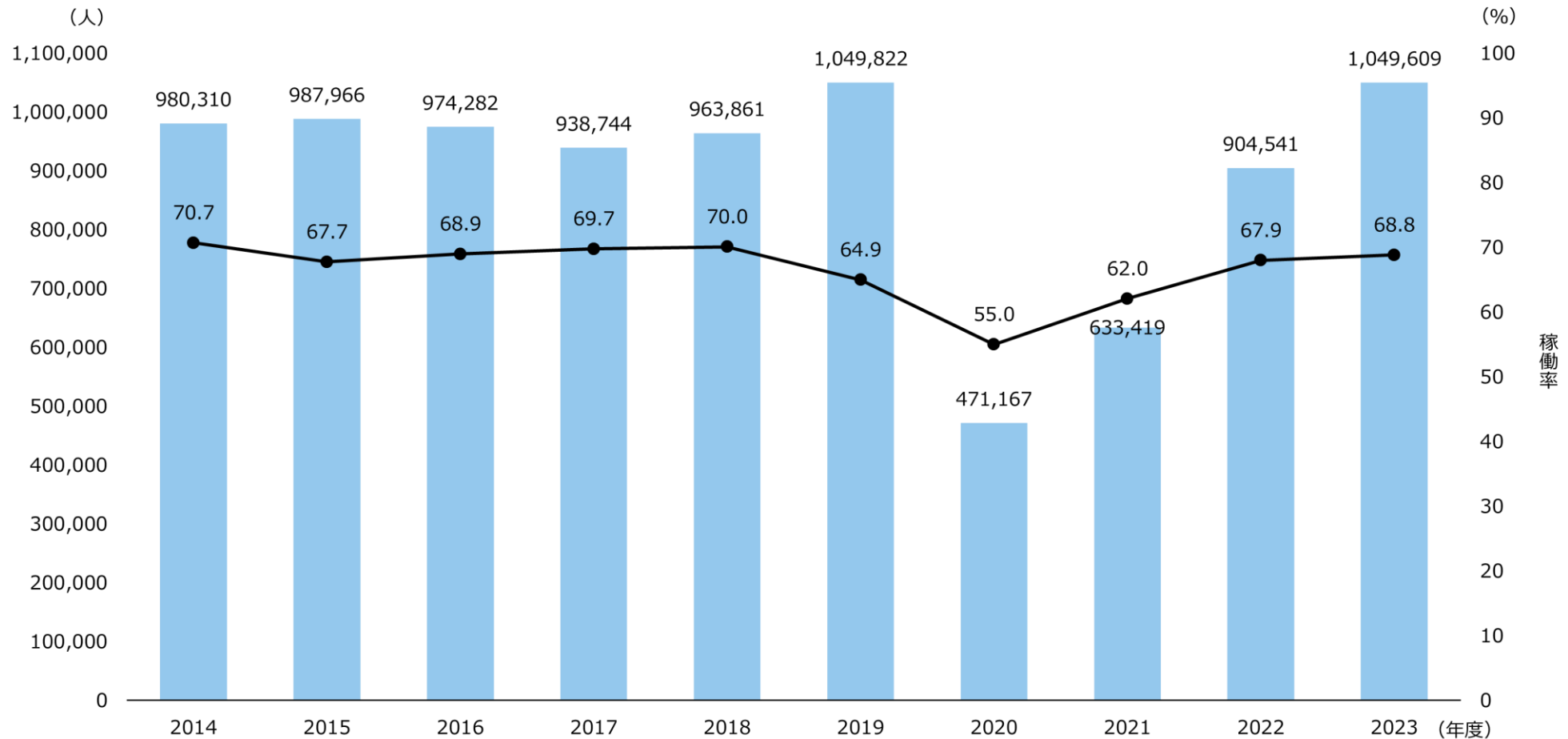


堺産品の購入経験



文化施設の利用者数、稼働率の推移

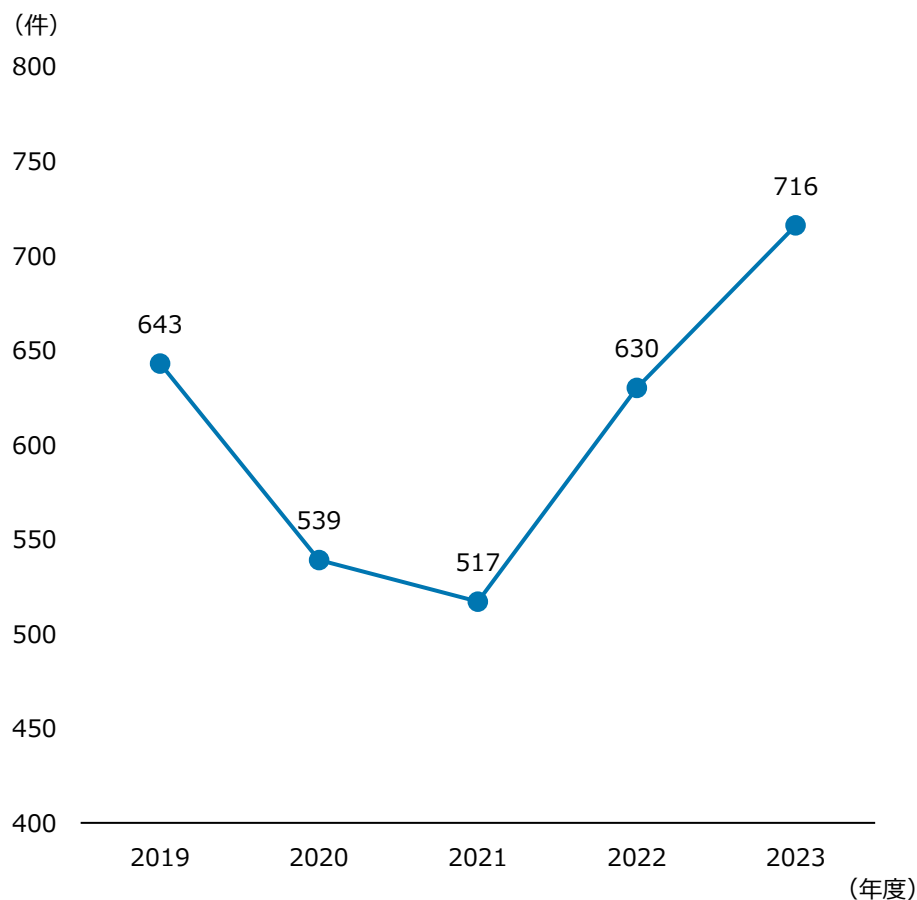
- 文化施設の利用者数は2021年度以降、増加傾向。
- 稼働率も2021年度以降、上昇傾向。



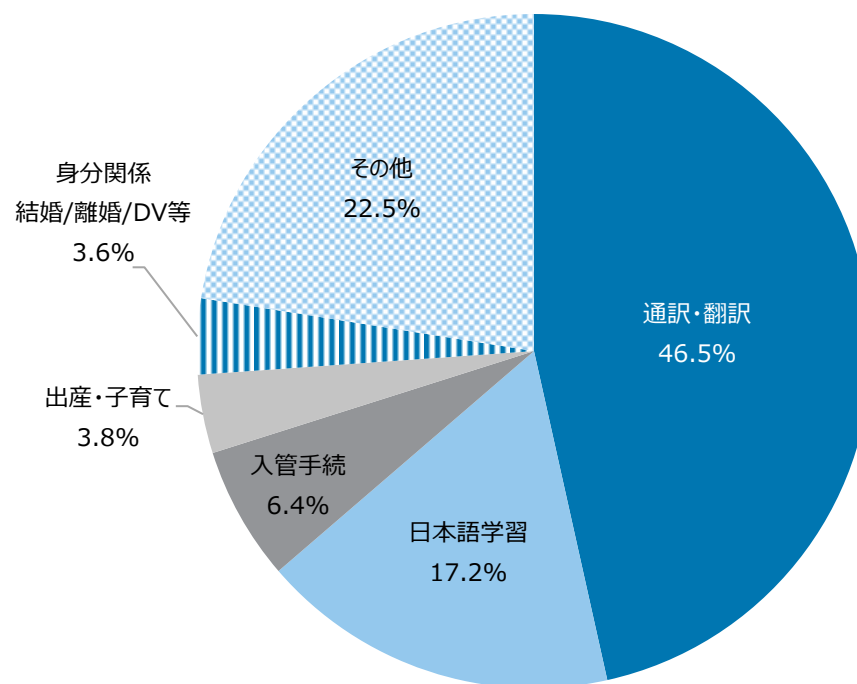
多文化交流プラザ・さかいでの相談件数の推移等

- 相談件数は減少傾向であったが、2022年度以降は増加傾向。
- 相談内容は通訳・翻訳が最も多く、次いで日本語学習、入管手続きが多い。

多文化交流プラザ・さかいでの相談件数の推移



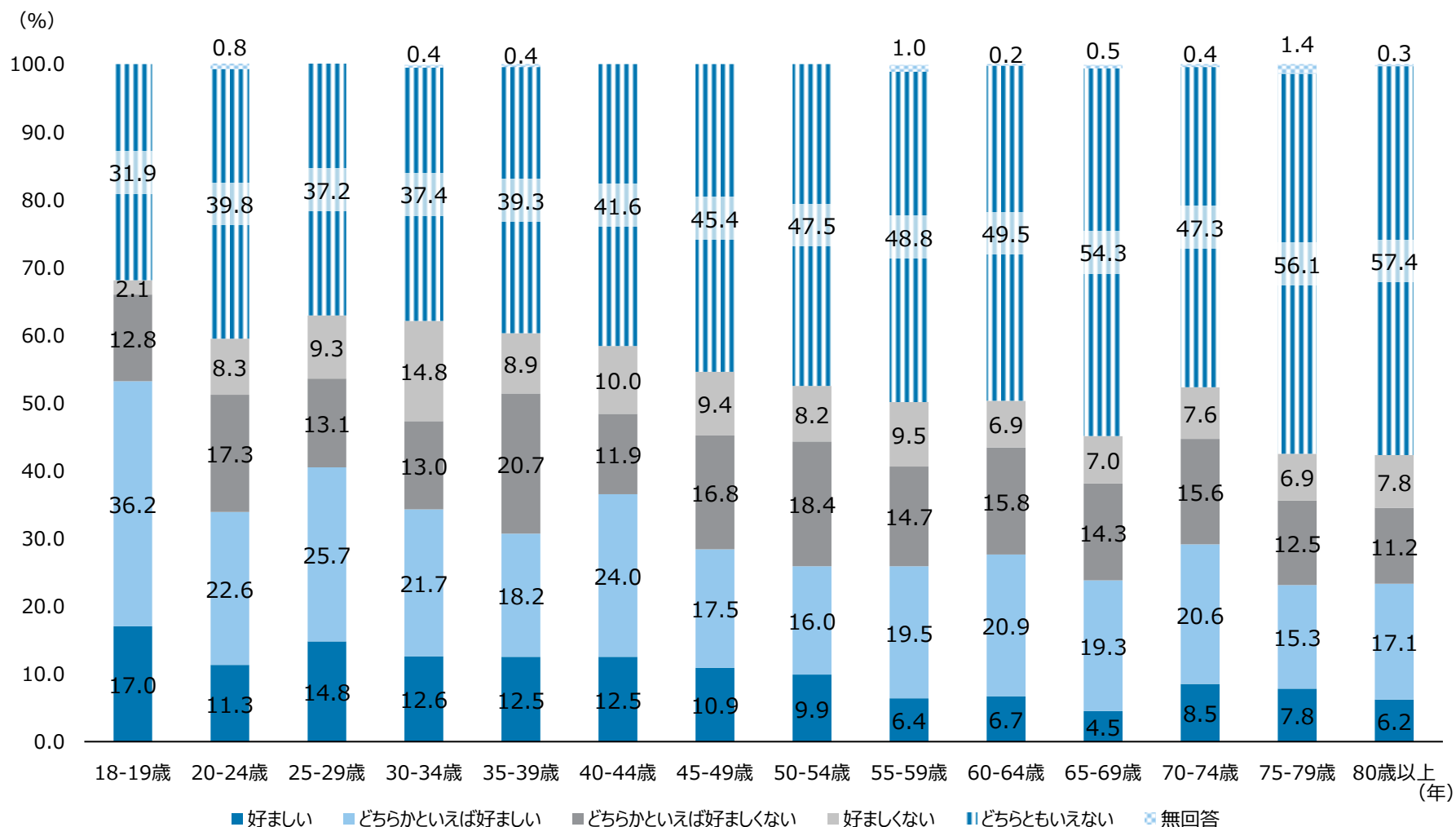
相談内容の内訳



※2023年度

地域に外国人が増えることへの年代別の意識（全国）

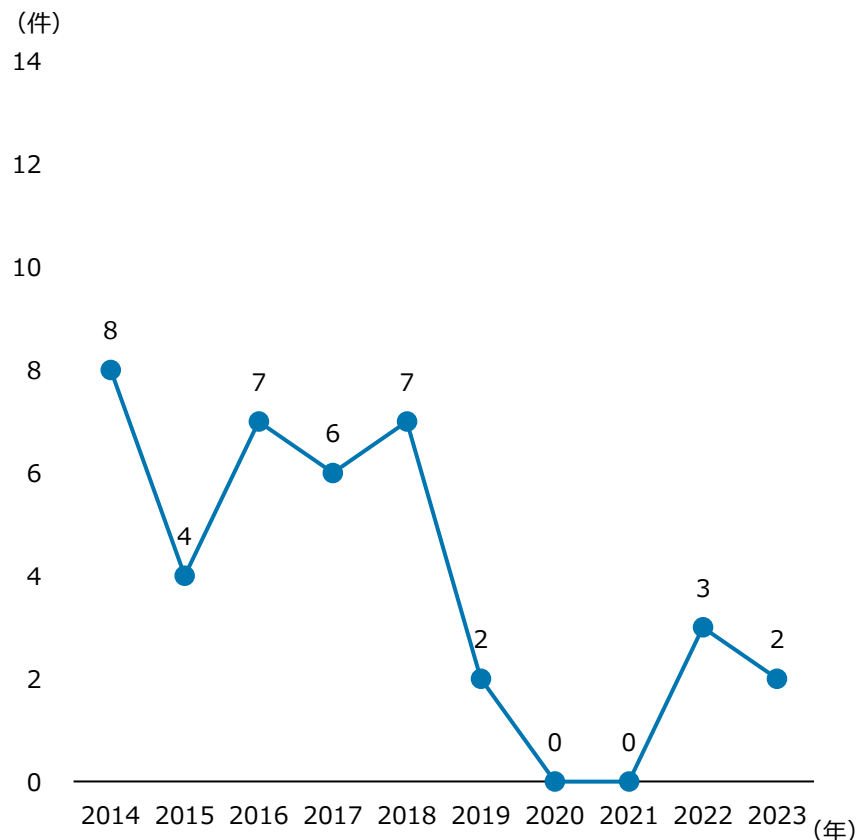
- 地域に外国人が増えることについては、若い世代の方が好ましい（「好ましい」「どちらかといえば好ましい」と回答した割合が高い傾向。



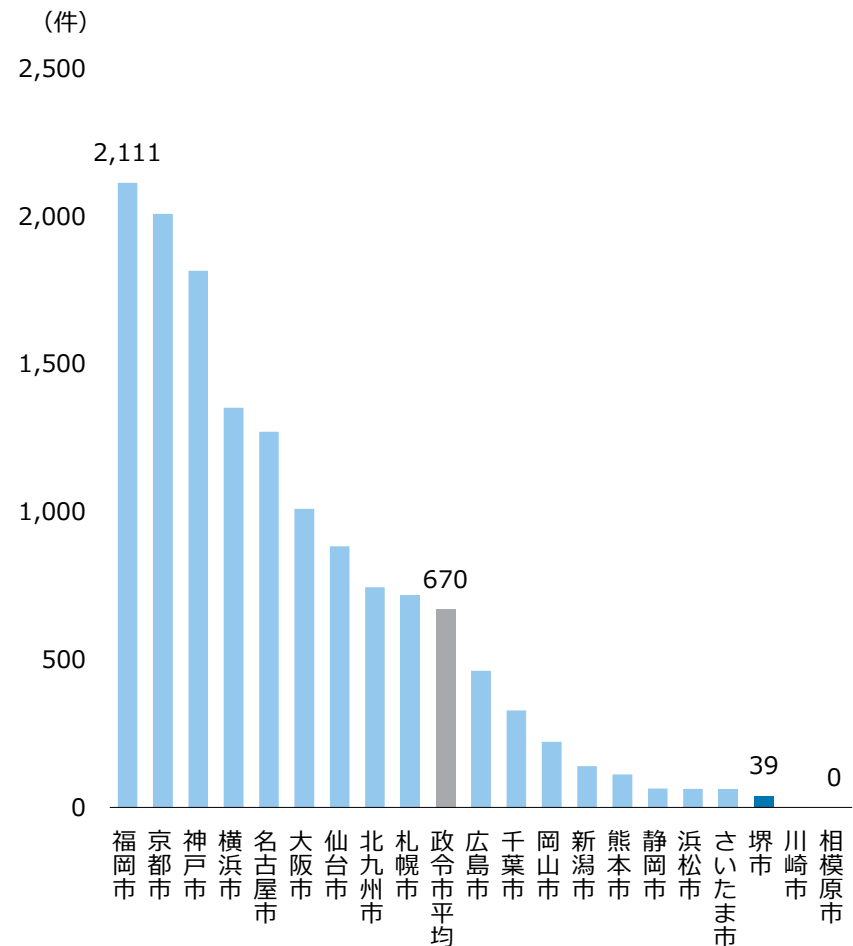
国際会議開催件数の推移、開催実績の政令市比較

- 国際会議開催件数は減少傾向で推移していたが、2022年は増加し、2023年は低下。
- 過去10年の開催実績は政令市の中で18番目。

堺市の国際会議開催件数の推移



過去10年の開催実績（政令市比較）

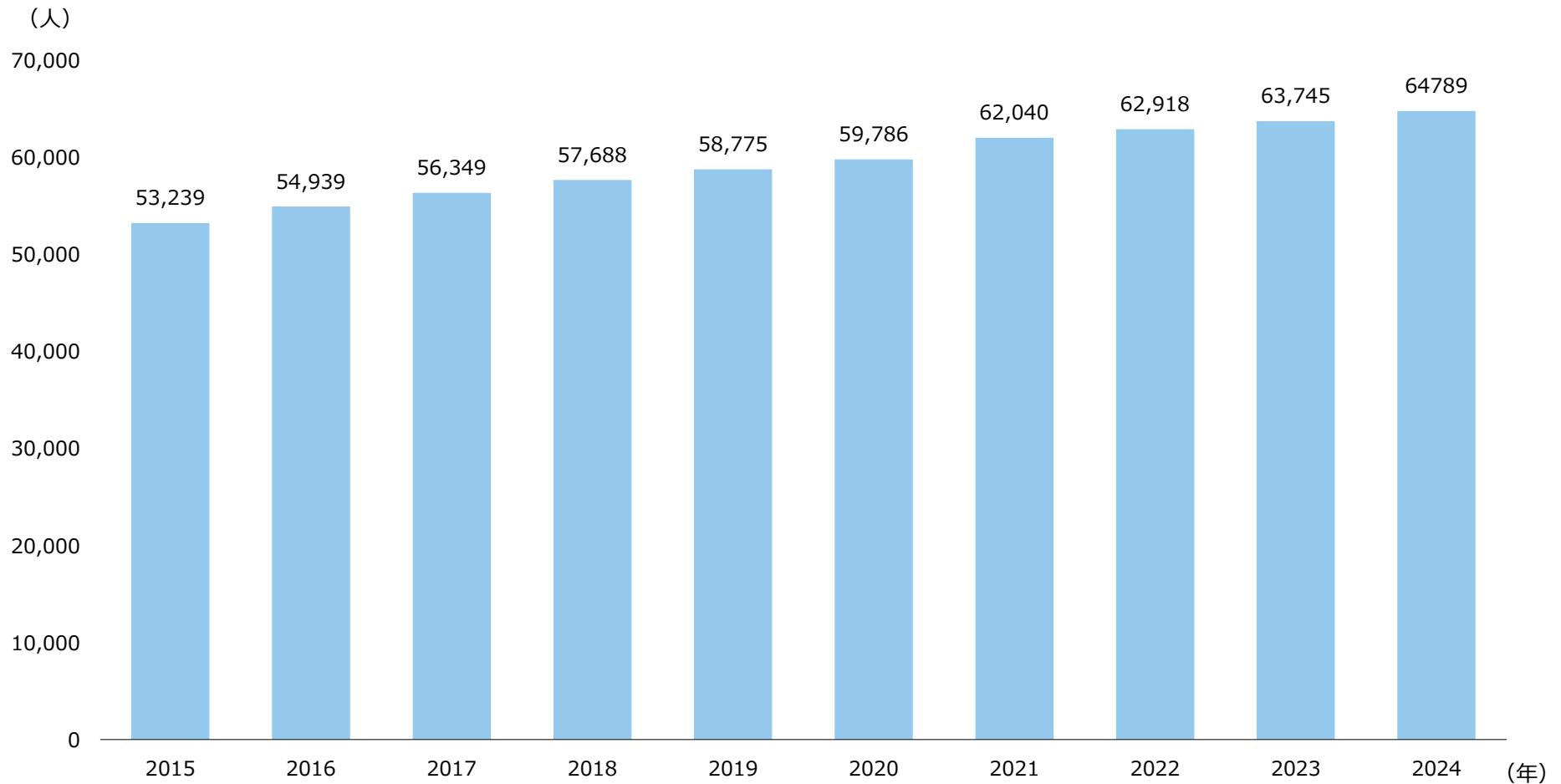


安全・インフラ

避難行動要支援者数の推移

避難行動要支援者…災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する人

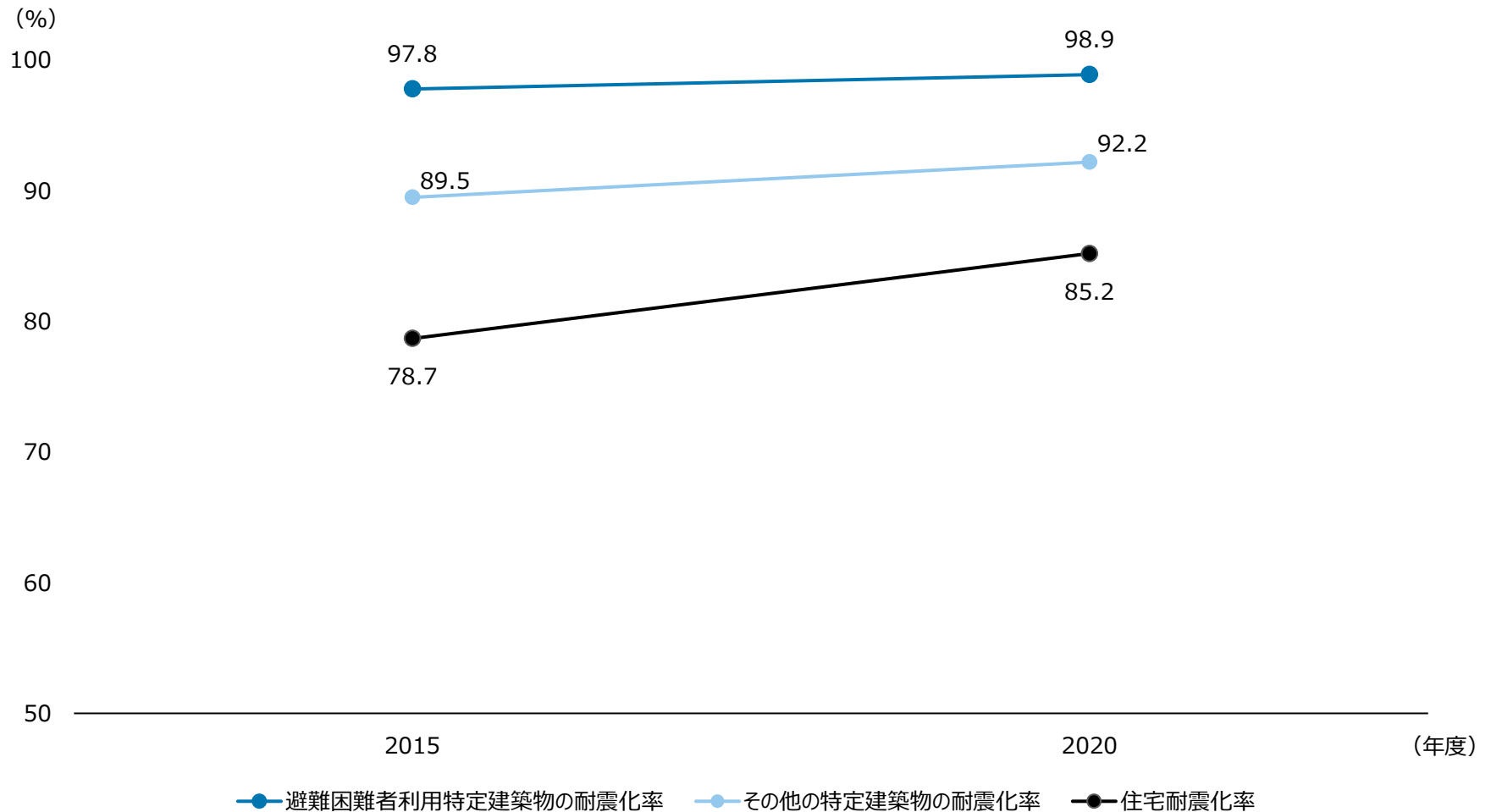
○ 避難行動要支援者数は増加傾向。



多数の人が利用する建築物、住宅の耐震化率の推移

特定建築物…映画館、ホテル、店舗など不特定多数が利用する建築物で用途部分の延べ面積が3,000㎡以上のもの

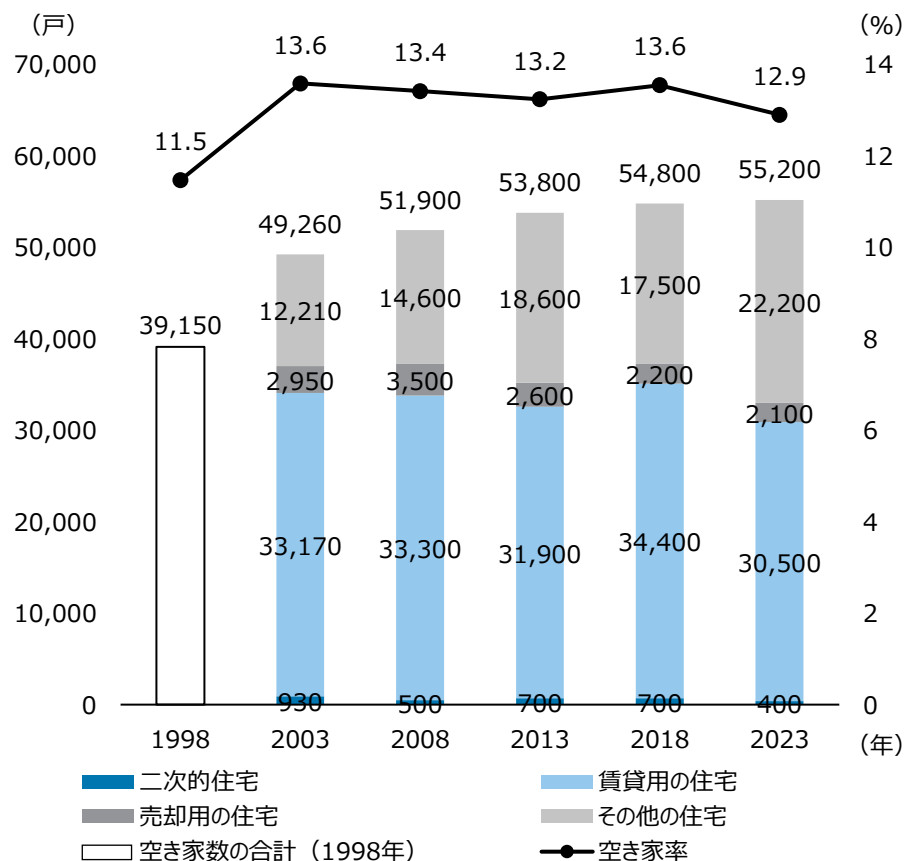
- 避難困難者利用特定建築物の耐震化率は約99%、その他の特定建築物の耐震化率も90%以上。
- 住宅の耐震化率は85%以上。



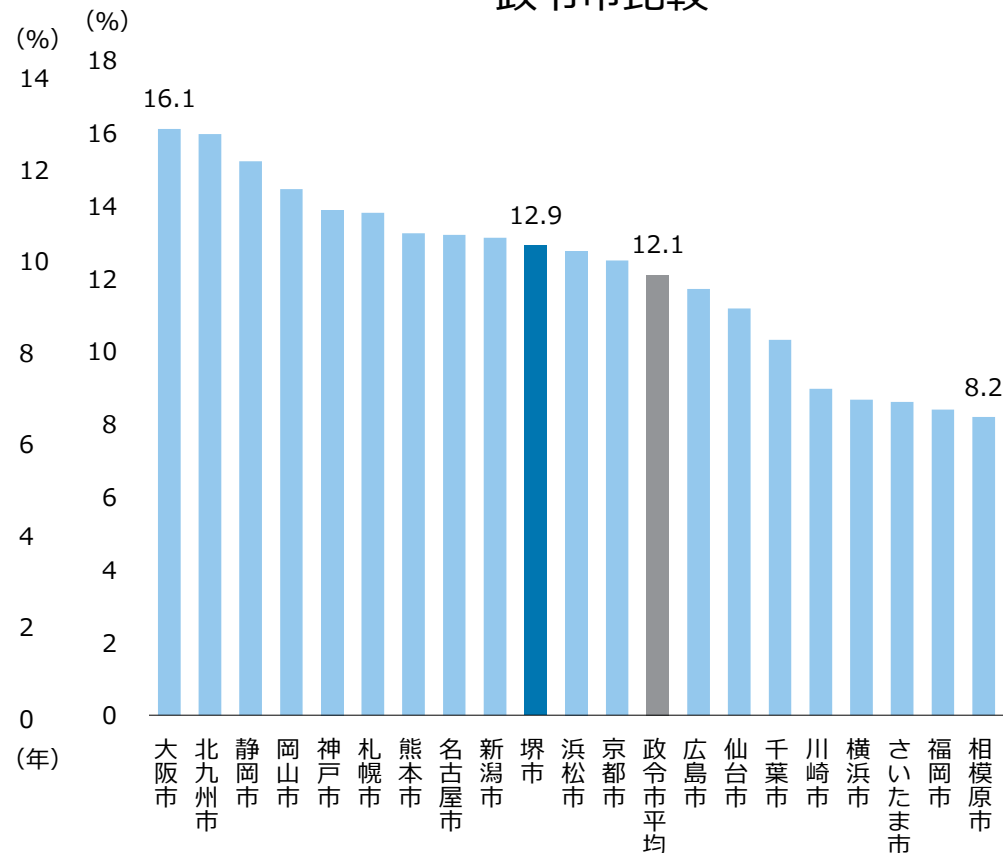
空き家数、空き家率の推移、政令市比較

- 空き家は増加傾向、空き家率は2023年は低下。
- 空き家率は政令市の中で10番目。

空き家数の推移



政令市比較



※2023年

※1 二次的住宅…たまに使用する住宅や週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で利用する住宅

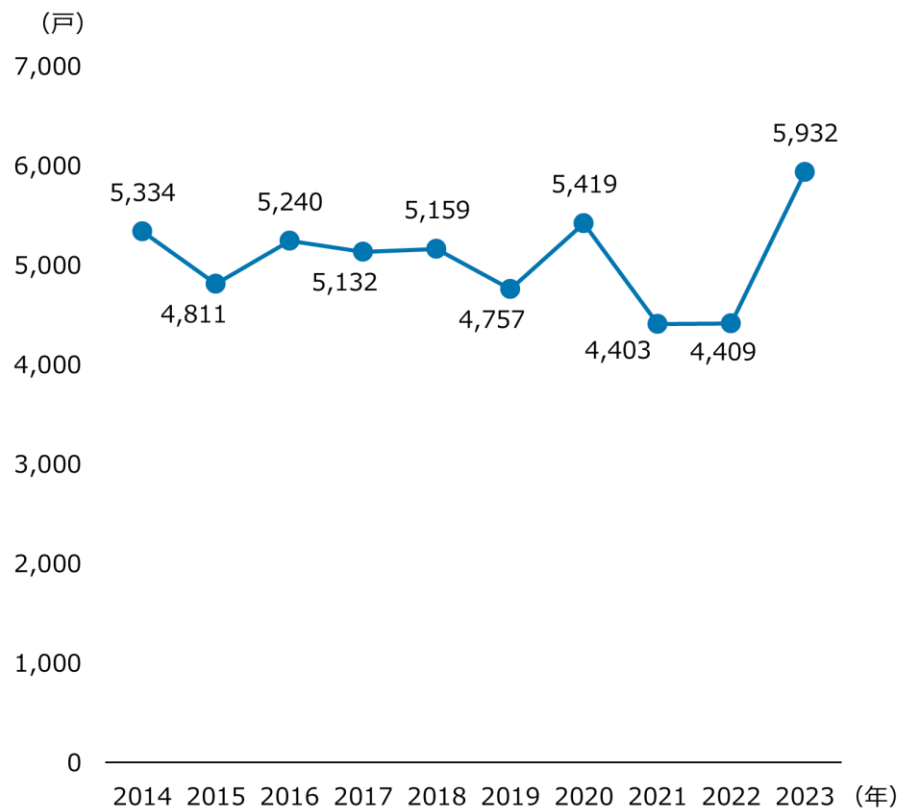
※2 その他の住宅…人が住んでいない住宅で、例えば転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅、建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など

(資料) 総務省「住宅・土地統計調査」

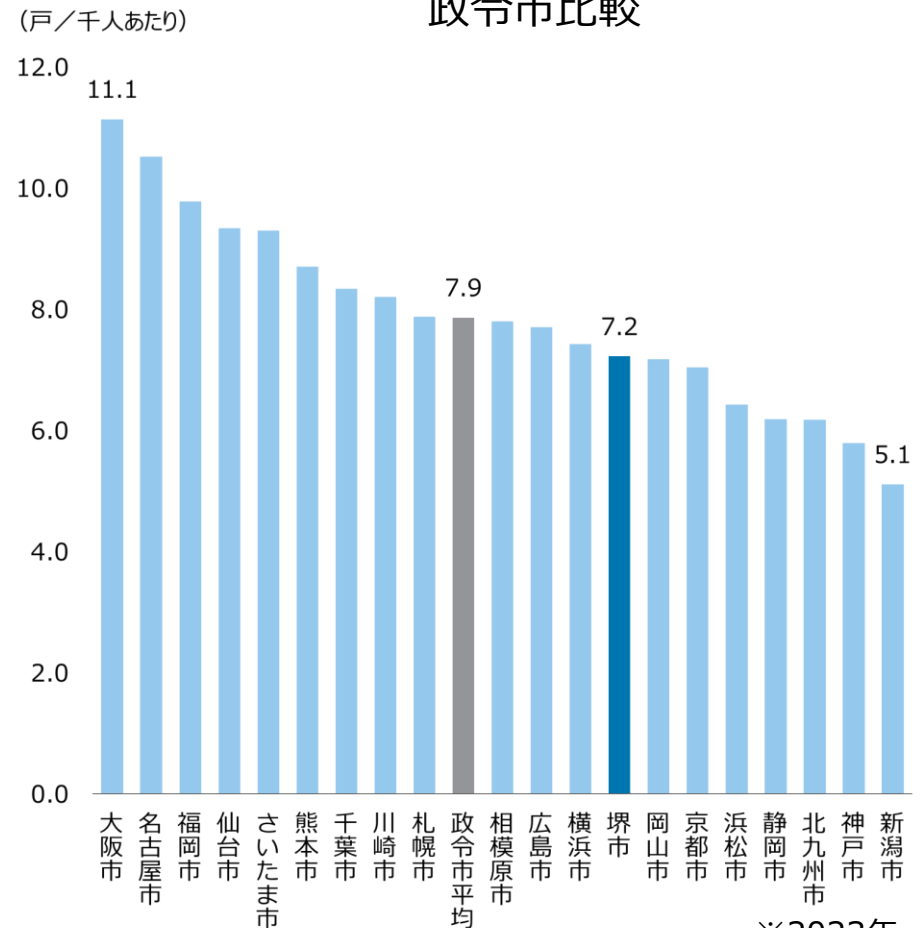
着工新設住宅戸数の推移、政令市比較

- 着工新設住宅戸数は5,000戸前後で推移していたが、2023年は増加。
- 人口千人あたりの戸数は政令市中13番目。

着工新設住宅戸数の推移



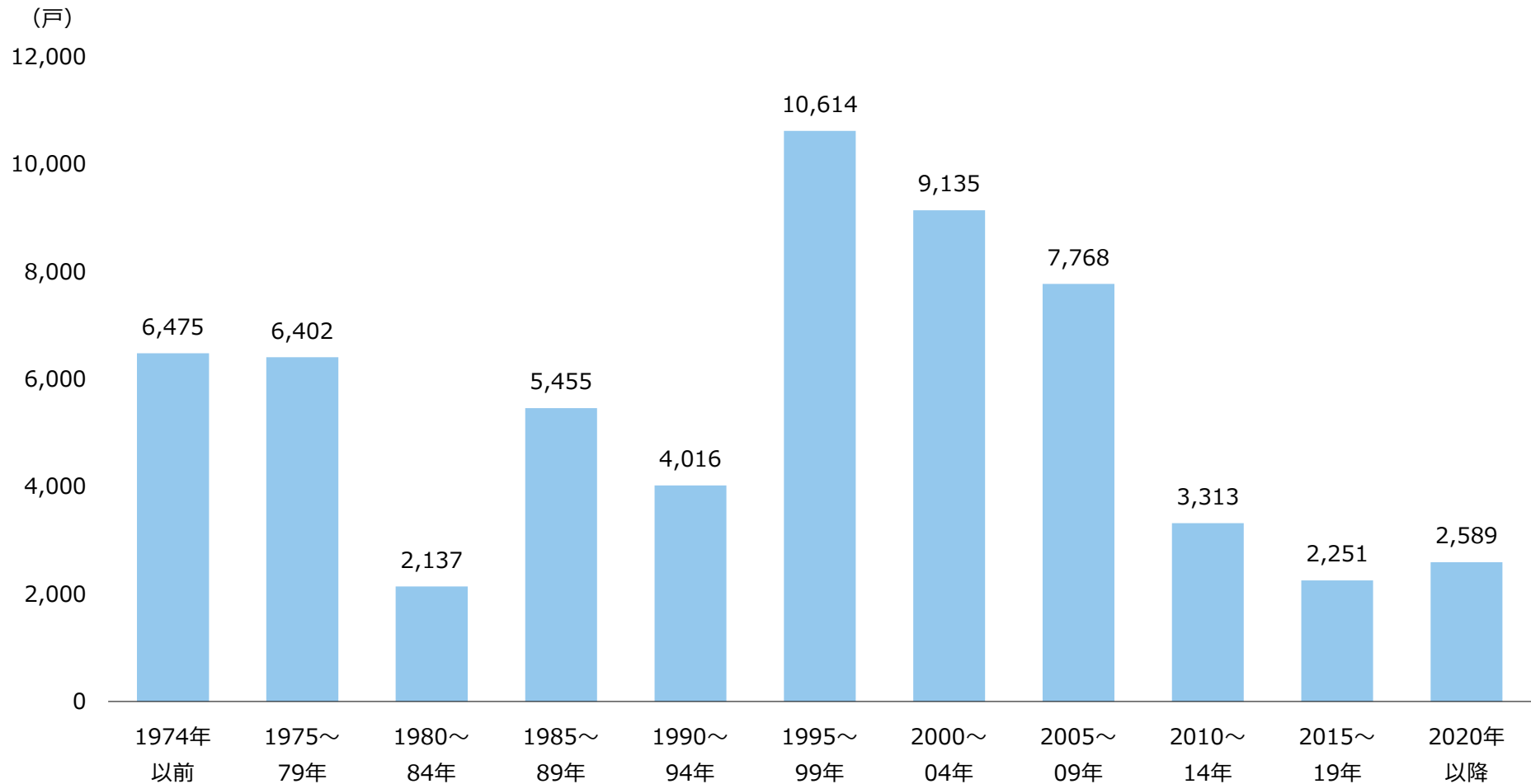
政令市比較



※2023年

建築年代別マンション戸数

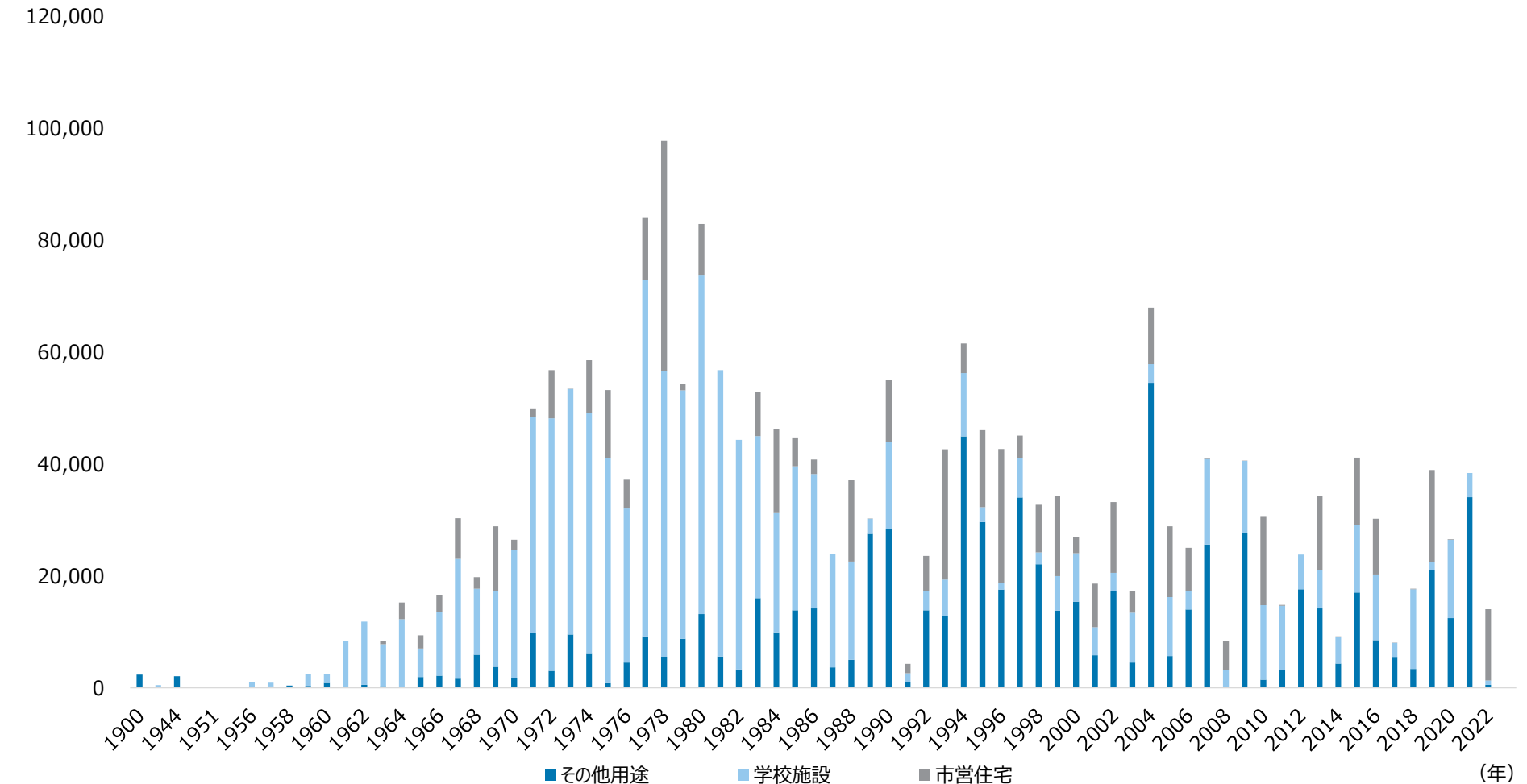
- 建築年代別マンション戸数は1995年～2004年の間に建設されたものが多い。
- 1984年以前建築のマンションは築40年以上経過しており、今後も高経年マンションの増加が見込まれる。



竣工年別の公共施設 延床面積

○ 公共施設は1970年代～1980年代に竣工したものが多く、築40年を超える施設も多い。

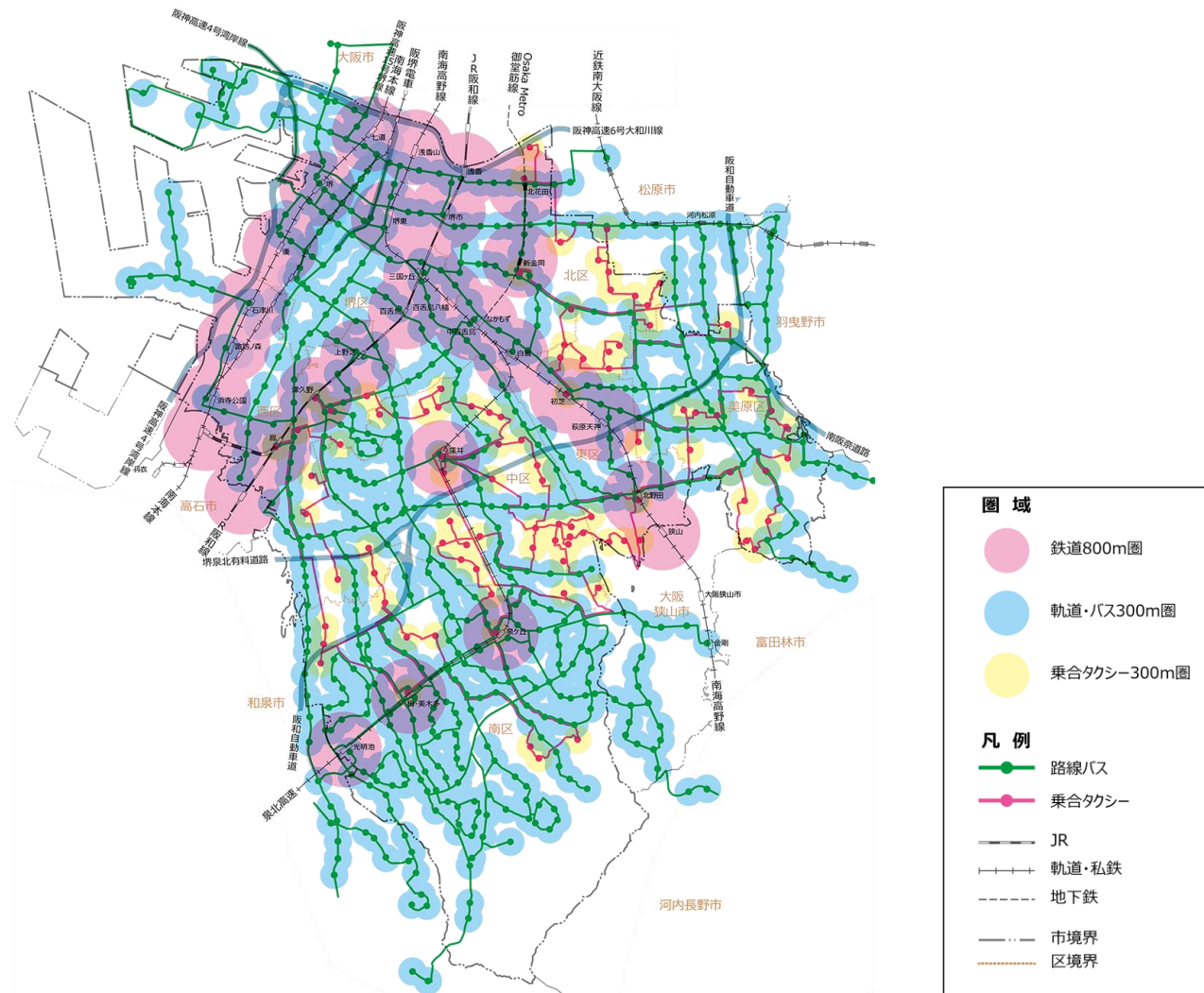
延床面積 (㎡)



(資料) 堺市調べ ※山口家住宅、清学院、井上関右衛門家住宅など建築年月日不明のものは1900年で計上

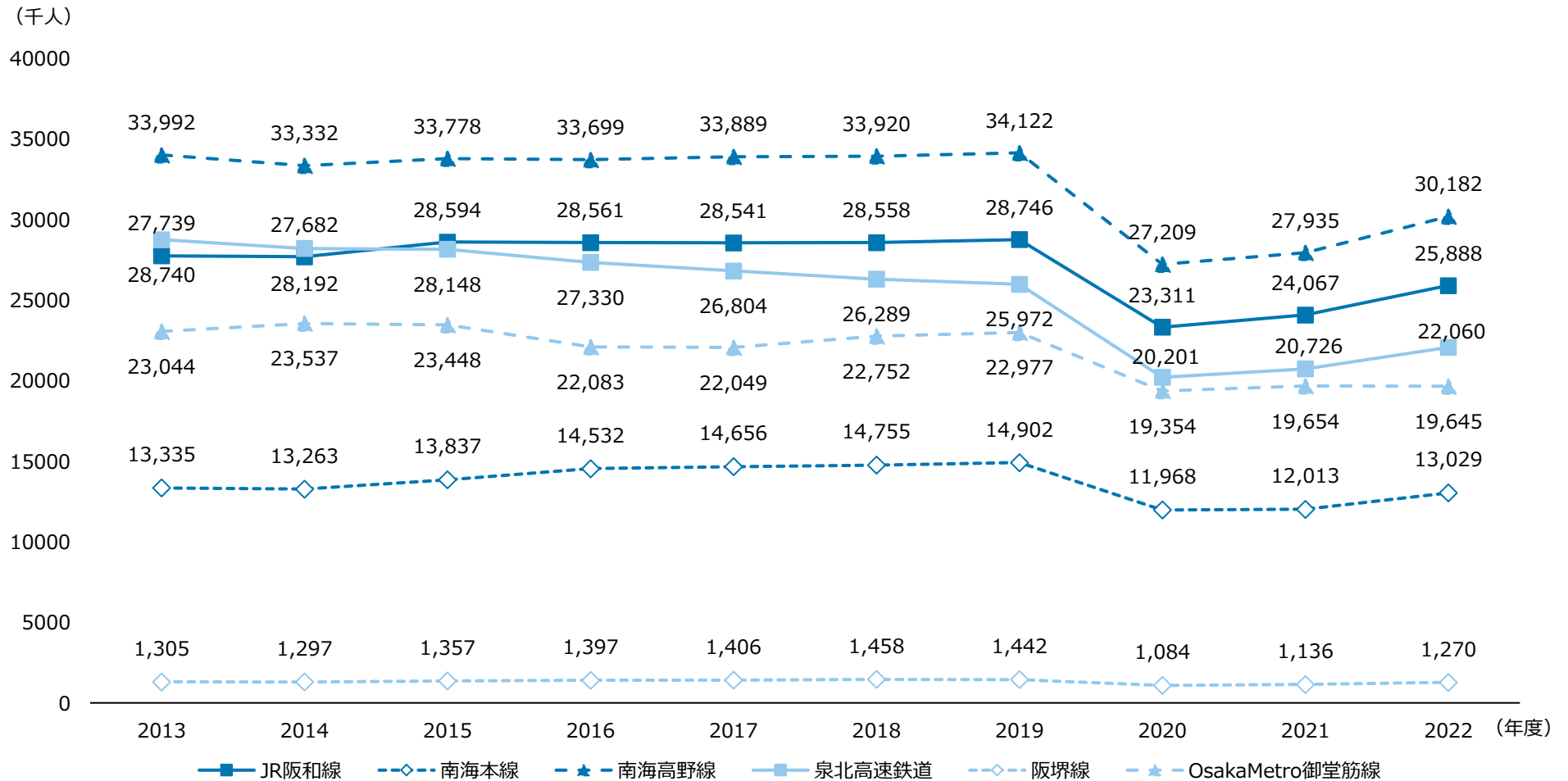
公共交通カバー状況

- 鉄軌道、路線バス、乗合タクシーが市内の大部分のエリアをカバーしている。



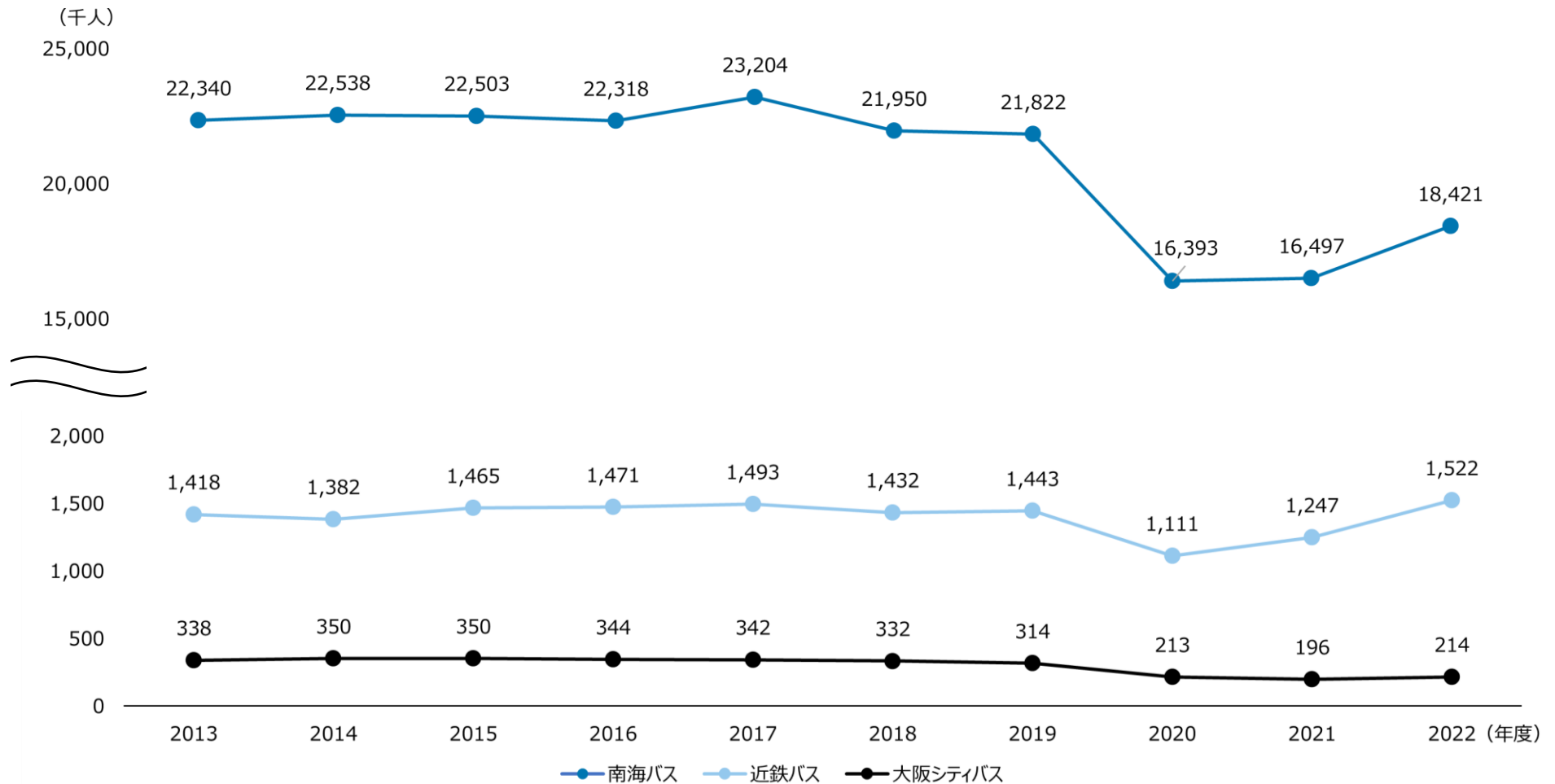
市内の鉄軌道旅客人員の推移

○ 市内の鉄軌道旅客人員は2020年度に減少し、2021年度以降は増加傾向であるが、2019年度以前の水準には戻っていない。



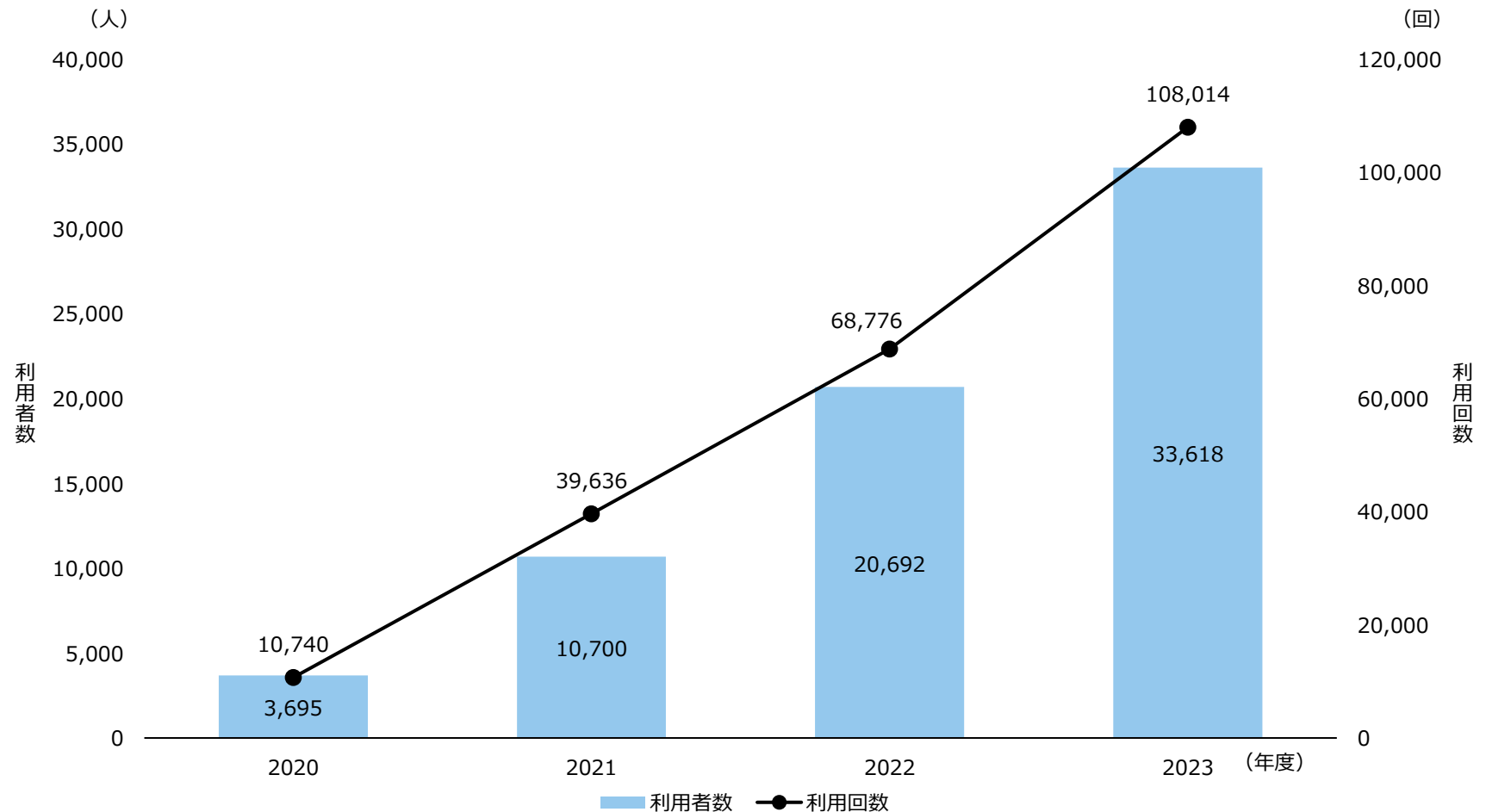
市内のバス利用者数の推移

○ 市内のバス利用者数は2020年度に減少し、2021年度以降は増加傾向であるが、2019年度以前の水準には戻っていない。



シェアサイクルの利用者数、利用回数の推移

○ シェアサイクルの利用者数と利用回数は増加傾向で推移。

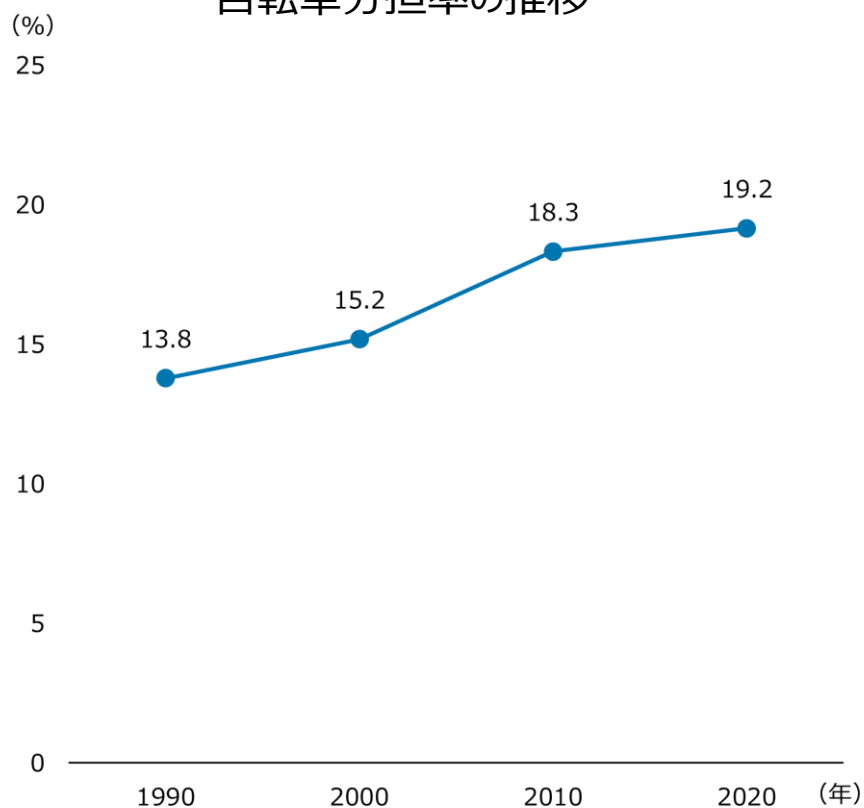


自転車分担率の推移、政令市比較

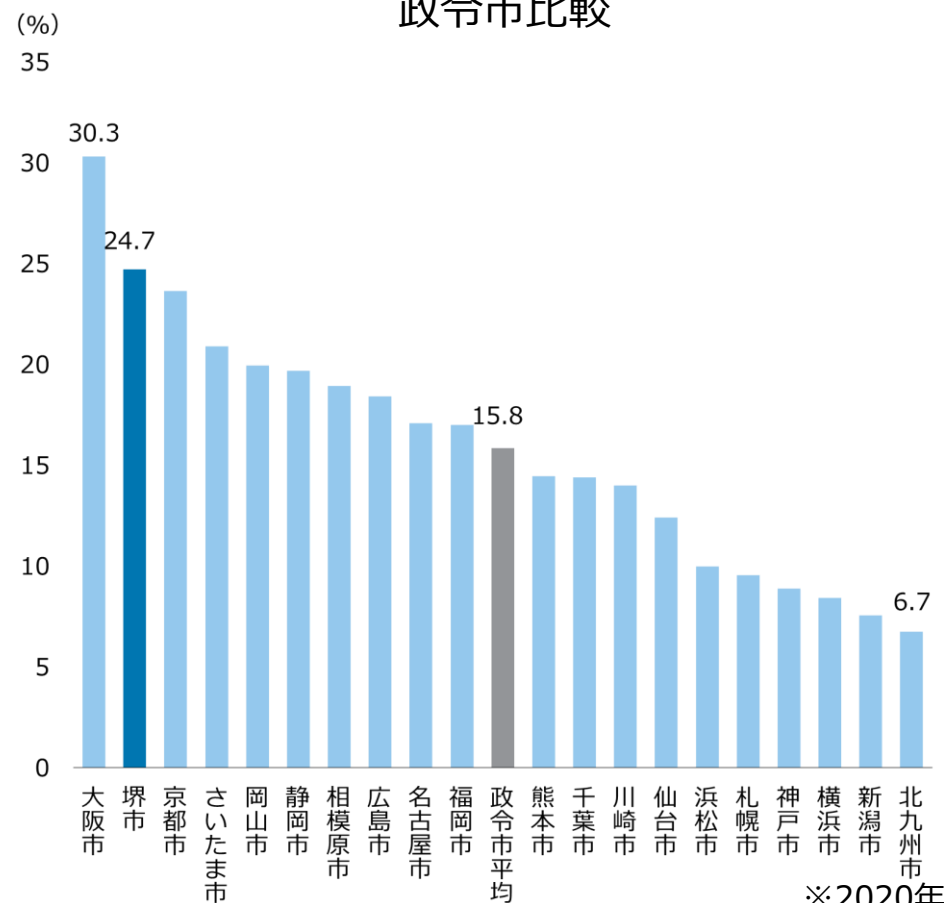
自転車分担率…全交通手段による移動数に占める自転車による移動の割合

- 自転車分担率は上昇傾向。
- 政令市の中で 2 番目に高い。

自転車分担率の推移



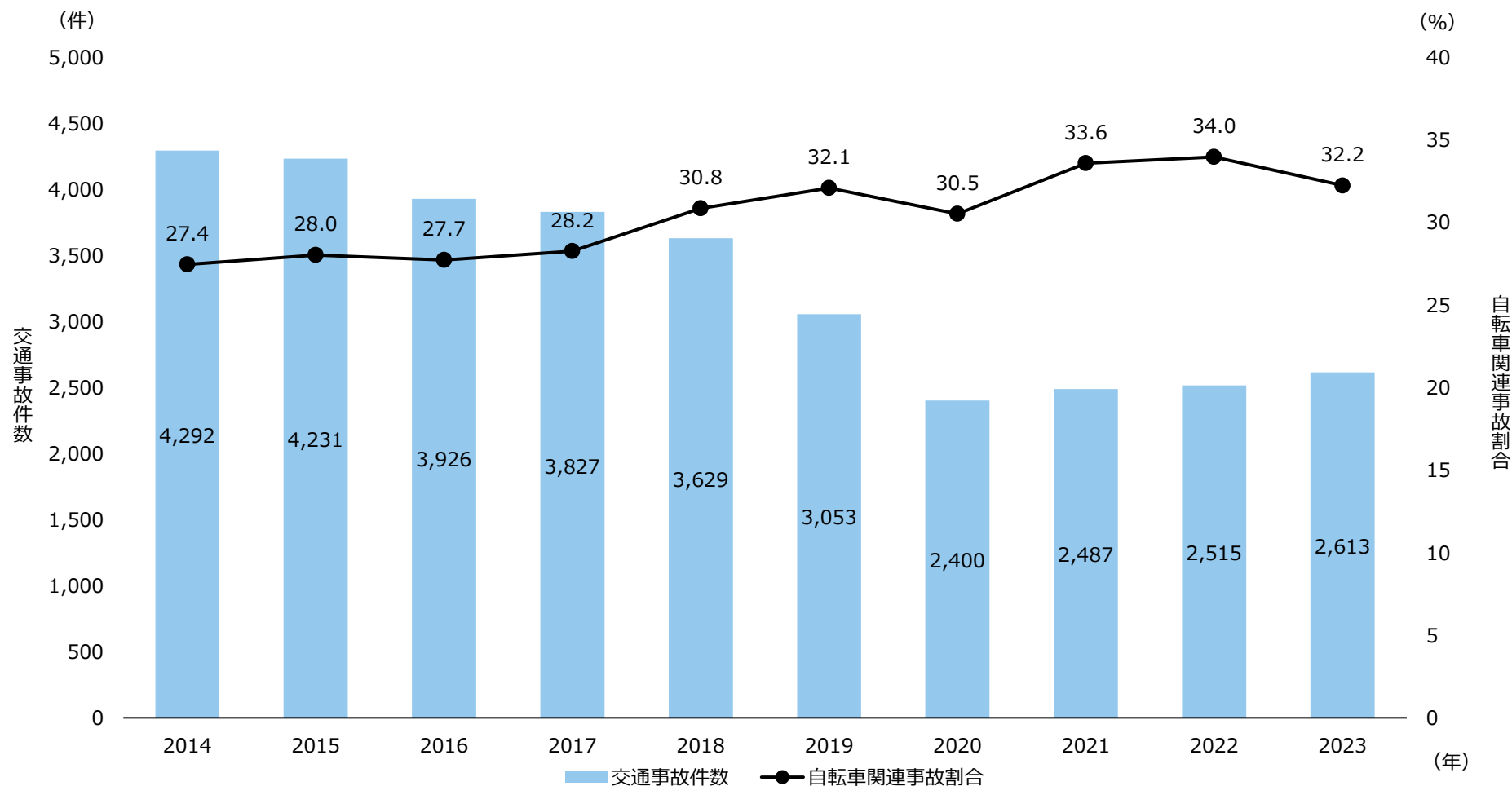
政令市比較



※2020年

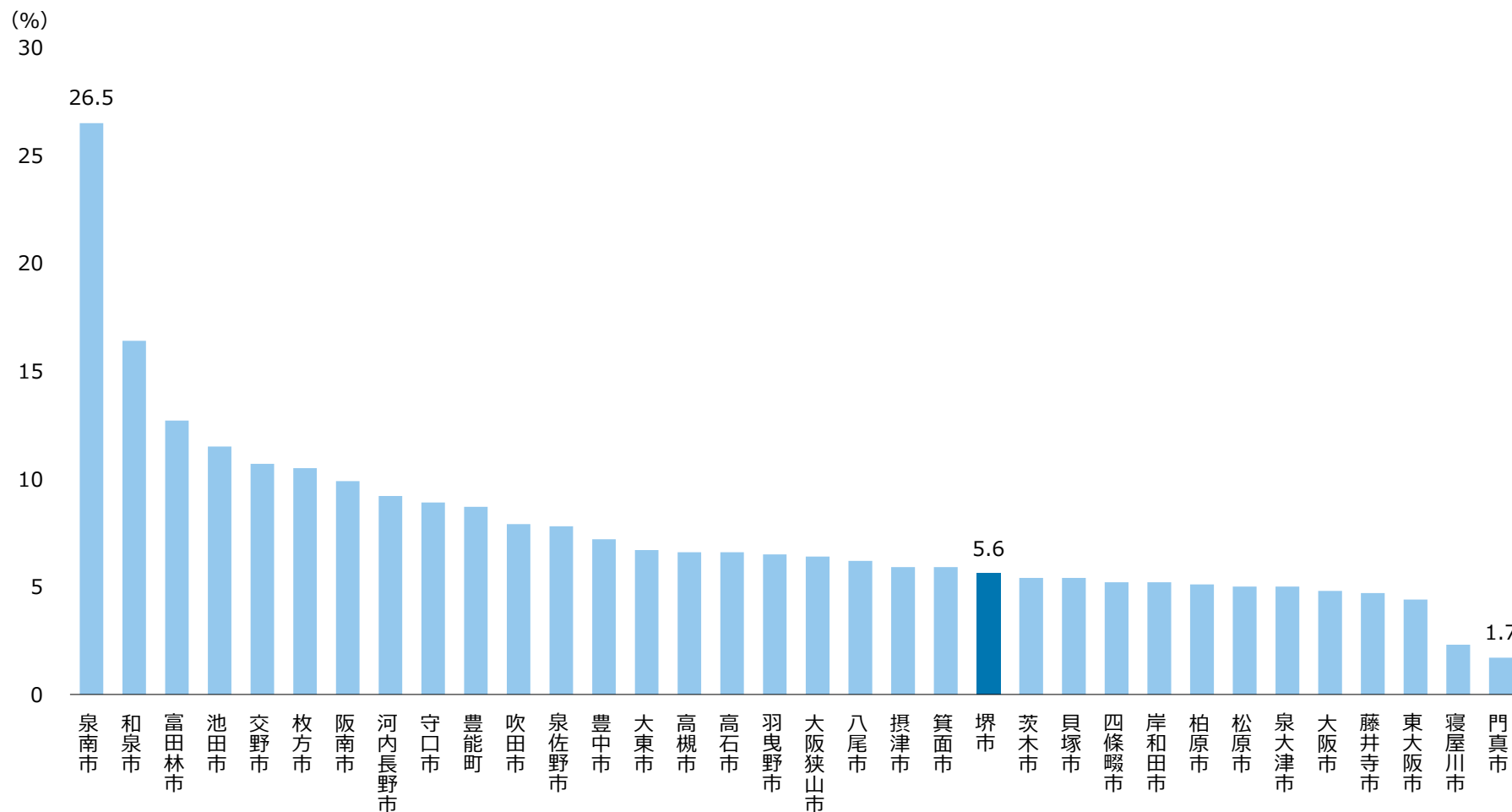
交通事故件数、自転車関連事故割合の推移

- 交通事故件数は2020年まで減少傾向、その後は横ばい傾向。
- 自転車関連事故割合は近年は横ばい傾向。



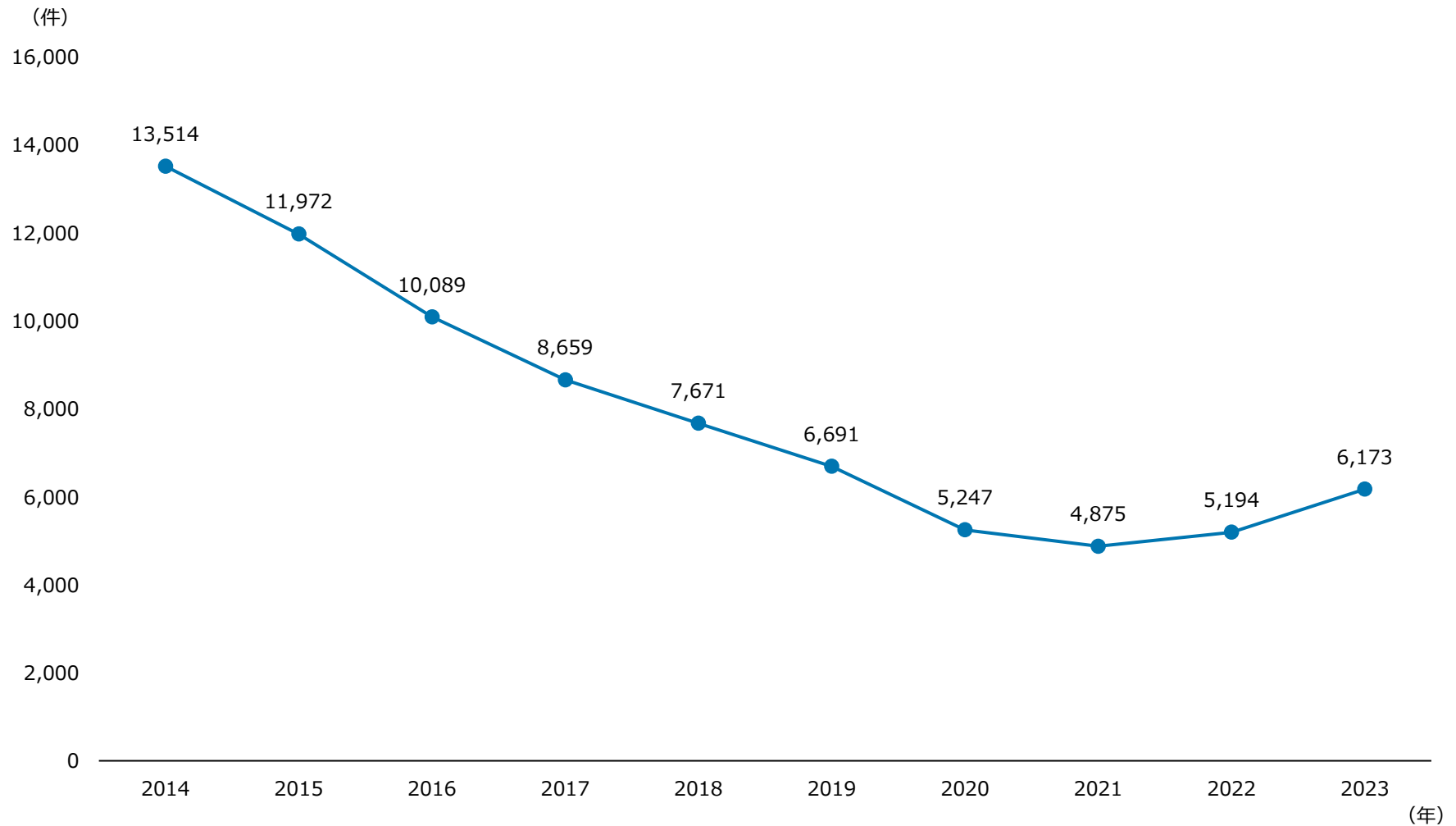
自転車乗車時のヘルメット着用率 大阪府内自治体比較

○ 自転車乗車時のヘルメット着用率は大阪府内自治体の中で22番目。



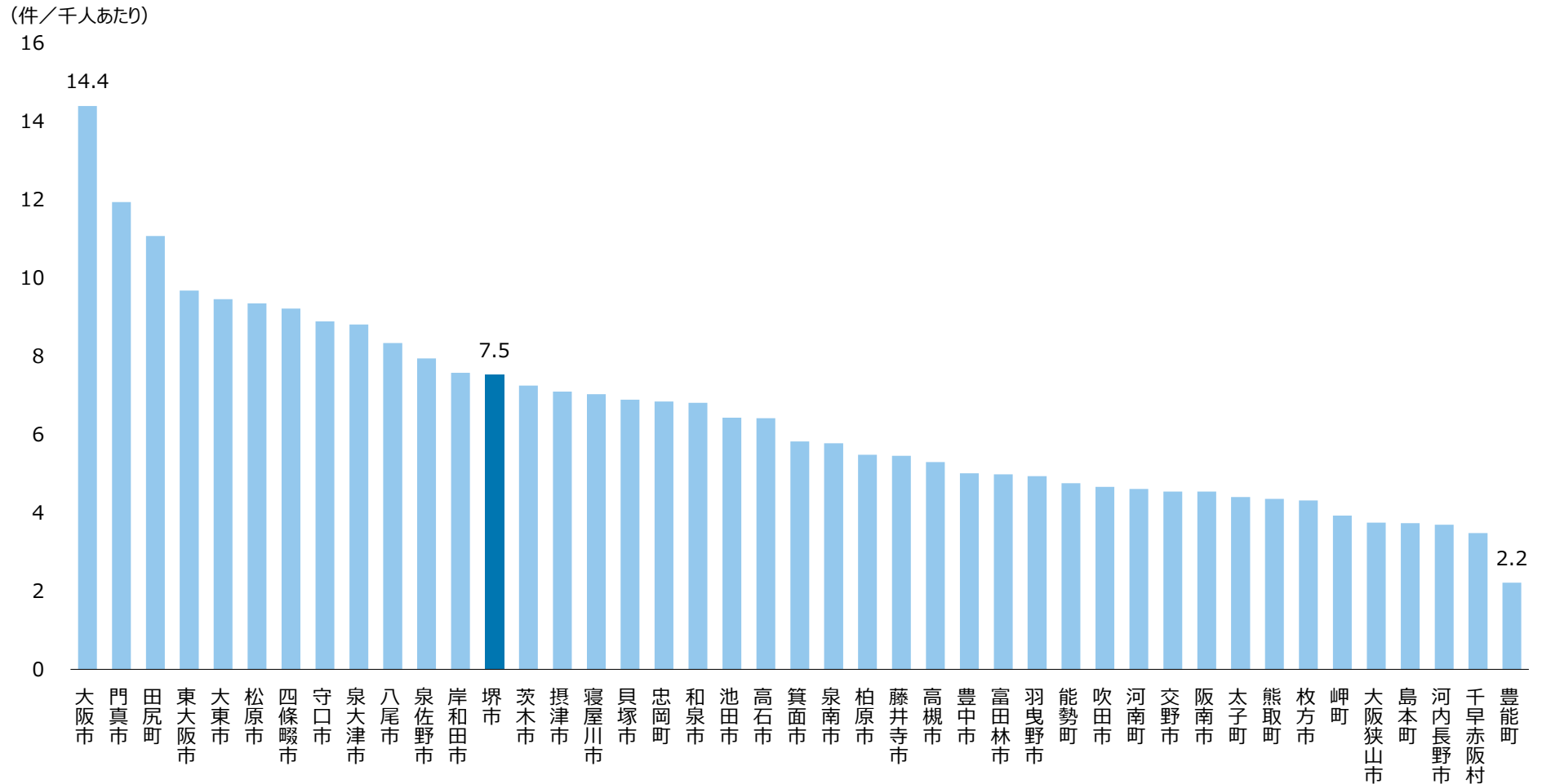
刑法犯の認知件数の推移

○ 刑法犯の認知件数は2021年までは減少傾向であったが、2022年以降は増加傾向。



刑法犯の認知件数 大阪府内自治体比較

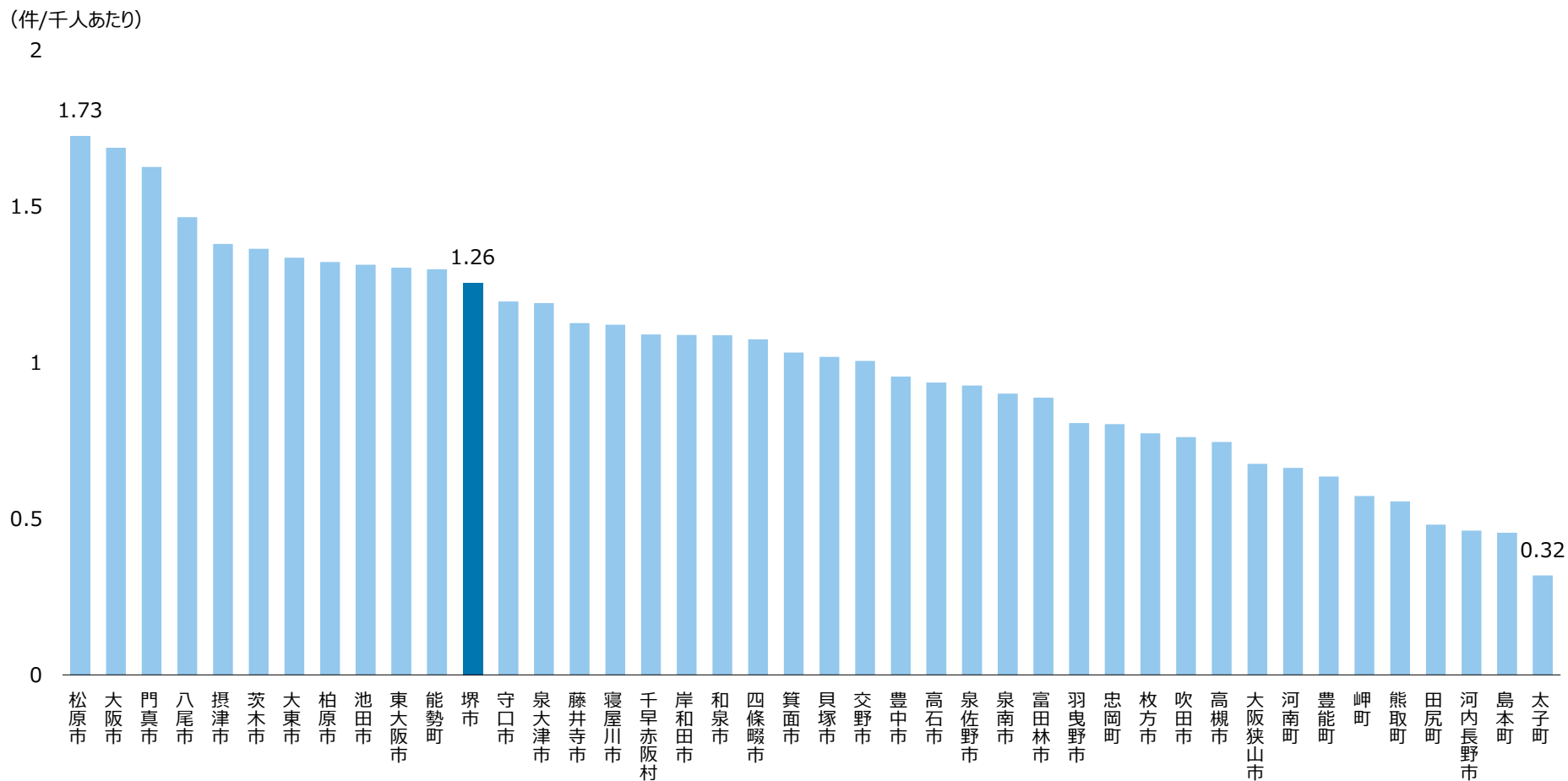
○ 人口千人当たりの刑法犯認知件数は大阪府内の自治体の中で13番目に多い。



大阪重点犯罪認知件数 大阪府内自治体比較

大阪重点犯罪…不同意性交等、不同意わいせつ、公然わいせつ、痴漢、自転車盗、車上ねらい、部品ねらい及び特殊詐欺

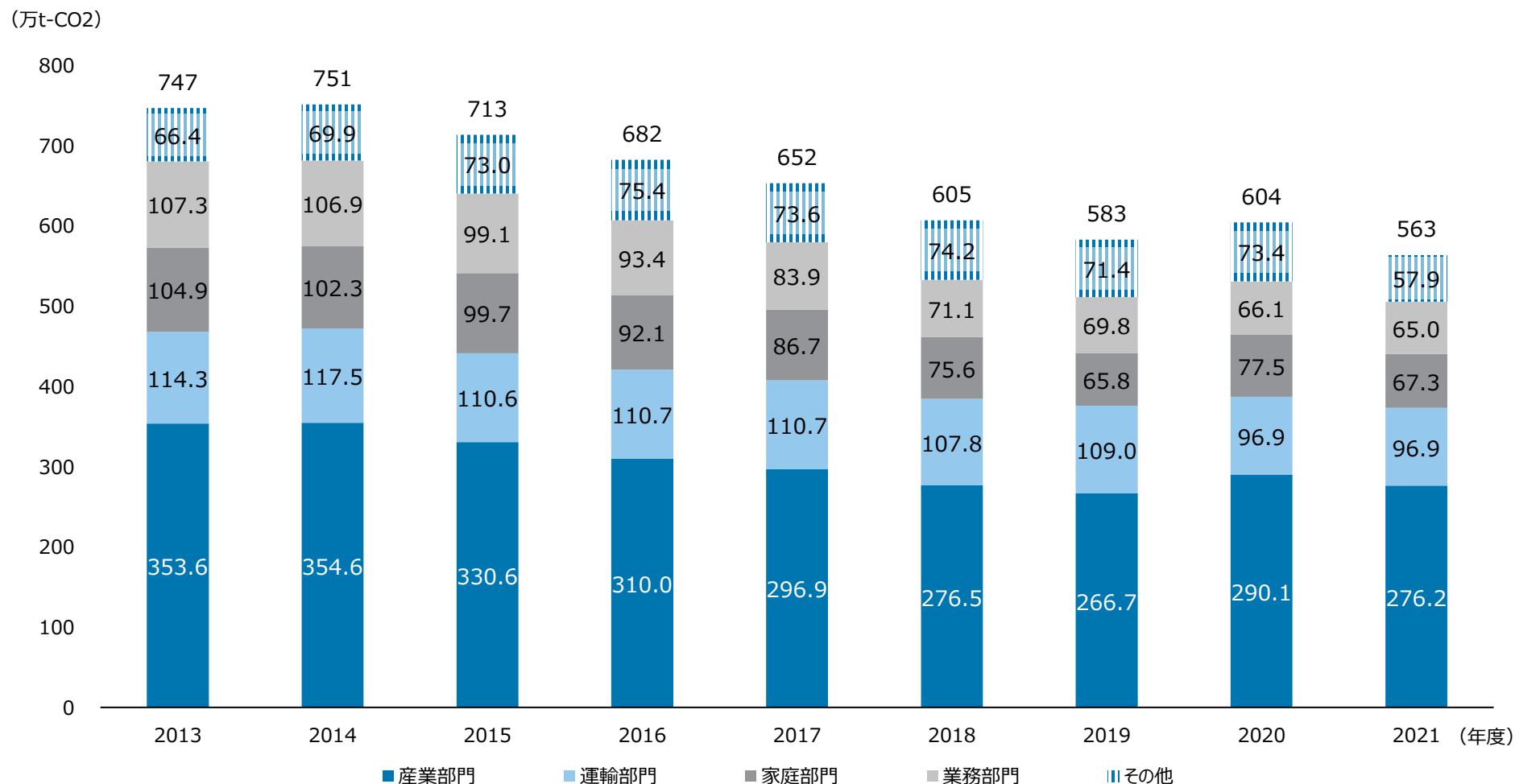
○ 人口千人あたり的大阪重点犯罪認知件数は大阪府内の自治体の中で12番目に多い。



環境

温室効果ガス排出量の推移

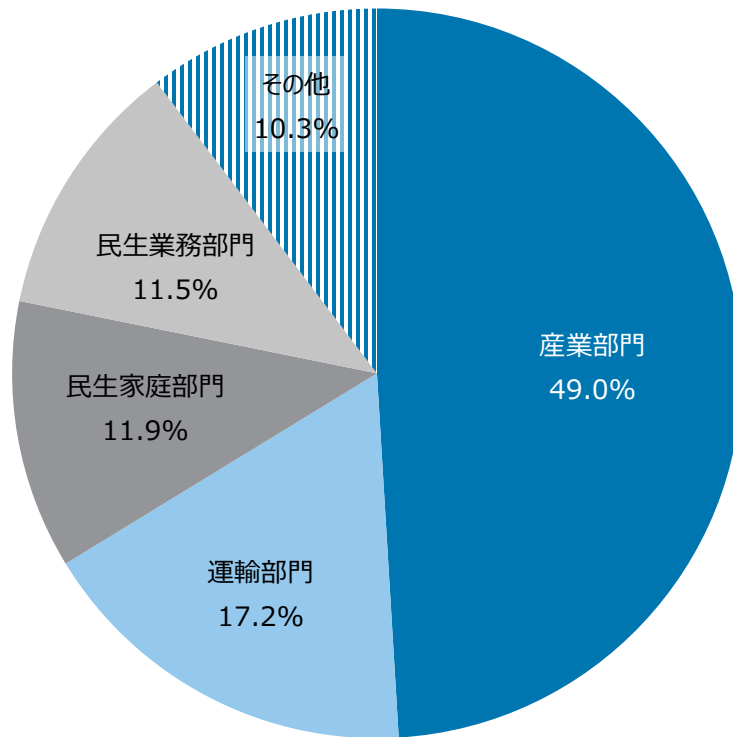
○ 温室効果ガス排出量は減少傾向。



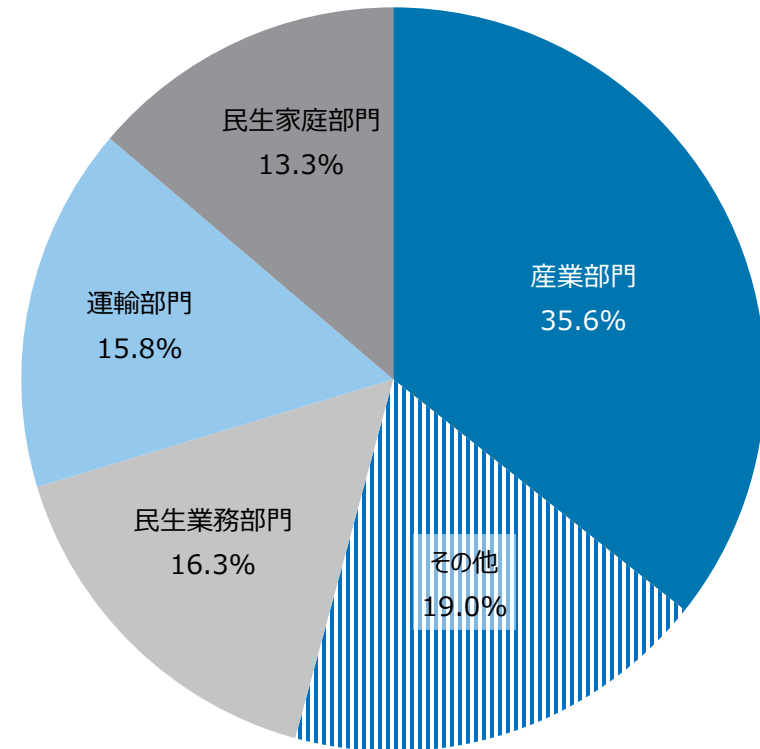
温室効果ガス排出量の部門別割合

○ 温室効果ガスの排出量は産業部門が約50%を占め、全国と比較して高い。

堺市



全国

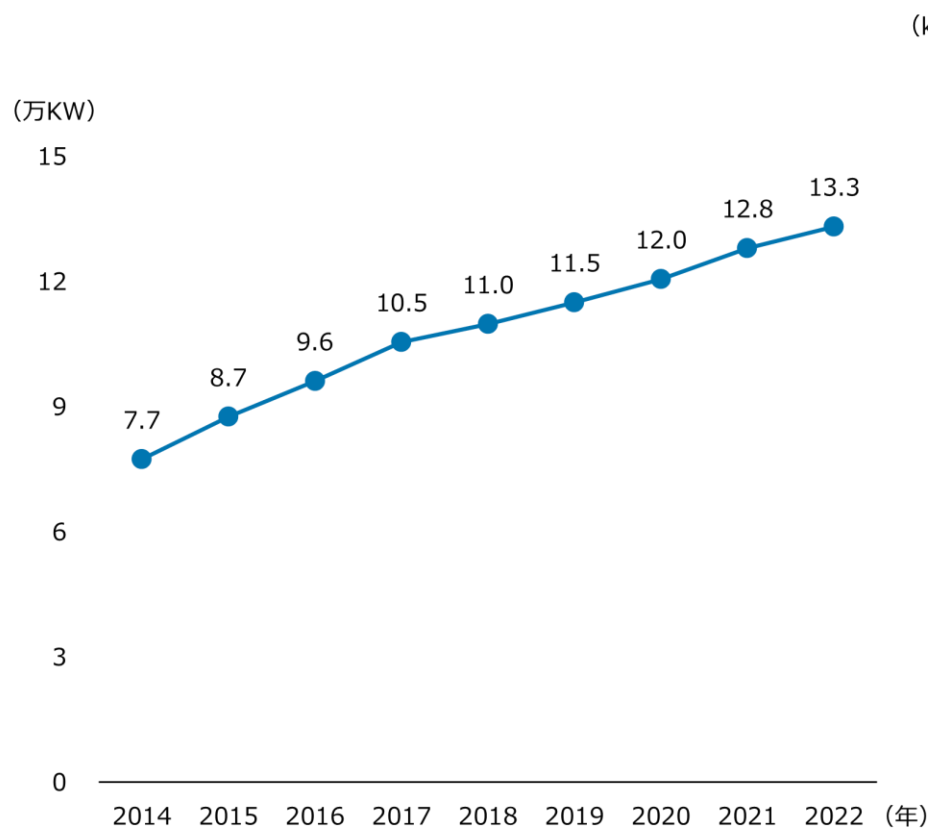


太陽光発電の導入容量の推移、面積当たりの政令市比較

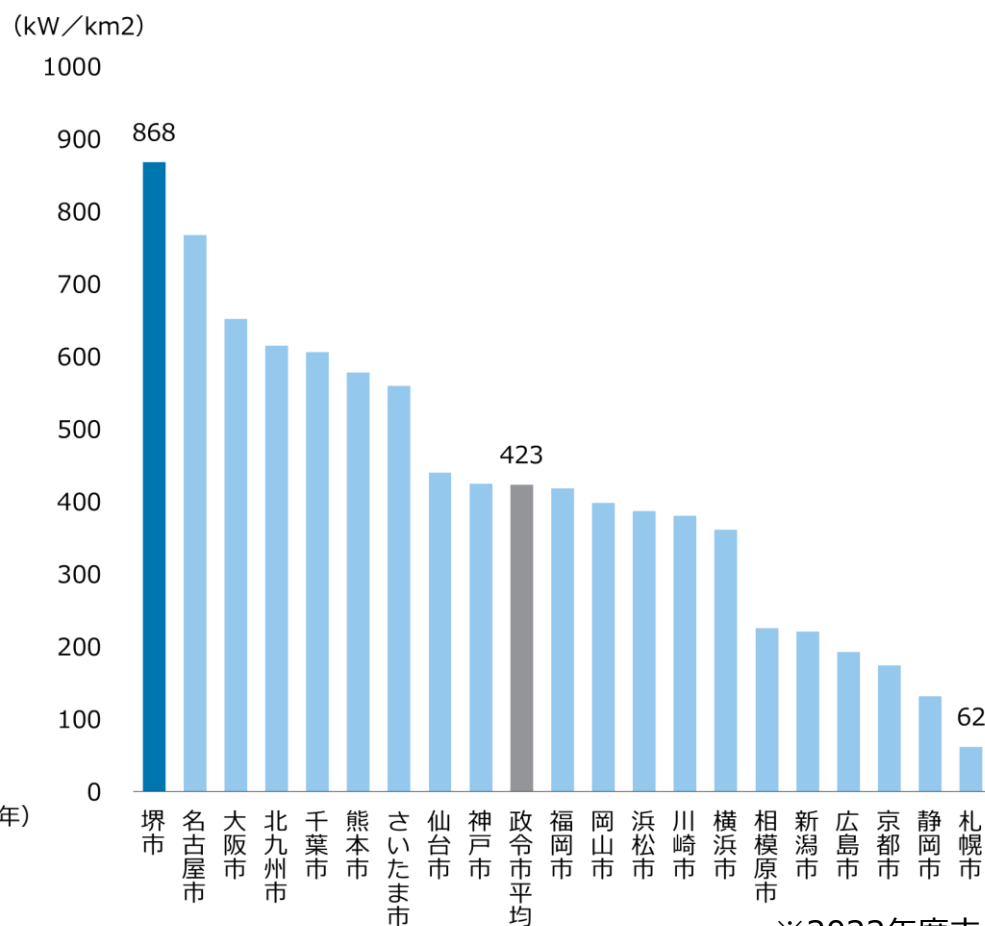


- 太陽光発電の導入容量は増加傾向。
- 市域面積当たりの導入容量は政令市の中で最も多い。

太陽光発電の導入容量の推移



市域面積当たりの導入容量（政令市比較）



観測史上最高気温の上位10日

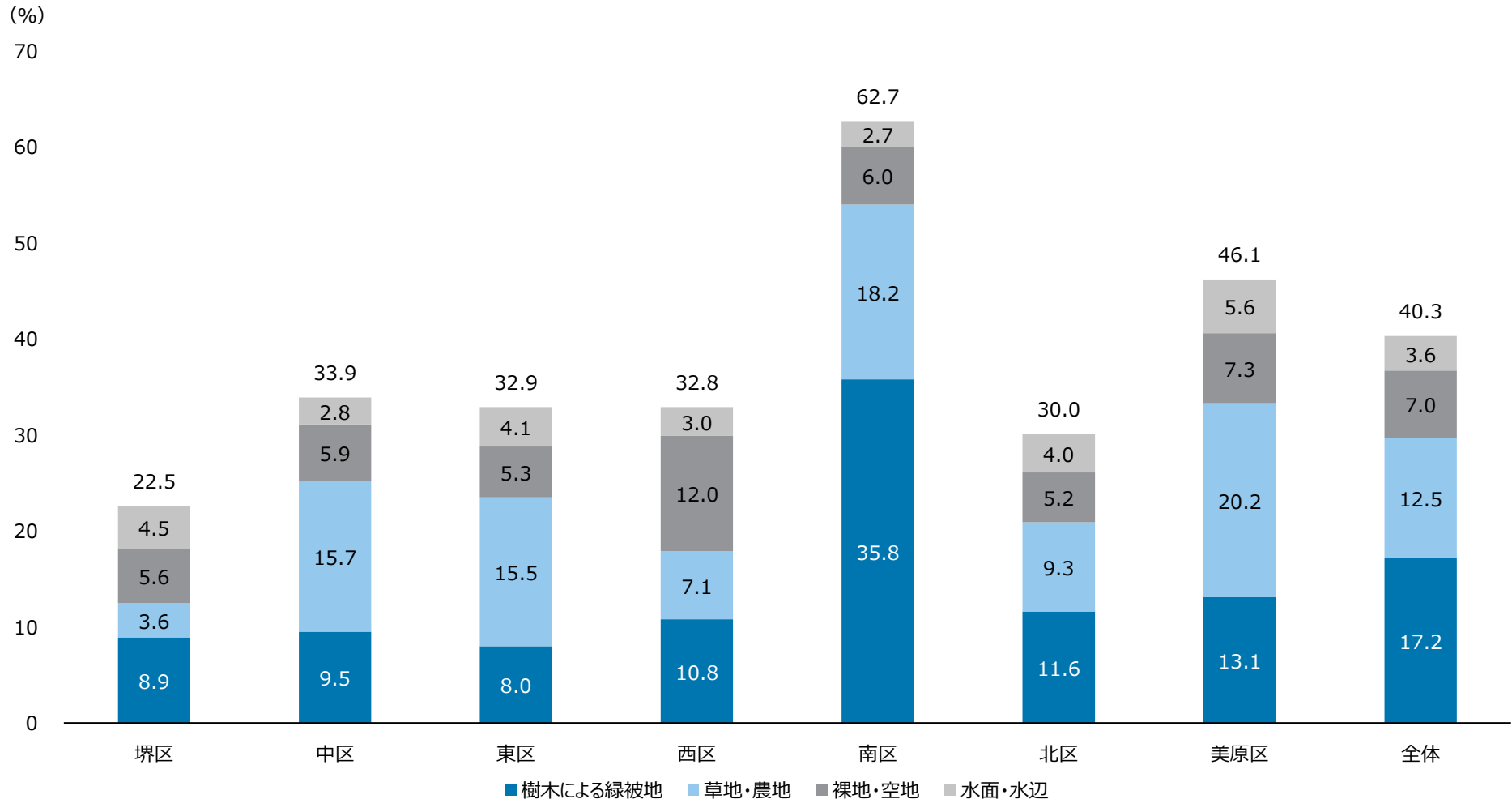
○ 堺市の観測史上（1977年3月～）最高気温の上位10日のうち5日は、2022年以降に記録。

順位	日付	気温
1	2018年8月22日	39.7℃
2	1994年8月8日	39.3℃
3	1994年8月6日	39.3℃
4	2024年8月15日	39.2℃
5	2024年8月14日	39.1℃
6	1994年8月7日	38.8℃
7	2023年8月13日	38.6℃
8	2023年8月10日	38.6℃
9	2007年8月17日	38.4℃
10	2022年7月1日	38.3℃

緑被率の状況

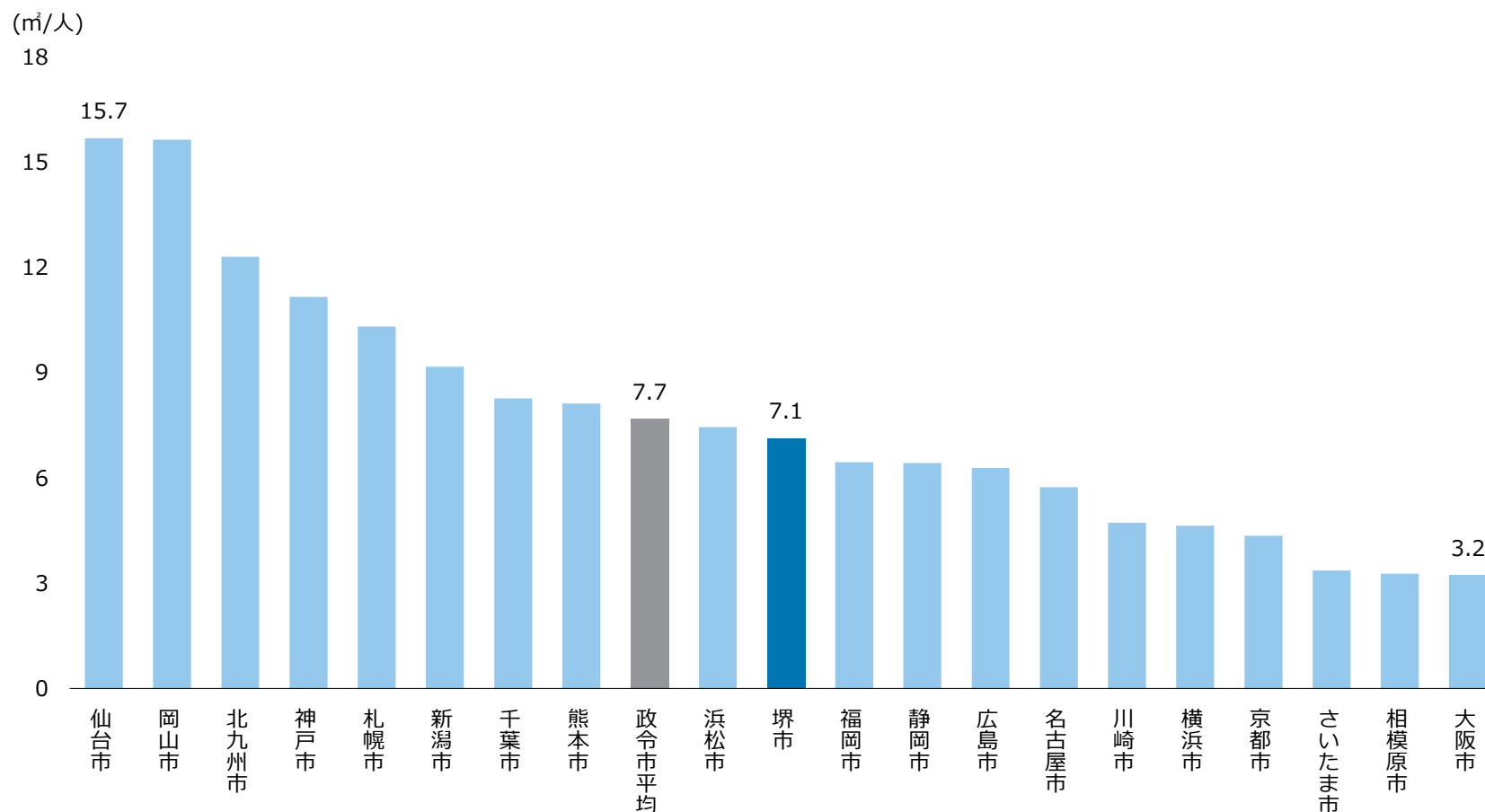
緑被率…ある地域における緑地面積の占める割合

○ 市域全体の緑被率は約40%、区別では南区が最も高く、堺区が最も低い。



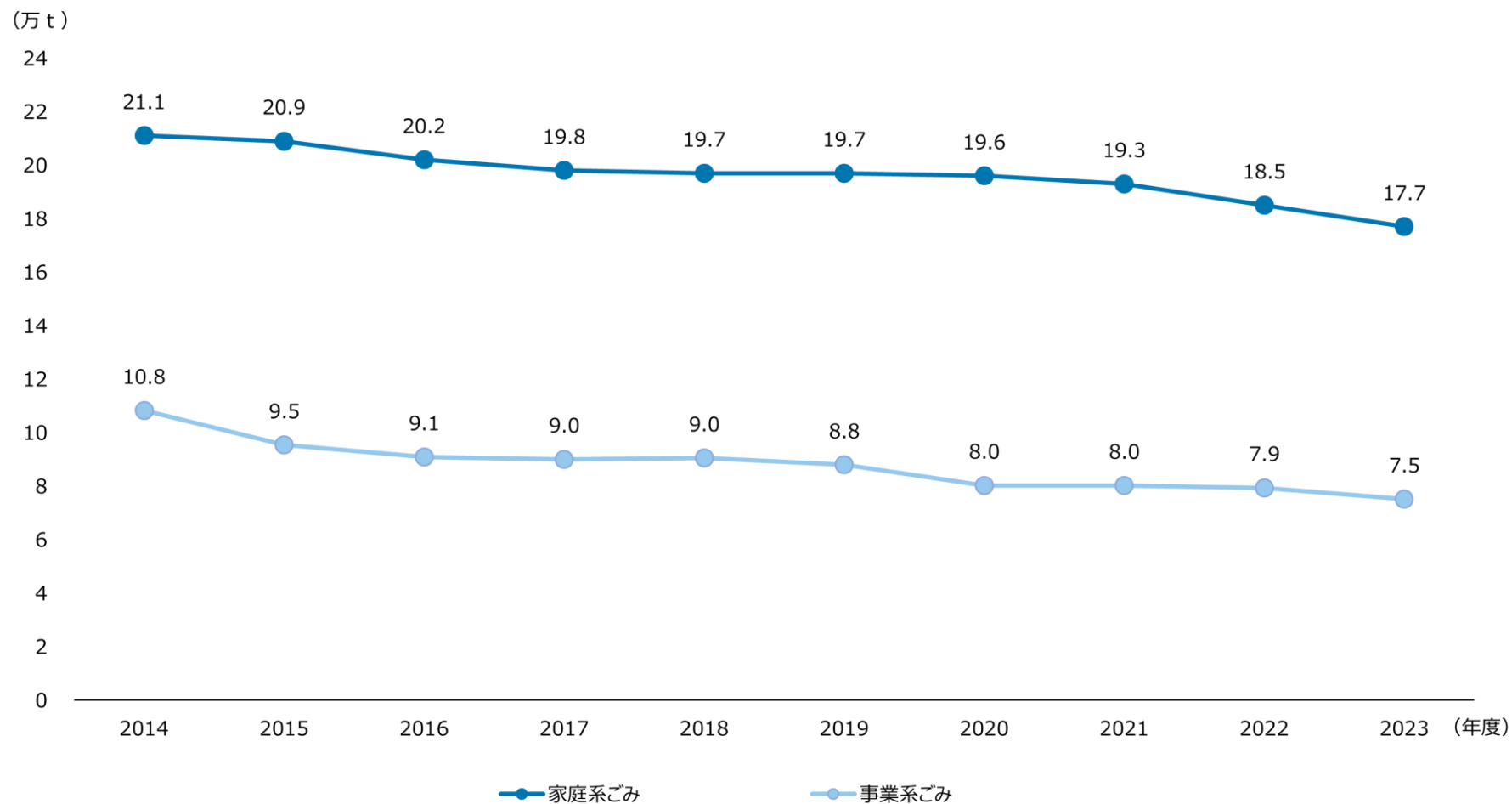
人口当たりの都市公園面積 政令市比較

○ 人口当たりの都市公園面積は政令市の中で10番目。



ごみ排出量の推移

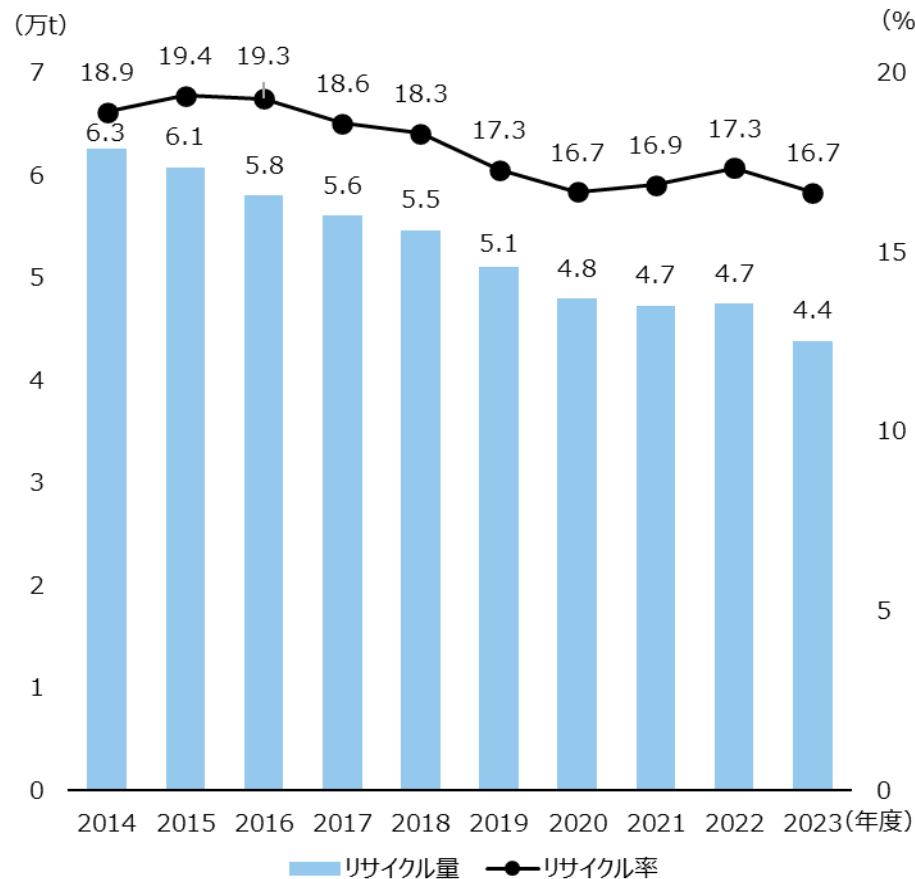
○ ごみ排出量は家庭系ごみ、事業系ごみのいずれも減少傾向。



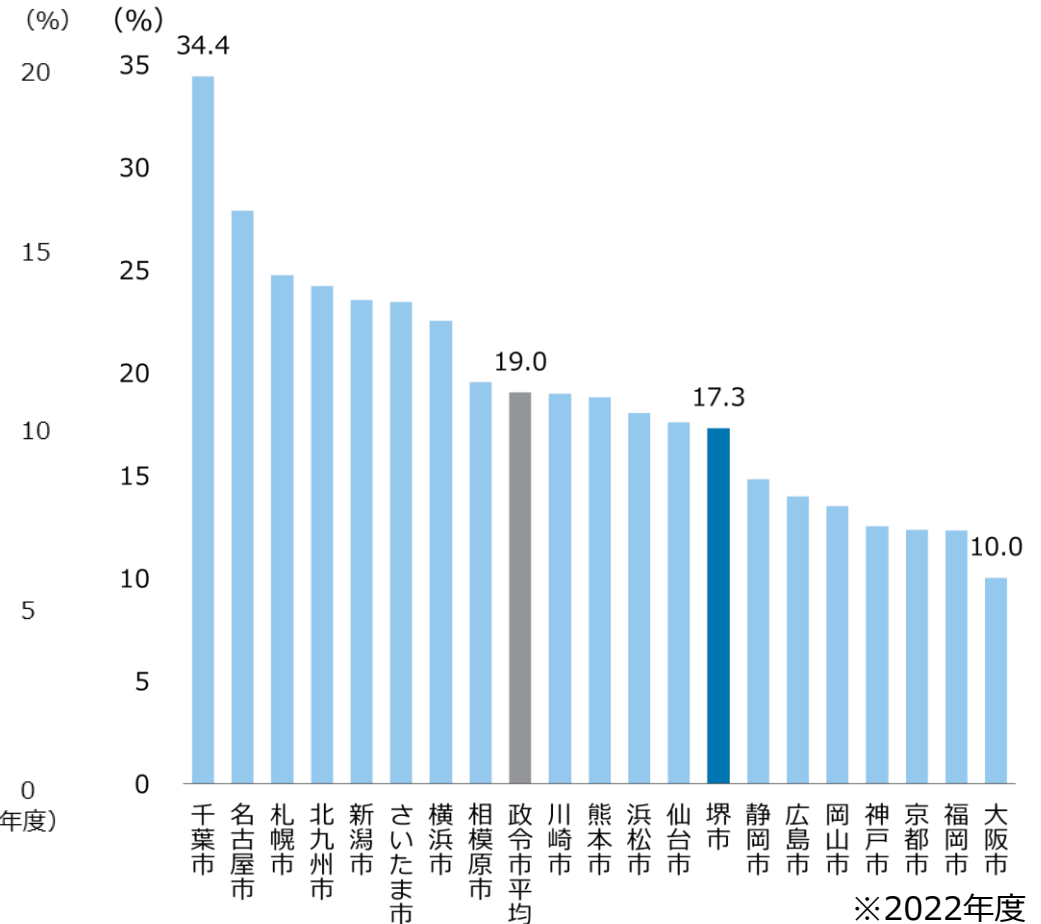
リサイクル量、リサイクル率の推移、政令市比較

- リサイクル量は減少傾向、リサイクル率は近年は横ばい傾向。
- リサイクル率は政令市の中で13番目。

リサイクル量、リサイクル率の推移



リサイクル率（政令市比較）

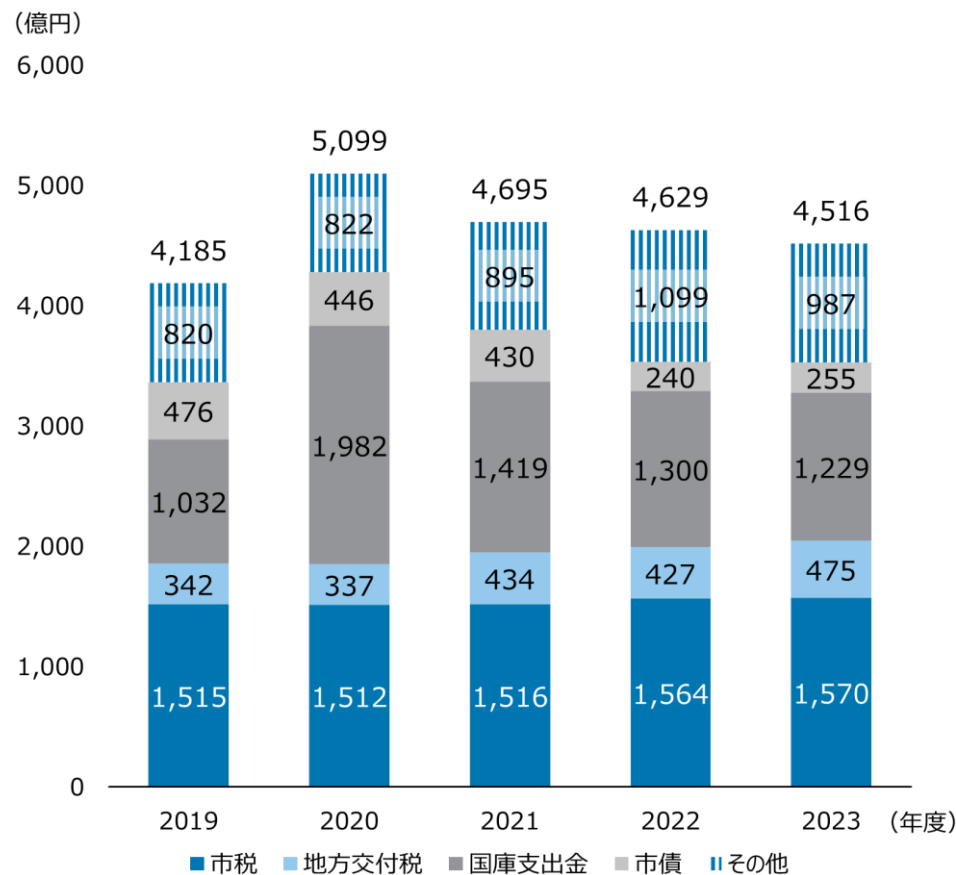


財政

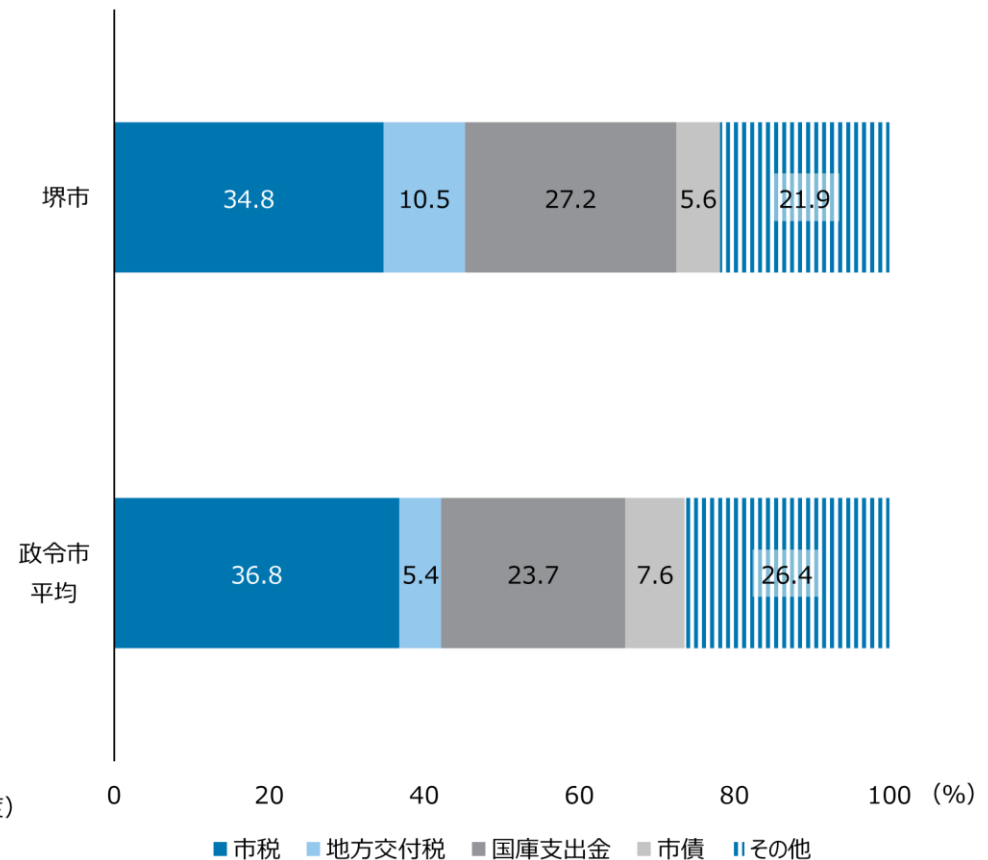
歳入の推移、政令市平均比較

- 歳入は減少傾向、そのうち市税、地方交付税は増加傾向、国庫支出金は減少傾向。
- 政令市平均と比べて市税、市債の割合が小さく、地方交付税、国庫支出金の割合が大きい。

歳入の推移



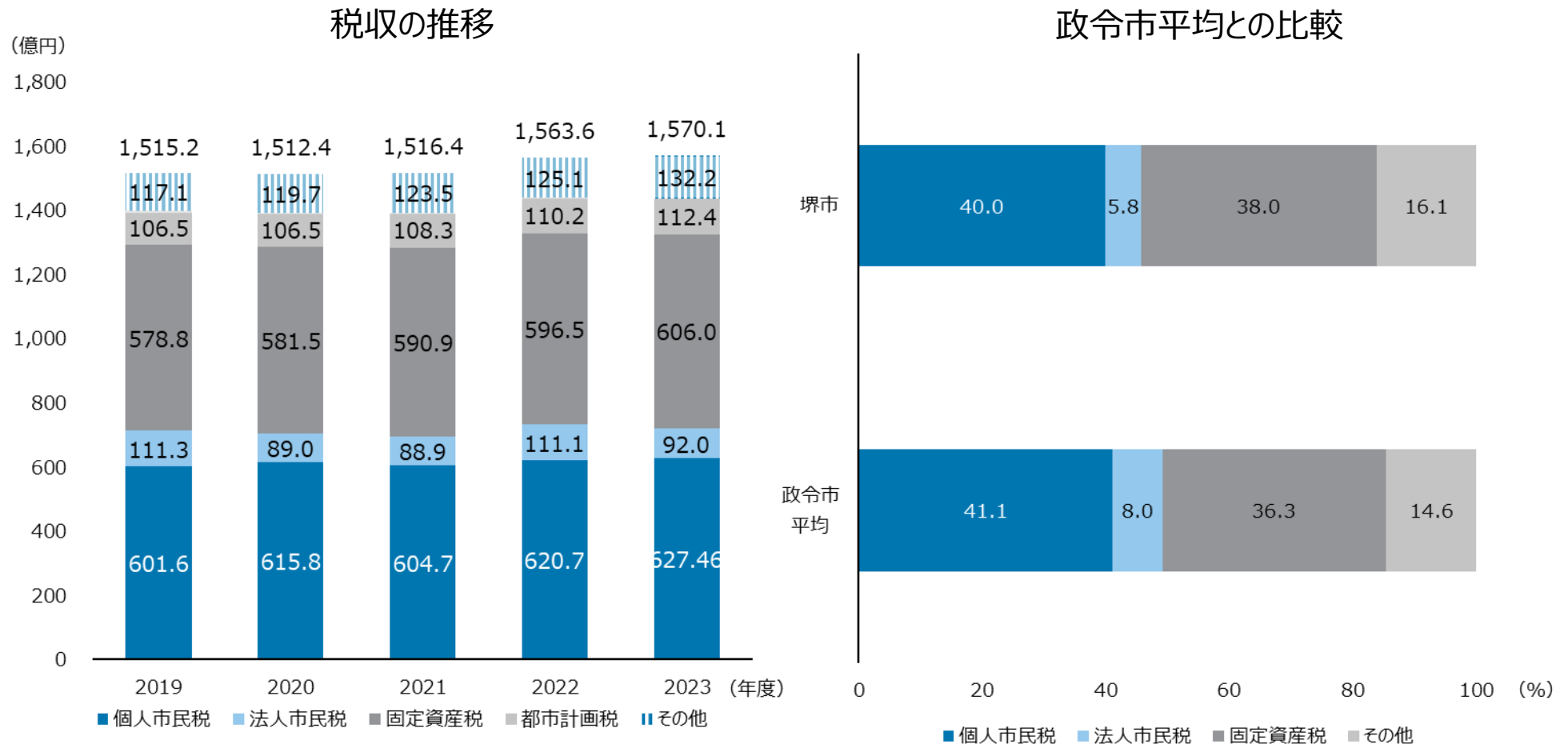
政令市平均との比較



※堺市は2023年度、政令市平均は2022年度

税収の推移、政令市平均比較

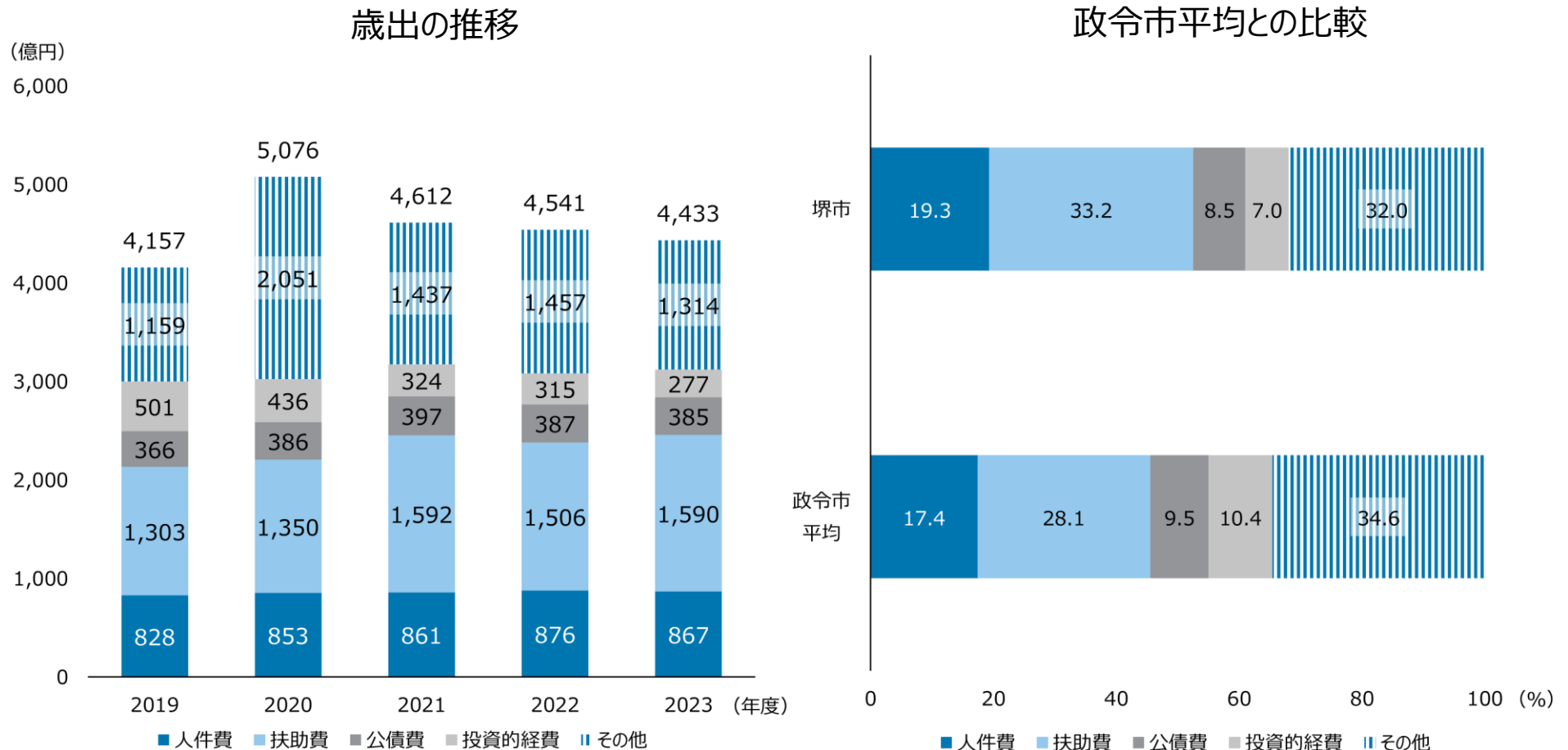
- 税収は増加傾向、特に個人市民税、固定資産税、都市計画税が増加傾向。
- 政令市平均と比べて個人市民税、法人市民税の割合が小さく、固定資産税の割合が大きい。



※堺市は2023年度、政令市平均は2022年度

歳出の推移、政令市平均比較

- 歳出は減少傾向、そのうち扶助費は増加傾向、投資的経費は減少傾向。
- 政令市平均と比べて公債費、投資的経費の割合が小さく、人件費、扶助費の割合が大きい。

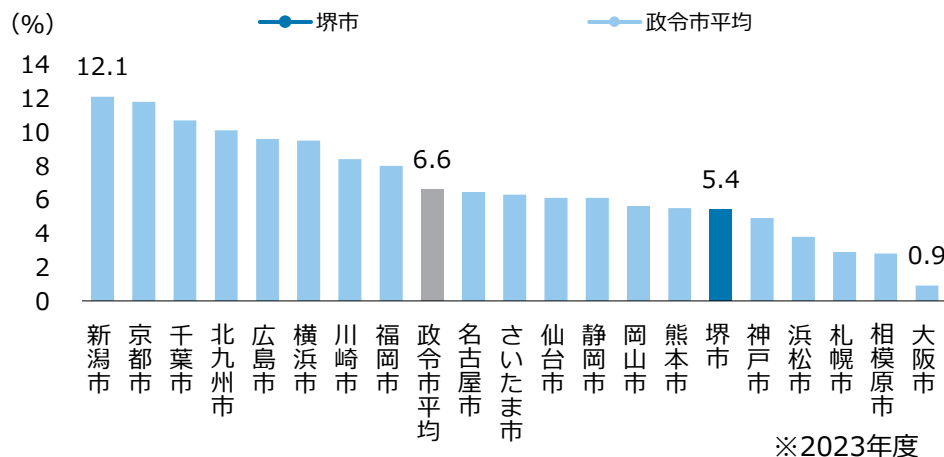
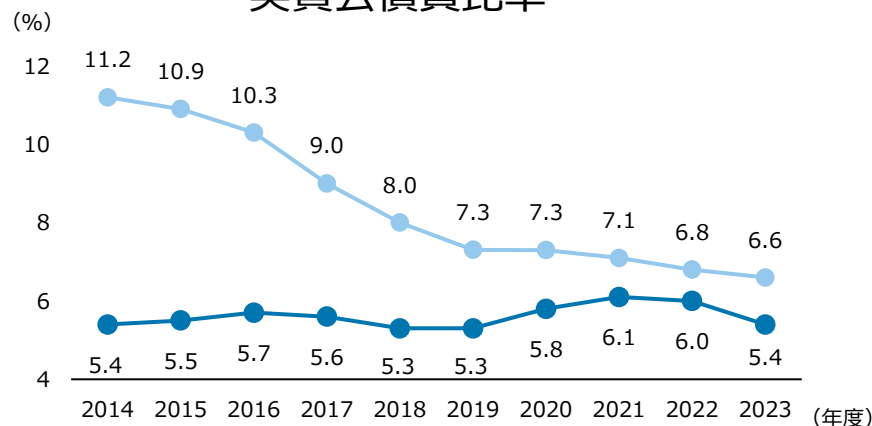


※堺市は2023年度、政令市平均は2022年度

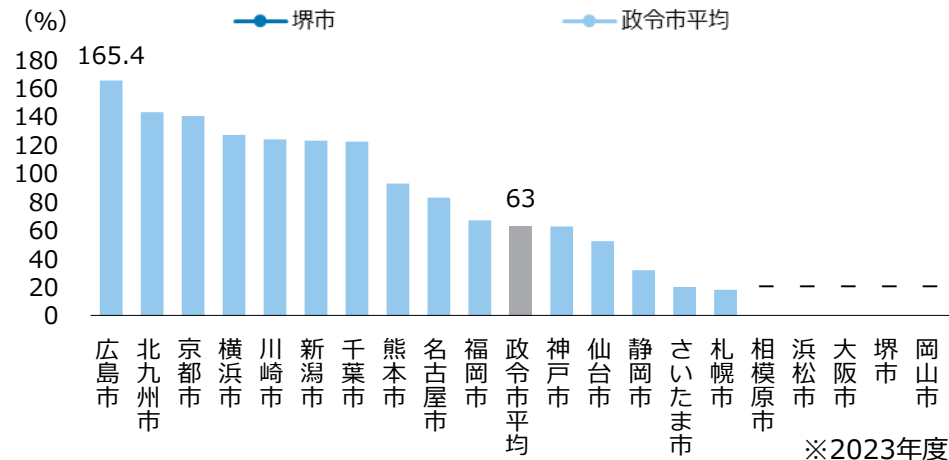
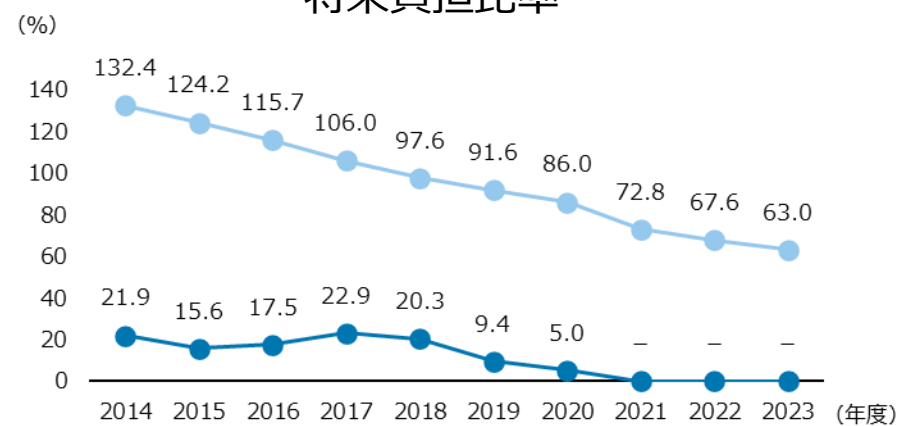
実質公債費比率・将来負担比率の推移、政令市比較

- 実質公債費比率は2022年度以降は低下傾向、2023年度は政令市の中で15番目。
- 将来負担比率は2021年以降は充当可能財源等が将来負担額を上回っているため算定されず、政令市の中で最も低い。

実質公債費比率



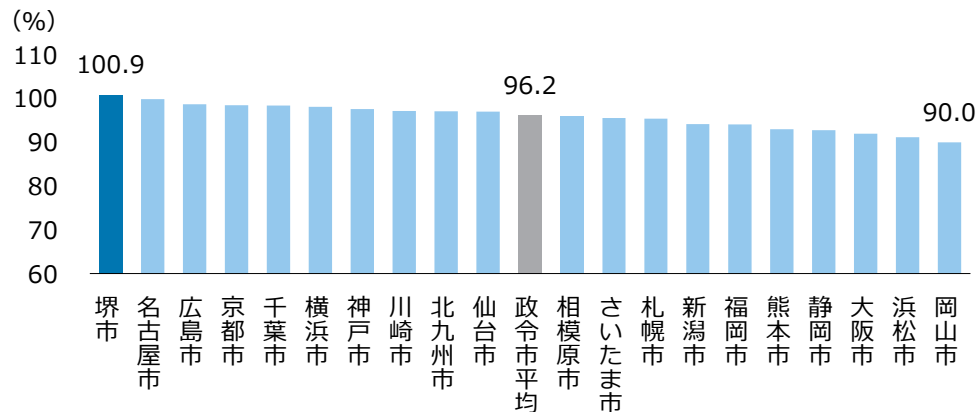
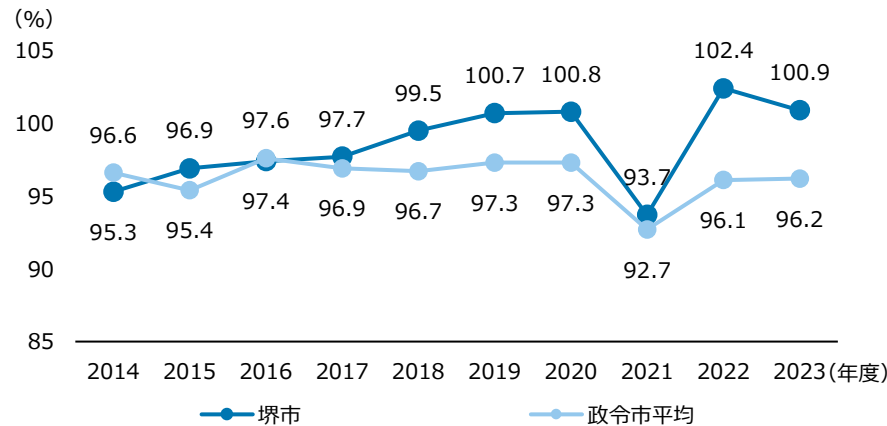
将来負担比率



経常収支比率・財政力指数の推移、政令市比較

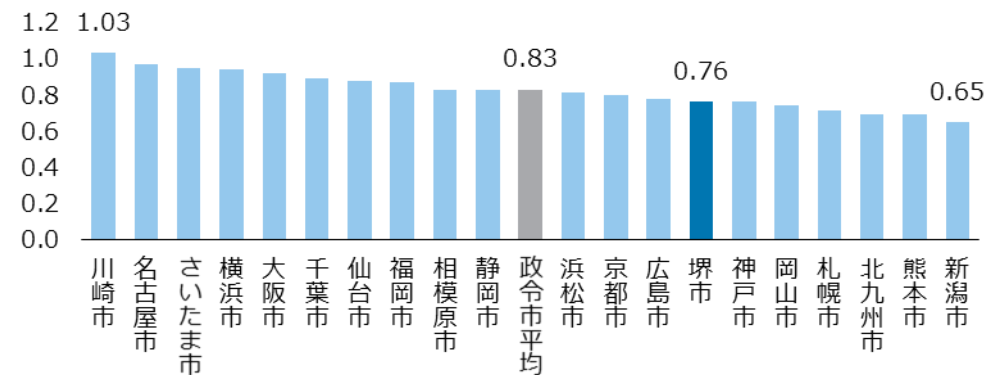
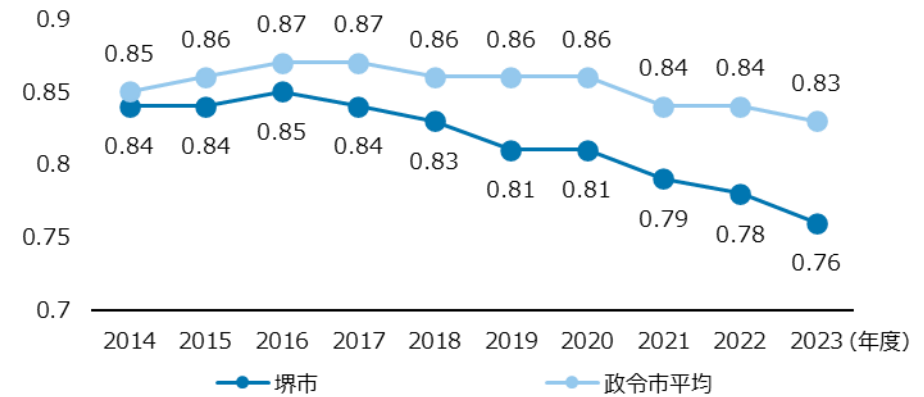
- 経常収支比率は直近の2023年度は前年度より低下したが100%を超えており、政令市の中で最も高い。
- 財政力指数は低下傾向、2023年度は政令市の中で14番目。

経常収支比率



※2023年度

財政力指数



※2023年度